

Ⅱ 施設別統計

熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 国立大学法人熊本大学医学部附属病院
-------	---

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市中央区本荘1丁目1番1号
病床数	848床
診療科数	33科
がん診療連携拠点病院指定日	2006.08.24
がん登録開始基準日	2006.08.01
平均在院日数	14.1 (日)
入院患者数	18,200 (人)
外来患者延数	367,216 (人)
院内がん登録件数	3,340 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

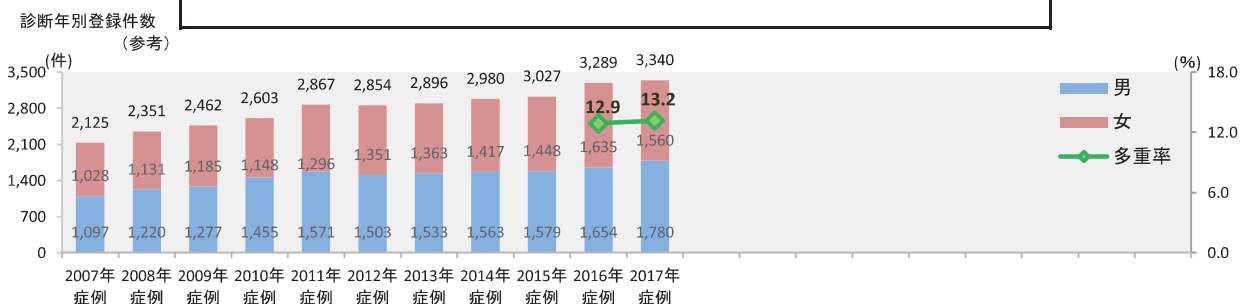
熊本大学医学部附属病院は、現在33診療科を有する熊本県内唯一の特定機能病院として、先進医療を提供しつつ、地域医療にも指導的な役割を果たしています。また平成18年8月に都道府県がん診療連携拠点病院の指定を受け、熊本県のがん診療において中心的役割を担っています。

2017年症例の全登録数は3,340件で集計開始の2007年から1.5倍に増えていきます。所在の熊本医療圏の患者は41.4%です。部位別の上位5部位は、肺・乳房・子宮・口腔咽頭・皮膚で、前年と大きな変化はありません。「その他」の上位3部位は、甲状腺119件・腎57件・卵巣43件です。地域拠点病院の治療環境が整備されてきており、さまざまな稀少がんなど、他院では診療困難な症例の患者を県内全域から受け入れていることがわかります。乳房は81件減りましたが、医師の一時的な欠員によるものと思われる。

男性の登録数が126件増え、全体の53.3%でした。男性は60～70歳台の罹患数が多く、女性は30歳台から増えはじめ、低年齢層では婦人科系がんが多いことがわかります。

また本院では、胸腔鏡下・腹腔鏡下での手術なども積極的に行っており、自施設で初回治療もしくはその継続治療を行った症例2,848件の内訳は、手術(開腹、鏡視下)50.1%、内視鏡9.3%、放射線10.9%、化学療法26.0%、内分泌療法5.8%、その他6.0%、経過観察のみ(症状緩和的治療のみを含む)5.0%で、手術が最も多くなっています。治療を部位別にみると、肺の手術が45件、前立腺の手術(RALP等)が28件、全部位での内視鏡が58件(特に胃が27件)前年より増えました。

膀胱の外科・鏡視下・内視鏡的治療の結果における「腫瘍遺残なし」が前年より24.3%減っていますが、これは「経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)の結果がTa以外は『腫瘍遺残あり』とする」という2017年症例からの院内がん登録ルール変更によるものです。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

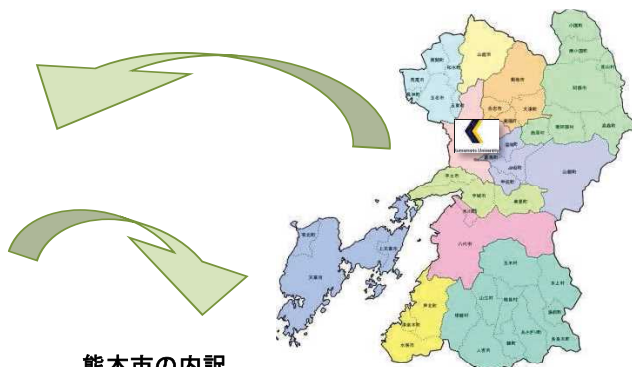
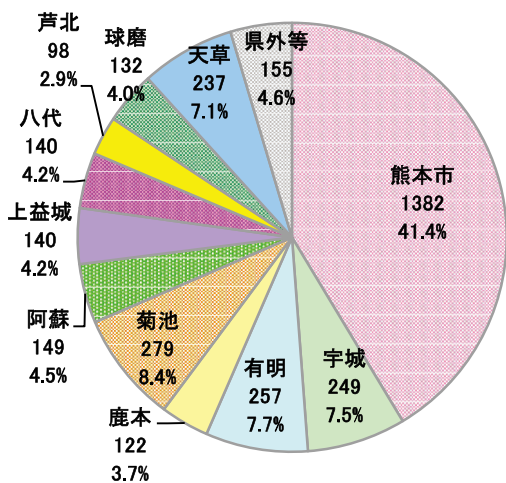
II 施設別統計

熊本大学医学部附属病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

熊本大学医学部附属病院 (3,340件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示



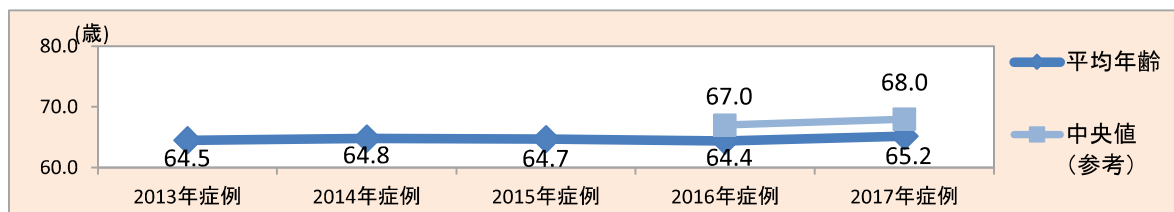
0 300 600 900 1200 1500

◇ 医療圏別上位部位

熊本市	その他	199	鹿本	乳房	23	上益城	その他	31	球磨	その他	23
	肺	161		その他	19		子宮	16		前立腺	21
	大腸	120		肺	17		悪性血液	13		皮膚	17
	口腔咽頭	105		口腔咽頭	8		口腔咽頭	12		膀胱	13
	子宮	105		胃	8		胃	11		肝	11
宇城	子宮	39	菊池	その他	47	八代	その他	25	天草	その他	37
	その他	28		皮膚	32		子宮	20		子宮	27
	乳房	27		乳房	23		肺	19		肺	25
	胃	26		乳房	23		皮膚	17		皮膚	23
有明	肺	24	阿蘇	前立腺	19	芦北	複数部位	各11	県外等	悪性血液	22
	その他	39		その他	19		その他	15		その他	32
	乳房	38		胃	16		肺	13		肺	23
	肺	32		肺	16		悪性血液	10		皮膚	15
	口腔咽頭	20		皮膚	15		複数部位	各9		食道	13
複数部位	各16	乳房	11				子宮	13			

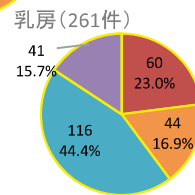
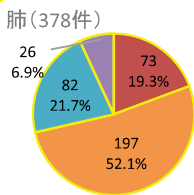
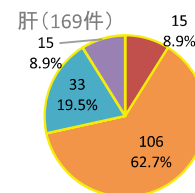
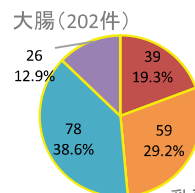
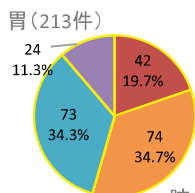
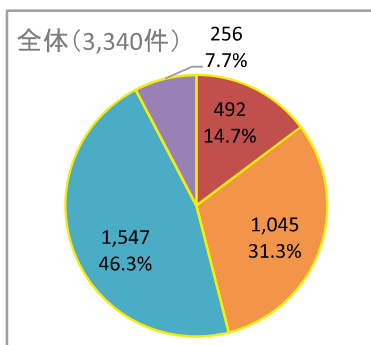
※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

② 平均年齢と年次比較

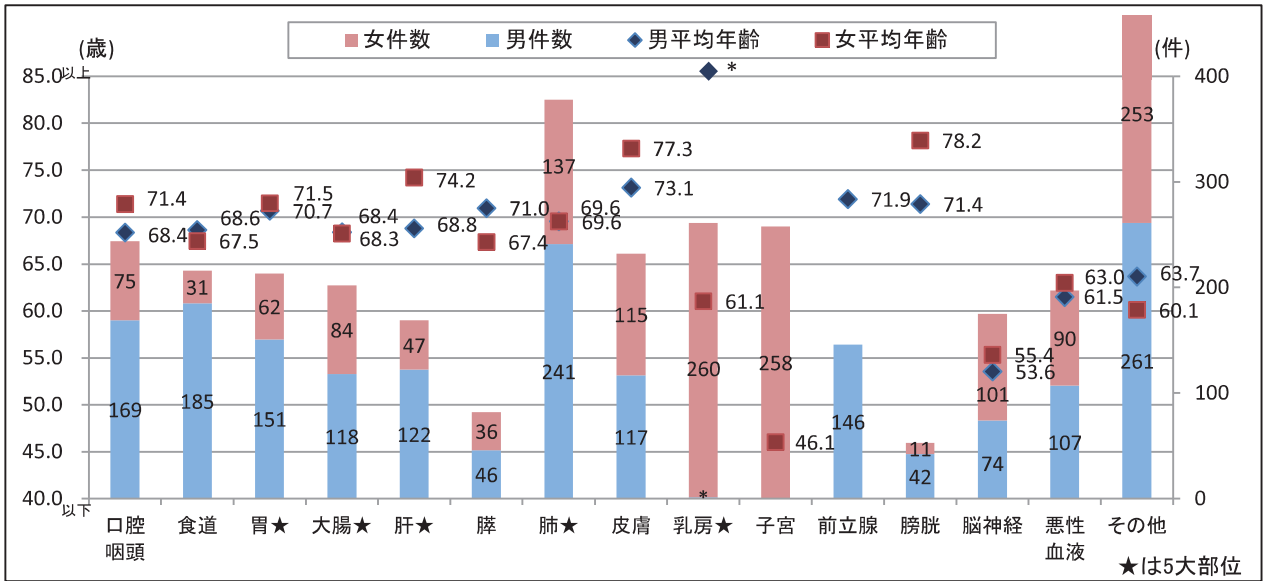


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 2他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

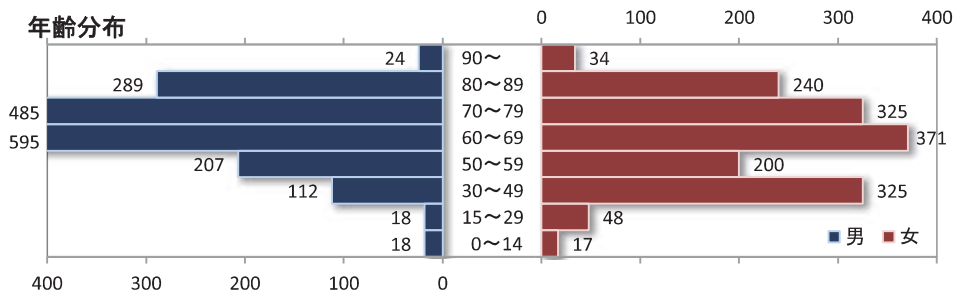


男性全体		0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
その他	261	その他	8	その他	9	その他	23	その他	41
肺	241	脳神経	5	悪性血液	4	脳神経	21	肺	29
食道	185	悪性血液	5	など		悪性血液	17	食道	23
口腔咽頭	169					皮膚	10	口腔咽頭	19
胃	151					など		など	
前立腺	146								
肝	122	計	18	計	18	計	112	計	207
大腸	118	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
皮膚	117	肺	76	肺	85	肺	43	皮膚	10
悪性血液	107	その他	74	その他	70	皮膚	40	胃	4
脳神経	74	食道	73	前立腺	68	その他	33	など	
膵	46	口腔咽頭	70	食道	65	口腔咽頭	28		
膀胱	42	前立腺	47	胃	61	など			
乳房	*	など		など					
子宮		計	544	計	568	計	289	計	24
計	1,780								



女性全体		0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
乳房	260	脳神経	6	子宮	30	子宮	139	乳房	50
子宮	258	悪性血液	6	その他	11	乳房	60	子宮	36
その他	253	その他	5	脳神経	4	その他	51	その他	32
肺	137			など		脳神経	24	脳神経	20
皮膚	115					口腔咽頭	10	肺	12
脳神経	101					など		など	
悪性血液	90	計	17	計	48	計	325	計	200
大腸	84	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
口腔咽頭	75	乳房	77	肺	60	皮膚	44	皮膚	20
胃	62	その他	67	その他	54	その他	33	口腔咽頭	5
肝	47	肺	40	乳房	46	口腔咽頭	31	など	
膵	36	子宮	30	肝	23	乳房	26		
食道	31	悪性血液	28	皮膚	23	大腸	19		
膀胱	11	など		など		など			
前立腺		計	371	計	325	計	240	計	34
計	1,560								

年齢分布



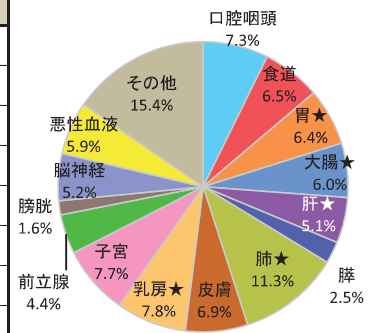
II 施設別統計

熊本大学医学部附属病院

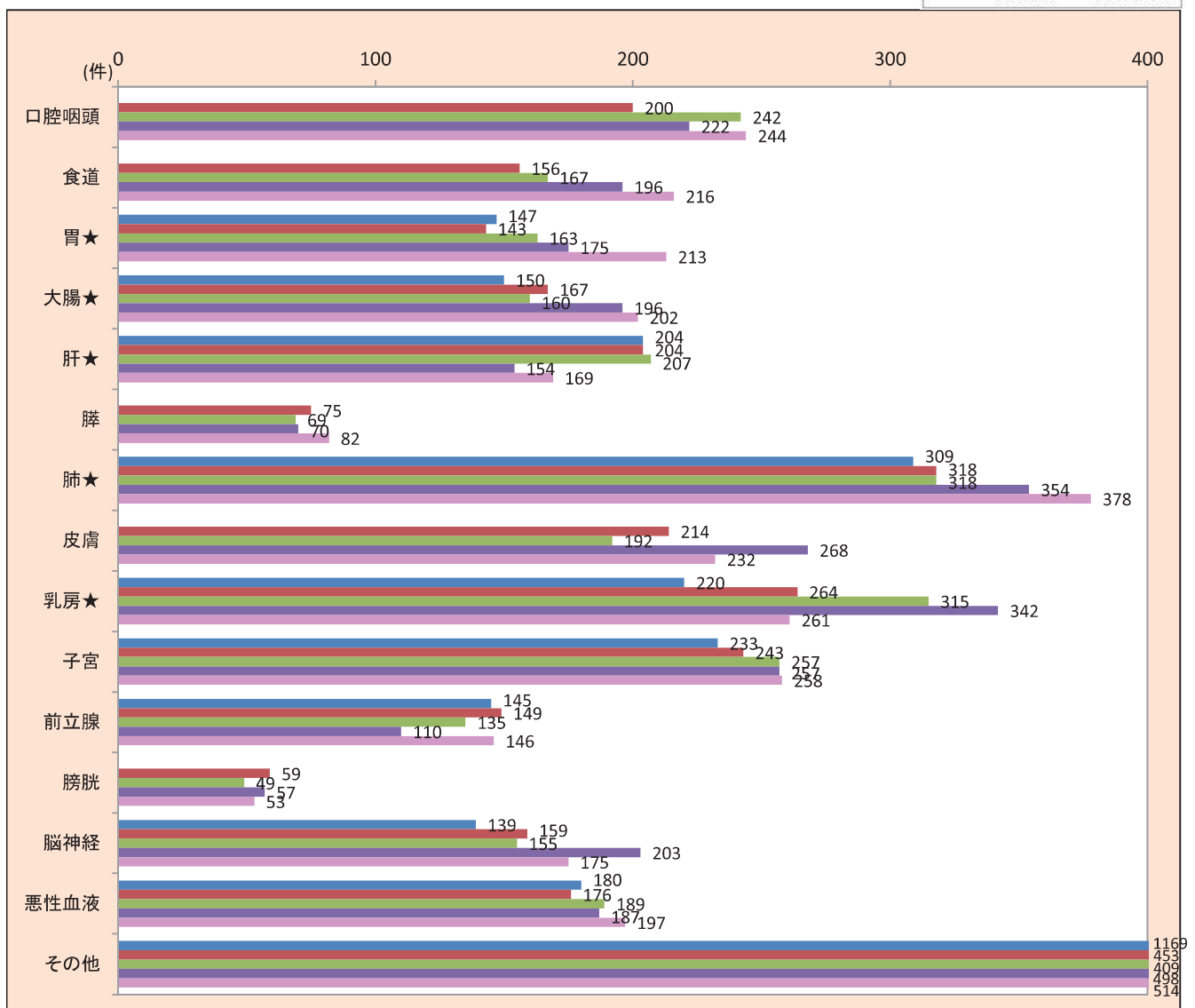
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		200	242	222	244
食道		156	167	196	216
胃★	147	143	163	175	213
大腸★	150	167	160	196	202
肝★	204	204	207	154	169
膵		75	69	70	82
肺★	309	318	318	354	378
皮膚		214	192	268	232
乳房★	220	264	315	342	261
子宮	233	243	257	257	258
前立腺	145	149	135	110	146
膀胱		59	49	57	53
脳神経	139	159	155	203	175
悪性血液疾患	180	176	189	187	197
その他	1169	453	409	498	514
計	2,896	2,980	3,027	3,289	3,340

2017年診断症例 主要部位別割合

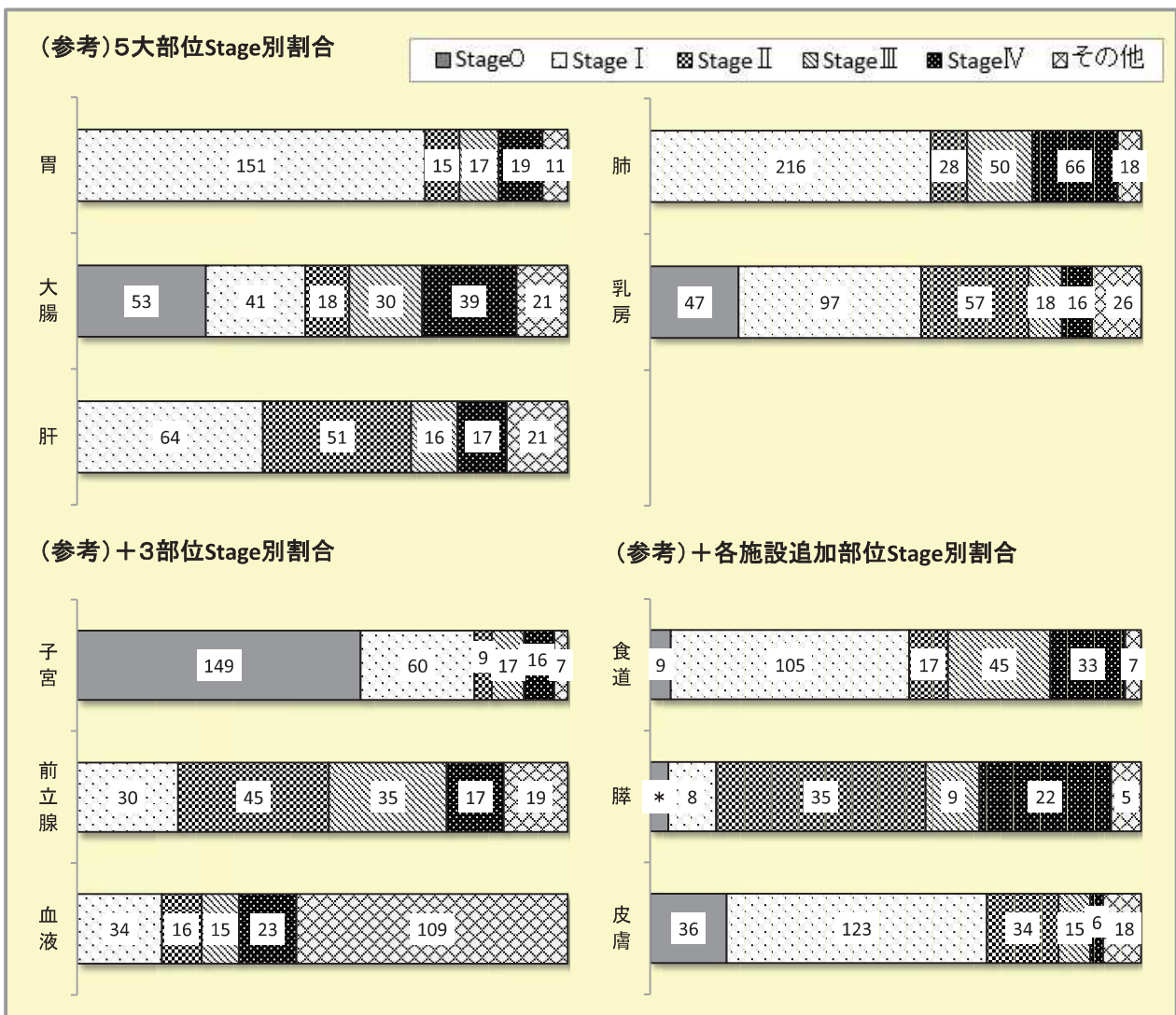


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	244	10	39	57	25	98	15
食道	216	9	105	17	45	33	7
胃★	213		151	15	17	19	11
大腸★	202	53	41	18	30	39	21
肝★	169		64	51	16	17	21
膵	82	*	8	35	9	22	5
肺★	378		216	28	50	66	18
皮膚	232	36	123	34	15	6	18
乳房★	261	47	97	57	18	16	26
子宮	258	149	60	9	17	16	7
前立腺	146		30	45	35	17	19
膀胱	53	20	11	7	4	7	4
脳神経	175						175
悪性血液疾患	197		34	16	15	23	109
その他	514	21	150	61	85	81	116
計	3,340	348	1129	450	381	460	572



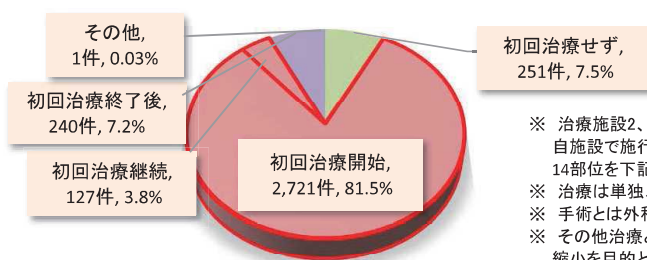
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本大学医学部附属病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

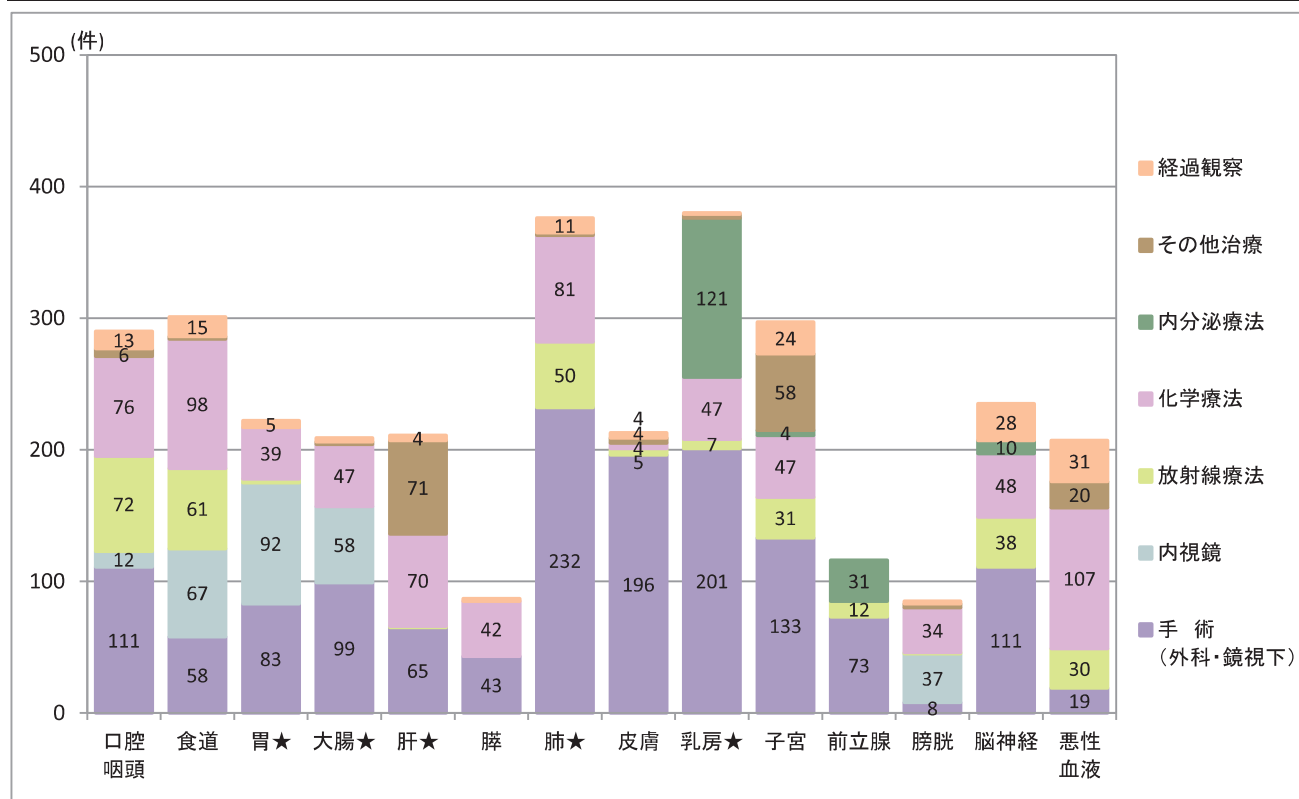
治療施設	件数
1初回治療せず	251
2初回治療開始	2,721
3初回治療継続	127
4初回治療終了後	240
8その他	1
計	3,340



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

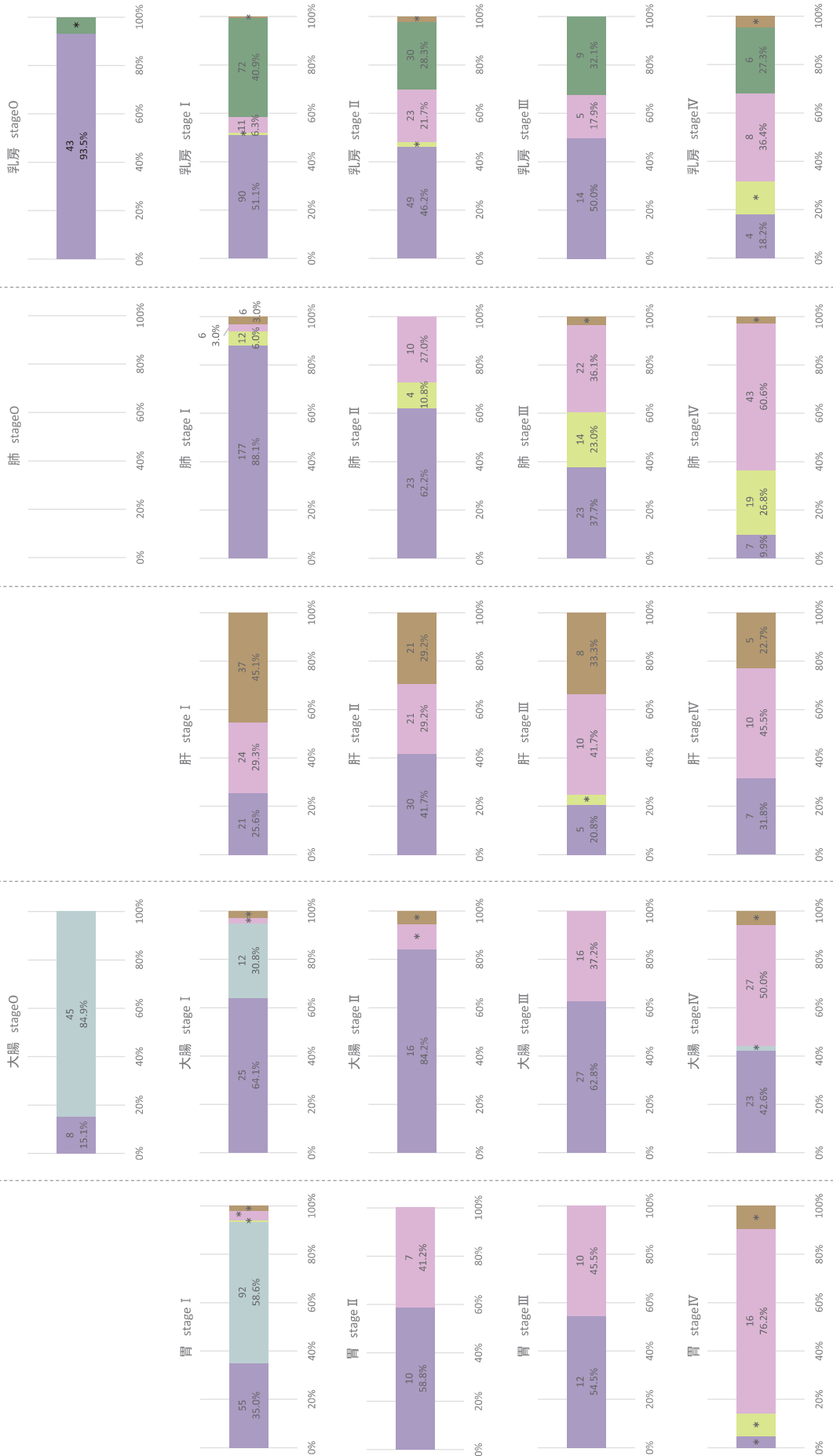
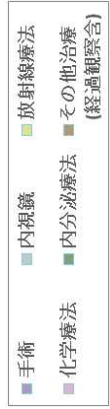
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	111	12	72	76		6	13	290	91.9%	4.1%	4.1%
食道	58	67	61	98		*	15	301	91.1%	3.3%	5.7%
胃★	83	92	*	39			5	222	94.6%	2.4%	3.0%
大腸★	99	58		47		*	*	209	95.5%	3.9%	0.6%
肝★	65		*	70		71	4	211	92.3%	6.2%	1.5%
膵	43			42			*	87	88.4%	11.6%	0.0%
肺★	232		50	81		*	11	376	95.2%	2.6%	2.2%
皮膚	196		5	4		4	4	213	96.9%	1.5%	1.5%
乳房★	201		7	47	121	*	*	380	95.0%	4.0%	1.0%
子宮	133		31	47	4	58	24	297	90.2%	3.0%	6.8%
前立腺	73		12		31			116	83.6%	12.3%	4.1%
膀胱	8	37	*	34		*	*	85	46.3%	51.2%	2.4%
脳神経	111		38	48	10		28	235	33.3%	57.7%	9.0%
悪性血液疾患	19		30	107		20	31	207	5.3%	73.7%	21.1%
計	1,432	266	311	740	166	171	143	3,229			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複效に問わず各々算算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療に、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		荒尾市民病院
-------	---	--------

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	荒尾市荒尾2600番地
病床数	274床
診療科数	25科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	16.0 (日)
入院患者数	3,925 (人)
外来患者延数	86,940 (人)
院内がん登録件数	447 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数】
2017年症例は447件で前年(436件)と比較して、11件増加した。

【患者住所医療圏別】
登録症例の89.7%を有明医療圏の在住の患者が占める。当院は、福岡県との県境に位置しており、県外からの受診44件中、43件が大牟田市在住の患者である。

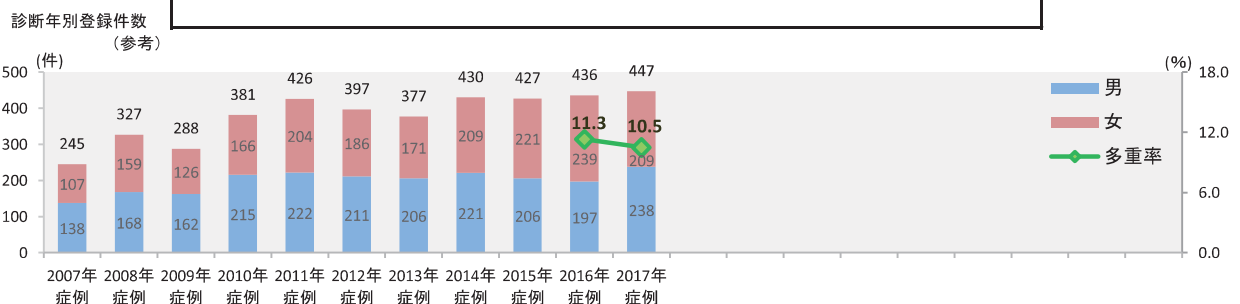
【性別・年齢別】
男性:238件、女性:209件で、男性が6.4%多かった。
全体平均年齢は、71.5歳、男性平均73.8歳、女性平均71.7歳だった。

【主要部位別登録件数】
全体①大腸(77件)②乳房(59件)③悪性血液(62件)④胃(52件)⑤肺(34件)で、前年と比較して、大腸(103→77件)、乳房(77→59件)、子宮(24→18件)が減少し、胃(47→52)、肝(9→13)、食道(7→10)、脳(5→22)、悪性血液(46→62件)、その他(23→34件)が増加している。

男性では、①大腸(45件)②胃(38件)③悪性血液(34件)④肺(28件)⑤前立腺(25件)、女性では、①乳房(59件)②大腸(32件)③悪性血液(28件)④子宮(18件)⑤その他(16件)の結果だった。

【主要部位別病期分類(総合stage)】
登録症例全体では、Stage0～Ⅰが28.0%。胃癌では、StageⅠ期(57.7%)、Ⅱ期(12.0%)、Ⅲ期(9.6%)Ⅳ期(17.3%)と早期発見の割合が高かった。

【主要部位別治療の内訳】
自施設の初回治療・継続治療の症例369件の治療別内訳は、観血的治療(手術+内視鏡)43.1%、放射線治療21.4%、化学療法24.4%、内分泌療法6.2%、その他の治療1.6%、経過観察10.0%であった。観血的治療の多い大腸、胃をみると、観血的治療の結果、『遺残なし』は約80%であった。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

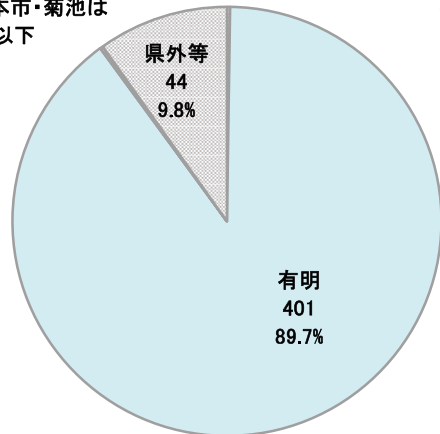
II 施設別統計

荒尾市民病院

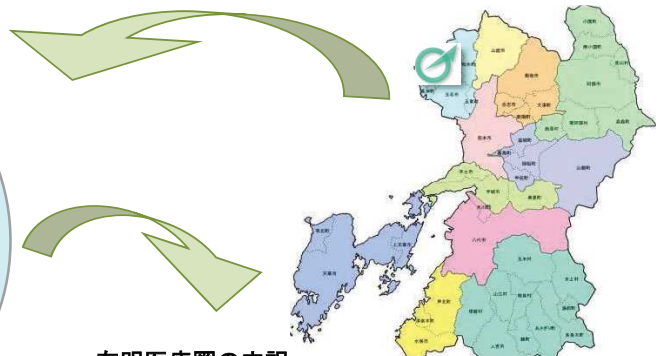
① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

荒尾市民病院 (447件)

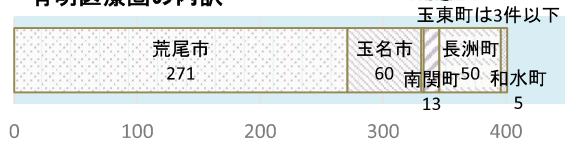
※熊本市・菊池は
3件以下



※ 全般において3件以下は*又は非表示



有明医療圏の内訳

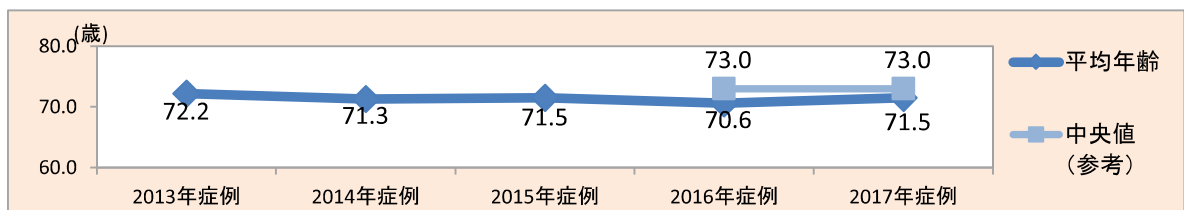


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	複数部位	*	鹿本		上益城		球磨		
宇城			菊池	複数部位	*	八代		天草	
有明	大腸	72	阿蘇		芦北		県外等	乳房	9
	悪性血液	54						悪性血液	8
	乳房	49						前立腺	6
	胃	48						大腸	5
	その他	30						肺	5

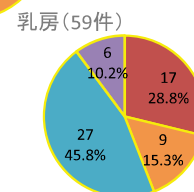
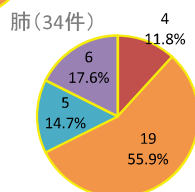
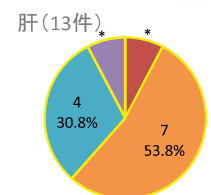
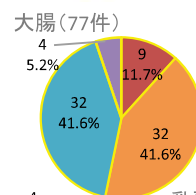
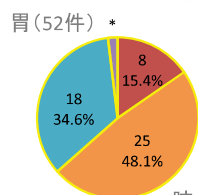
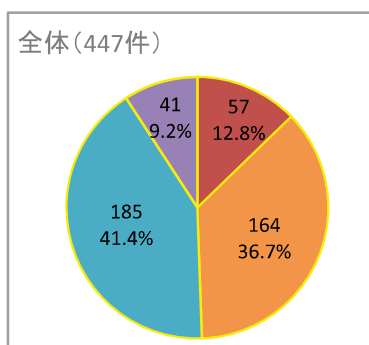
※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

② 平均年齢と年次比較

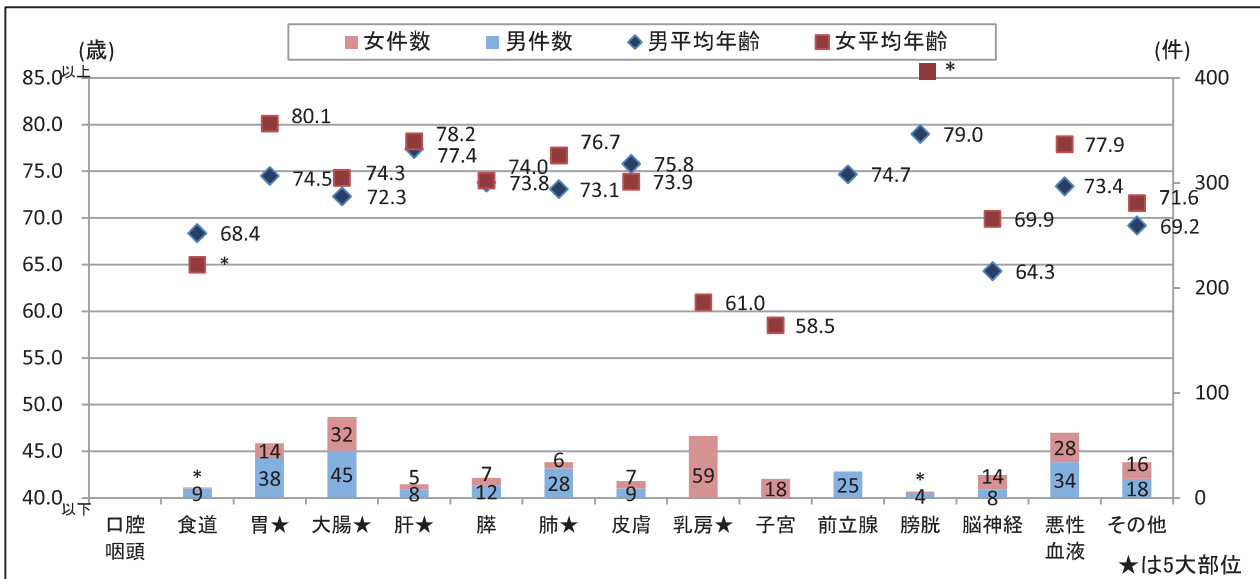


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

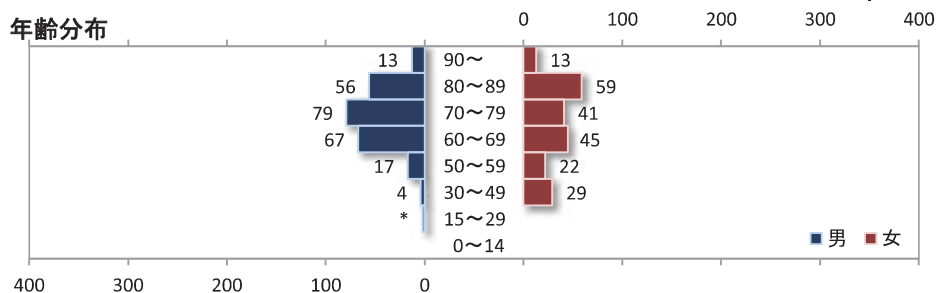


男性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		
大腸	45		複数部位	*	複数部位	*	大腸	6	
胃	38						胃	4	
悪性血液	34						など		
肺	28								
前立腺	25								
その他	18								
膵	12		計	*	計	4	計	17	
食道	9	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
皮膚	9	大腸	12	大腸	17	胃	12	肝	4
肝	8	悪性血液	11	悪性血液	14	大腸	10	など	
脳神経	8	肺	10	胃	13	肺	7		
膀胱	4	前立腺	9	肺	8	前立腺	6		
口腔咽頭	4	胃	8	前立腺	7	悪性血液	6		
乳房	0	など		など		など			
子宮	0	計	67	計	79	計	56	計	13
計	238								



女性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		
乳房	59				乳房	11	乳房	13	
大腸	32				子宮	8	など		
悪性血液	28				大腸	4			
子宮	18				など				
その他	16								
胃	14								
脳神経	14				計	29	計	22	
膵	7	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
皮膚	7	乳房	21	乳房	12	悪性血液	15	大腸	4
肺	6	大腸	5	大腸	6	大腸	11	など	
肝	5	子宮	4	脳神経	6	胃	7		
膀胱	*	悪性血液	4	悪性血液	6	その他	5		
食道	*	など		など		など			
口腔咽頭	0								
前立腺	0	計	45	計	41	計	59	計	13
計	209								

年齢分布



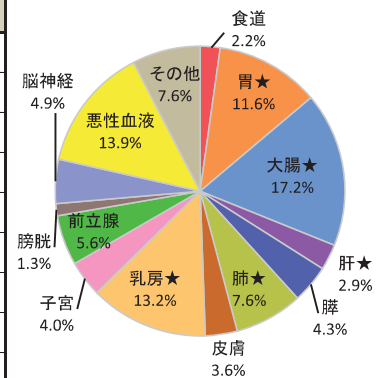
Ⅱ 施設別統計

荒尾市民病院

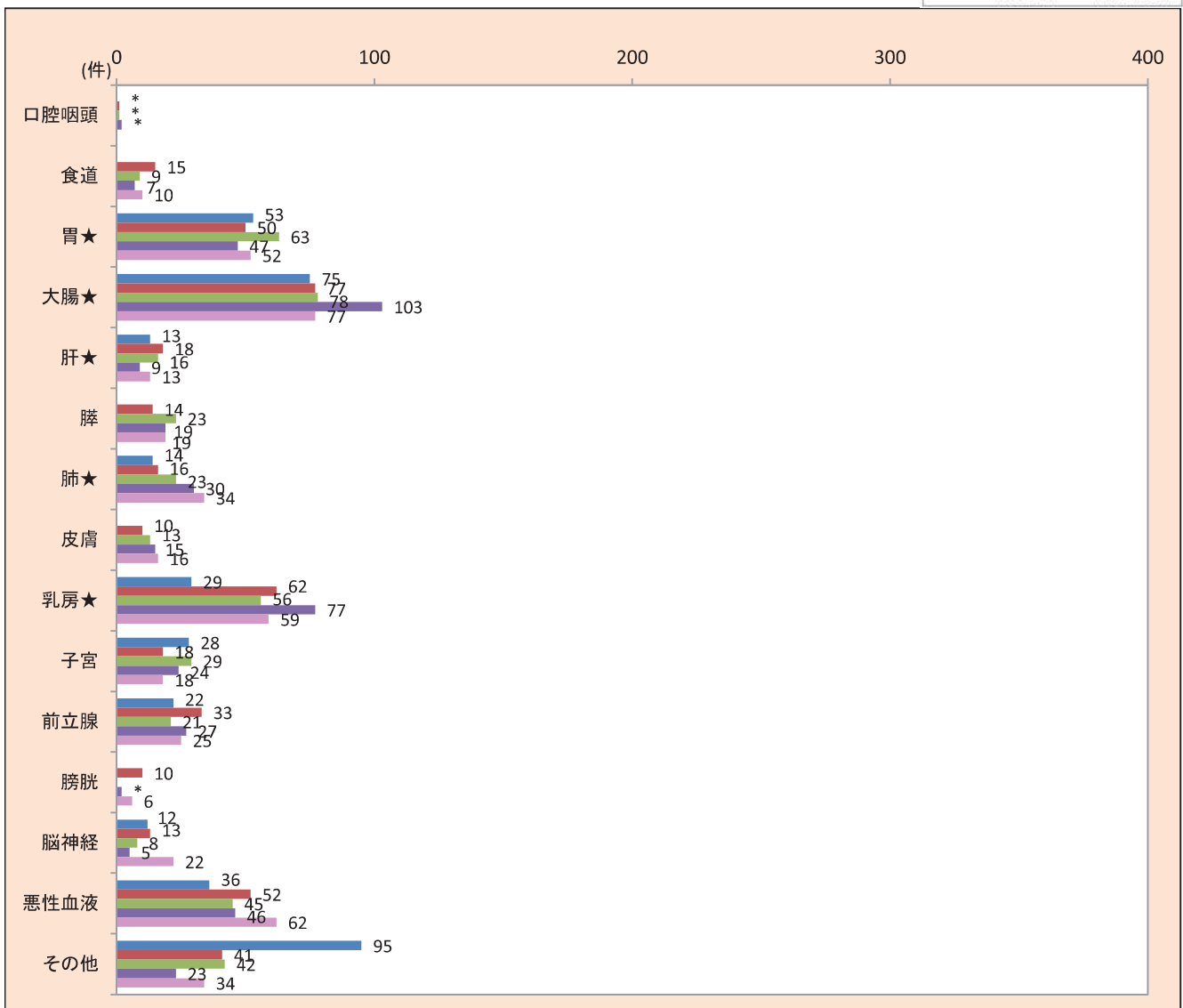
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*	*	*	
食道		15	9	7	10
胃★	53	50	63	47	52
大腸★	75	77	78	103	77
肝★	13	18	16	9	13
膵		14	23	19	19
肺★	14	16	23	30	34
皮膚		10	13	15	16
乳房★	29	62	56	77	59
子宮	28	18	29	24	18
前立腺	22	33	21	27	25
膀胱		10		*	6
脳神経	12	13	8	5	22
悪性血液疾患	36	52	45	46	62
その他	95	41	42	23	34
計	377	430	427	436	447

2017年診断症例 主要部位別割合

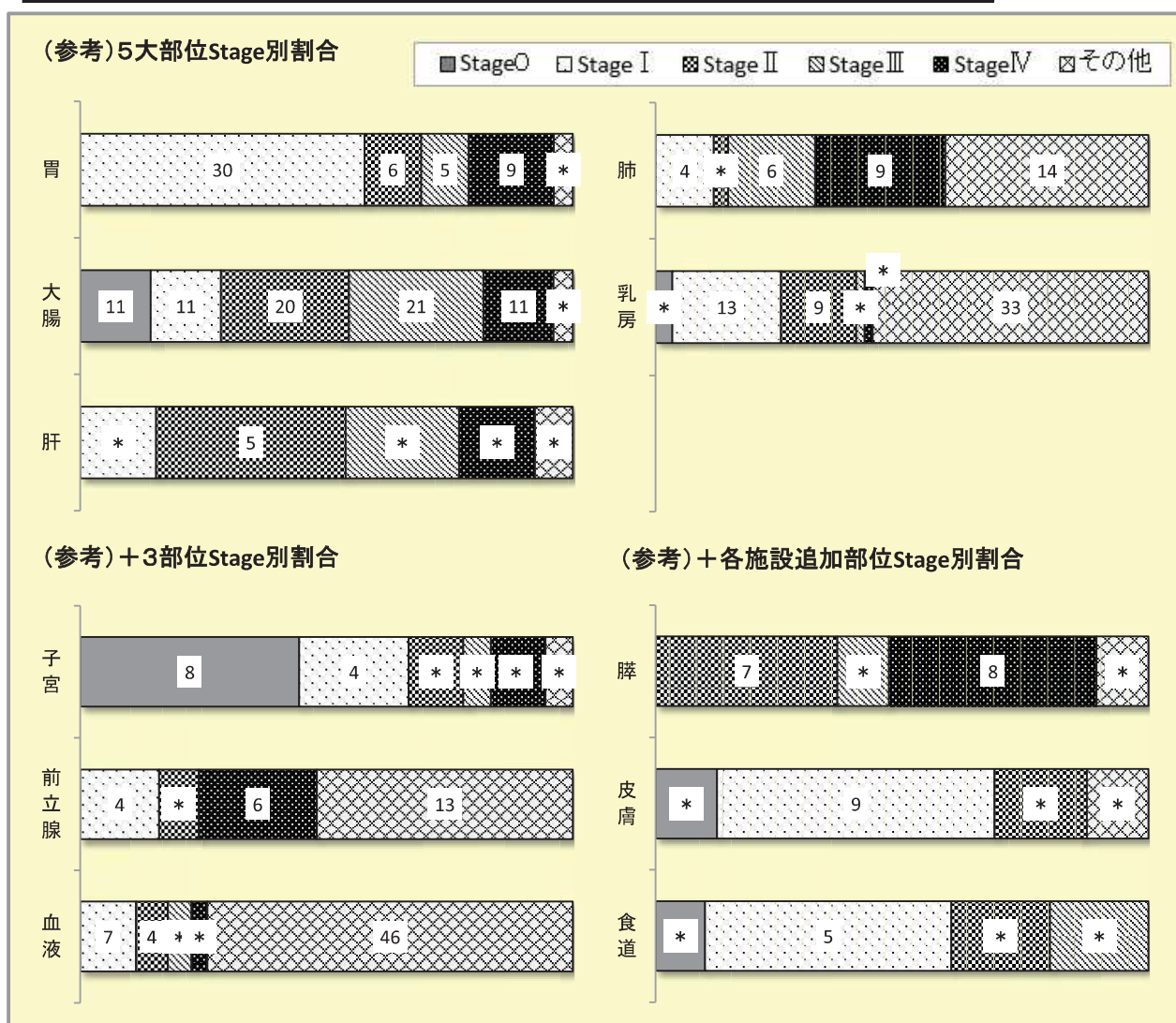


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	0						
食道	10	*	5	*	*		
胃★	52		30	6	5	9	*
大腸★	77	11	11	20	21	11	*
肝★	13		*	5	*	*	*
膵	19			7	*	8	*
肺★	34		4	*	6	9	14
皮膚	16	*	9	*			*
乳房★	59	*	13	9	*	*	33
子宮	18	8	4	*	*	*	*
前立腺	25		4	*		6	13
膀胱	6	*	*			*	*
脳神経	22						22
悪性血液疾患	62		7	4	*	*	46
その他	34		8	*	5	7	11
計	447	25	100	64	49	58	151



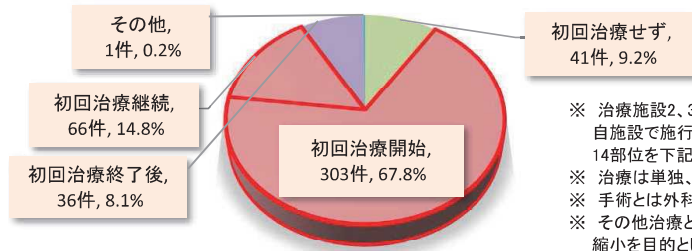
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明ものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

荒尾市民病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

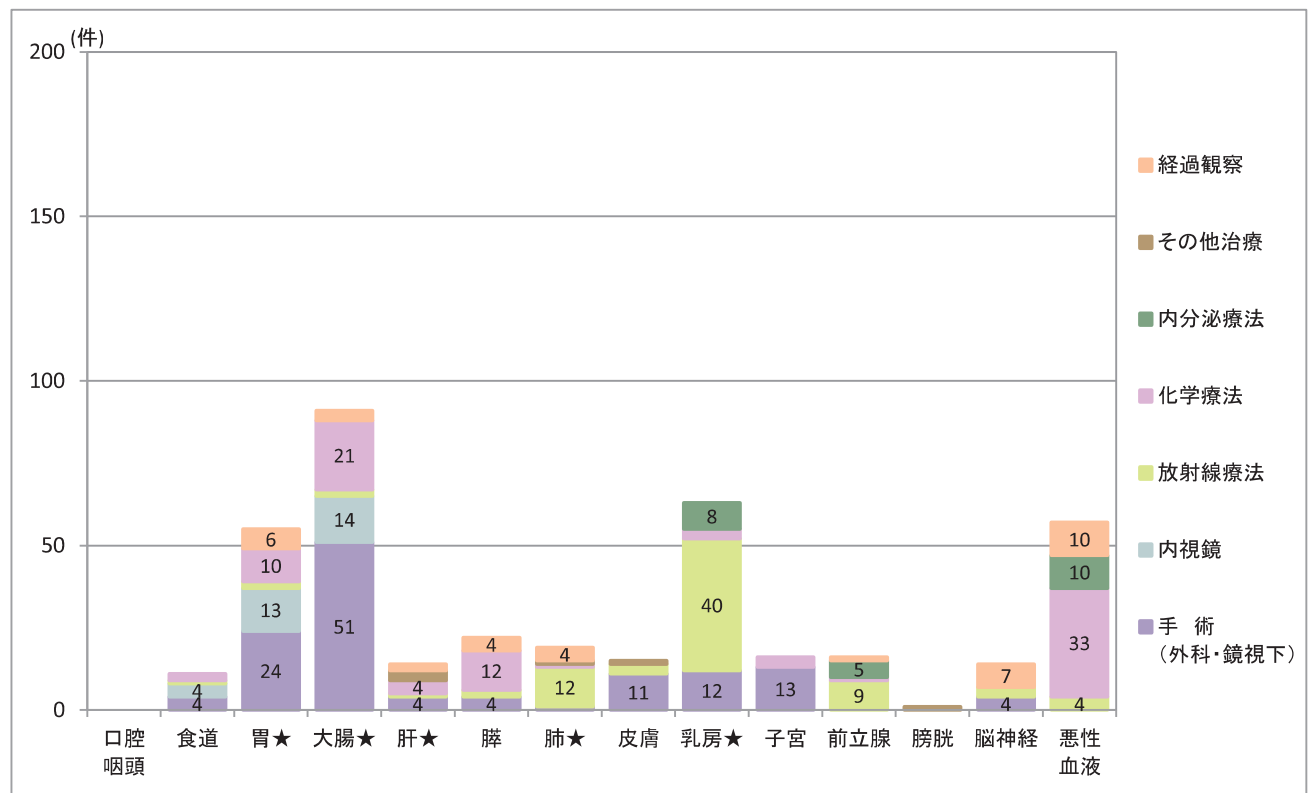
治療施設	件数
1初回治療せず	41
2初回治療開始	303
3初回治療継続	66
4初回治療終了後	36
8その他	1
計	447



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

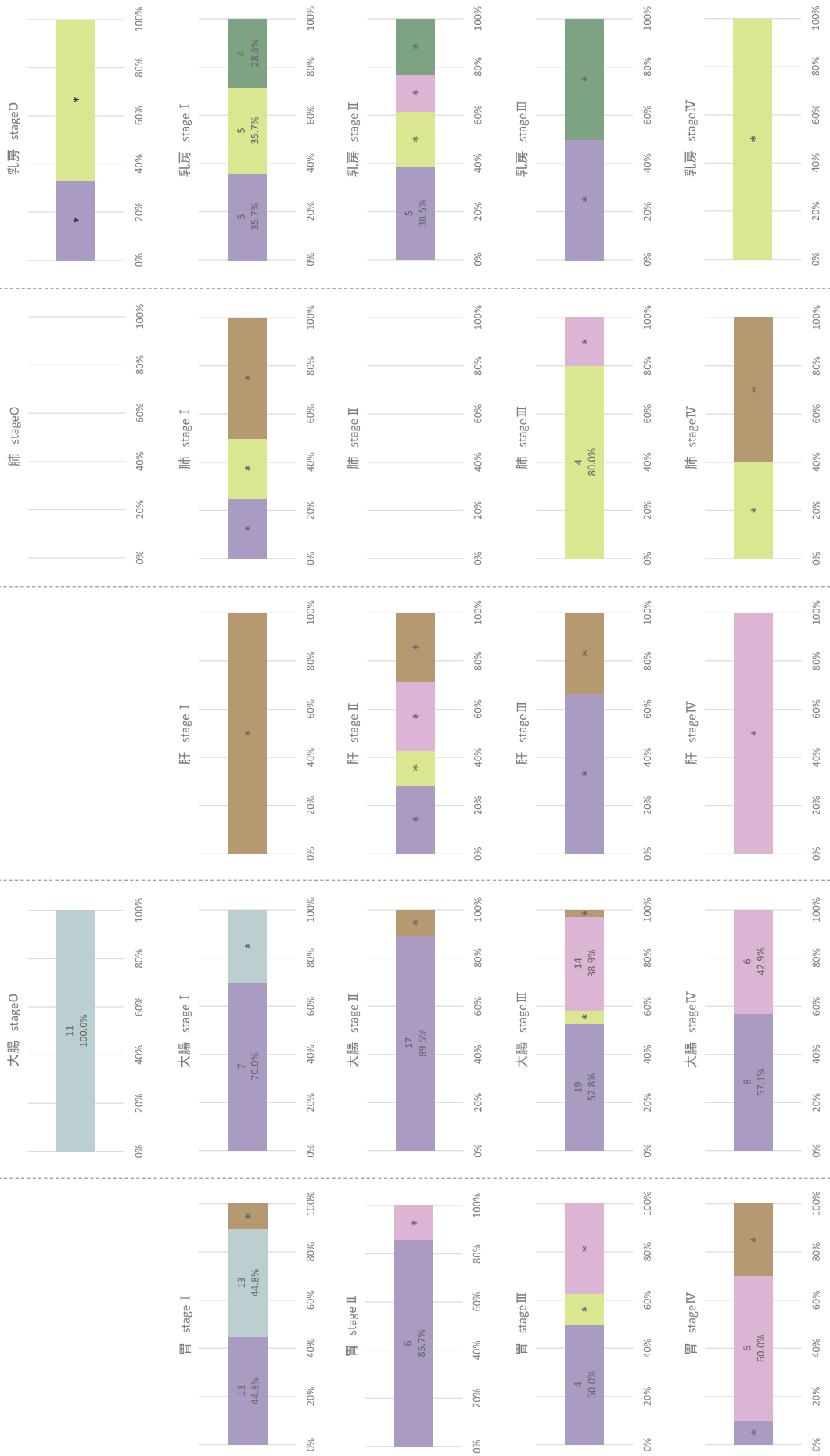
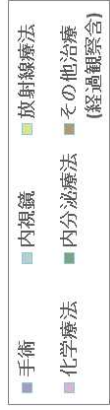
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道	4	4	*	*				11	75.0%	25.0%	0.0%
胃★	24	13	*	10			6	55	81.1%	18.9%	0.0%
大腸★	51	14	*	21			*	91	81.5%	18.5%	0.0%
肝★	4		*	4		*	*	14	50.0%	50.0%	0.0%
膵	4		*	12			4	22	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	*		12	*		*	4	19	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	11		*			*		15	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	12		40	*	8			63	83.3%	16.7%	0.0%
子宮	13			*				16	90.9%	9.1%	0.0%
前立腺			9	*	5		*	16			
膀胱						*		*			
脳神経	4		*				7	14	75.0%	25.0%	0.0%
悪性血液疾患			4	33	10		10	57			
計	128	31	79	90	23	6	37	394			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUIC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 - 2017年診断症例 -

医療機関名	 独立行政法人国立病院機構 熊本医療センター
-------	--

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市中央区二の丸1-5
病床数	550床
診療科数	33科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.09.01
平均在院日数	12.4 (日)
入院患者数	14,748 (人)
外来患者延数	152,931 (人)
院内がん登録件数	1,801 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数・症例数の多い登録部位】

国立病院機構熊本医療センターの2017年診断症例の院内がん登録件数は1801件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く303件、ついで大腸(結腸・直腸)245件、子宮240件であった。

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】

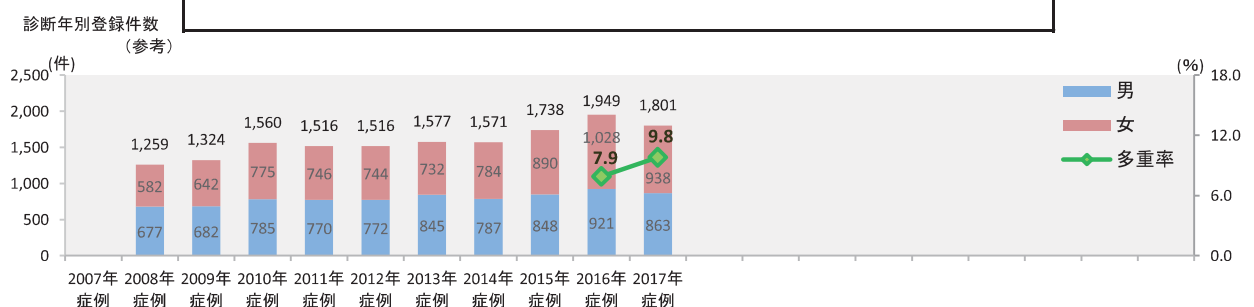
男性:①悪性血液疾患155件 68.2歳 ②前立腺 147件 75.9歳
女性:①子宮 240件 51.0歳 ②悪性血液疾患 148件 66.0歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】

1)『悪性血液疾患』県下唯一の日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。また、小児の骨髄移植も実践している。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『子宮』過去の実績から多くのがん患者様の治療を経験しており、手術療法、化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。

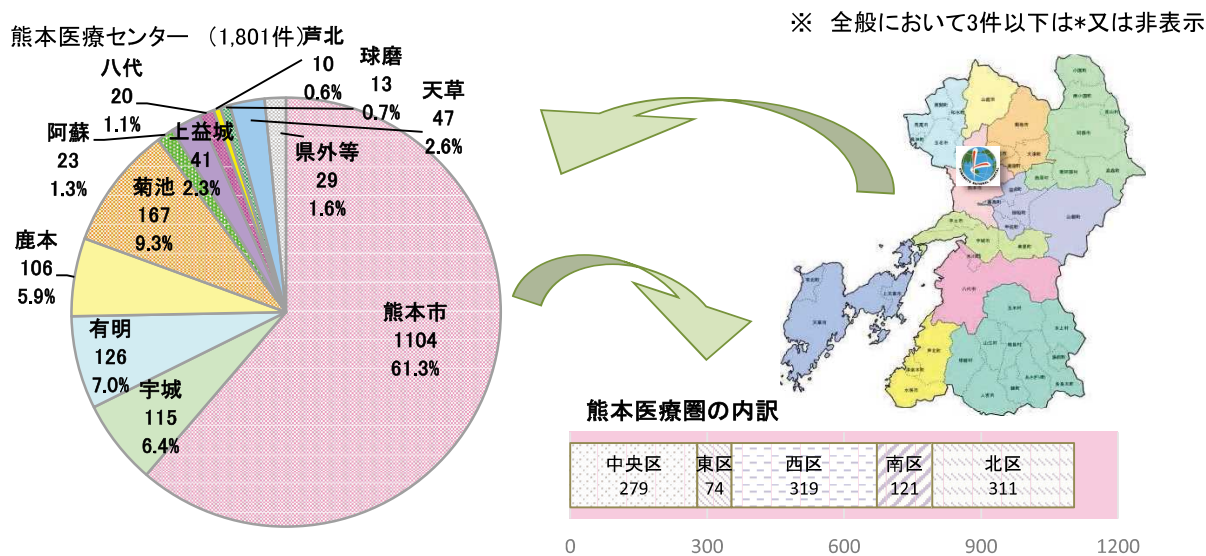
【熊本医療センターの特徴・役割】

精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。また、2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図り、より多くの患者様への相談支援体制が整った。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

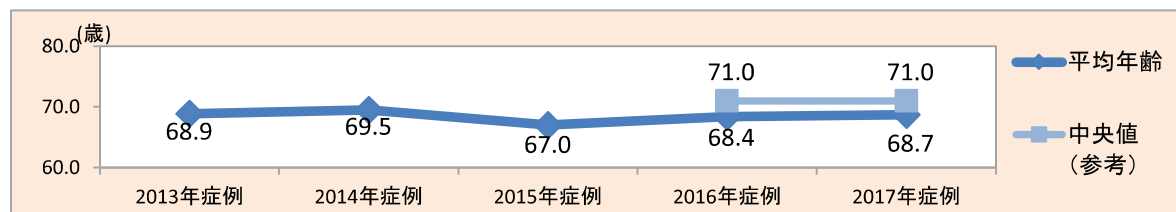


◇ 医療圏別上位部位

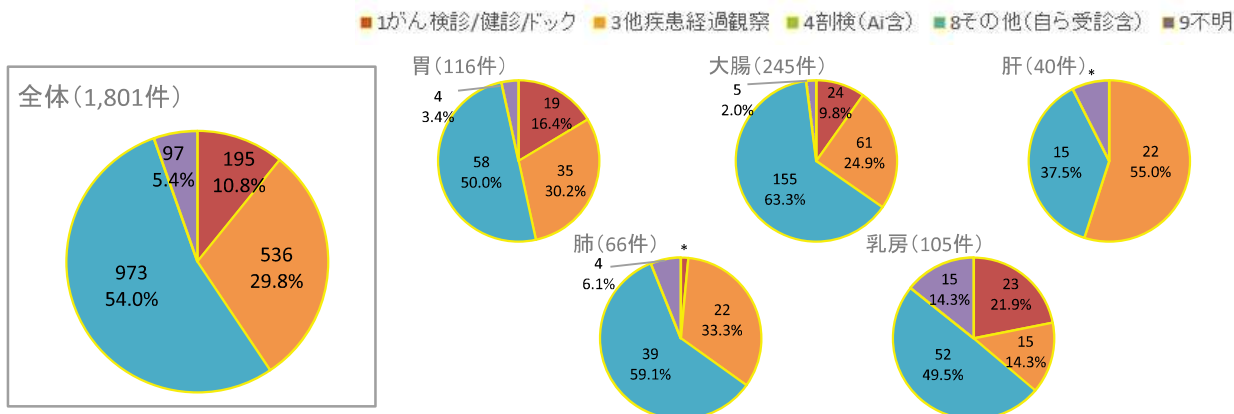
熊本市	大腸	177	熊本	悪性血液	20	上益城	子宮	10	球磨	悪性血液	8
	悪性血液	152		その他	16		悪性血液	8			
	子宮	128		子宮	13		大腸	5			
	その他	124		大腸	11		その他	5			
	前立腺	95		前立腺	10						
宇城	悪性血液	30	菊池	子宮	24	八代	悪性血液	7	天草	悪性血液	12
	皮膚	18		悪性血液	23		子宮	4		子宮	9
	子宮	15		大腸	21					大腸	6
	その他	15		その他	21					その他	6
	乳房	9		前立腺	19					膀胱	4
有明	悪性血液	30	阿蘇	子宮	5	芦北	複数部位	*	県外等	子宮	7
	子宮	25		悪性血液	5					大腸	5
	皮膚	19								悪性血液	5
	その他	9								その他	5
	複数部位	各8									

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

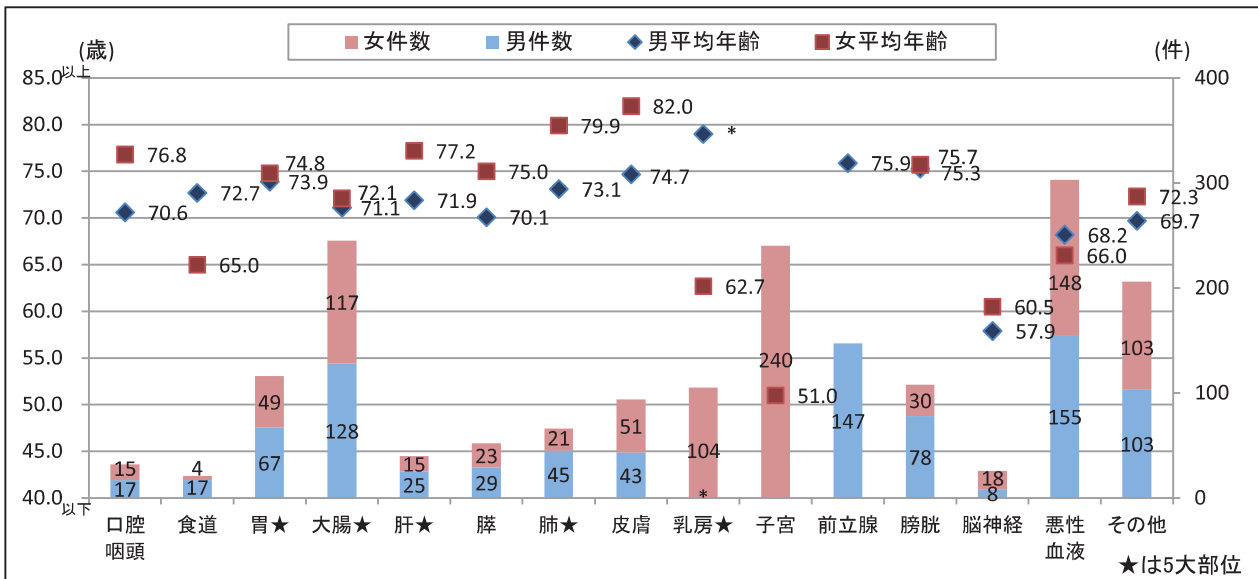
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

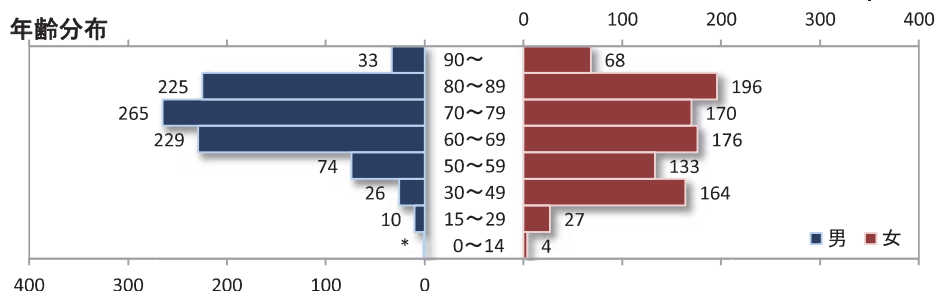


男性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
悪性血液	155	複数部位 *	悪性血液 7	その他 8
前立腺	147		など	悪性血液 7
大腸	128			など
その他	103			その他 11
膀胱	78			肝 5
胃	67			膀胱 5
肺	45	計 *	計 10	など
皮膚	43			計 74
膵	29	60~69歳	70~79歳	80~89歳
肝	25	大腸 49	前立腺 64	前立腺 46
口腔咽頭	17	悪性血液 41	悪性血液 40	悪性血液 39
食道	17	前立腺 29	大腸 30	膀胱 27
脳神経	8	その他 25	その他 26	その他 25
乳房 *	*	胃 20	膀胱 23	など
子宮		など	など	前立腺 4
計	863	計 229	計 265	計 225
				90歳~
		大腸 9	大腸 6	膀胱 5
		その他 6	皮膚 4	前立腺 4
		膀胱 5	など	計 33



女性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
子宮	240	悪性血液 4	子宮 24	子宮 98
悪性血液	148		など	乳房 23
大腸	117			大腸 13
乳房	104			悪性血液 13
その他	103			脳神経 6
皮膚	51			など
胃	49	計 4	計 27	計 164
膀胱	30			計 133
膵	23	60~69歳	70~79歳	80~89歳
肺	21	悪性血液 35	悪性血液 39	大腸 34
脳神経	18	子宮 32	その他 27	悪性血液 29
口腔咽頭	15	乳房 27	子宮 23	その他 25
肝	15	大腸 25	大腸 21	皮膚 22
食道	4	その他 22	乳房 18	胃 15
前立腺	4	など	など	など
計	938	計 176	計 170	計 196
				90歳~
		皮膚 15	大腸 13	悪性血液 5
		大腸 13	その他 9	胃 8
		その他 9	悪性血液 8	悪性血液 5
		膀胱 5	など	計 68

年齢分布



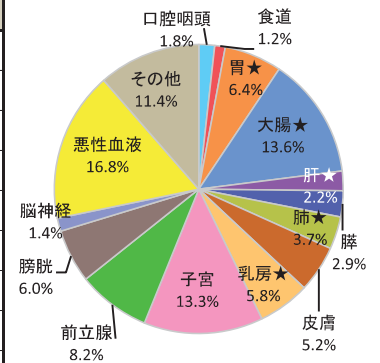
II 施設別統計

熊本医療センター

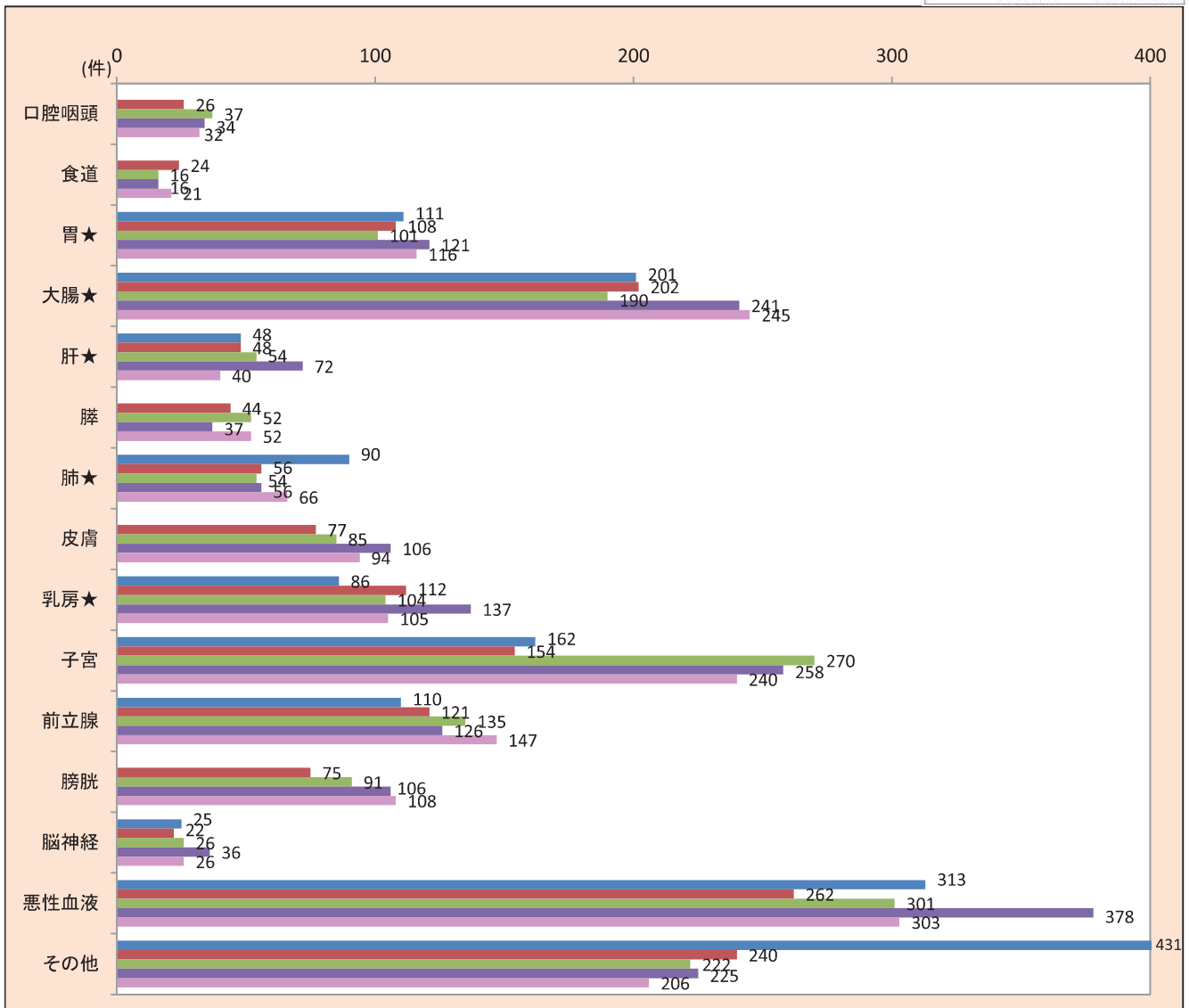
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		26	37	34	32
食道		24	16	16	21
胃★	111	108	101	121	116
大腸★	201	202	190	241	245
肝★	48	48	54	72	40
膵		44	52	37	52
肺★	90	56	54	56	66
皮膚		77	85	106	94
乳房★	86	112	104	137	105
子宮	162	154	270	258	240
前立腺	110	121	135	126	147
膀胱		75	91	106	108
脳神経	25	22	26	36	26
悪性血液疾患	313	262	301	378	303
その他	431	240	222	225	206
計	1,577	1,571	1,738	1,949	1,801

2017年診断症例 主要部位別割合



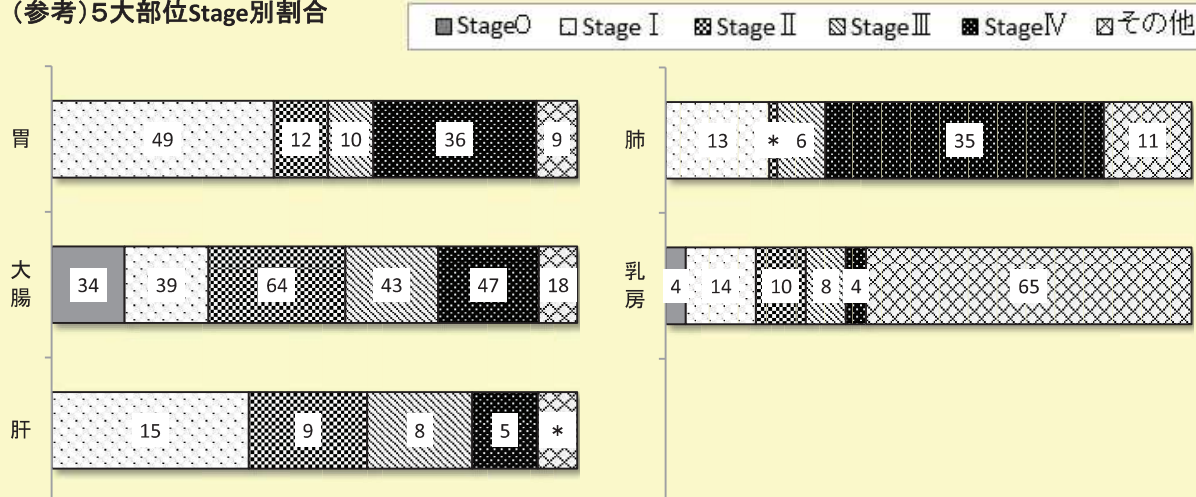
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



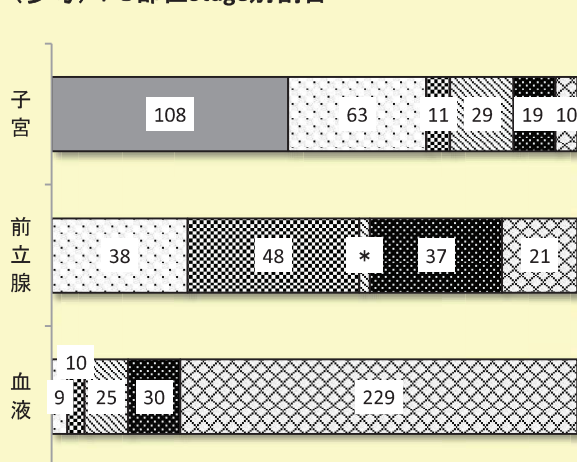
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	32	4	5	*	*	6	13
食道	21		6	*	9	*	*
胃★	116		49	12	10	36	9
大腸★	245	34	39	64	43	47	18
肝★	40		15	9	8	5	*
膵	52		5	9	*	31	4
肺★	66		13	*	6	35	11
皮膚	94	11	74	5	*		*
乳房★	105	4	14	10	8	4	65
子宮	240	108	63	11	29	19	10
前立腺	147		38	48	*	37	21
膀胱	108	41	23	15	9	7	13
脳神経	26						26
悪性血液疾患	303		9	10	25	30	229
その他	206	7	56	22	22	44	55
計	1,801	209	409	219	179	303	482

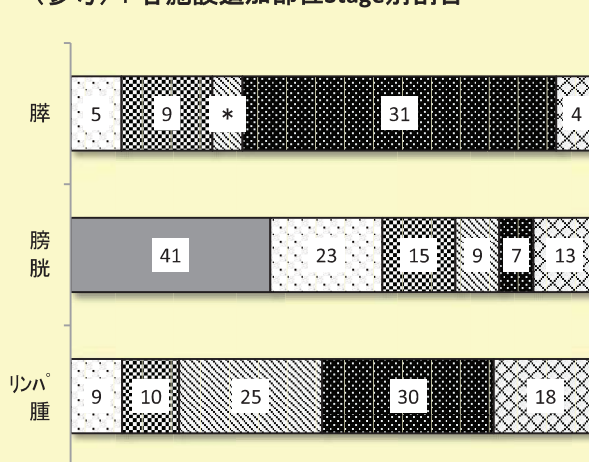
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



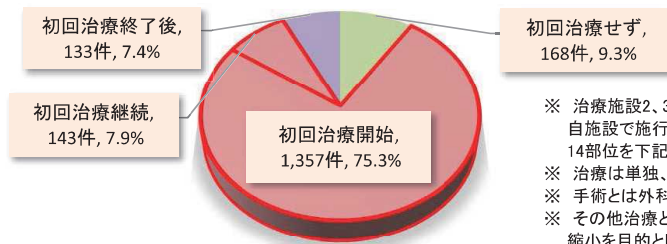
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

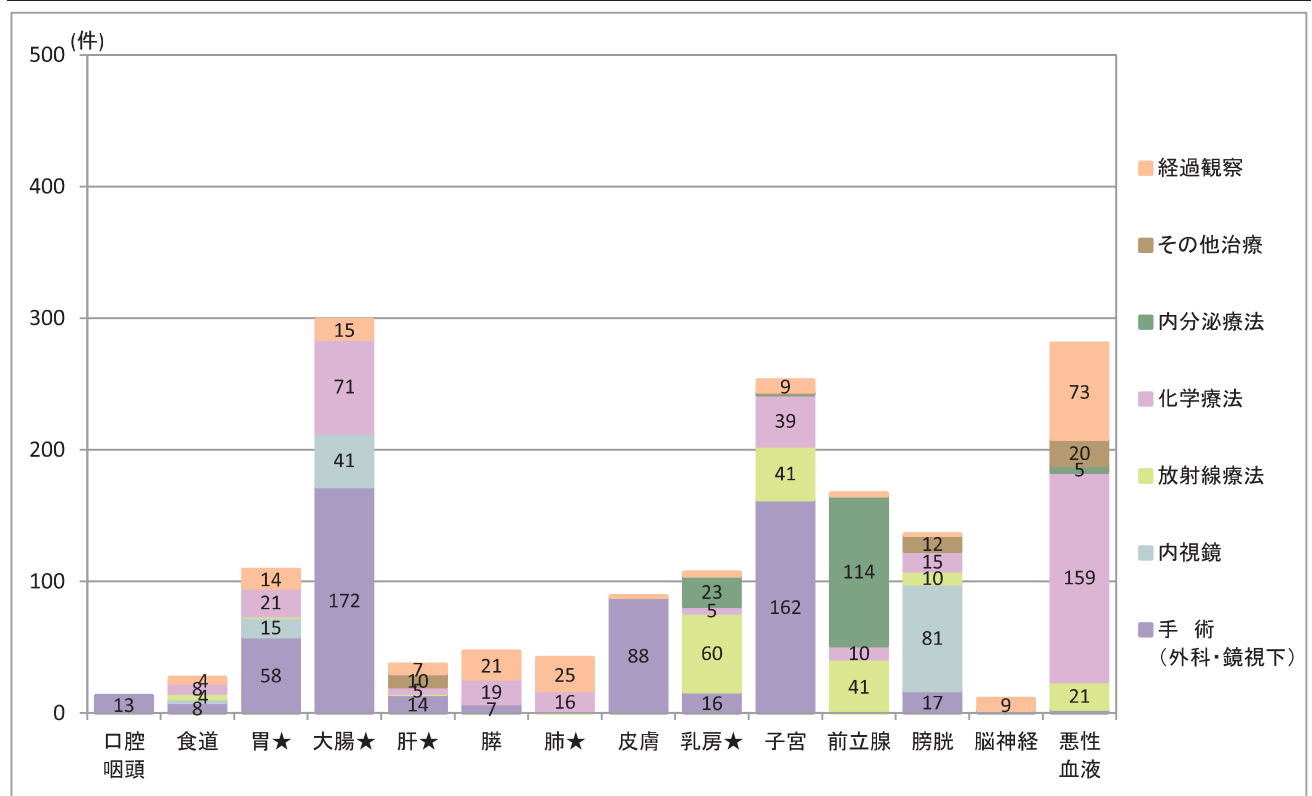
治療施設	件数
1初回治療せず	168
2初回治療開始	1,357
3初回治療継続	143
4初回治療終了後	133
8その他	0
計	1,801



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

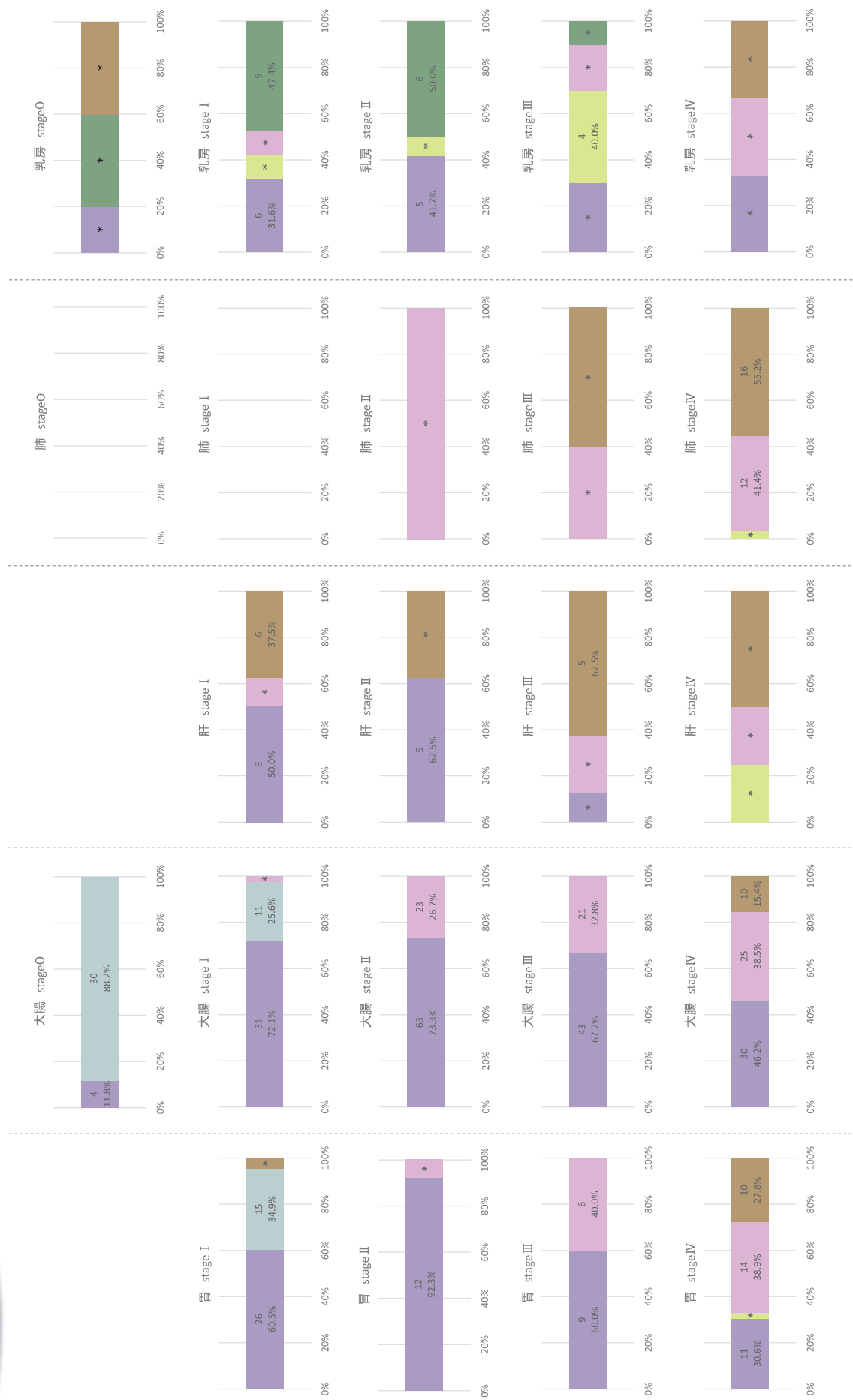
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	13							13	84.6%	7.7%	7.7%
食道	8	*	4	8			4	27	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	58	15	*	21			14	109	80.8%	16.4%	2.7%
大腸★	172	41		71			15	299	89.7%	9.9%	0.5%
肝★	14		*	5		10	7	37	92.9%	7.1%	0.0%
膵	7			19			21	47	100.0%	0.0%	0.0%
肺★			*	16			25	42			
皮膚	88						*	89	97.7%	1.1%	1.1%
乳房★	16		60	5	23		*	107	93.8%	6.3%	0.0%
子宮	162		41	39	*	*	9	253	95.7%	4.3%	0.0%
前立腺			41	10	114		*	167			
膀胱	17	81	10	15		12	*	136	35.4%	63.1%	1.5%
脳神経	*						9	11	0.0%	50.0%	50.0%
悪性血液疾患	*		21	159	5	20	73	281	100.0%	0.0%	0.0%
計	560	140	180	368	143	43	184	1,618			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複剤に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察を含む)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		熊本市立熊本市市民病院
-------	---	-------------

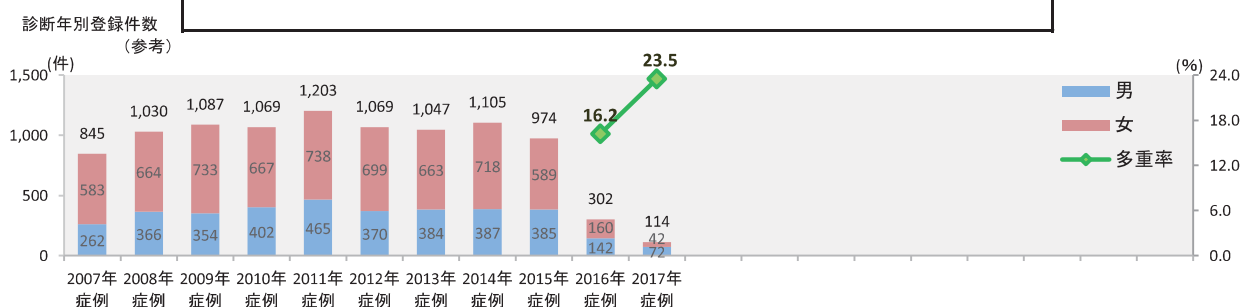
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市東区湖東1丁目1番60号
病床数	24床(稼働中の病床数)
診療科数	22科(外来診療を行っている診療科)
がん診療連携拠点病院指定日	—
がん登録開始基準日	1981.01.01
平均在院日数	11.5(日)
入院患者数	504(人)
外来患者延数	69,637(人)
院内がん登録件数	114(件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0(名)

○医療機関からのコメント

【登録数】114件
 【部位別】現在、当院は地震の影響で、現在も、限られたスペースおよび設備のために制限のある中での診療をおこなっており、症例数は減少している。更に、手術などの診療制限が高度の為に、全登録数、114件のうち約半数にあたる58件(50.9%)が診断のみで他院へ紹介している。
 治療に関して制限はあるものの、皮膚17件(14.9%)、悪性血液疾患14件(12.2%)、前立腺7件(6.1%)は当院で診断および初回治療を開始しており、皮膚、口腔咽頭で外科的切除、悪性血液疾患、膀胱で化学療法、前立腺で内分泌療法を実施している。
 診断時の住所としては熊本市73件(64.0%)、上益城22件(19.3%)となっており、上位の熊本市東区と上益城を合わせると、67件(58.8%)と半数以上を占めている。来院経路としては、東区では自主的な来院が22件(49.9%)と多いが、上益城では14件(63.6%)が他院からの紹介となっている。
 外科的・体腔鏡的切除術に関する制限が大きい為、部分的に悪性血液疾患が25件(21.9%)と男女ともにもっとも多く、次に皮膚19件(16.7%)、前立腺14件(12.3%)であった。性別は男性72件、女性42件と男性が多く、平均年齢は昨年の71.0歳から72.8歳へ高くなっている。
 乳房・子宮などの治療ができない状態であるためこのような結果となっている。
 現在でも、当院の受診者は東区・上益城が高い割合を占めており、地震前と同様に、新病院開設後も継続してがん診療に貢献していくために、地域との連携を深めていきたい。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

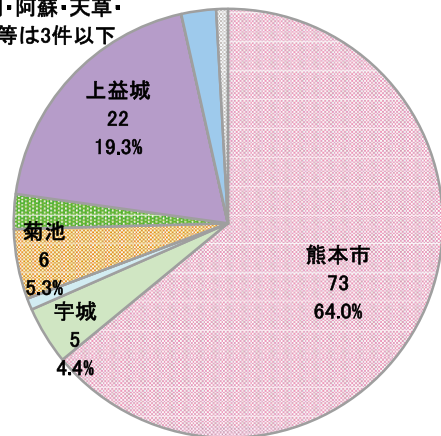
II 施設別統計

熊本市民病院

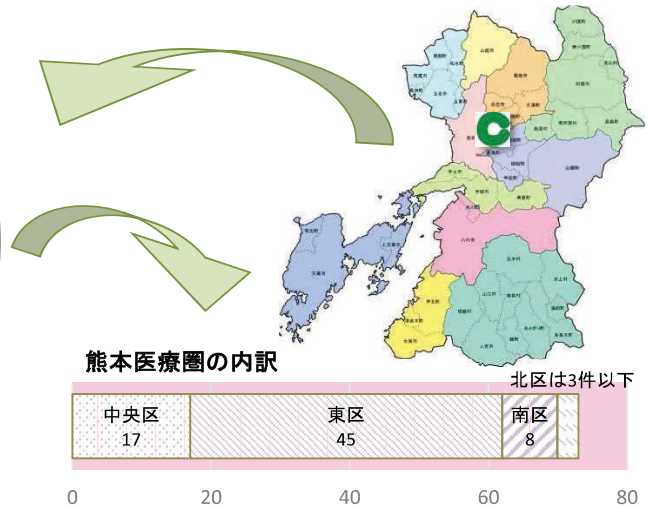
① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

熊本市民病院 (114件)

※有明・阿蘇・天草・
県外等は3件以下



※ 全般において3件以下は*又は非表示

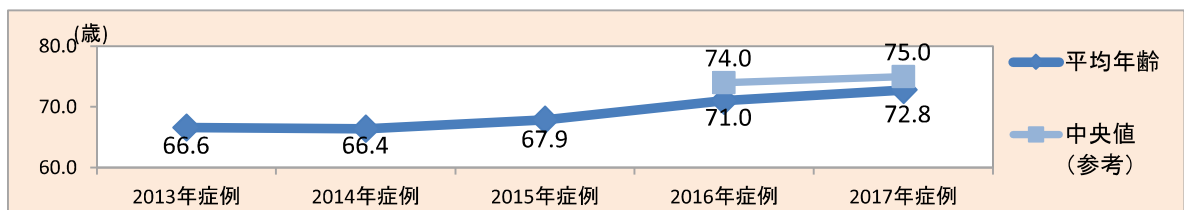


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	悪性血液	15	鹿本		上益城	皮膚	5	球磨		
	前立腺	12				悪性血液	5			
	大腸	10				その他	4			
	皮膚	9								
	複数部位	各5								
宇城	複数部位	*	菊池	複数部位	*	八代		天草	複数部位	*
有明	複数部位	*	阿蘇	複数部位	*	芦北		県外等	複数部位	*

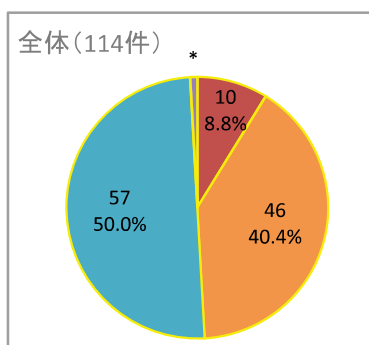
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

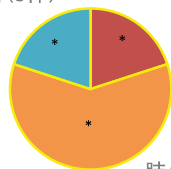


③ 発見経緯 5大部位の内訳

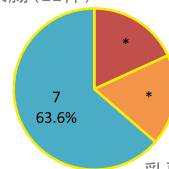
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



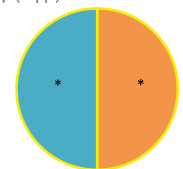
胃(5件)



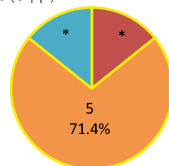
大腸(11件)



肝(*件)



肺(7件)



乳房(0件)

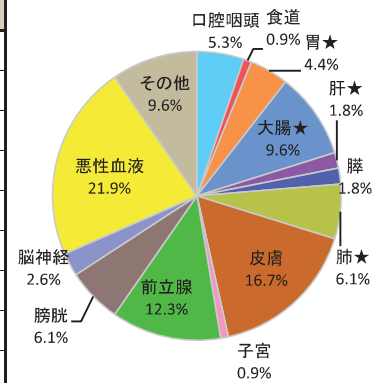
Ⅱ 施設別統計

熊本市民病院

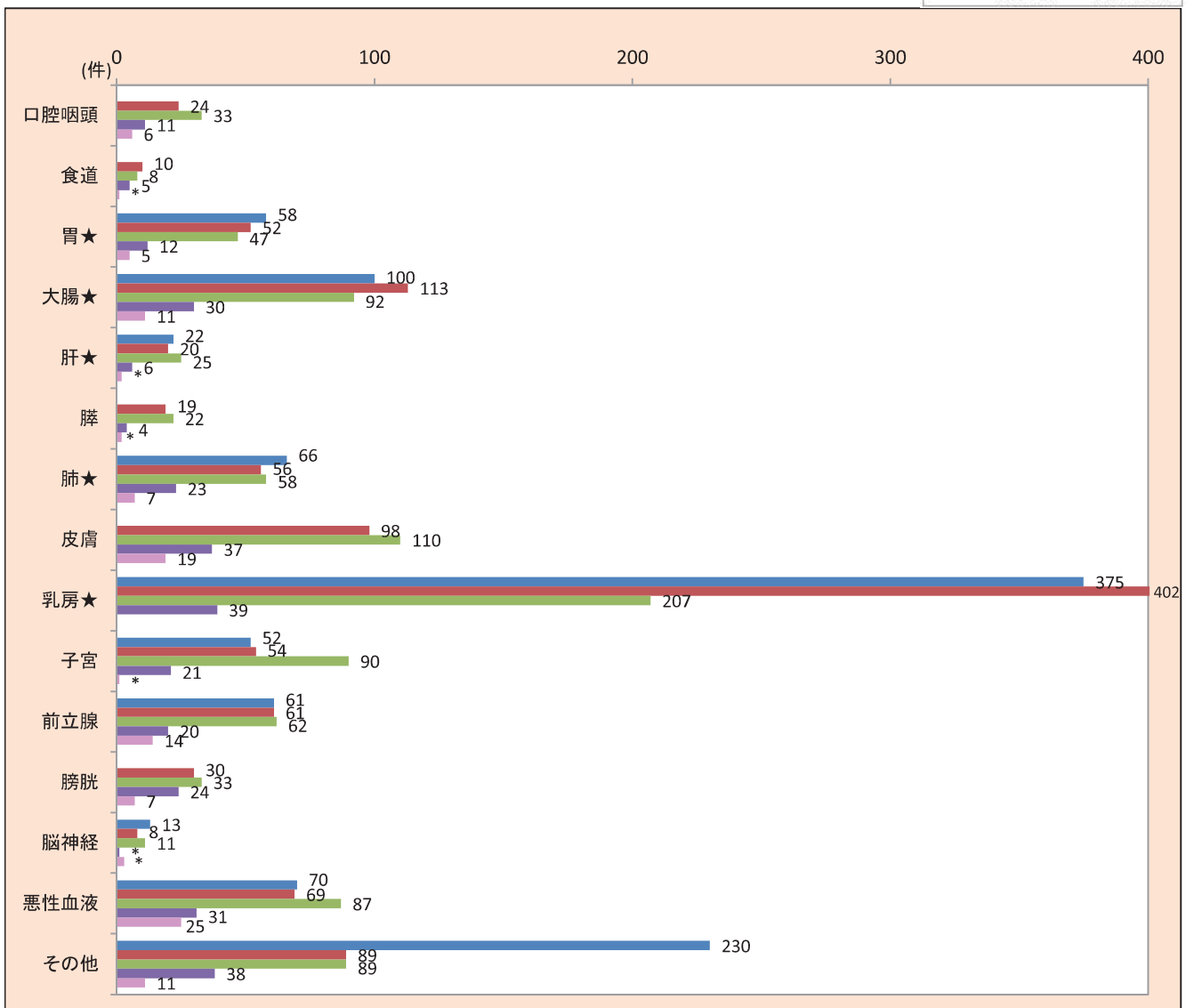
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		24	33	11	6
食道		10	8	5	*
胃★	58	52	47	12	5
大腸★	100	113	92	30	11
肝★	22	20	25	6	*
膵		19	22	4	*
肺★	66	56	58	23	7
皮膚		98	110	37	19
乳房★	375	402	207	39	
子宮	52	54	90	21	*
前立腺	61	61	62	20	14
膀胱		30	33	24	7
脳神経	13	8	11	*	*
悪性血液疾患	70	69	87	31	25
その他	230	89	89	38	11
計	1,047	1,105	974	302	114

2017年診断症例 主要部位別割合

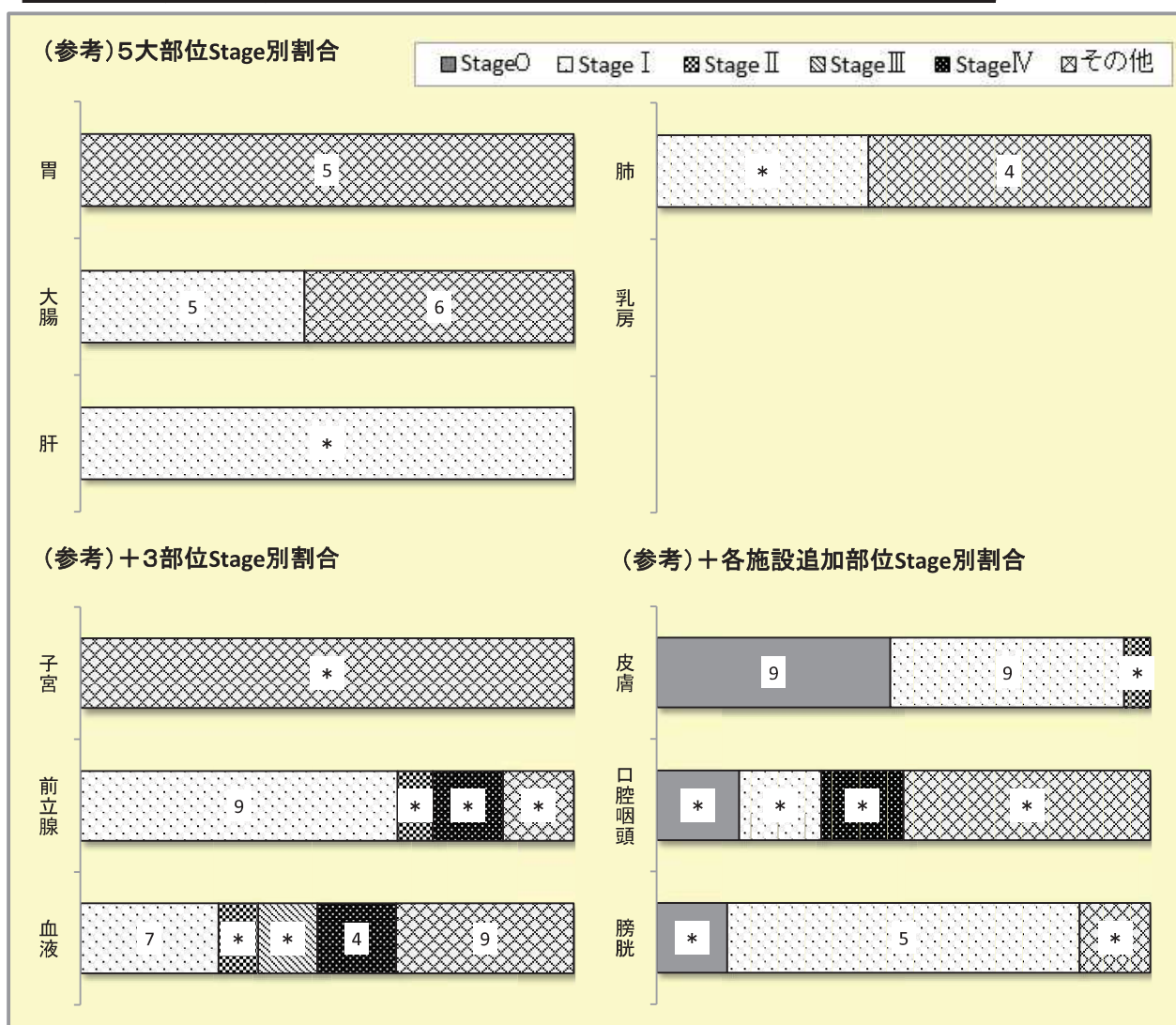


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	6	*	*			*	*
食道	*						*
胃★	5						5
大腸★	11		5				6
肝★	*		*				*
膵	*		*				*
肺★	7		*				4
皮膚	19	9	9	*			
乳房★	0						
子宮	*						*
前立腺	14		9	*		*	*
膀胱	7	*	5				*
脳神経	*						*
悪性血液疾患	25		7	*	*	4	9
その他	11		*		*	*	7
計	114	11	43	4	4	9	43



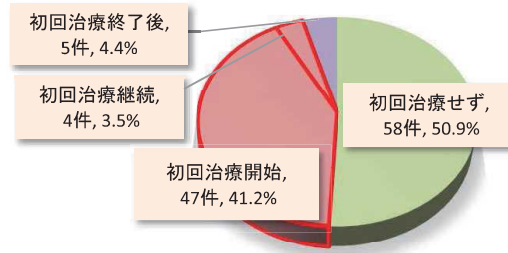
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本市市民病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

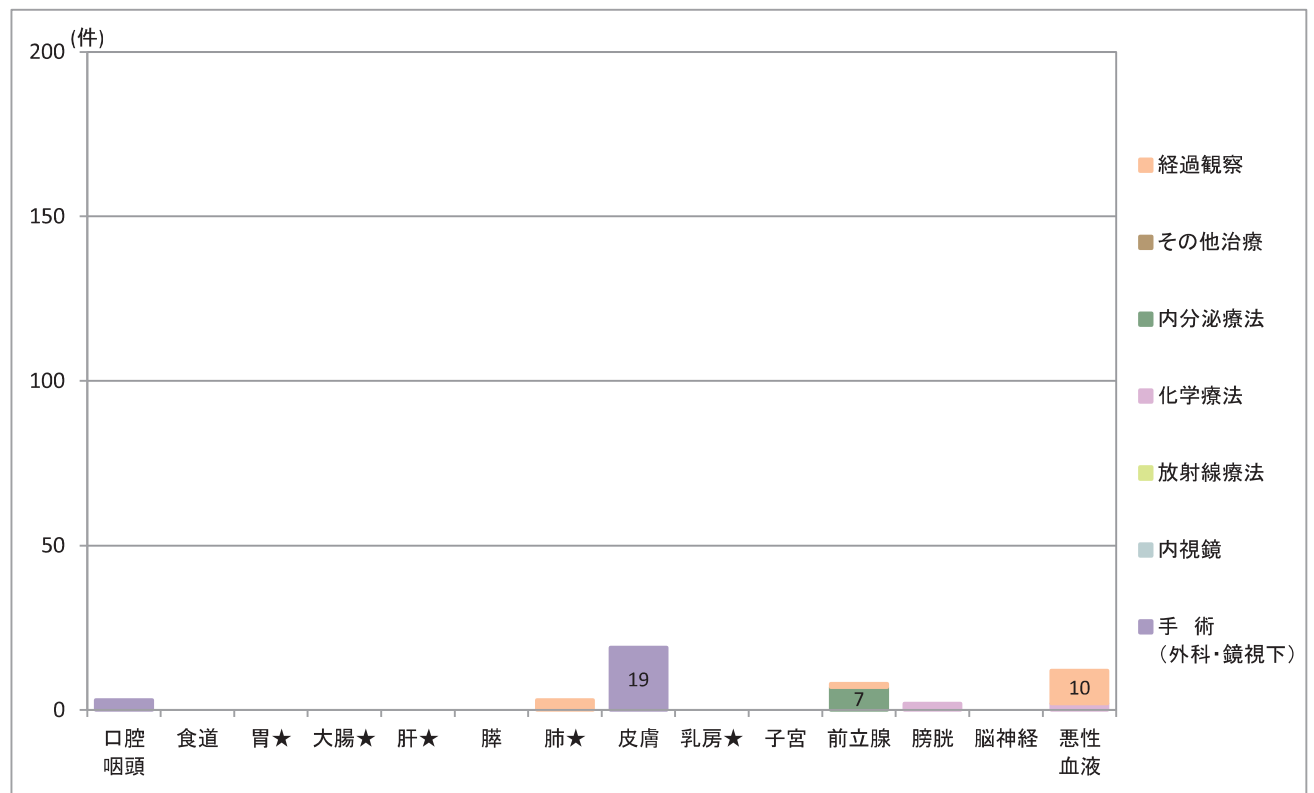
治療施設	件数
1初回治療せず	58
2初回治療開始	47
3初回治療継続	4
4初回治療終了後	5
8その他	0
計	114



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

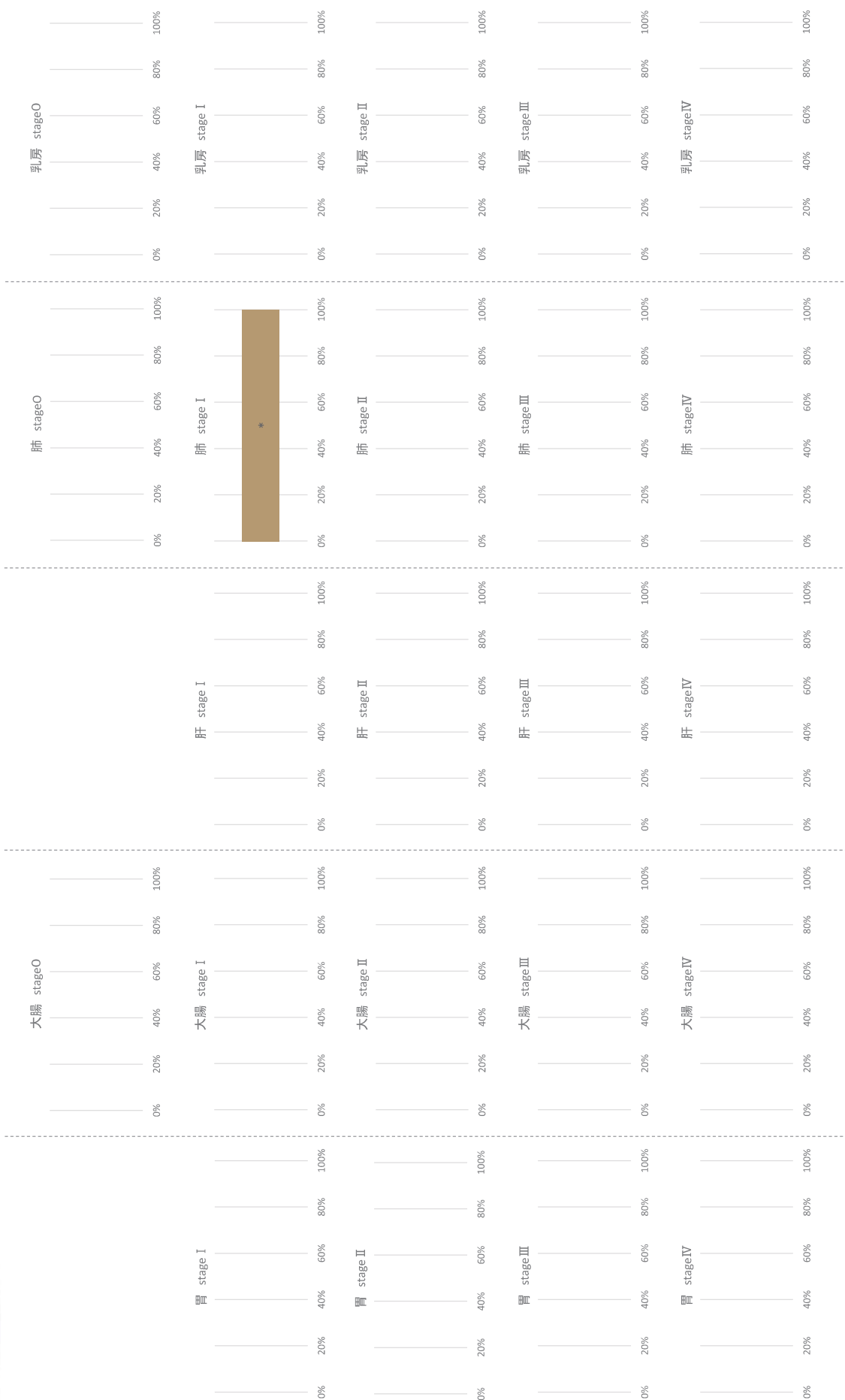
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	*							*	33.3%	66.7%	0.0%
食道								0			
胃★								0			
大腸★								0			
肝★								0			
膵								0			
肺★							*	*			
皮膚	19							19	89.5%	10.5%	0.0%
乳房★								0			
子宮								0			
前立腺					7		*	8			
膀胱				*				*			
脳神経								0			
悪性血液疾患				*			10	12			
計	22	0	0	4	7	0	14	47			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複剤に問わず各々算入
- ※ 分類はUICC7版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
- ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		熊本赤十字病院
-------	---	---------

○基本情報

【平成29年12月現在】

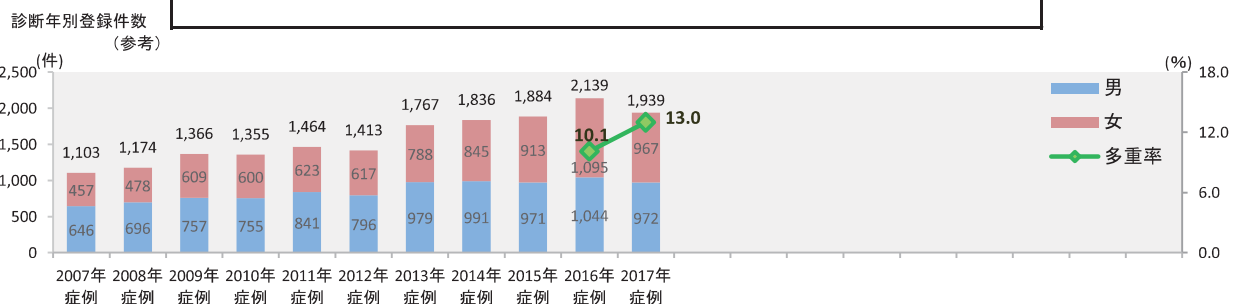
所在地	熊本市東区長嶺南二丁目1番1号
病床数	490床
診療科数	28科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.2 (日)
入院患者数	17,796 (人)
外来患者延数	304,806 (人)
院内がん登録件数	1,939 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 0 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【医療圏】
熊本市49.1% (前年46.9%) 菊池19.2% (前年21.6%)
阿蘇11.3% (前年11.1%)
○担当医療圏である熊本、菊池、阿蘇が8割を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると考えられる。

【件数の比較】
・全体件数 1,939件 (前年:2,139件)
・部位別件数(『その他』を除く上位3部位)
全体 『大腸』281件 (前年321件)、『乳房』262件 (前年256件)、
『胃』220件 (前年228件)
男性 『大腸』175件 (前年183件)、『胃』162件 (前年157件)、
『前立腺』104件 (前年128件)
女性 『乳房』257件 (前年256件)、『子宮』201件 (前年252件)、
『大腸』106件 (前年138件)
○全体の部位別件数では、『大腸』が最も多くを占めた。『乳房』・『子宮』は前年同様、件数が平年を大きく上回っている。5大がん(胃・大腸・肝・肺・乳房)の件数は948件で全体の半数を占める。
○全体的な件数としては、2016年の熊本地震で一時的に増えた件数が、例年並みに戻った。

【治療内容の特徴】
○胃のステージⅠ、大腸のステージ0では内視鏡治療を積極的に行う。手術、化学療法、放射線治療などそれぞれの専門家がいることにより集学的治療が可能となっている。また、2013年に精神腫瘍科外来を開設し、心理的サポートを行う体制を整備している。

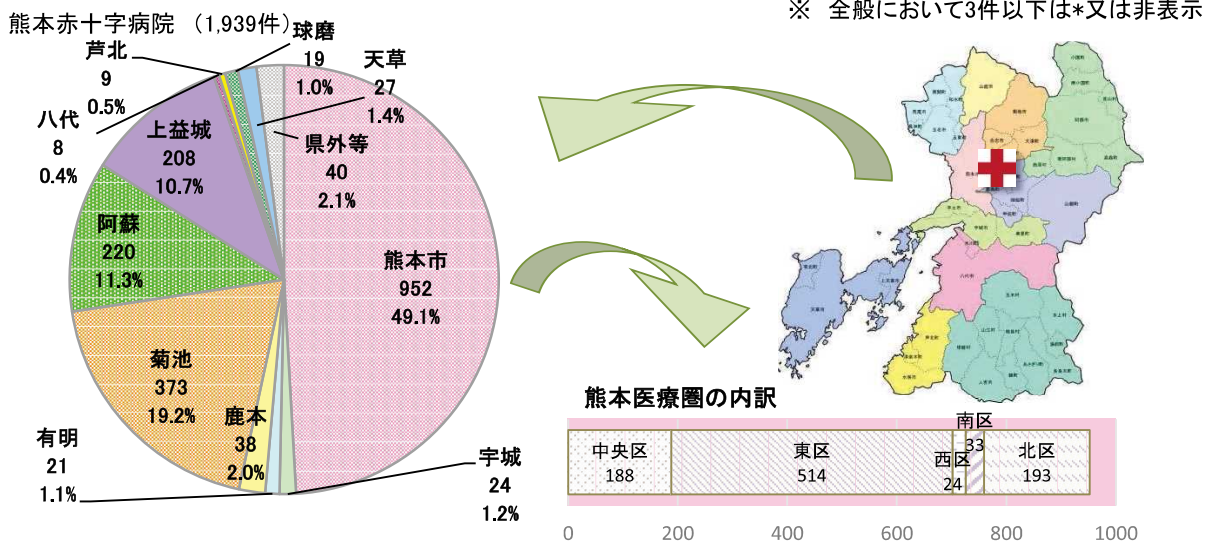


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本赤十字病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

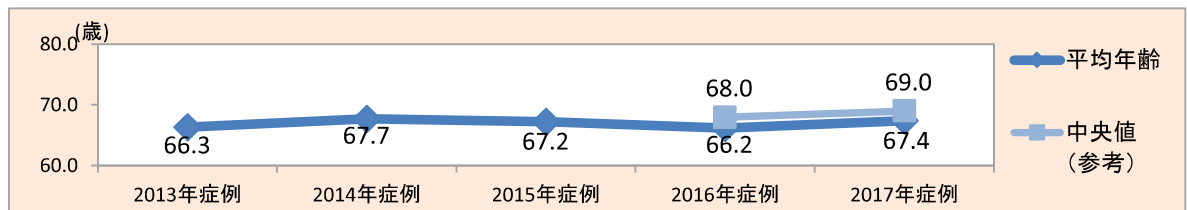


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	大腸	157	鹿本	その他	7	上益城	大腸	32	球磨	前立腺	6
	乳房	151		子宮	6		その他	26			
	胃	101		乳房	4		子宮	25			
	その他	98		前立腺	4		胃	21			
	子宮	85					悪性血液	21			
宇城	悪性血液	6	菊池	大腸	55	八代	複数部位	*	天草	その他	7
	子宮	5		子宮	52			乳房		4	
				その他	52			悪性血液		4	
				胃	46						
				乳房	43						
有明	乳房	7	阿蘇	胃	33	芦北	肺	4	県外等	その他	8
	胃	5		その他	28			肺		7	
	その他	4		乳房	25			子宮		6	
				大腸	24			複数部位		各4	
				悪性血液	22						

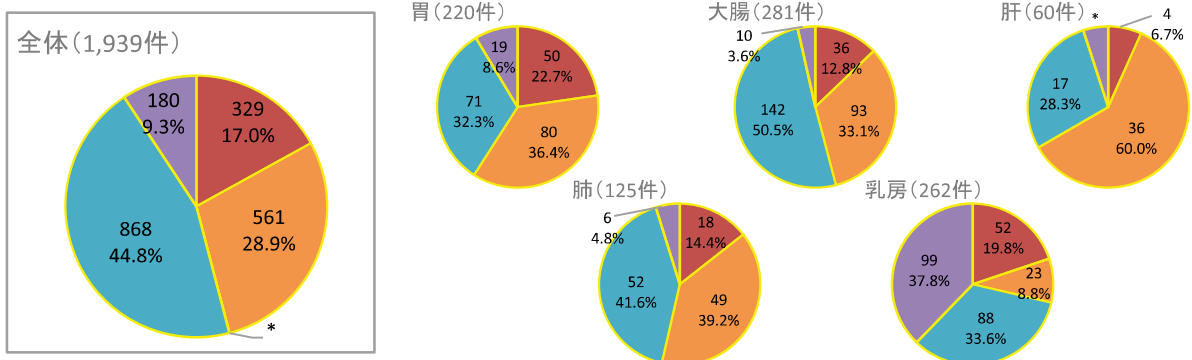
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

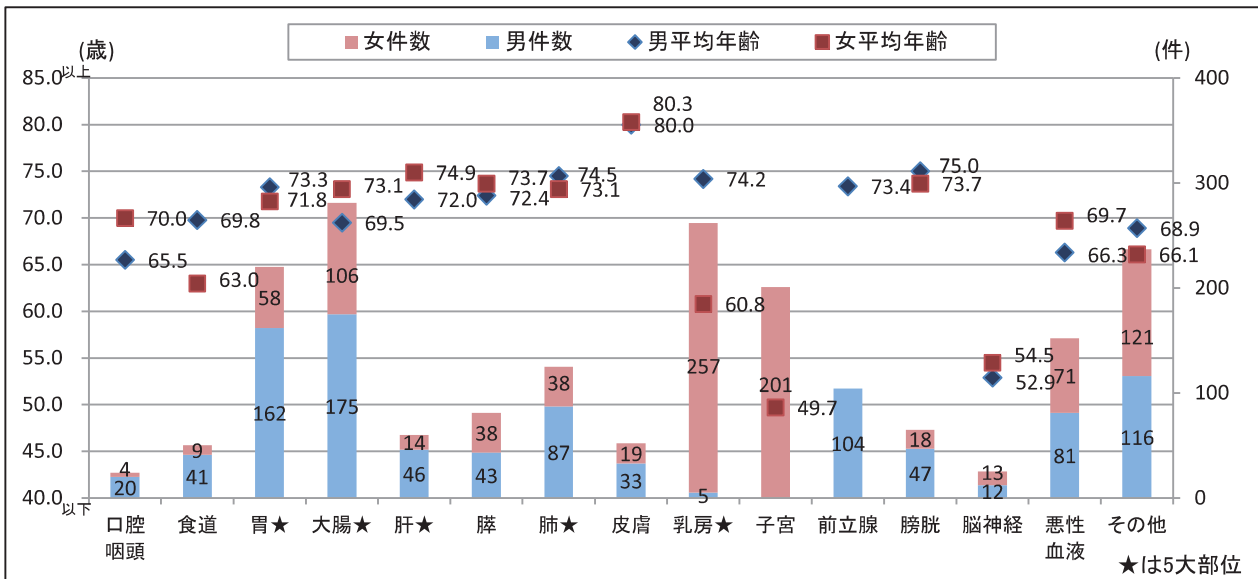


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 2他疾患経過観察 ■ 3剖検(Ai含) ■ 4その他(自ら受診含) ■ 5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

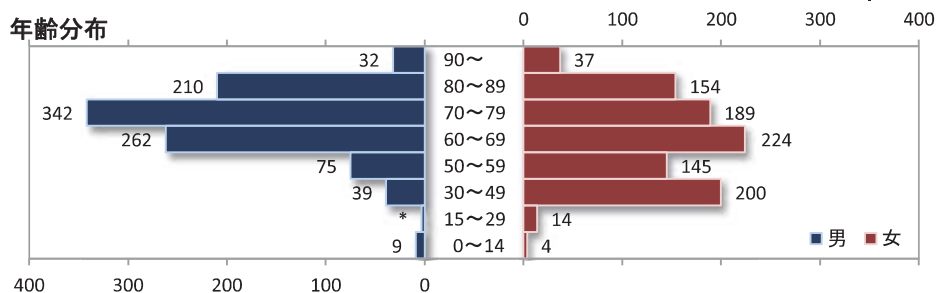


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
大腸	175	悪性血液	6	複数部位	*	大腸	11	大腸	19
胃	162	など				その他	10	その他	11
その他	116					悪性血液	5	胃	10
前立腺	104					脳神経	4	悪性血液	6
肺	87					など		など	
悪性血液	81								
膀胱	47	計	9	計	*	計	39	計	75
肝	46	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
膵	43	大腸	54	胃	64	胃	42	皮膚	6
食道	41	胃	39	大腸	62	大腸	27	悪性血液	6
皮膚	33	前立腺	32	前立腺	44	その他	26	胃	4
口腔咽頭	20	その他	31	肺	37	肺	25	など	
脳神経	12	悪性血液	19	その他	34	前立腺	21		
乳房	5	など		など		など			
子宮		計	262	計	342	計	210	計	32
計	972								



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
乳房	257	複数部位	*	子宮	9	子宮	105	乳房	62
子宮	201			その他	4	乳房	57	子宮	26
その他	121			など		その他	16	その他	18
大腸	106					大腸	7	大腸	13
悪性血液	71					など		肺	7
胃	58							など	
膵	38	計	4	計	14	計	200	計	145
肺	38	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
皮膚	19	乳房	79	乳房	35	大腸	32	乳房	9
膀胱	18	子宮	34	その他	30	悪性血液	21	大腸	7
肝	14	その他	26	大腸	28	その他	21	その他	6
脳神経	13	大腸	19	悪性血液	25	胃	18	皮膚	5
食道	9	膵	13	胃	17	乳房	15	肺	4
口腔咽頭	4	など		など		など		など	
前立腺		計	224	計	189	計	154	計	37
計	967								

年齢分布



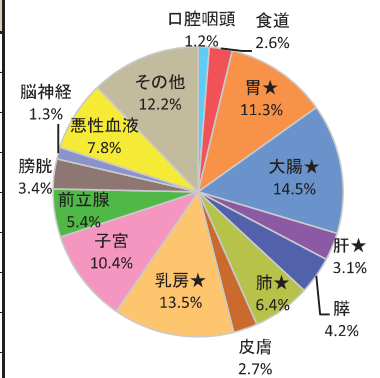
II 施設別統計

熊本赤十字病院

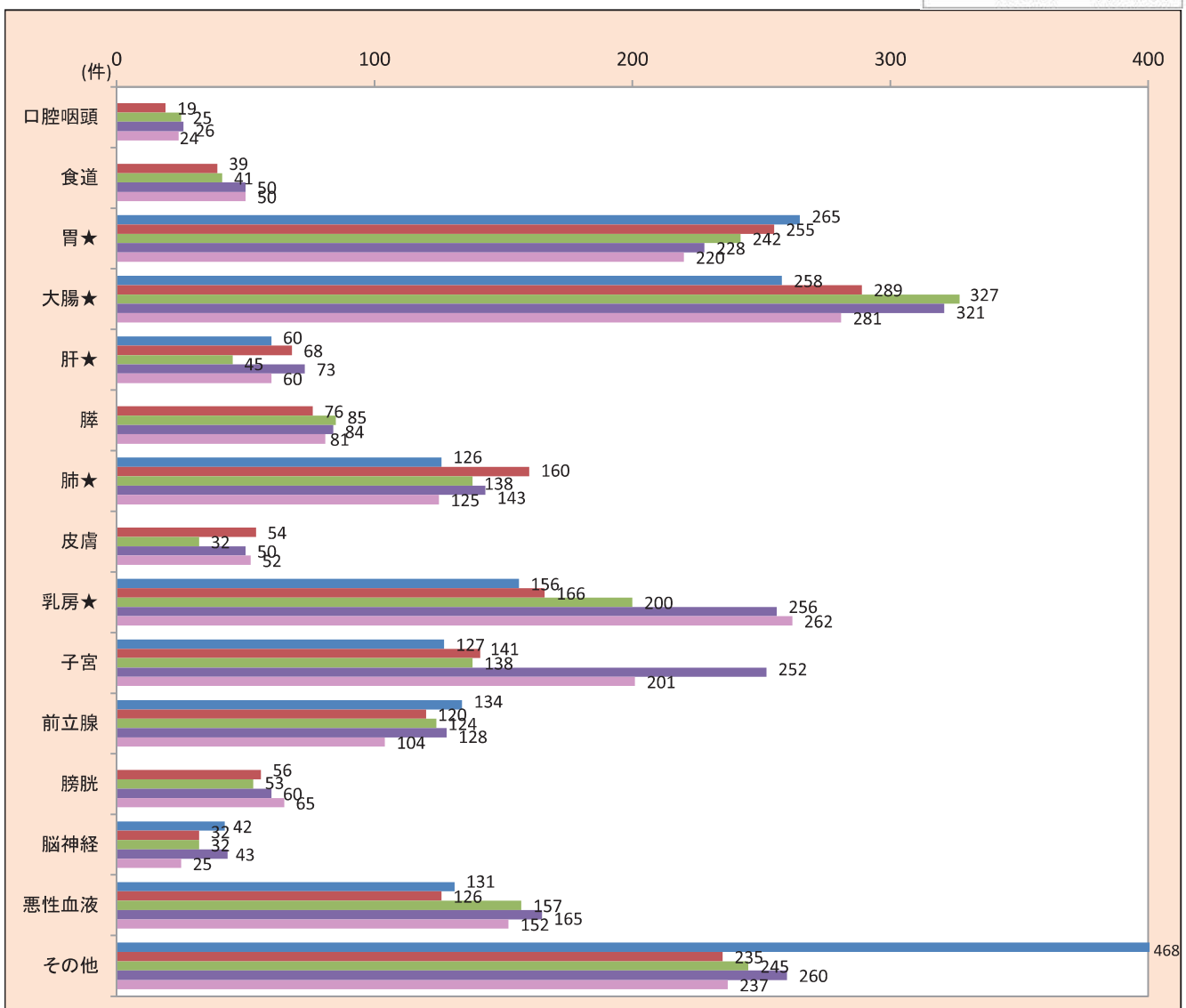
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		19	25	26	24
食道		39	41	50	50
胃★	265	255	242	228	220
大腸★	258	289	327	321	281
肝★	60	68	45	73	60
膵		76	85	84	81
肺★	126	160	138	143	125
皮膚		54	32	50	52
乳房★	156	166	200	256	262
子宮	127	141	138	252	201
前立腺	134	120	124	128	104
膀胱		56	53	60	65
脳神経	42	32	32	43	25
悪性血液疾患	131	126	157	165	152
その他	468	235	245	260	237
計	1,767	1,836	1,884	2,139	1,939

2017年診断症例 主要部位別割合



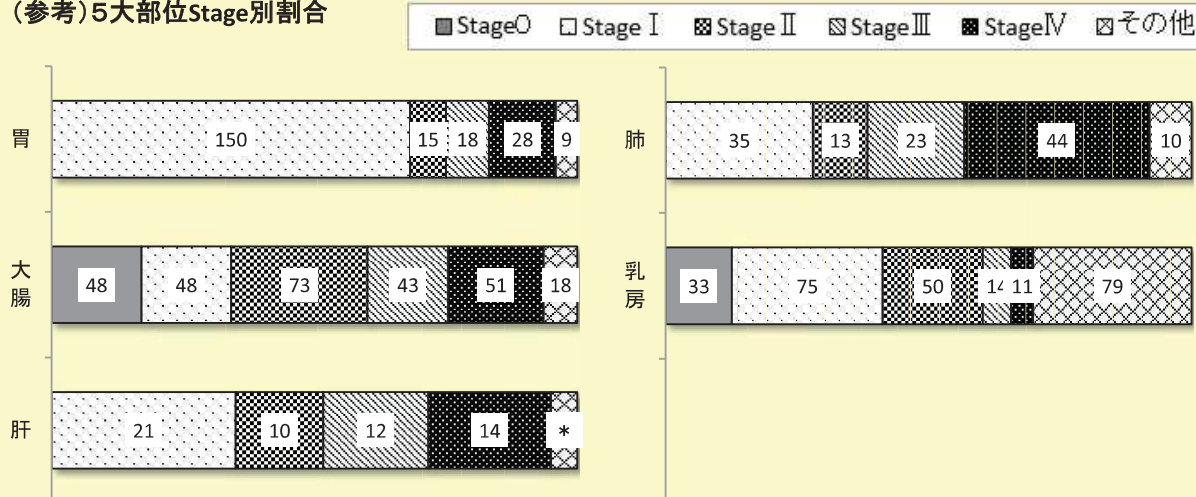
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



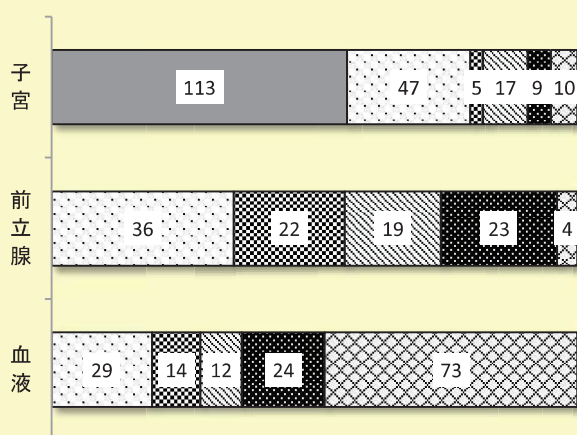
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	24		*	5	*	10	5
食道	50	17	17	*	7	*	5
胃★	220		150	15	18	28	9
大腸★	281	48	48	73	43	51	18
肝★	60		21	10	12	14	*
膵	81	*	6	25	15	32	
肺★	125		35	13	23	44	10
皮膚	52	7	39	4	*		
乳房★	262	33	75	50	14	11	79
子宮	201	113	47	5	17	9	10
前立腺	104		36	22	19	23	4
膀胱	65	41	10	4	*	*	5
脳神経	25						25
悪性血液疾患	152		29	14	12	24	73
その他	237	5	90	22	33	31	56
計	1,939	267	605	263	219	283	302

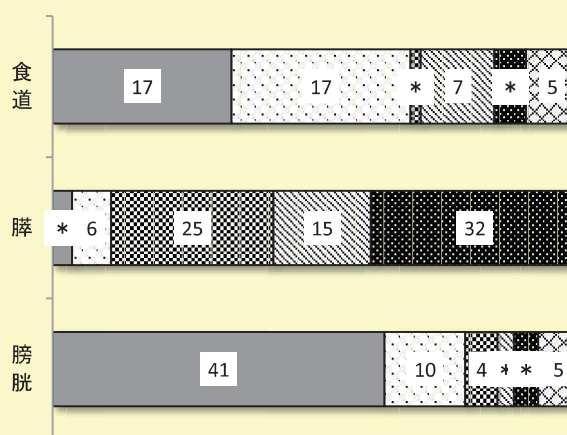
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



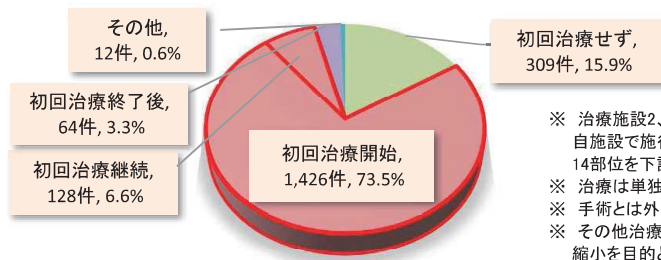
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本赤十字病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

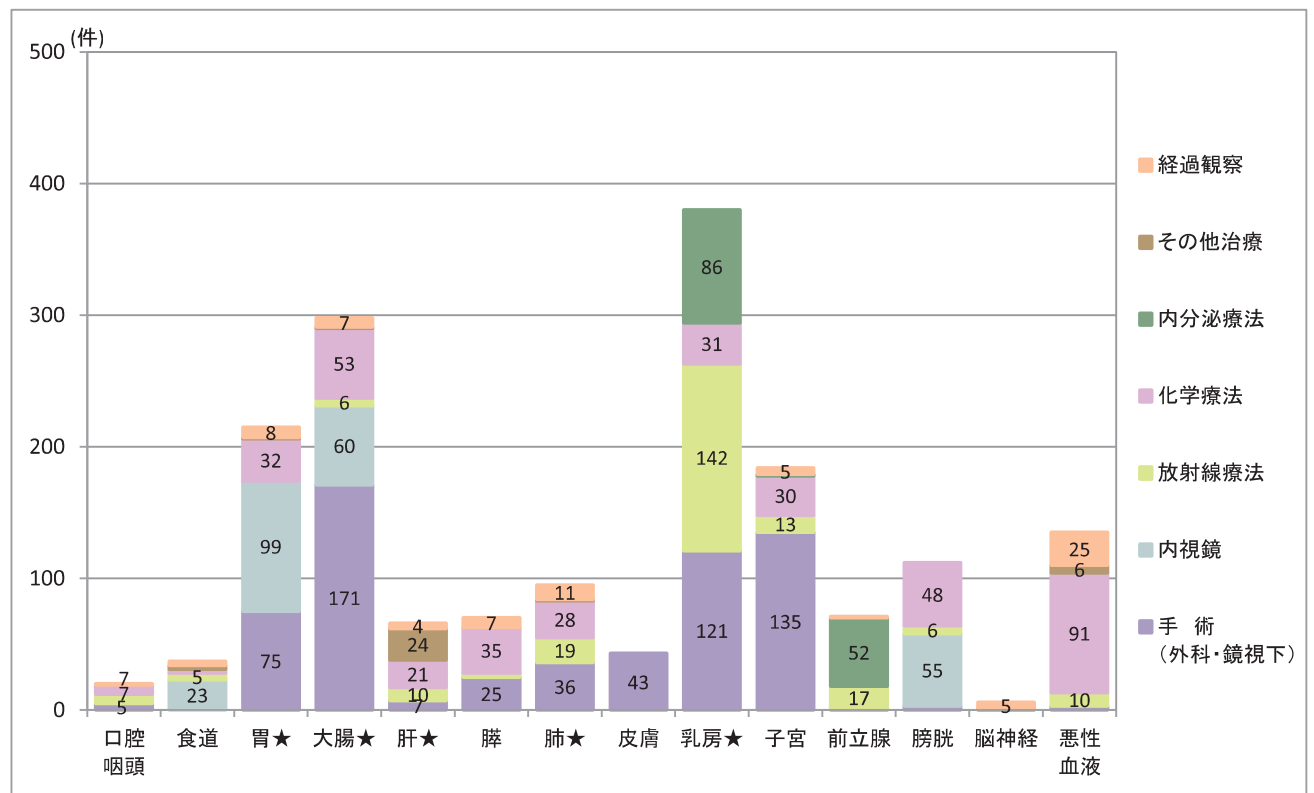
治療施設	件数
1初回治療せず	309
2初回治療開始	1,426
3初回治療継続	128
4初回治療終了後	64
8その他	12
計	1,939



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

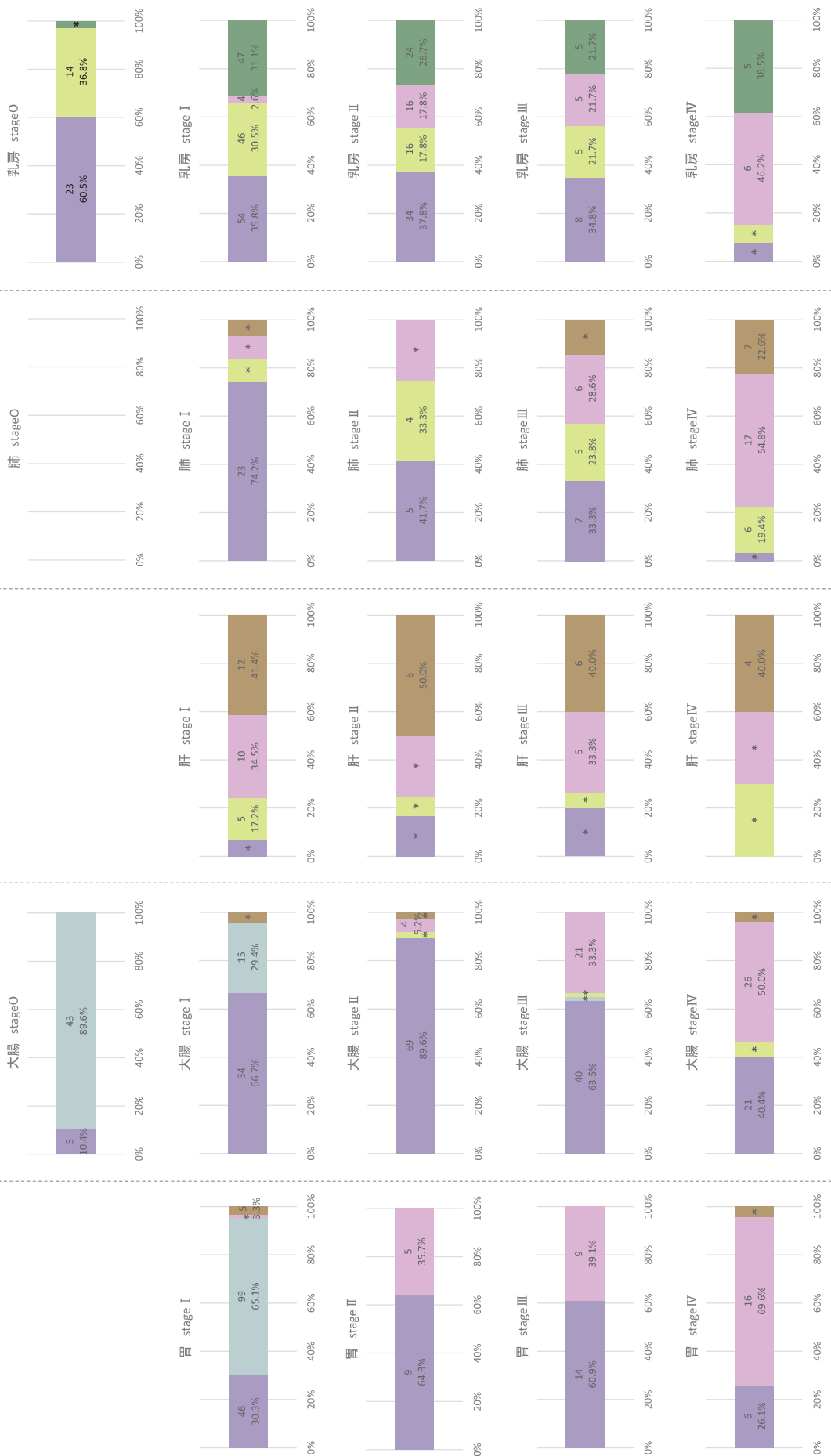
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	5		7	7			*	20	80.0%	20.0%	0.0%
食道		23	5	*		*	*	37	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	75	99		32		*	8	215	99.4%	0.6%	0.0%
大腸★	171	60	6	53		*	7	298	98.7%	1.3%	0.0%
肝★	7		10	21		24	4	66	100.0%	0.0%	0.0%
膵	25		*	35			7	70	84.0%	16.0%	0.0%
肺★	36		19	28		*	11	95	97.2%	2.8%	0.0%
皮膚	43							43	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	121		142	31	86			380	99.2%	0.8%	0.0%
子宮	135		13	30	*		5	184	98.5%	1.5%	0.0%
前立腺	*		17		52		*	71	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	*	55	6	48				112	94.6%	5.4%	0.0%
脳神経						*	5	6			
悪性血液疾患	*		10	91		6	25	135	100.0%	0.0%	0.0%
計	625	237	238	379	139	37	77	1,732			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察含)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		独立行政法人労働者健康安全機構 熊本労災病院
-------	---	---------------------------

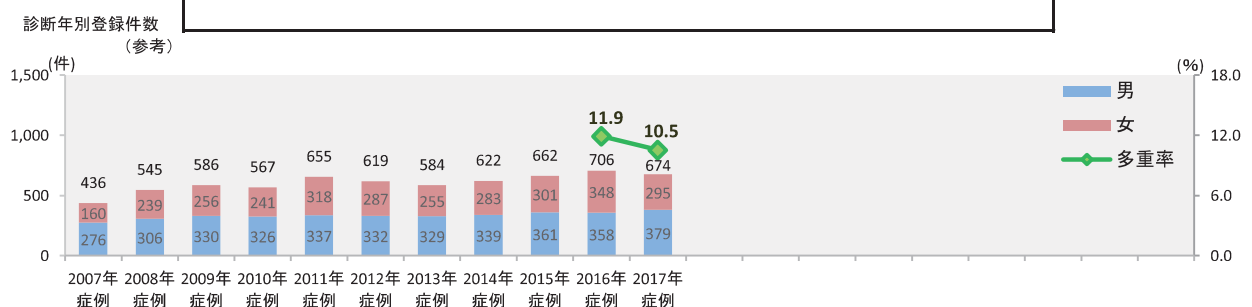
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	八代市竹原町1670
病床数	410床
診療科数	24科
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	13.7 (日)
入院患者数	9,220 (人)
外来患者延数	128,792 (人)
院内がん登録件数	674 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

◇2017年診断症例件数674件(前年比▲32件)
 ◇部位別症例件数(上位5部位)
 ①肺138件②大腸74件③前立腺55件④皮膚53件⑤胃49件
 ◇男女別症例件数
 男性379件(56.2%)女性295件(43.8%)
 ◇平均年齢72.9歳(男性74.2歳 女性71.1歳)
 ◇患者住所の割合
 ①八代72.8%②芦北9.8%③球磨7.0%④宇城6.8%
 ・症例件数は前年より32件減少したが、肺に関しては近年増加傾向にあり、本年も昨年より+25件であった。
 ・登録患者の平均年齢は72.9歳で、例年同様高い傾向にある。これは地域特性として、若年層の都市部への流出により地域全体に高齢者が多いこと、また、若い検診受診者はインターネットなどで情報を集め移動も容易であるため熊本市内の病院を受診する傾向にあること、交通手段の少ない高齢者は検診を受けず、症状が出現して地域の基幹病院を受診する傾向にあることなどが影響しているものと思われる。
 ・治療に関しては、高齢者・若年層に関わらず、症状が出現した状態で受診し、それらの多くが進行癌であることなどから外科的治療が出来ない場合が少なくない。しかし、治療が可能な症例については熊本県が推進している「医科歯科連携」などを積極的に行い、がん患者が安心して治療を受けることができるような体制づくりを行っている。
 八代地域医療圏からの紹介が多く、「私のカルテ」による連携、治療初期段階からの必要に応じた相談支援「がんサロン」の開催、緩和ケアの実施など、地域医療の質の充実を推進している。

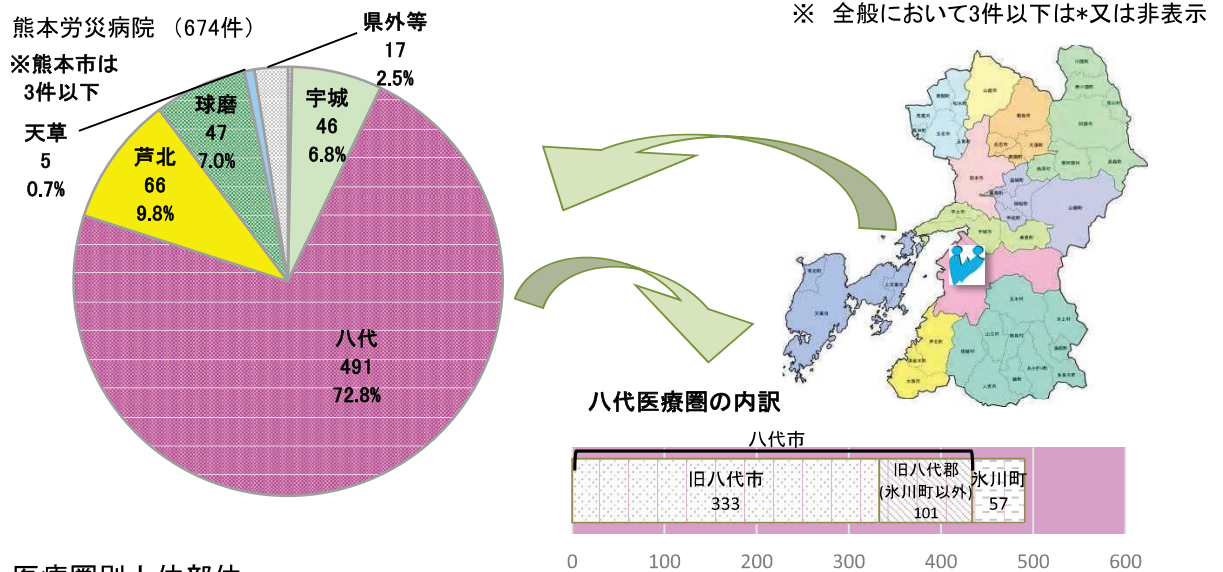


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本労災病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

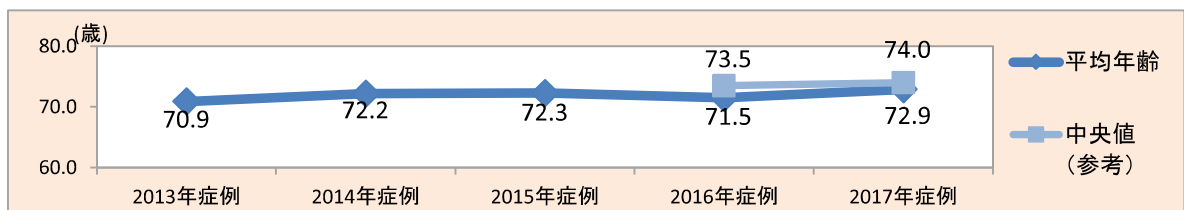


◇ 医療圏別上位部位

医療圏	部位	件数	備考
熊本市	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	
宇城	その他	8	
	大腸	5	
	皮膚	5	
	乳房	5	
有明	前立腺	4	
	その他	8	
	大腸	5	
	皮膚	5	
鹿本	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	
上益城	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	
八代	肺	104	
	その他	67	
	大腸	57	
	胃	37	
天草	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	
阿蘇	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	
芦北	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	
県外等	前立腺	12	
	肺	9	
	皮膚	7	
	膀胱	7	

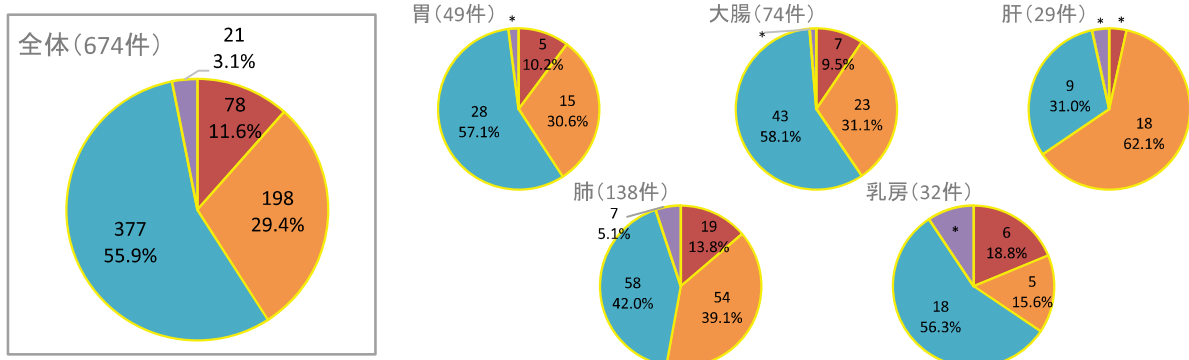
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

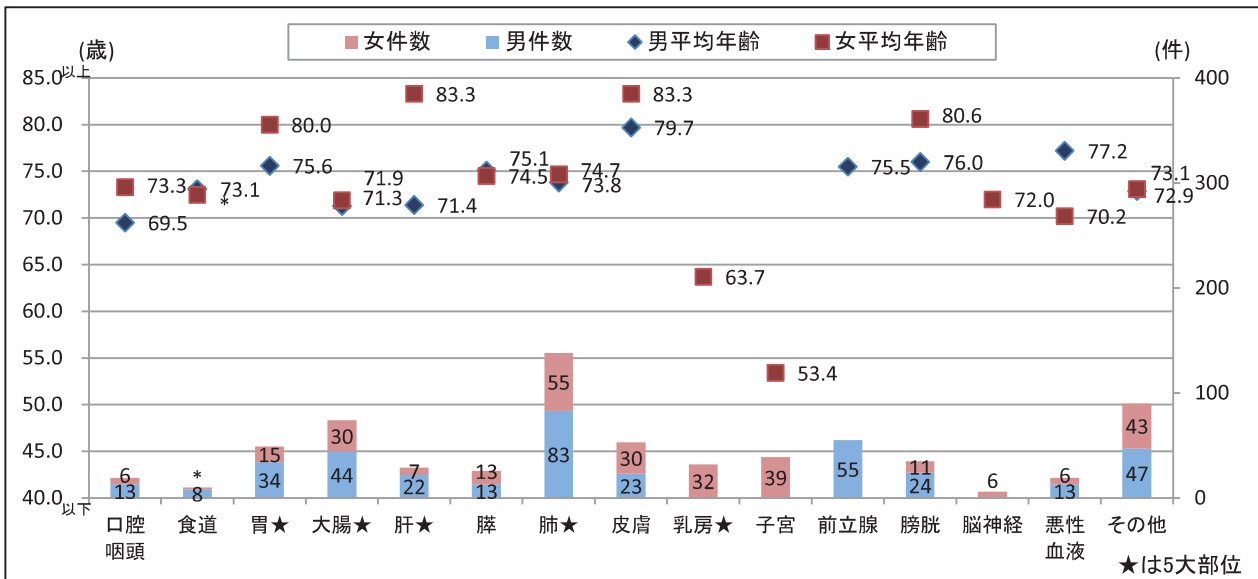


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳	
肺					複数部位	*	大腸	8
前立腺							肺	5
その他							胃	4
大腸							など	
胃								
膀胱								
皮膚								
肝							計	6
口腔咽頭							計	25
膵								
悪性血液								
食道								
乳房								
子宮								
脳神経								
計	379							

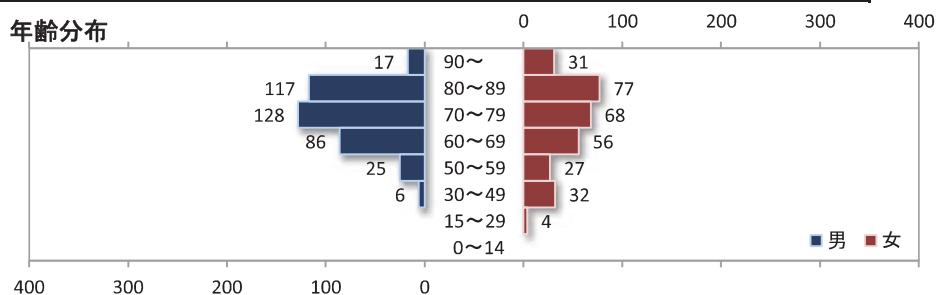
	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肺	18	18	31	31	25	25	皮膚	4
大腸	13	13	前立腺	29	前立腺	16	など	
前立腺	10	10	その他	18	その他	15		
口腔咽頭	8	8	大腸	14	胃	13		
その他	8	8	胃	9	皮膚	11		
など			など		など			
計	86	86	計	128	計	117	計	17



女性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳	
肺			複数部位	*	子宮	14	乳房	8
その他					その他	7	子宮	6
子宮					乳房	4	など	
乳房					など			
大腸								
皮膚								
胃								
膵								
膀胱								
肝								
口腔咽頭								
脳神経								
悪性血液								
食道								
前立腺								
計	295							

	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
肺	10	10	肺	15	肺	19	皮膚	10
乳房	9	9	大腸	8	その他	14	肺	5
その他	9	9	など		皮膚	9	胃	4
子宮	7	7			大腸	8	など	
など					乳房	5		
計	56	56	計	68	計	77	計	31

年齢分布



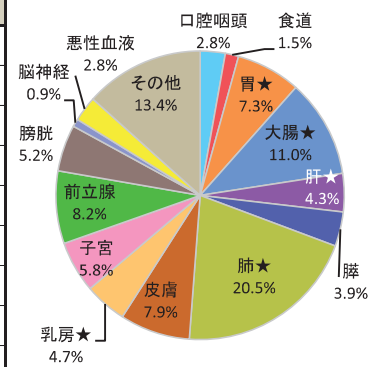
Ⅱ 施設別統計

熊本労災病院

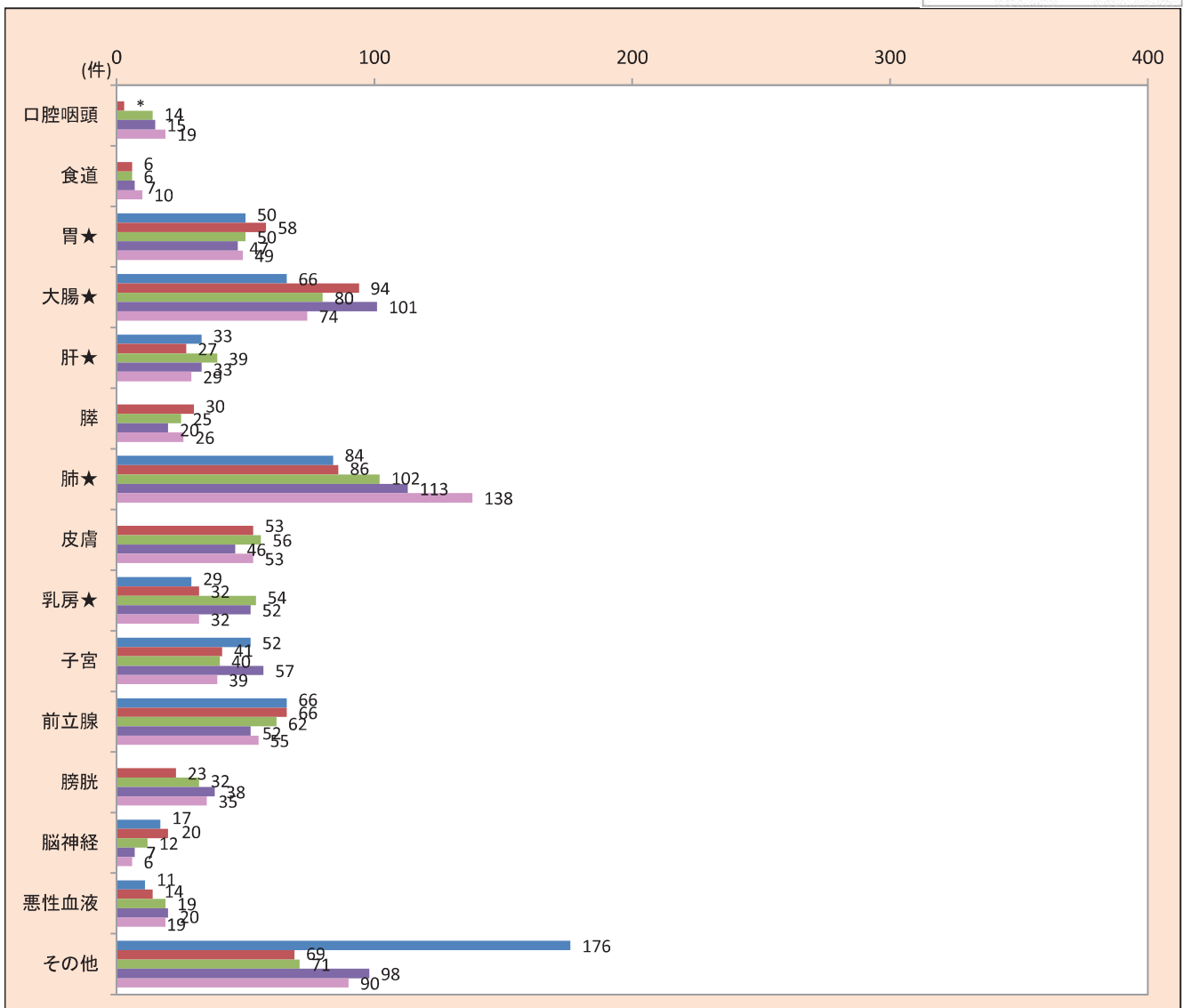
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*	14	15	19
食道		6	6	7	10
胃★	50	58	50	47	49
大腸★	66	94	80	101	74
肝★	33	27	39	33	29
膵		30	25	20	26
肺★	84	86	102	113	138
皮膚		53	56	46	53
乳房★	29	32	54	52	32
子宮	52	41	40	57	39
前立腺	66	66	62	52	55
膀胱		23	32	38	35
脳神経	17	20	12	7	6
悪性血液疾患	11	14	19	20	19
その他	176	69	71	98	90
計	584	622	662	706	674

2017年診断症例 主要部位別割合

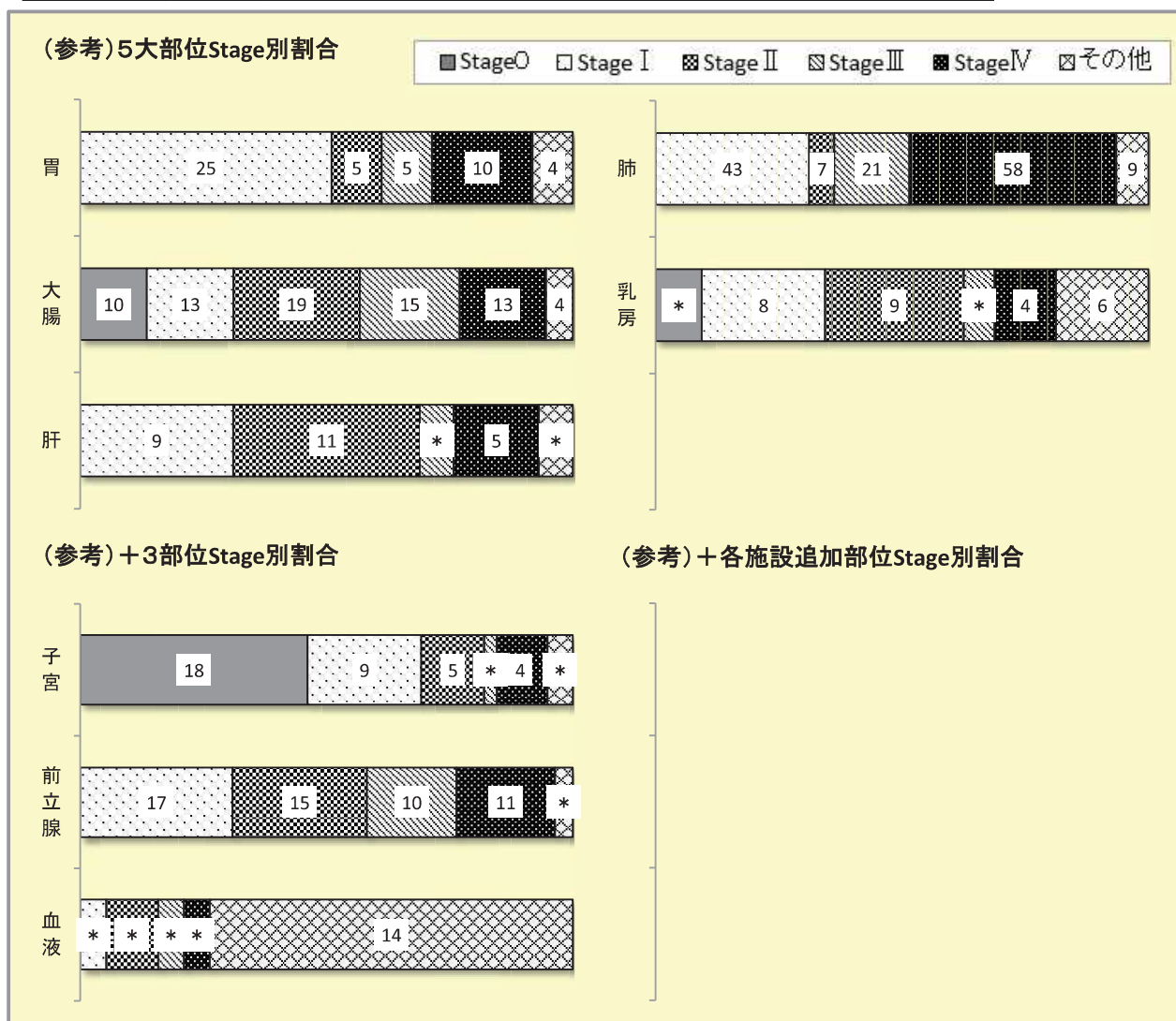


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	19	*	*	*	6	7	*
食道	10	*	*		5	*	
胃★	49		25	5	5	10	4
大腸★	74	10	13	19	15	13	4
肝★	29		9	11	*	5	*
膵	26		4	6	5	9	*
肺★	138		43	7	21	58	9
皮膚	53	6	36	7		*	*
乳房★	32	*	8	9	*	4	6
子宮	39	18	9	5	*	4	*
前立腺	55		17	15	10	11	*
膀胱	35	9				6	20
脳神経	6						6
悪性血液疾患	19		*	*	*	*	14
その他	90	9	21	13	13	22	12
計	674	60	188	100	86	153	87



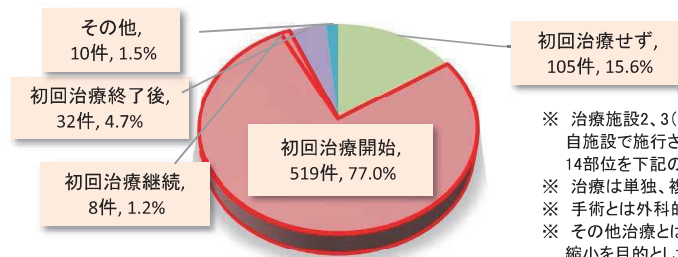
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本労災病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

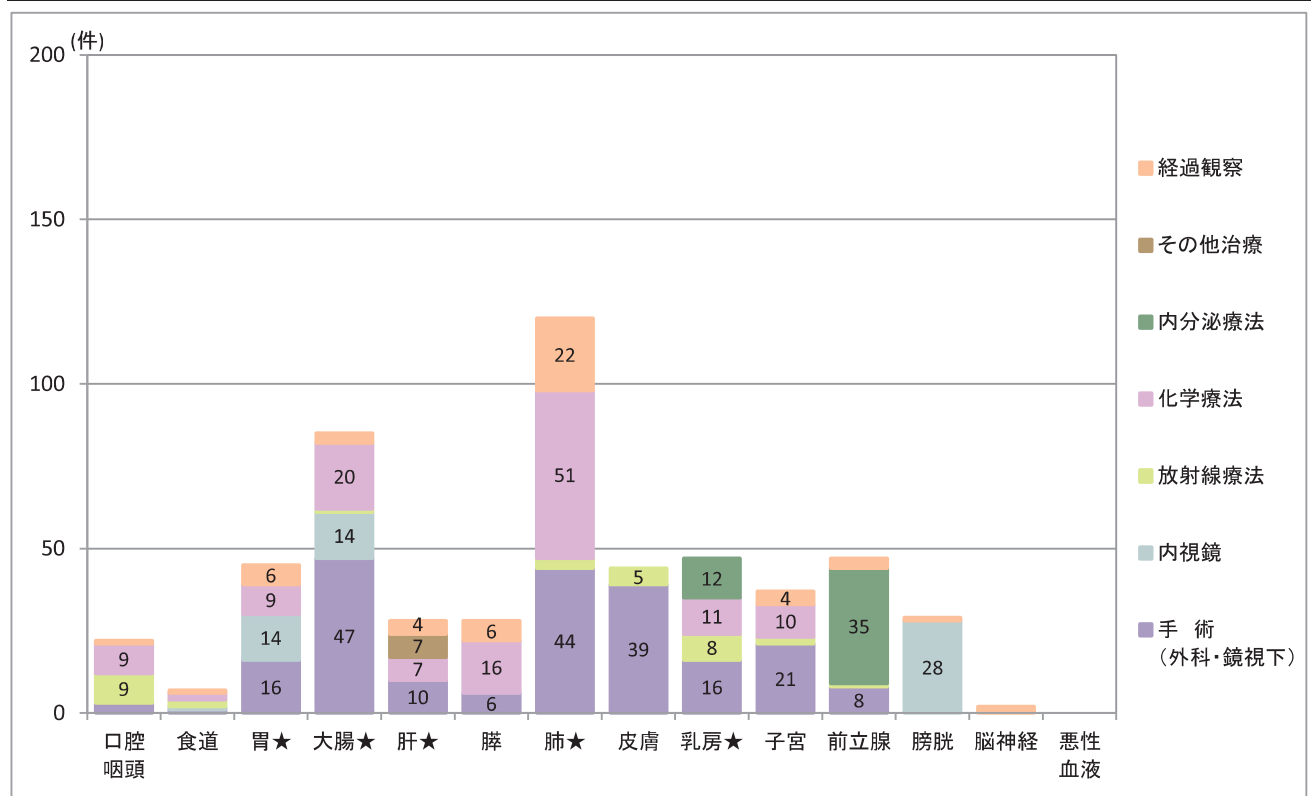
治療施設	件数
1初回治療せず	105
2初回治療開始	519
3初回治療継続	8
4初回治療終了後	32
8その他	10
計	674



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

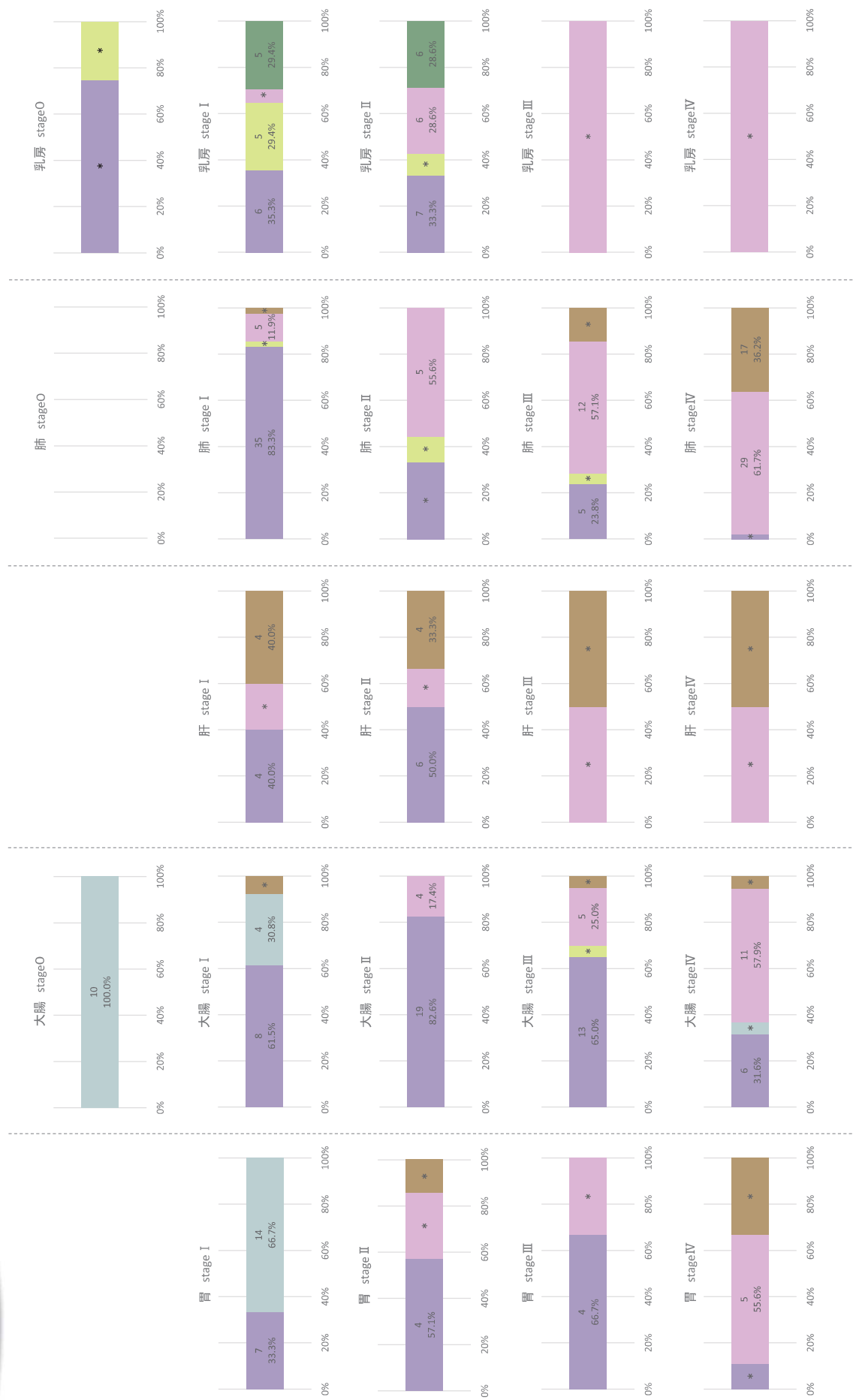
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	*		9	9			*	22	100.0%	0.0%	0.0%
食道	*	*	*	*			*	7	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	16	14		9			6	45	96.6%	3.4%	0.0%
大腸★	47	14	*	20			*	85	83.3%	13.3%	3.3%
肝★	10			7		7	4	28	100.0%	0.0%	0.0%
膵	6			16			6	28	83.3%	16.7%	0.0%
肺★	44		*	51			22	120	95.5%	4.5%	0.0%
皮膚	39		5					44	97.4%	2.6%	0.0%
乳房★	16		8	11	12			47	87.5%	12.5%	0.0%
子宮	21		*	10			4	37	95.2%	4.8%	0.0%
前立腺	8		*		35		*	47	37.5%	62.5%	0.0%
膀胱		28					*	29	32.1%	67.9%	0.0%
脳神経							*	*			
悪性血液疾患								0			
計	211	57	31	135	47	7	53	541			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察を含む)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院
-------	---	-------------------

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市南区近見5丁目3番1号
病床数	400床
診療科数	19科
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	9.4 (日)
入院患者数	14,527 (人)
外来患者延数	148,391 (人)
院内がん登録件数	1,801 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 2 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【患者住所医療圏別登録状況】
熊本市(45.6%)、宇城(14.5%)の2つの医療圏で全体の6割を占めていた。特に熊本市医療圏においては、当院所在地が南区ということもあり、熊本市全体の半数近くを南区が占めている。また、当院呼吸器科医師が天草の医療機関で診療していることもあり、天草からの紹介も増え、天草における肺の件数が前年38→53件と増加していた。

【年齢=()内は2016年診断症例との比較】
平均年齢:70.3歳(-0.7歳) 男性平均:70.3歳(-0.4歳) 女性平均:70.2歳(-1.4歳)

【登録件数】
登録件数は1,801件(男性1,251件、女性550件)で、前年より33件減少。男女比に関してはほぼ変化なく、男性が69.5%(前年67.0%)、女性が30.5%(前年33.0%)であった。登録件数は減少しているが、男性の件数は増加しており、前立腺の増加が関係していると思われる。

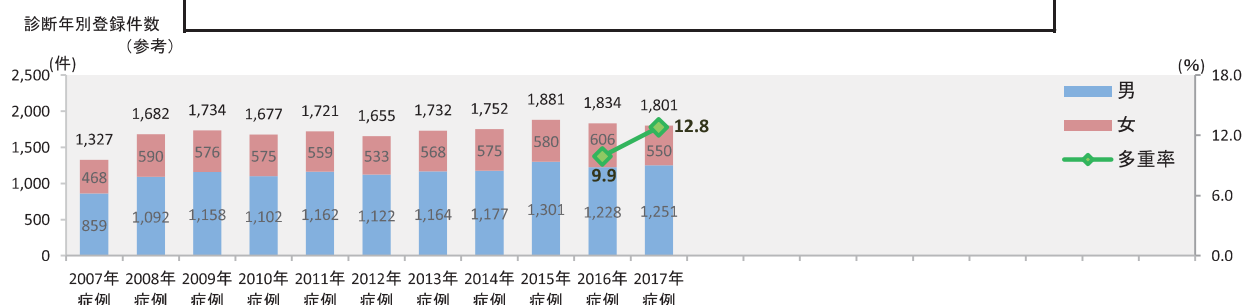
【部位別割合】
部位別にみると、肺が16.8%と前年同様多くの割合を占めていたが、本年は大腸も16.8%と肺と同様の割合となった。

肺は前年と比較すると手術件数が122→147件、化学療法施行数が88→117件、うち免疫チェックポイント阻害剤による治療の施行数は1→15件に増加している。

大腸は女性平均年齢が前年と比較すると-4.8歳。Stage0～Ⅰの割合は、前年32.0%→本年40.7%であり、発見経緯を見ると健診発見の割合は、前年18.0%→本年26.9%であった。健診による早期発見が早期治療につながっていると考えられる。

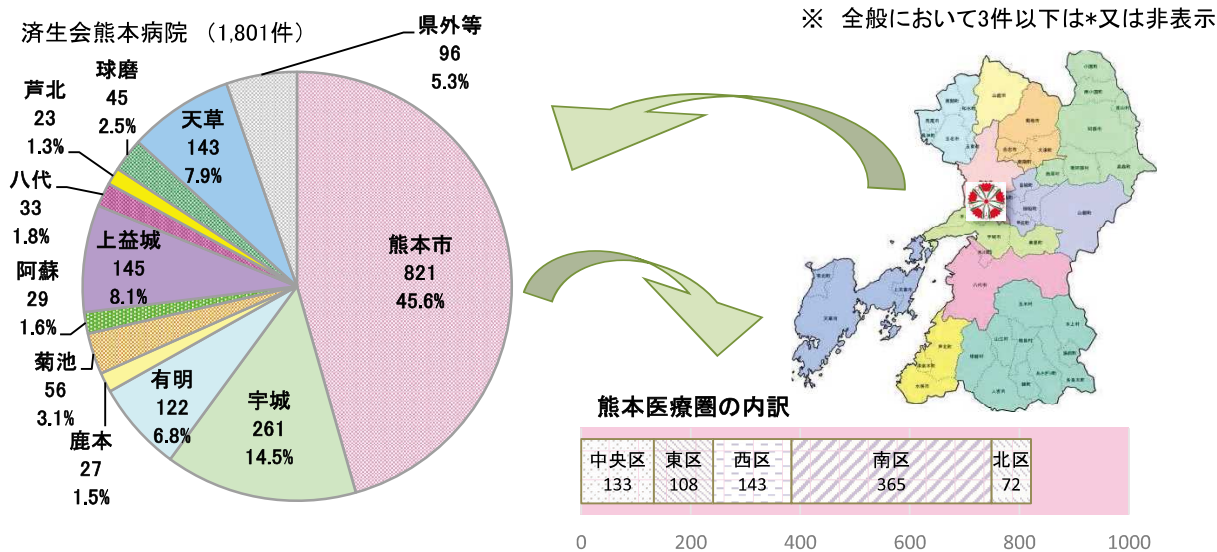
上位5部位以外では、前立腺が21件増加している。当院ではdaVinci含む腹腔鏡手術を多く施行している(前年123→本年149件)。そのため他施設からの紹介による受診が72.2%であり、前年と同様に高い割合を占めている。

なお、上位5部位の割合についての状況は以下の通りである。
 <<前年>>1.肺(16.4%) 2.大腸(15.9%) 3.胃(13.6%) 4.前立腺(13.0%) 5.脳神経(6.2%)
 <<本年>>1.肺・大腸(16.8%) 3.前立腺(14.4%) 4.胃(12.3%) 5.肝(5.6%)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

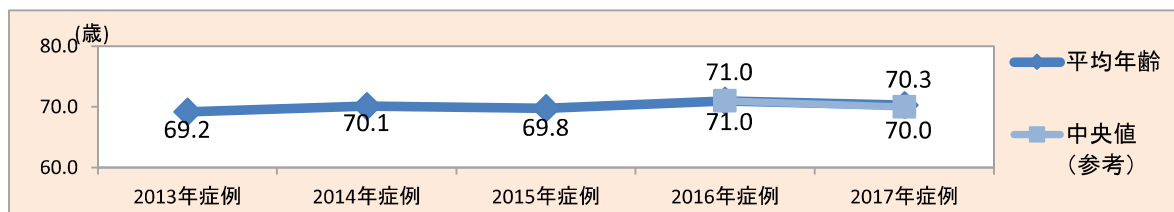


◇ 医療圏別上位部位

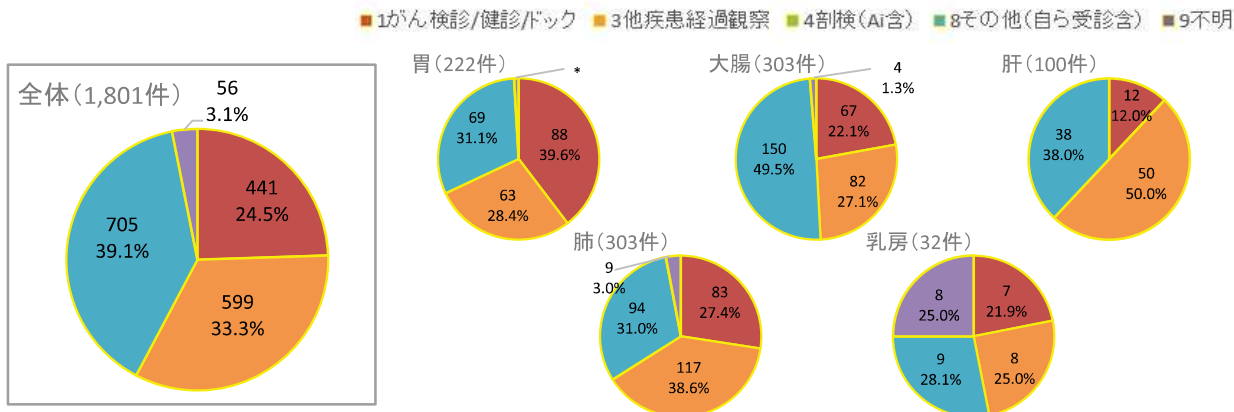
熊本市	大腸	153	熊本	胃	6	上益城	大腸	29	球磨	肺	14
	肺	127		大腸	5		胃	24		その他	8
	前立腺	125		肝	4		肺	21		腓	6
	胃	101		その他	4		前立腺	16		前立腺	5
	その他	92					その他	14		脳神経	4
宇城	大腸	53	菊池	前立腺	14	八代	大腸	6	天草	肺	53
	その他	38		胃	9		肺	5		大腸	17
	肺	35		その他	9		前立腺	5		前立腺	16
	前立腺	33		大腸	5		脳神経	4		その他	14
	胃	26		脳神経	5		その他	4		胃	10
有明	肺	26	阿蘇	その他	10	芦北	前立腺	10	県外等	脳神経	16
	胃	24		胃	4		その他	4		胃	15
	大腸	21		前立腺	4					前立腺	14
	前立腺	16								肺	12
	複数部位	各7								その他	12

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

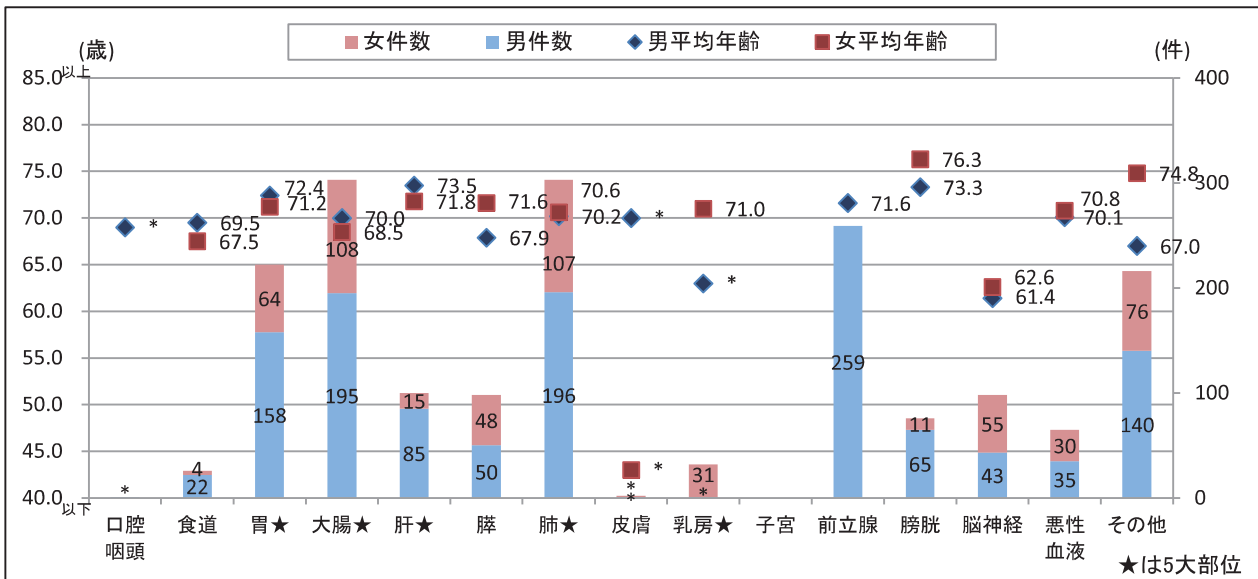
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

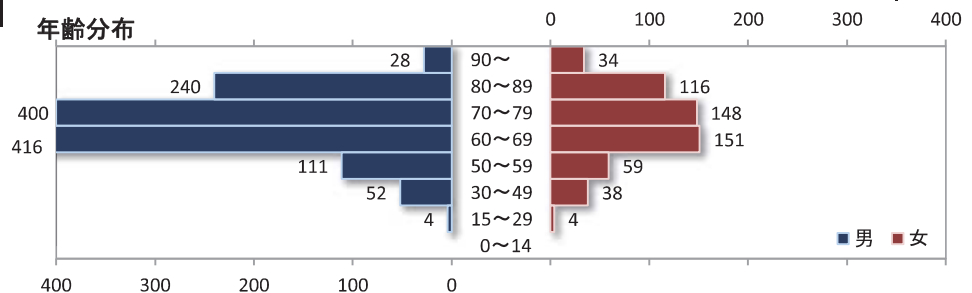


男性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		
前立腺	259		複数部位	*	その他	16	その他	22	
肺	196				脳神経	11	大腸	18	
大腸	195				大腸	9	肺	16	
胃	158				胃	4	前立腺	16	
その他	140				悪性血液	4	膵	9	
肝	85				など		など		
膀胱	65				計	4	計	52	
膵	50								
脳神経	43	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
悪性血液	35	前立腺	101	前立腺	94	前立腺	43	肺	6
食道	22	肺	75	大腸	61	胃	39	前立腺	5
口腔咽頭	*	大腸	67	肺	58	大腸	36	大腸	4
皮膚	*	胃	56	胃	51	肺	36	その他	4
乳房	*	その他	34	その他	39	その他	24	など	
子宮		など		など		など			
計	1,251	計	416	計	400	計	240	計	28



女性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		
大腸	108		複数部位	*	大腸	9	大腸	16	
肺	107				脳神経	7	脳神経	11	
その他	76				肺	6	肺	9	
胃	64				胃	5	その他	7	
脳神経	55				膵	4	など		
膵	48				など				
乳房	31				計	38	計	59	
悪性血液	30								
肝	15	60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
膀胱	11	大腸	36	肺	39	肺	21	その他	13
食道	4	肺	29	大腸	20	大腸	20	大腸	7
皮膚	*	胃	17	胃	19	その他	18	膵	4
口腔咽頭		その他	17	膵	18	胃	16	など	
子宮		など		その他	18	など			
前立腺		計	151	計	148	計	116	計	34
計	550								

年齢分布



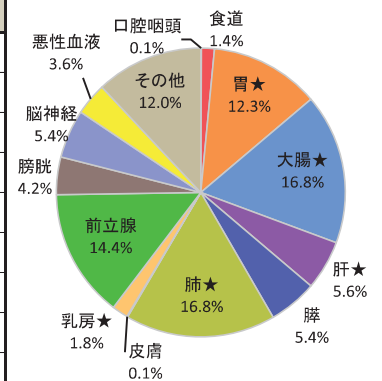
Ⅱ 施設別統計

済生会熊本病院

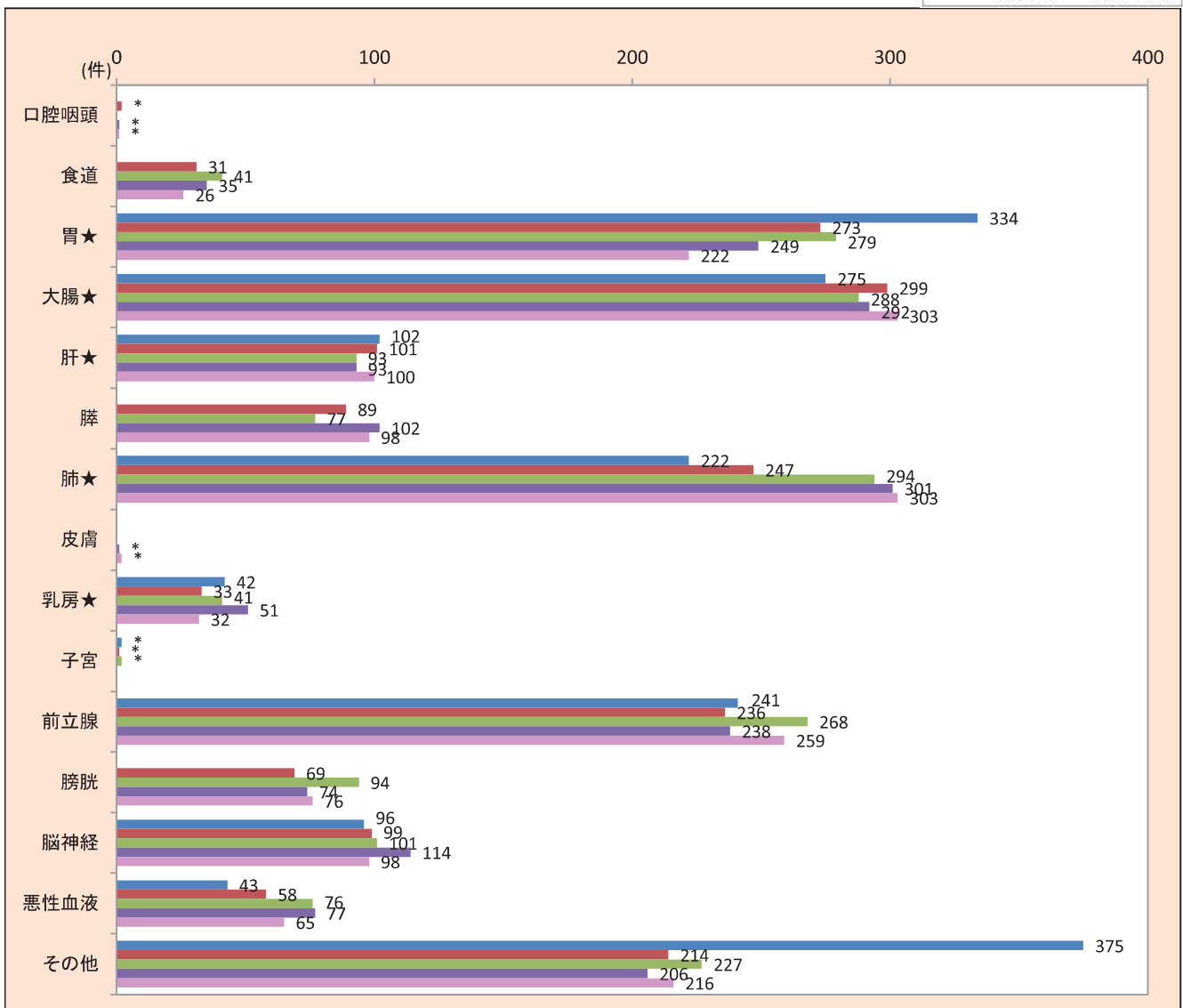
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*		*	*
食道		31	41	35	26
胃★	334	273	279	249	222
大腸★	275	299	288	292	303
肝★	102	101	93	93	100
膵		89	77	102	98
肺★	222	247	294	301	303
皮膚				*	*
乳房★	42	33	41	51	32
子宮	*	*	*		
前立腺	241	236	268	238	259
膀胱		69	94	74	76
脳神経	96	99	101	114	98
悪性血液疾患	43	58	76	77	65
その他	375	214	227	206	216
計	1,732	1,752	1,881	1,834	1,801

2017年診断症例 主要部位別割合



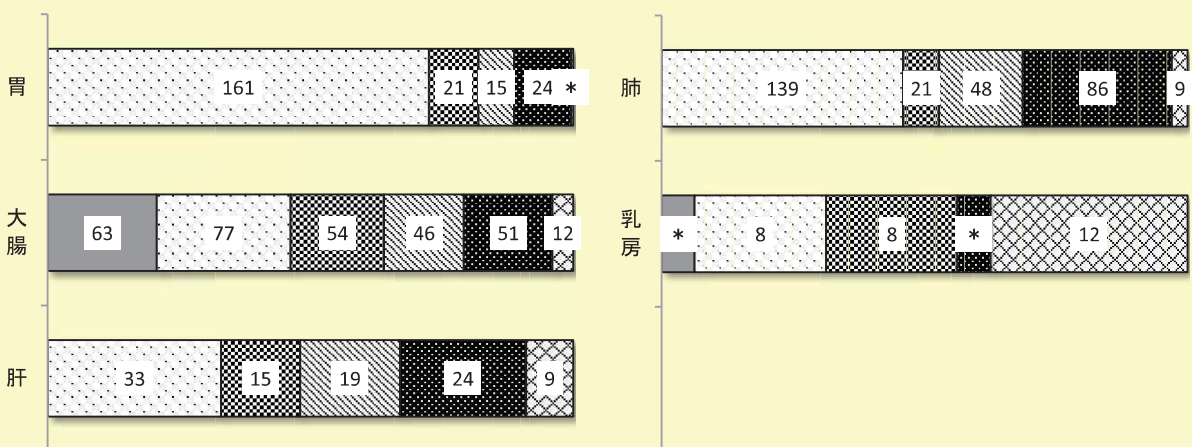
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



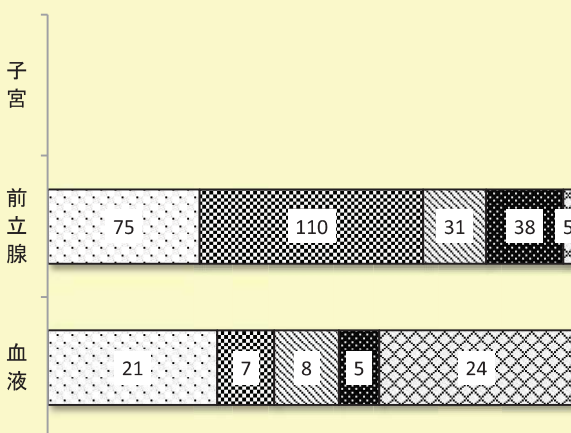
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*						*
食道	26	6	13		*	4	*
胃★	222		161	21	15	24	*
大腸★	303	63	77	54	46	51	12
肝★	100		33	15	19	24	9
膵	98	4	25	29	8	32	
肺★	303		139	21	48	86	9
皮膚	*					*	*
乳房★	32	*	8	8		*	12
子宮	0						
前立腺	259		75	110	31	38	5
膀胱	76	11	41	8	9	4	*
脳神経	98						98
悪性血液疾患	65		21	7	8	5	24
その他	216	5	98	23	23	40	27
計	1,801	91	691	296	208	311	204

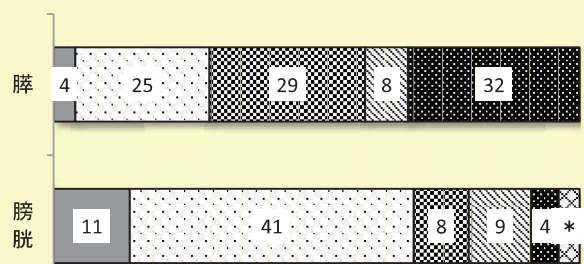
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



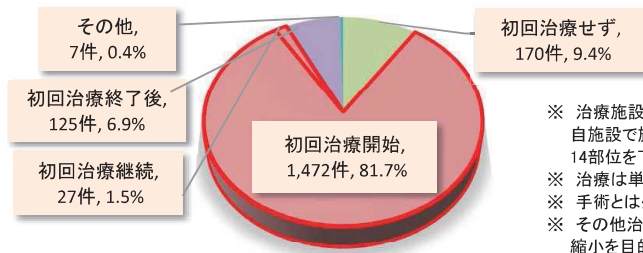
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

済生会熊本病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

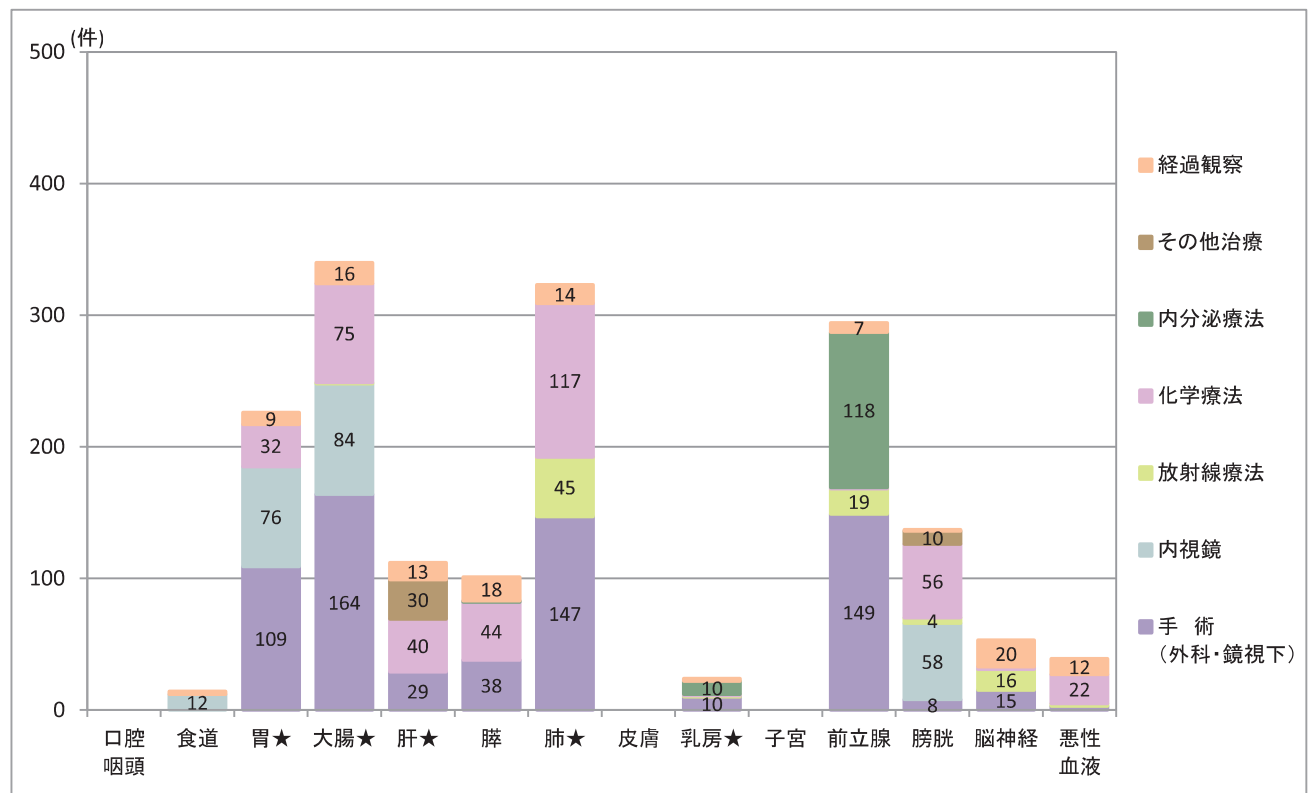
治療施設	件数
1初回治療せず	170
2初回治療開始	1,472
3初回治療継続	27
4初回治療終了後	125
8その他	7
計	1,801



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

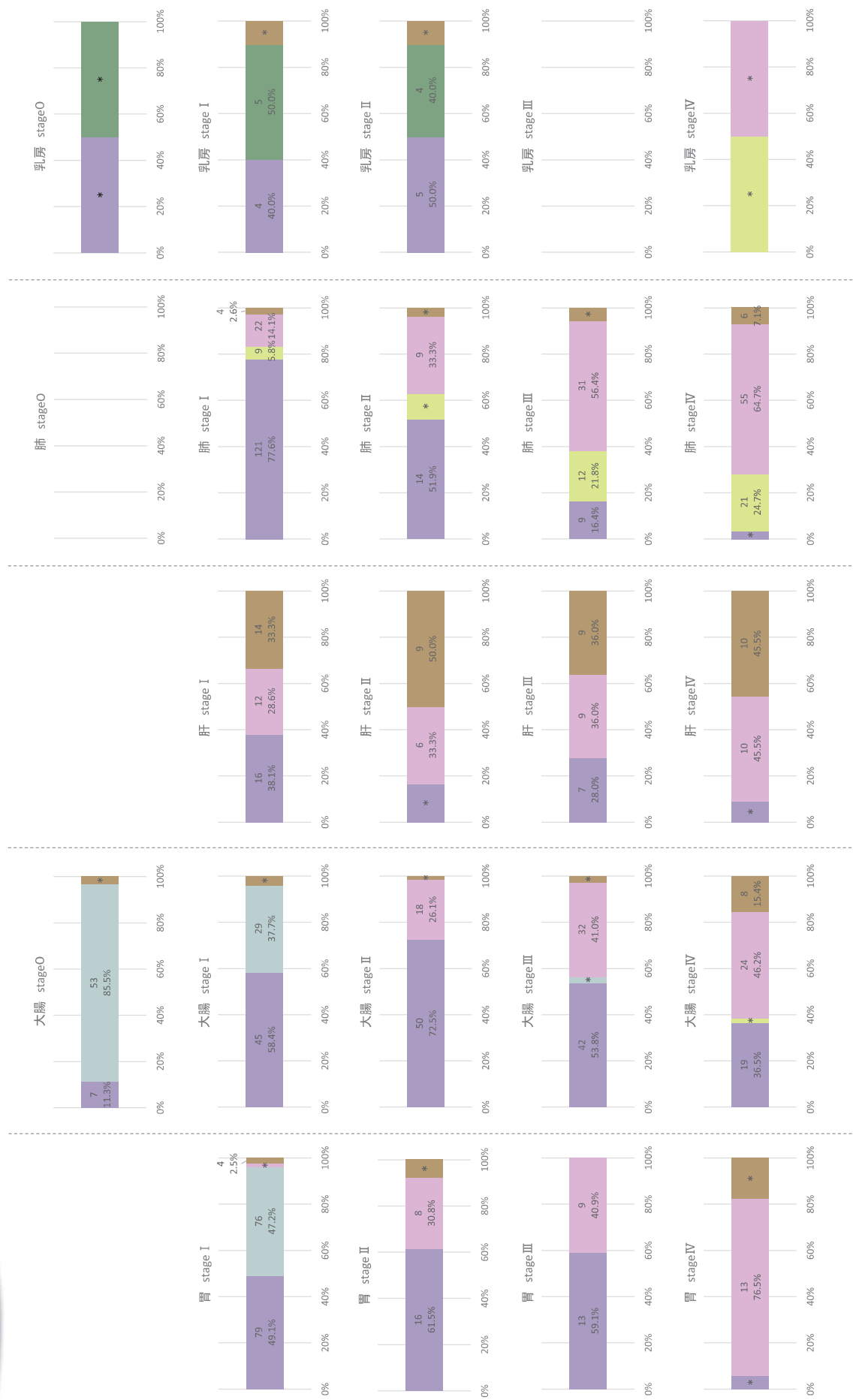
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道		12					*	14	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	109	76		32			9	226	95.5%	4.0%	0.6%
大腸★	164	84	*	75			16	340	91.9%	8.1%	0.0%
肝★	29			40		30	13	112	96.6%	3.4%	0.0%
膵	38			44	*		18	101	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	147		45	117			14	323	98.6%	1.4%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	10		*	*	10		*	24	90.0%	10.0%	0.0%
子宮								0			
前立腺	149		19	*	118		7	294	87.2%	12.8%	0.0%
膀胱	8	58	4	56		10	*	137	27.3%	72.7%	0.0%
脳神経	15		16	*			20	53	93.3%	6.7%	0.0%
悪性血液疾患	*		*	22			12	39	66.7%	33.3%	0.0%
計	672	230	88	390	129	40	114	1,663			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複效に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察を含む)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター
-------	--

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	人吉市老神町35番地
病床数	252床
診療科数	26科
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
がん登録開始基準日	2006.10.01
平均在院日数	10.0 (日)
入院患者数	6,804 (人)
外来患者延数	79,161 (人)
院内がん登録件数	752 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 2 (名)

○医療機関からのコメント

当院は熊本県の南部に位置しており、担当医療圏のみならず、県境の宮崎県・鹿児島県からの受診も多い。がん診療は、手術、化学療法、放射線治療等の集学的治療から緩和ケアまで行える体制を整えている。また、担当医療圏と近県の医療機関からの紹介も多く、治療後は「私のカルテ」を積極的に用いて、地域のがん診療拠点病院としてチーム医療、地域連携の充実に努めている。

【登録件数】

2017年登録件数は752件(男性420件、女性332件)で前年より29件増加。男女比は男性が55.9%(前年52.3%)、女性が44.1%(前年47.7%)と大きな変化はなかった。

【患者住所医療圏】

担当医療圏の割合は78.2%であった。担当診療圏外の割合は21.8%で、その内93%が県外であった。隣接する宮崎県えびの市は全体で4番目、鹿児島県伊佐市は6番目に多い市町村であり、前年と同様の結果となった。

【年齢】

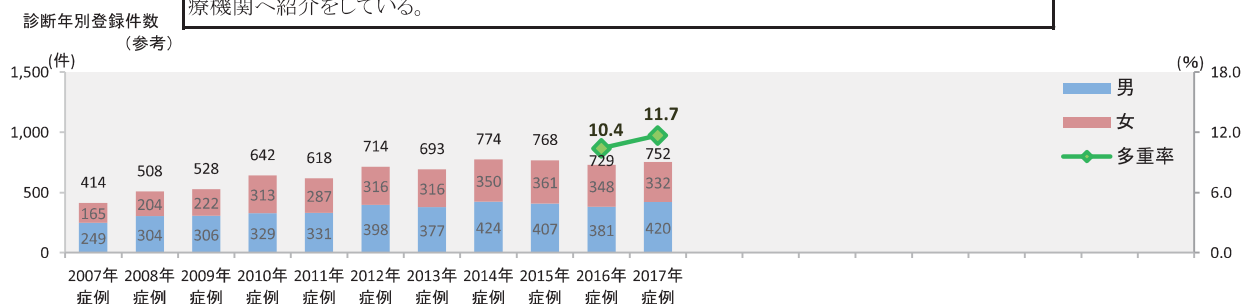
平均年齢は、全体70.0歳(前年70.6歳)、男性73.0歳(前年72.8歳)、女性66.2歳(前年68.1歳)で大きな変動はなかった。

【部位】

登録数の上位5部位は①大腸②乳房③悪性血液④胃⑤肺の順であった。前年と大きな変動はみられなかったが、乳房は前年比36%増であり、順位も5番目から2番目となった。要因の1つとして治療装置の更新のため、2015年末より中止していた放射線治療が2016年7月より再開となった事が考えられた。

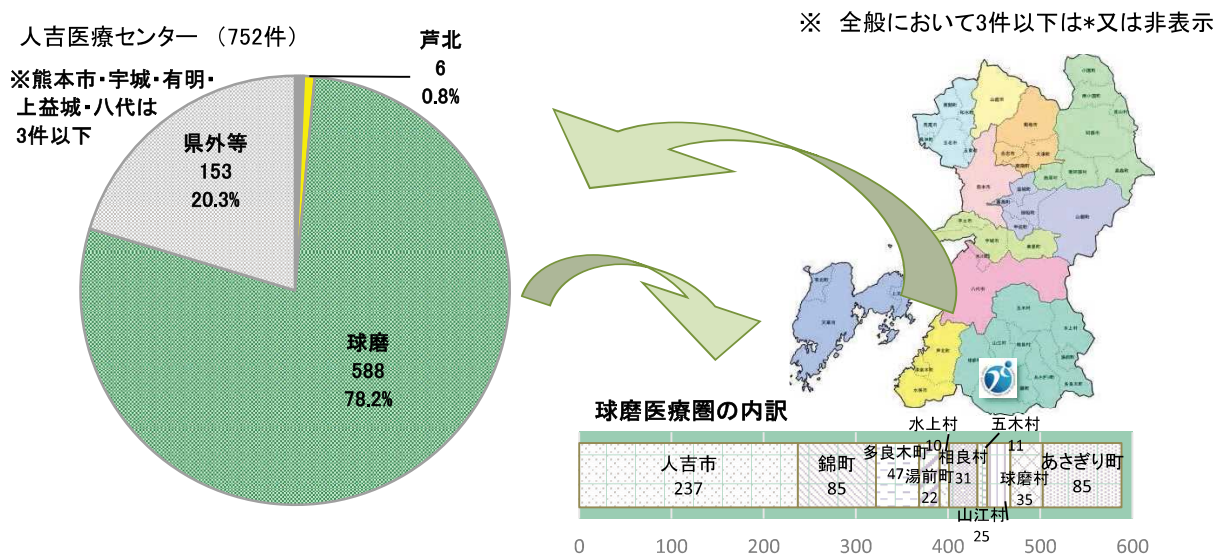
【Stageと治療内容】

全体のStage別割合は0～I期36%、II期13%、III期11%、IV期19%。初回治療の38.5%が手術で内視鏡治療は8.4%、化学療法が25.7%、放射線治療が12.1%であった。手術のうち鏡視下手術の割合は胃61.5%、大腸59.0%であった。再開となった放射線治療は、前年より32件増加していた。2017年より温熱治療装置が導入され、より効果的な集学的治療が可能となった。手術の必要な腎、尿路系のがんについては泌尿器科の医師が非常勤医のみのため、他医療機関へ紹介をしている。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

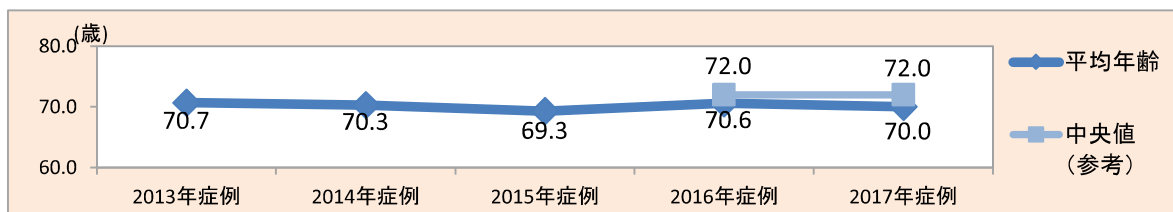


◇ 医療圏別上位部位

医療圏	複数部位	*	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位
熊本市	複数部位	*	鹿本			上益城	複数部位	*	球磨
									大腸
									乳房
									胃
宇城	複数部位	*	菊池			八代	複数部位	*	天草
									その他
									肺
有明	複数部位	*	阿蘇			芦北	複数部位	*	県外等
									悪性血液
									大腸
									胃
								その他	
								子宮	

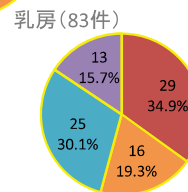
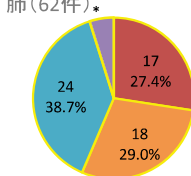
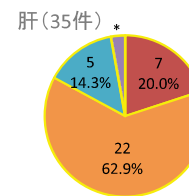
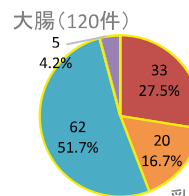
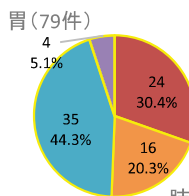
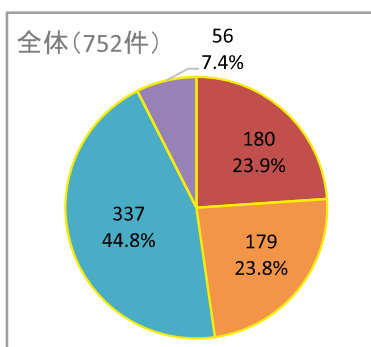
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

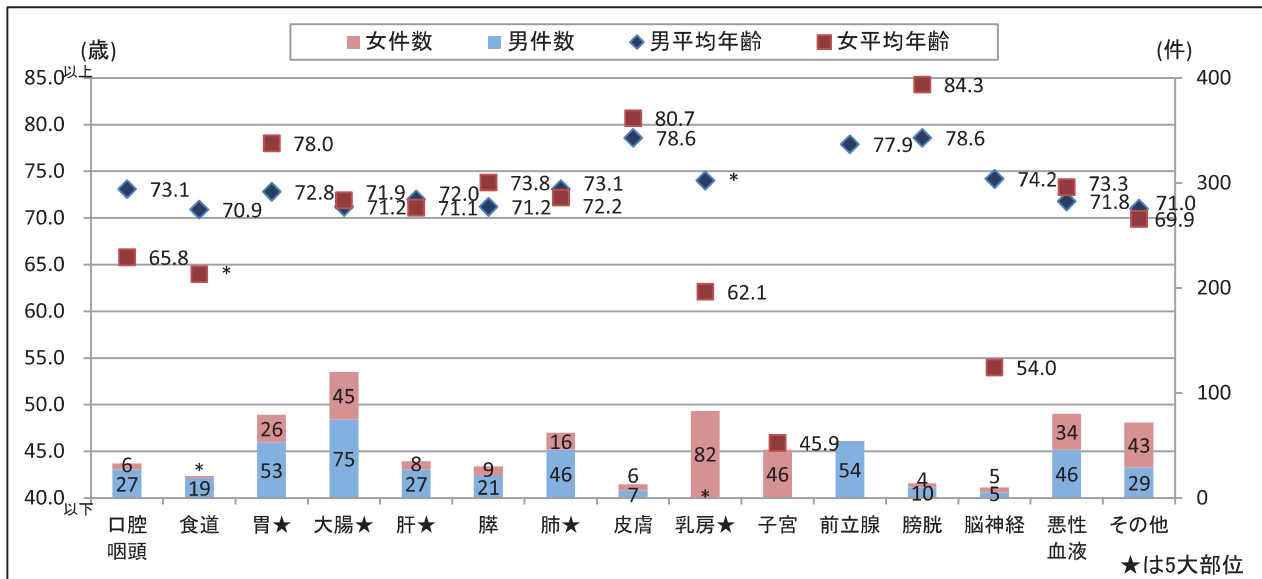


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 2他疾患経過観察 ■ 3剖検(Ai含) ■ 4その他(自ら受診含) ■ 5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

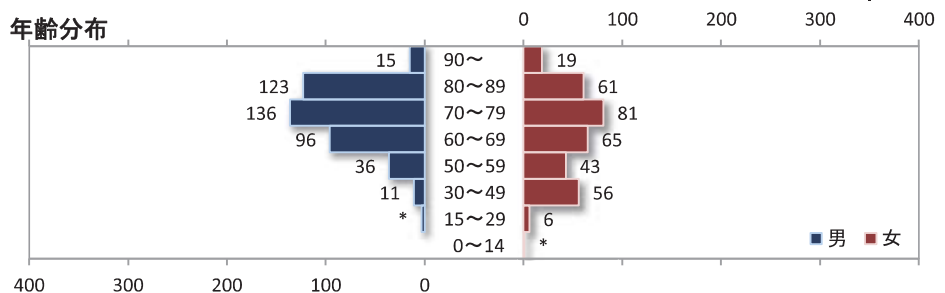


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
大腸	75		複数部位	*	複数部位	*	大腸	14	
前立腺	54						悪性血液	5	
胃	53						肝	4	
肺	46						など		
悪性血液	46								
その他	29								
口腔咽頭	27		計	*	計	11	計	36	
肝	27	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
膵	21	大腸	21	前立腺	24	大腸	21	複数部位	*
食道	19	胃	15	胃	22	前立腺	21		
膀胱	10	肺	13	肺	18	胃	13		
皮膚	7	その他	8	悪性血液	18	肺	13		
脳神経	5	など		大腸	14	悪性血液	12		
乳房	*			など		など			
子宮		計	96	計	136	計	123	計	15
計	420								



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
乳房	82	複数部位	*	子宮	5	子宮	25	乳房	18
子宮	46			など		乳房	18	大腸	6
大腸	45					その他	7	子宮	6
その他	43					など		悪性血液	4
悪性血液	34							その他	4
胃	26							など	
肺	16	計	*	計	6	計	56	計	43
膵	9	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
肝	8	乳房	18	乳房	21	大腸	11	大腸	5
口腔咽頭	6	大腸	12	胃	12	悪性血液	10	その他	5
皮膚	6	悪性血液	7	悪性血液	10	その他	10	など	
脳神経	5	その他	7	大腸	9	胃	8		
膀胱	4	子宮	6	その他	9	乳房	5		
食道	*	など		など		など			
前立腺		計	65	計	81	計	61	計	19
計	332								

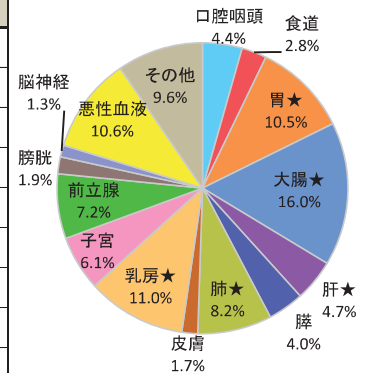
年齢分布



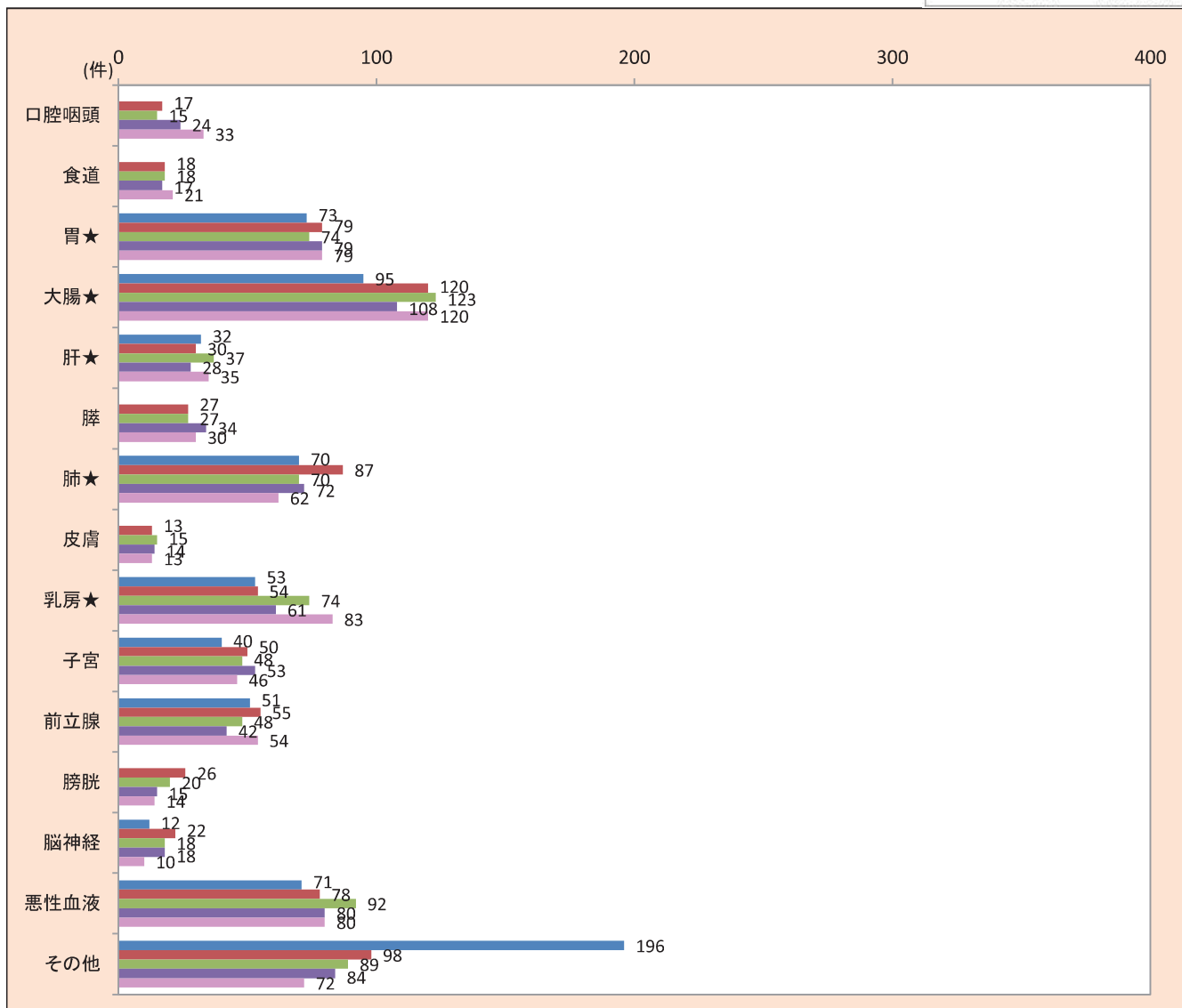
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		17	15	24	33
食道		18	18	17	21
胃★	73	79	74	79	79
大腸★	95	120	123	108	120
肝★	32	30	37	28	35
膵		27	27	34	30
肺★	70	87	70	72	62
皮膚		13	15	14	13
乳房★	53	54	74	61	83
子宮	40	50	48	53	46
前立腺	51	55	48	42	54
膀胱		26	20	15	14
脳神経	12	22	18	18	10
悪性血液疾患	71	78	92	80	80
その他	196	98	89	84	72
計	693	774	768	729	752

2017年診断症例 主要部位別割合



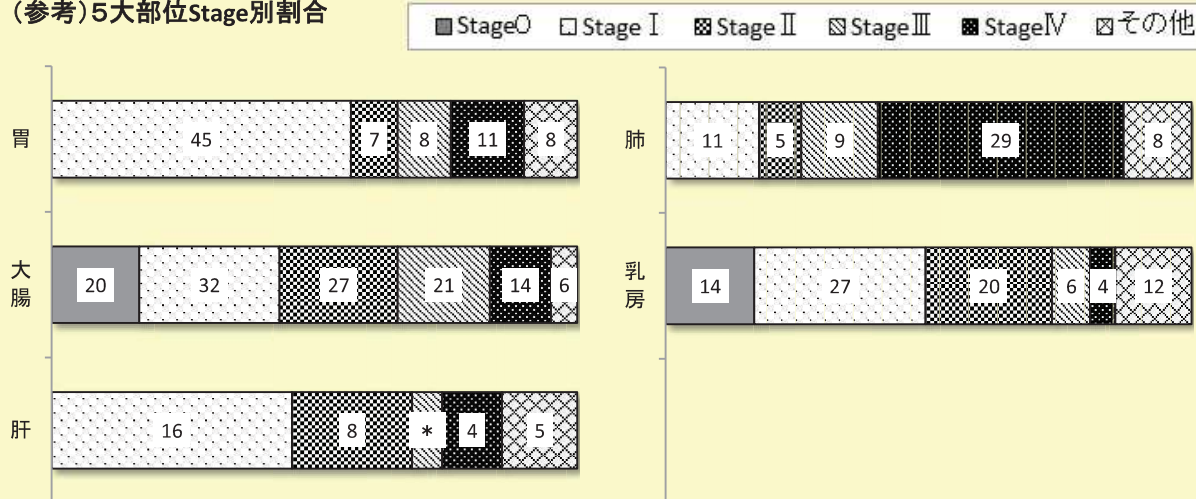
※大腸は結腸と直腸
※子宮は子宮頸部と体部
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



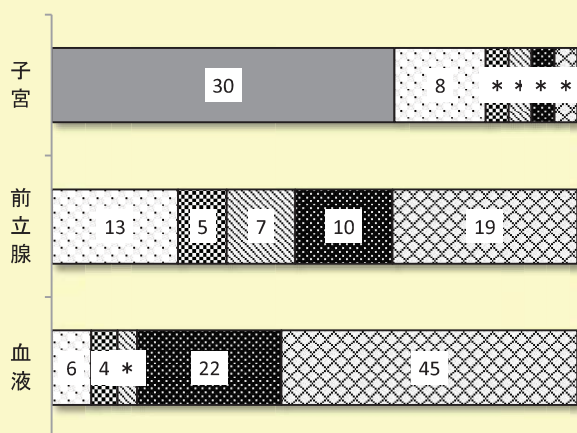
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	33		8	6	4	9	6
食道	21	*	8	*	6	*	*
胃★	79		45	7	8	11	8
大腸★	120	20	32	27	21	14	6
肝★	35		16	8	*	4	5
膵	30	*	*	7	*	15	4
肺★	62		11	5	9	29	8
皮膚	13	*	10				
乳房★	83	14	27	20	6	4	12
子宮	46	30	8	*	*	*	*
前立腺	54		13	5	7	10	19
膀胱	14	*	*		*	*	9
脳神経	10						10
悪性血液疾患	80		6	4	*	22	45
その他	72	*	14	5	9	17	26
計	752	71	200	97	81	141	162

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合

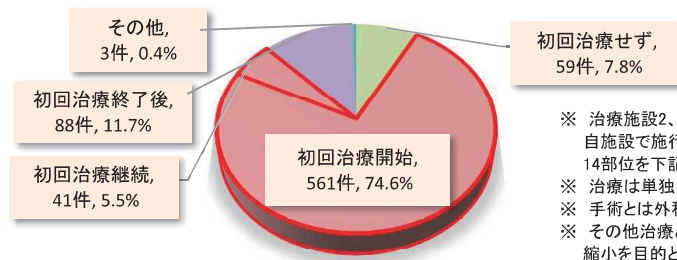
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

人吉医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

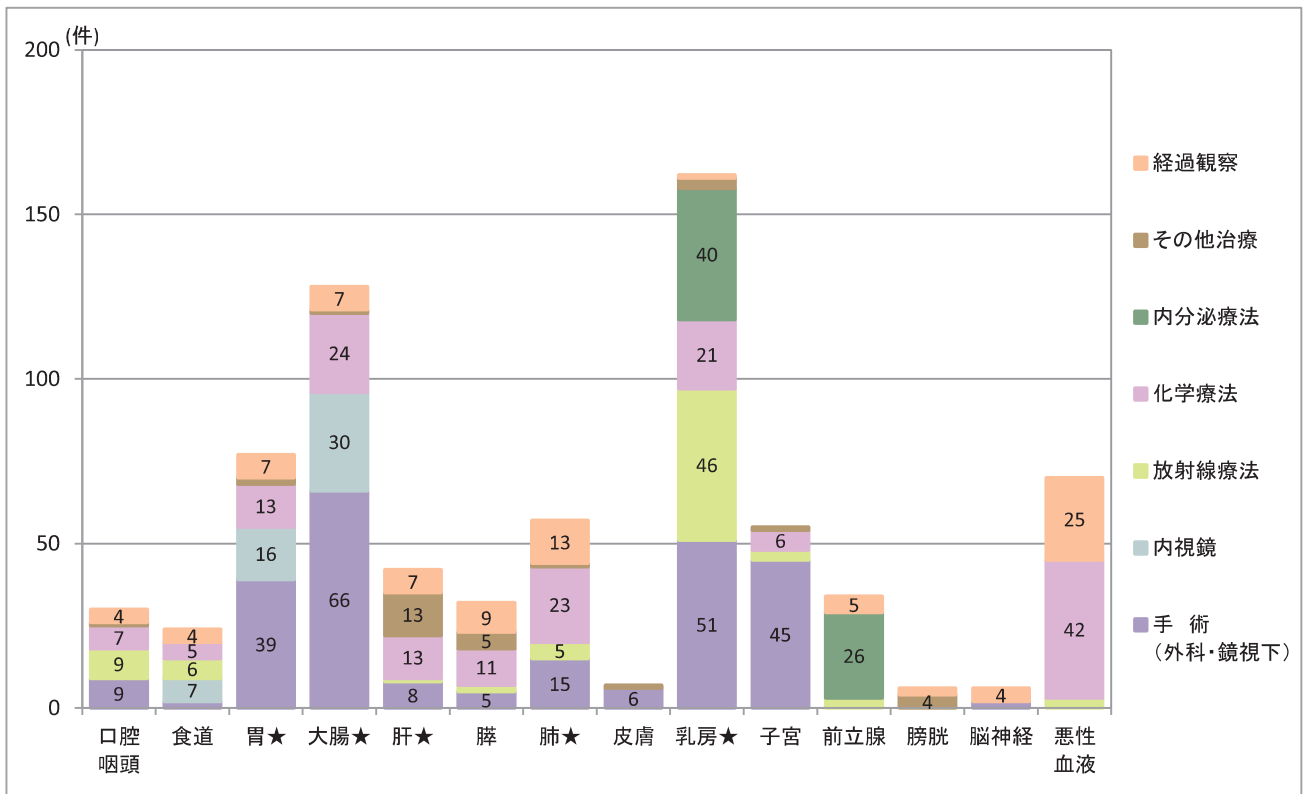
治療施設	件数
1初回治療せず	59
2初回治療開始	561
3初回治療継続	41
4初回治療終了後	88
8その他	3
計	752



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

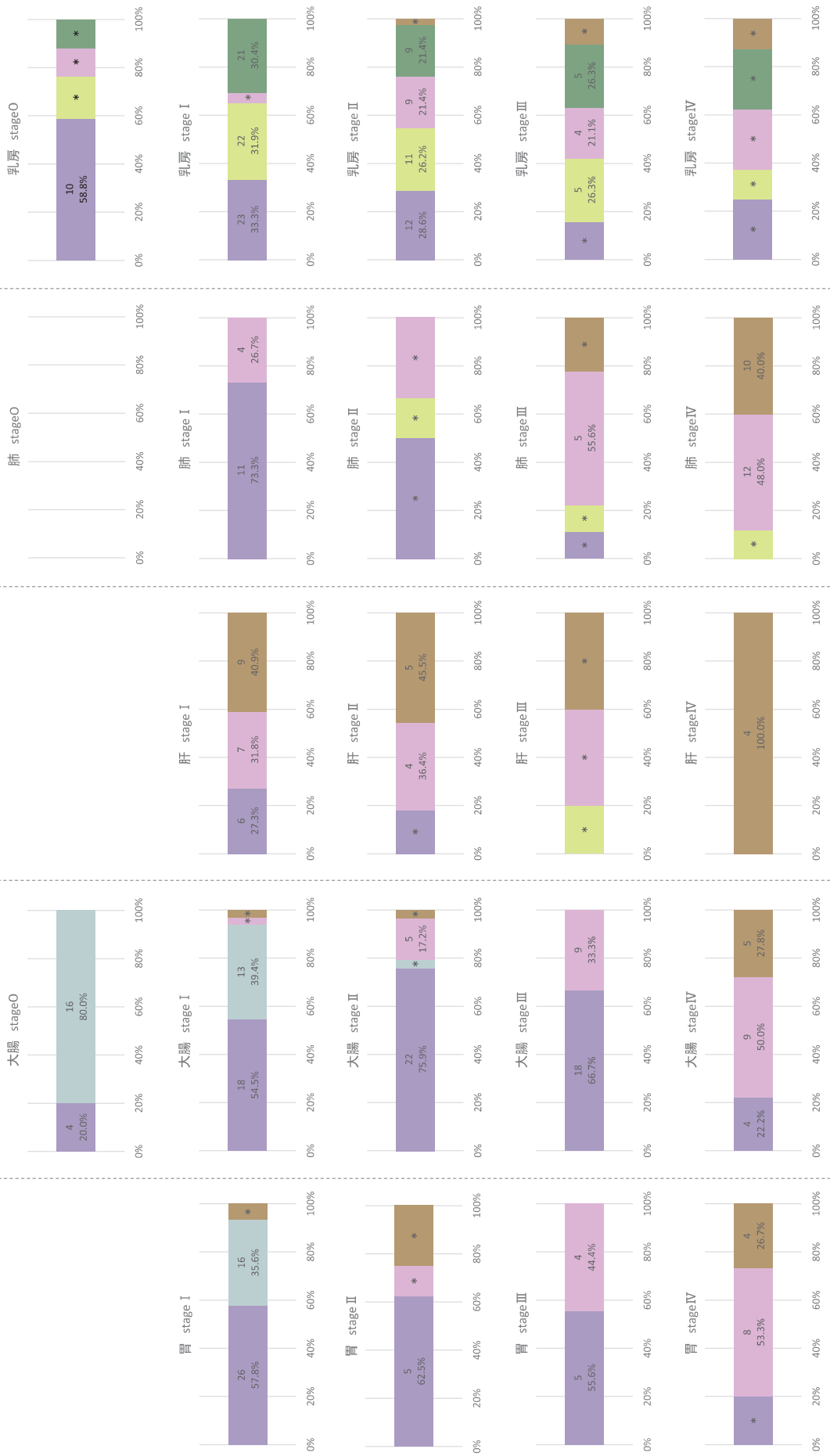
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	9		9	7		*	4	30	100.0%	0.0%	0.0%
食道	*	7	6	5			4	24	88.9%	0.0%	11.1%
胃★	39	16		13		*	7	77	94.4%	5.6%	0.0%
大腸★	66	30		24		*	7	128	97.8%	2.2%	0.0%
肝★	8		*	13		13	7	42	87.5%	12.5%	0.0%
膵	5		*	11		5	9	32	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	15		5	23		*	13	57	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	6					*		7	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	51		46	21	40	*	*	162	86.3%	7.8%	5.9%
子宮	45		*	6		*		55	93.3%	4.4%	2.2%
前立腺			*		26		5	34			
膀胱						4	*	6			
脳神経	*						4	6	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患			*	42			25	70			
計	248	53	78	165	66	32	88	730			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療に、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察含)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター
-------	--

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	天草市亀場町食場854番1
病床数	210床
診療科数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	15.2 (日)
入院患者数	4,493 (人)
外来患者延数	54,586 (人)
院内がん登録件数	439 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数】2017年登録件数は439件(前年428件)とやや増加。男女比は男性290件(66%)、女性149件(34%)。男性では1位:大腸癌(64)、2位:胃癌(60)、3位:前立腺癌(39)、女性では1位:大腸癌(38)、2位:乳癌(21)、3位:胃癌(16)であった。

【年齢・性別】平均年齢73.0才であり2016年73.0才、2015年73.0才と高齢化傾向は変わらない。70才台が131件、80才台が126件となっており、70才台以上で全体の59%を占める。

【地域】登録症例439件中434件(98.9%)が天草二次医療圏となっている。

【発見経緯】5大癌におけるがん検診・健康診断・人間ドックは大腸(21%)、乳房(38%)、肺(14%)、胃(18%)、肝(0%)。乳癌(27%→38%)と増加。

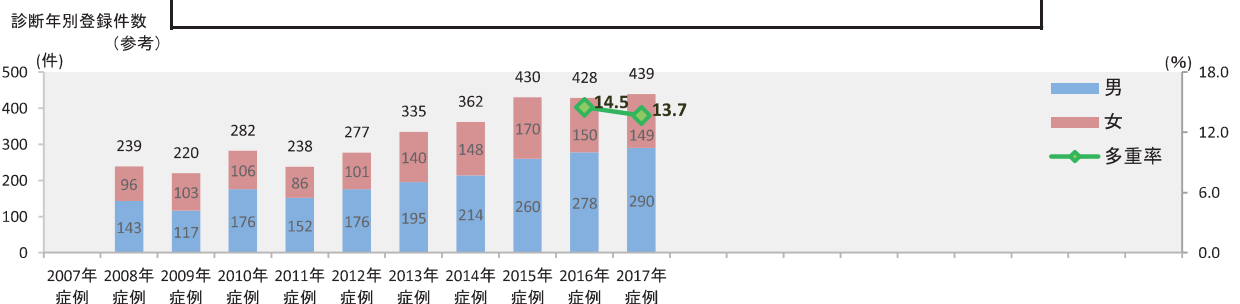
【部位】5大癌は266件(60.6%)、2016年は263件(61.4%)。登録件数は大腸癌(102件)、胃癌(76件)、肺癌(42件)、肝癌(25件)、乳癌(21件)の順であった。呼吸器内科医の常勤化により今後、肺癌の検査・診断・治療件数の増加が予想される。

【病期】登録症例全体ではStage I が33.0%。胃癌ではStage I 期(58%)、II 期(7%)、III 期(12%)、IV 期(12%)と早期発見の割合が高いが、大腸癌においてはpStage 0 期(27%)、I 期(14%)、II 期(19%)、III 期(17%)、IV 期(5%)と差は認められない。

【治療】当院を受診する5大部位癌の治療において、手術、化学療法、内視鏡的治療、体腔鏡治療などは、ほぼ自施設において治療を行っているが放射線治療が必要な場合は、放射線照射可能施設へ紹介を行っている。血液、リンパ系の悪性症例は、専門医不在のため他院(主に熊本市内)へ紹介を行っている。

◆2014年8月よりスタートした『天草メディカルネット』は2018年11月現在、利用13,700人となっており、ICT医療連携による天草医療圏全体の医療水準の底上げや、地域医療再生の一助となるよう機能の充実を進めています。今後「くまもとメディカルネットワーク」の利用推進なども並行して進めていく予定です。

◆平成28年9月より毎月開催しているがんサロンは、がん医療に対する情報交換、患者仲間であらぐ空間の提供、患者家族の不安や孤立化の緩和などできるよう機能充実に努めています。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

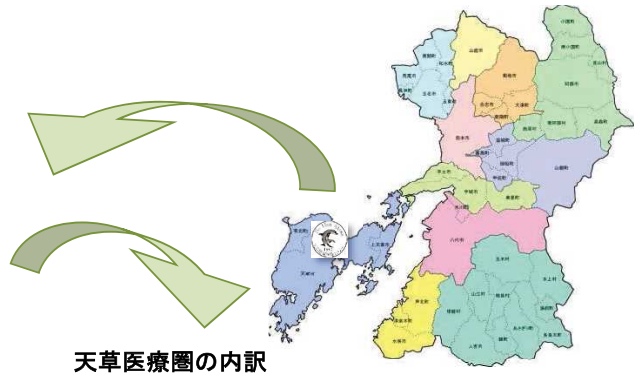
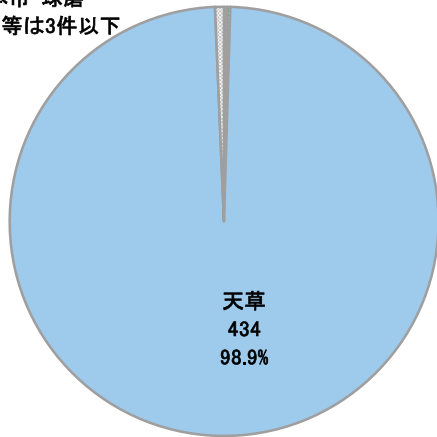
II 施設別統計

天草地域医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

天草地域医療センター (439件)
※熊本市・球磨・
県外等は3件以下

※ 全般において3件以下は*又は非表示

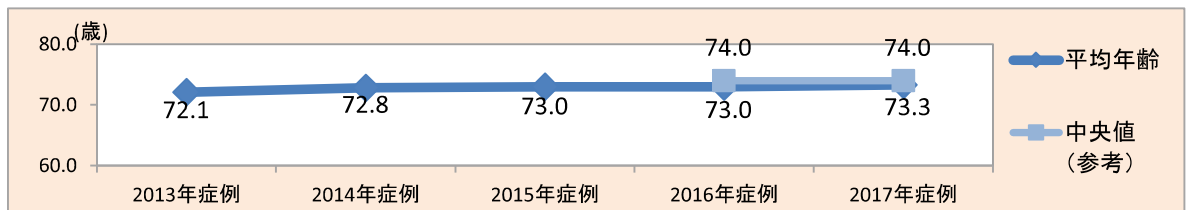


◇ 医療圏別上位部位

医療圏	複数部位	*	医療圏	複数部位	*
熊本市			鹿本		
宇城			菊池		
有明			阿蘇		
			上益城		
			八代		
			芦北		
			球磨		
			天草	大腸	101
				胃	74
				その他	52
				肺	42
				前立腺	39
			県外等	複数部位	*

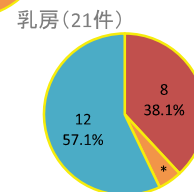
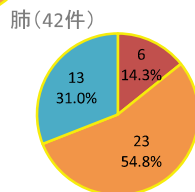
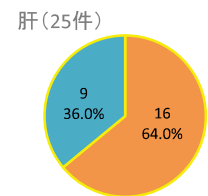
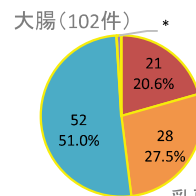
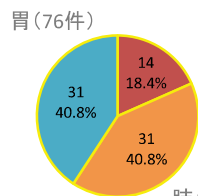
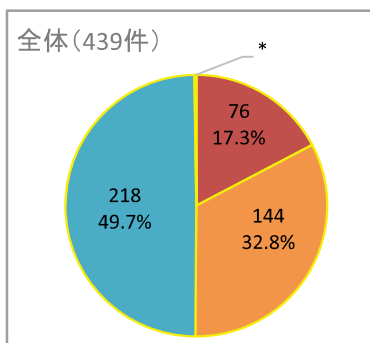
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

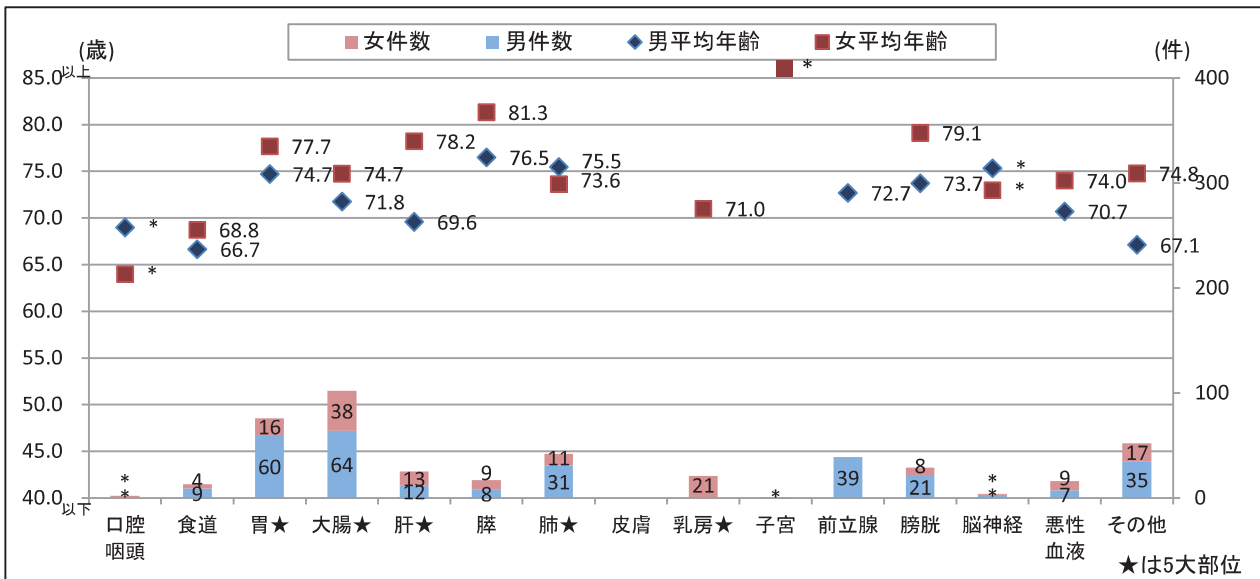


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■1がん検診/健診/ドック ■2他疾患経過観察 ■3剖検(Ai含) ■4その他(自ら受診含) ■5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
大腸	64				複数部位	*	大腸	6
胃	60						胃	4
前立腺	39						など	
其他	35							
肺	31							
膀胱	21							
肝	12							
食道	9							
膵	8							
悪性血液	7							
脳神経	*							
口腔咽頭	*							
皮膚								
乳房								
子宮								
計	290							

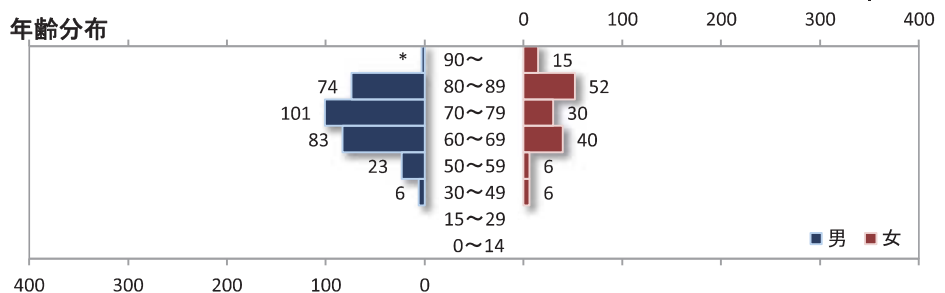
	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
大腸	21	24	胃	20	複数部位	*		
胃	14	20	大腸	13				
前立腺	14	12	前立腺	12				
其他	14	など	肺	11				
肺	6		其他	4				
など			など					
計	83	101	計	74	計	*		



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
大腸	38				複数部位	*	複数部位	*
乳房	21							
其他	17							
胃	16							
肝	13							
肺	11							
膵	9							
悪性血液	9							
膀胱	8							
食道	4							
口腔咽頭	*							
子宮	*							
脳神経	*							
皮膚								
前立腺								
計	149							

	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
大腸	12	6	大腸	13	大腸	4		
乳房	6	5	胃	6	など			
胃	5	4	其他	6				
肺	4	4	肺	6				
など			乳房	4	など			
計	40	30	計	52	計	15		

年齢分布



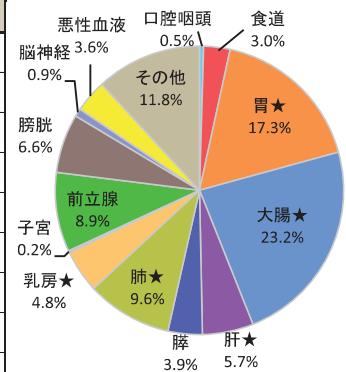
II 施設別統計

天草地域医療センター

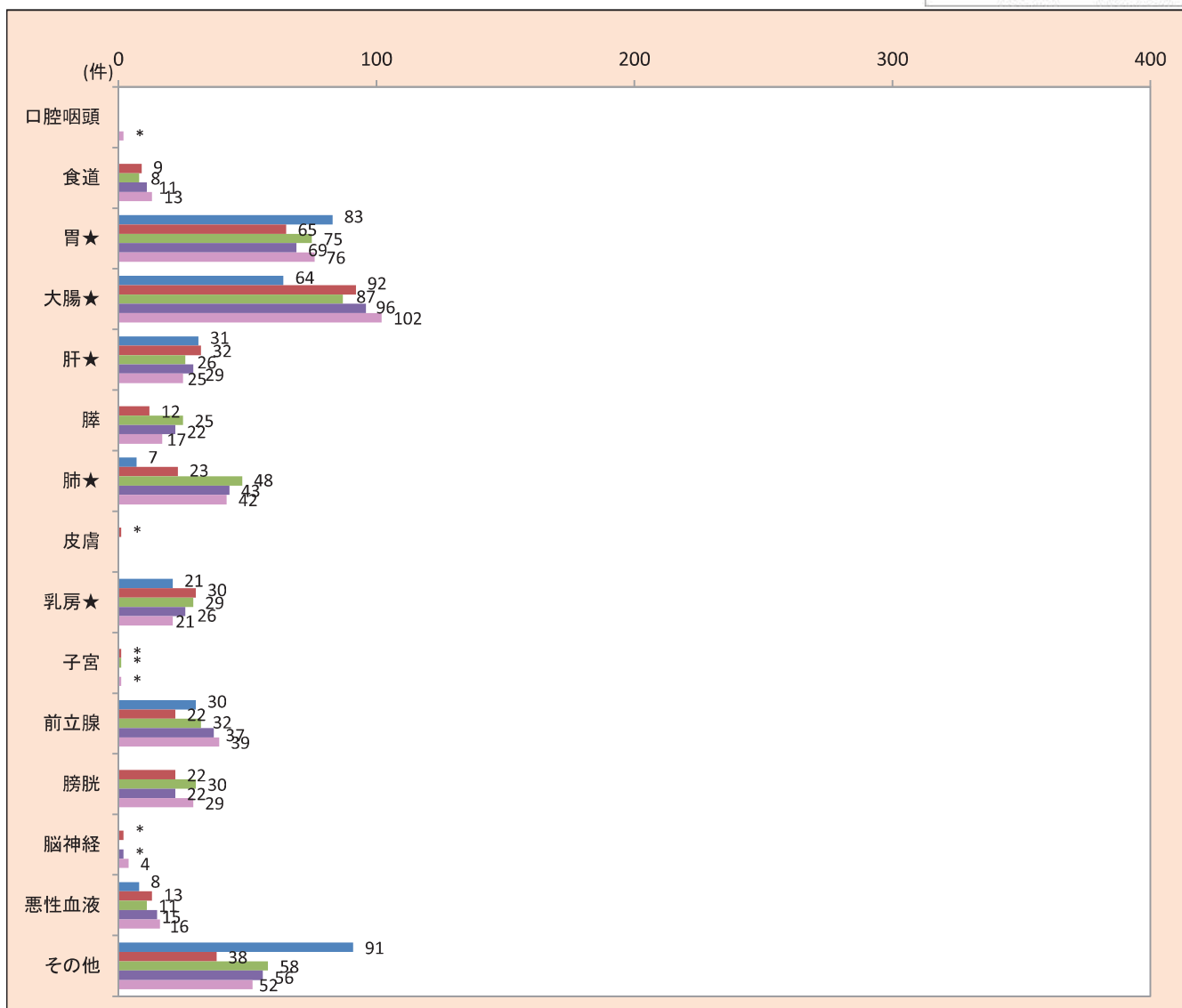
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭					*
食道		9	8	11	13
胃★	83	65	75	69	76
大腸★	64	92	87	96	102
肝★	31	32	26	29	25
膵		12	25	22	17
肺★	7	23	48	43	42
皮膚		*			
乳房★	21	30	29	26	21
子宮		*	*		*
前立腺	30	22	32	37	39
膀胱		22	30	22	29
脳神経		*		*	4
悪性血液疾患	8	13	11	15	16
その他	91	38	58	56	52
計	335	362	430	428	439

2017年診断症例 主要部位別割合



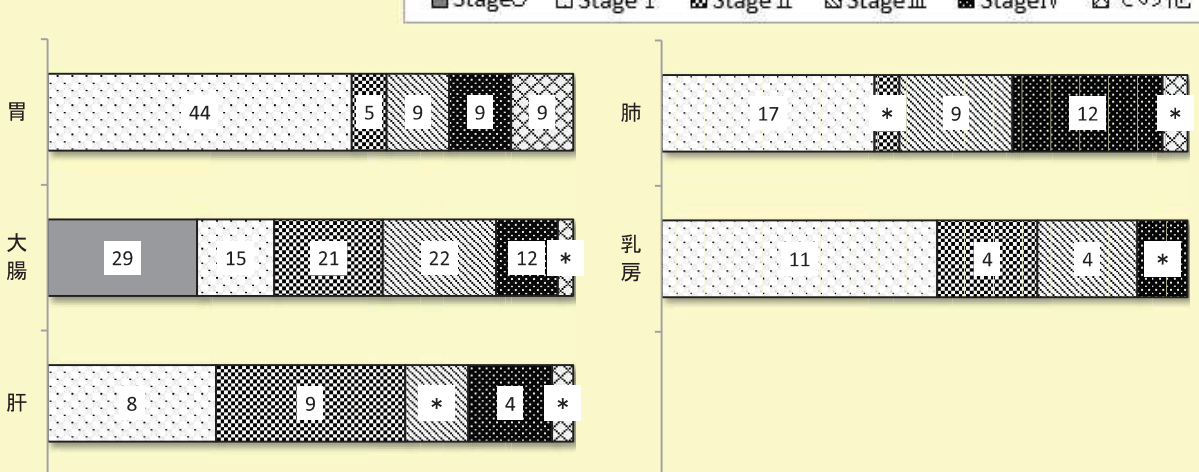
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



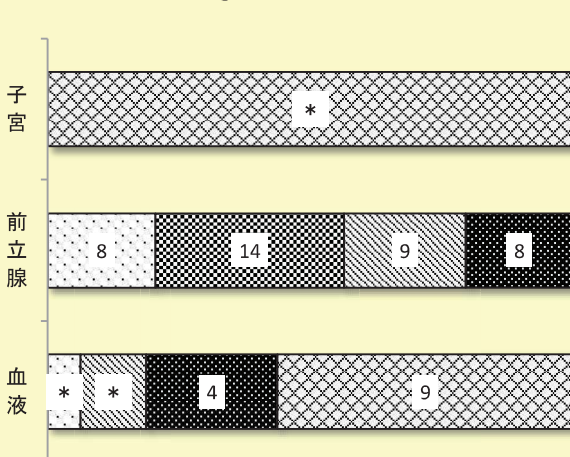
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*		*			*	
食道	13	*	6	*	*	*	*
胃★	76		44	5	9	9	9
大腸★	102	29	15	21	22	12	*
肝★	25		8	9	*	4	*
膵	17		*	*	*	9	*
肺★	42		17	*	9	12	*
皮膚	0						
乳房★	21		11	4	4	*	
子宮	*						*
前立腺	39		8	14	9	8	
膀胱	29	13	12	4			
脳神経	4						4
悪性血液疾患	16		*		*	4	9
その他	52	4	23	4	6	11	4
計	439	49	147	67	68	73	35

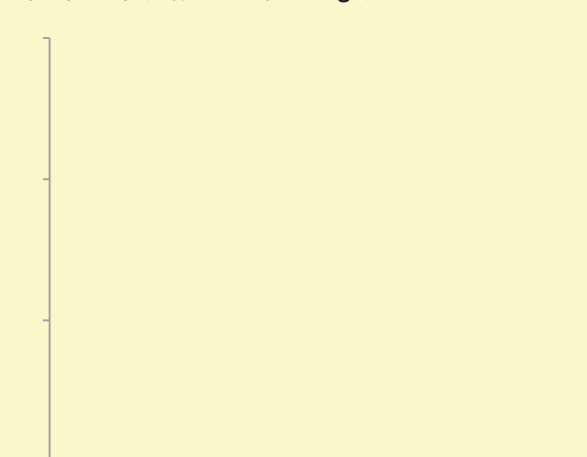
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



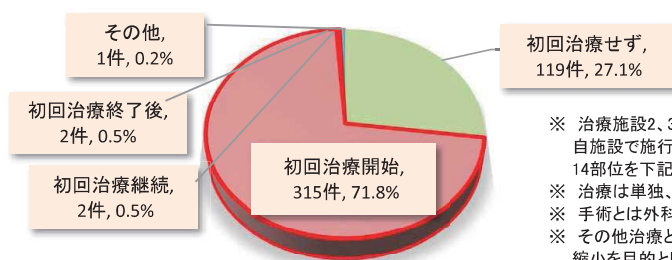
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

天草地域医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

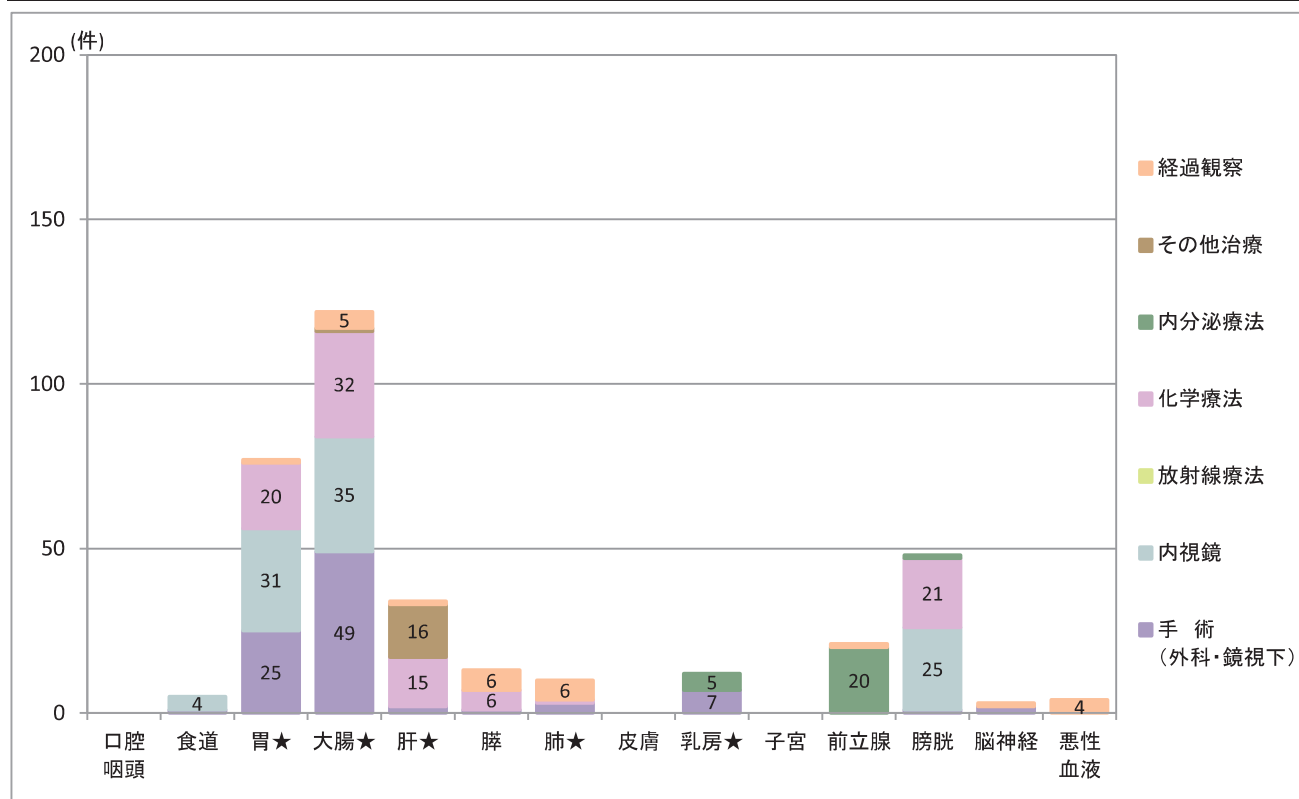
治療施設	件数
1初回治療せず	119
2初回治療開始	315
3初回治療継続	2
4初回治療終了後	2
8その他	1
計	439



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

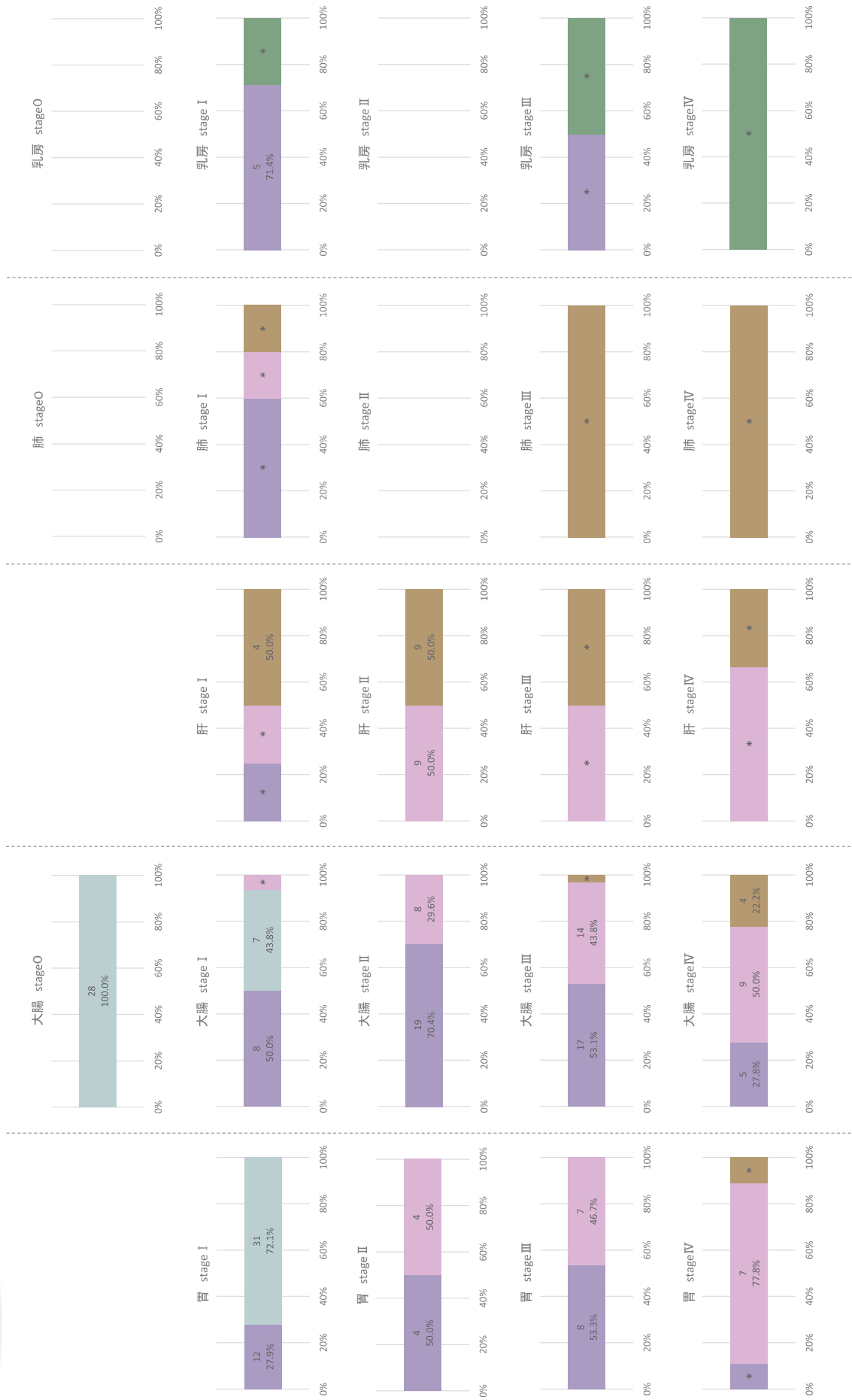
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道	*	4						5	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	25	31		20			*	77	98.2%	1.8%	0.0%
大腸★	49	35		32		*	5	122	98.8%	1.2%	0.0%
肝★	*			15		16	*	34	100.0%	0.0%	0.0%
膵	*			6			6	13	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	*			*			6	10	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	7				5			12	100.0%	0.0%	0.0%
子宮								0			
前立腺					20		*	21			
膀胱	*	25		21	*			48	100.0%	0.0%	0.0%
脳神経	*						*	*	50.0%	50.0%	0.0%
悪性血液疾患							4	4			
計	91	95	0	95	26	17	25	349			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUIC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察を含む)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
-------	---	------------------------------

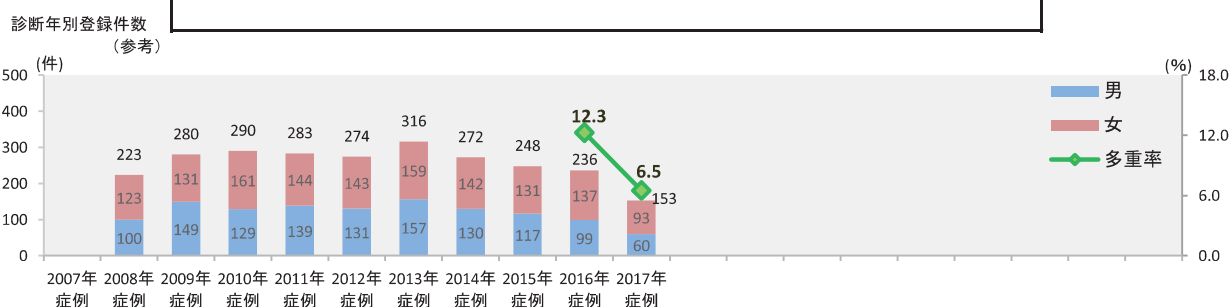
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	天草市東町101番地
病床数	155床
診療科数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.01.01
平均在院日数	17.4 (日)
入院患者数	2,524 (人)
外来患者延数	57,003 (人)
院内がん登録件数	153 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

【登録件数】 2017年登録件数は153件で前年減少となった。
 【性別】 男性60件(39%)、女性93件(61%)で女性が22%多い。
 【年齢】 平均年齢69.7歳(前年度72.3歳)、男性平均71.2歳(前年度73.6歳)、女性平均67.0歳(前年度66.8歳)、70歳以上の割合は47.8%である。
 【部位別症例件数と平均年齢(上位5部位)】
 1.乳癌(43件、63.7歳) 2.皮膚癌(18件、82.9歳) 3.大腸(16件、68.4歳)
 4.胃癌(14件、68.0歳) 4.肺癌(14件、71.7歳)
 前年度と同様、乳癌が多かった。
 【男女別症例件数と平均年齢(上位5部位)】
 男性
 1.肺癌(13件、70.8歳) 2.胃癌(10件、68.5歳) 2.大腸癌(10件、69.1歳)
 4.皮膚癌(7件、82.9歳) 5.悪性血液(5件、75.2歳)
 女性
 1.乳癌(42件、64.2歳) 2.子宮癌(13件、53.2歳) 3.皮膚癌(11件、82.9歳)
 3.大腸癌(6件、67.2歳) 5.悪性血液(5件、68.4歳)
 【医療圏】 153件中151件(99%)が天草医療圏在住の患者である。
 【当院の特徴】
 当院は医師・緩和ケア認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師・がん放射線看護認定看護師・がん専門相談員・薬剤師・管理栄養士・理学・作業療法士等によるチーム医療に取り組む、また、私のカルテによる連携、がんサロンの開催やがん患者・家族会のサポート等、地域においてがん患者が安心して治療を受けられるよう支援している。

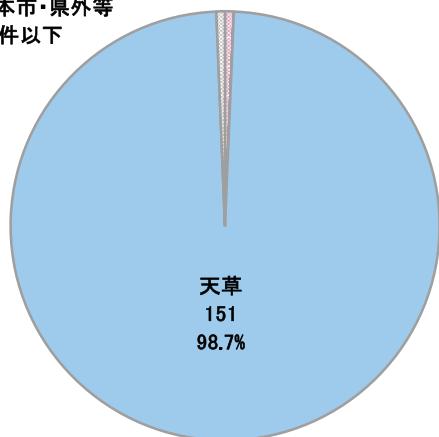


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

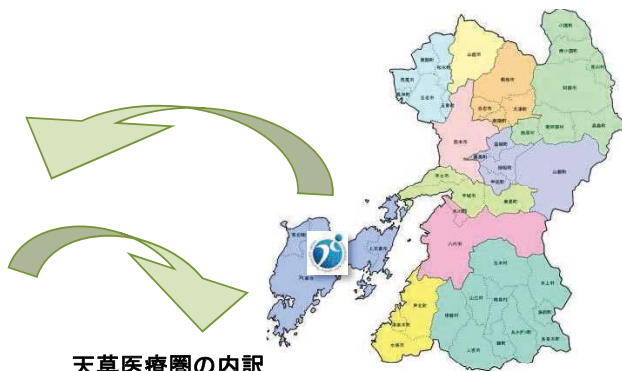
① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

天草中央総合病院 (153件)

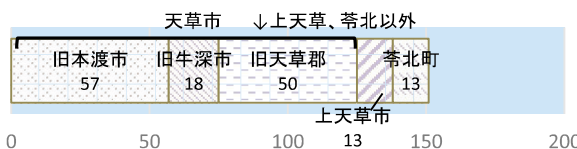
※熊本市・県外等は3件以下



※ 全般において3件以下は*又は非表示



天草医療圏の内訳

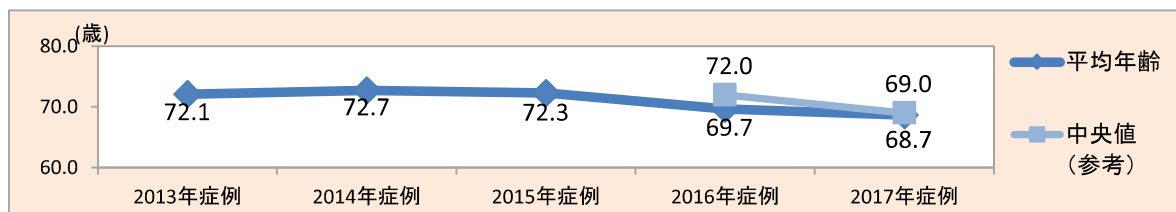


◇ 医療圏別上位部位

医療圏	複数部位	*	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位	上位部位
熊本市			鹿本			上益城			球磨
宇城			菊池			八代			天草
有明			阿蘇			芦北			県外等
									乳房
									皮膚
									大腸
									胃
									肺
									複数部位
									*

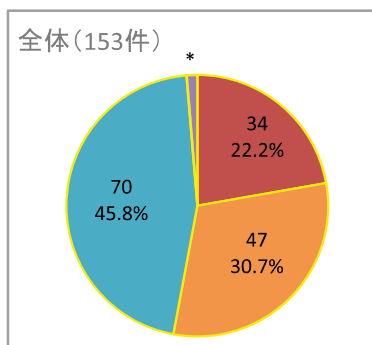
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

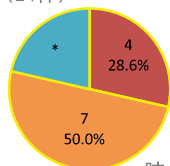


③ 発見経緯 5大部位の内訳

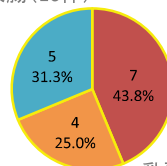
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



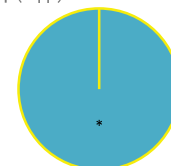
胃(14件)



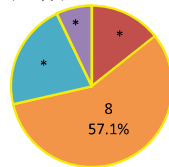
大腸(16件)



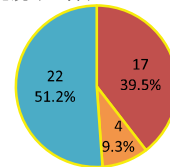
肝(*件)



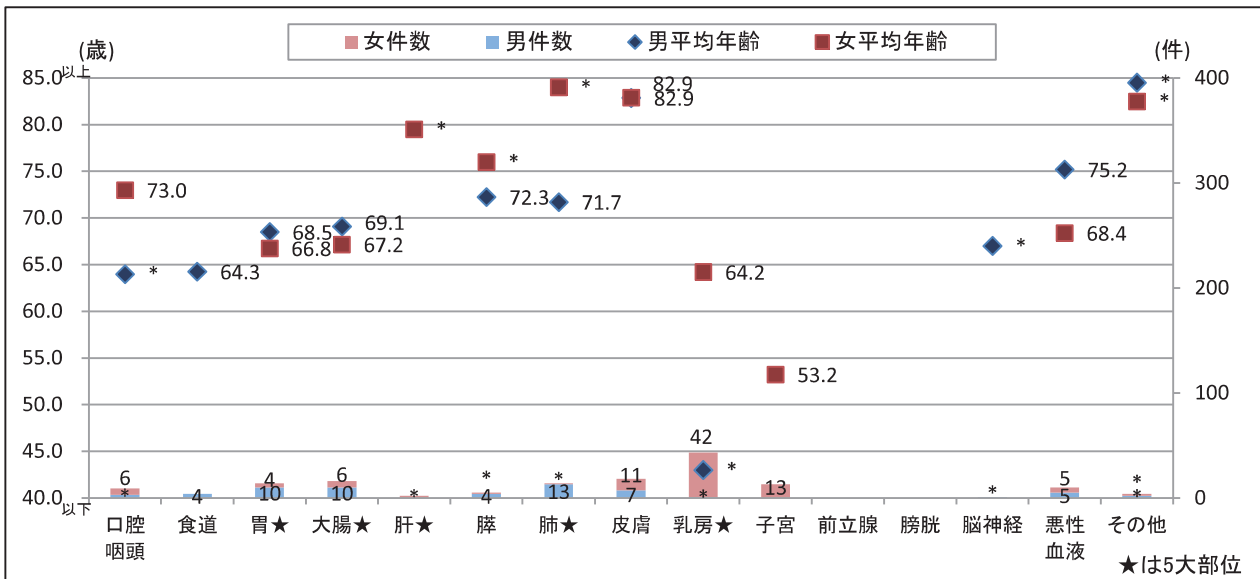
肺(14件)



乳房(43件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
肺					複数部位	*	複数部位	*
胃								
大腸								
皮膚								
悪性血液								
食道								
膵								
口腔咽頭								
其他								
乳房								
脳神経								
肝								
子宮								
前立腺								
膀胱								
計								

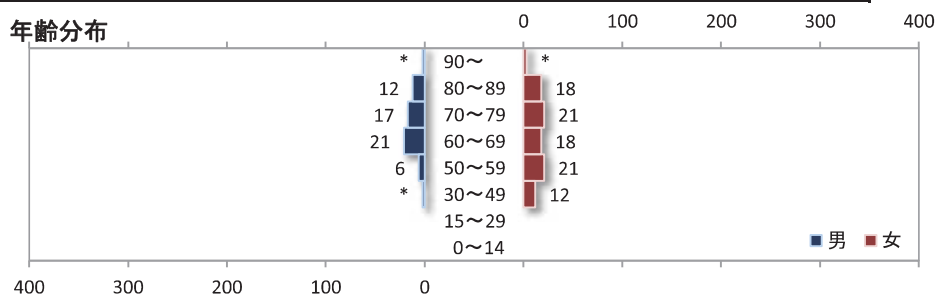
	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
大腸		4	肺	7	複数部位	*	複数部位	*
肺		4	など					
など								
計		21	計	17	計	12	計	*



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
乳房					子宮	7	乳房	14
子宮					乳房	4	など	
皮膚					など			
口腔咽頭								
大腸								
悪性血液								
胃								
肝								
其他								
膵								
肺								
食道								
前立腺								
膀胱								
脳神経								
計								

	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
乳房		11	乳房	8	皮膚	7	複数部位	*
など			など		乳房	5		
計		18	計	21	計	18	計	*

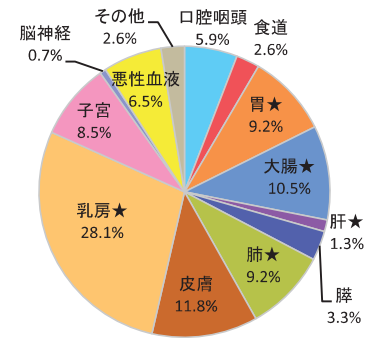
年齢分布



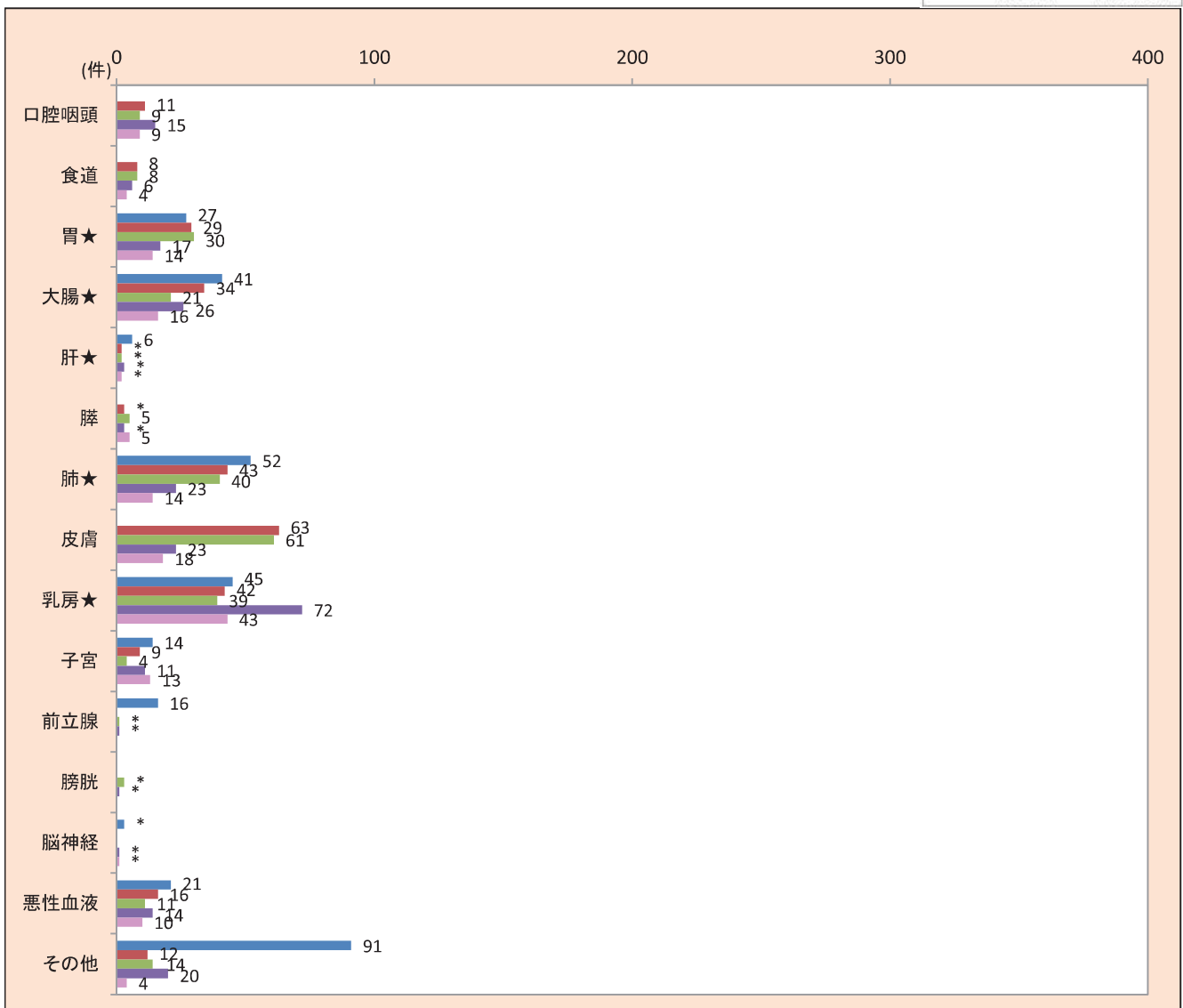
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		11	9	15	9
食道		8	8	6	4
胃★	27	29	30	17	14
大腸★	41	34	21	26	16
肝★	6	*	*	*	*
膵		*	5	*	5
肺★	52	43	40	23	14
皮膚		63	61	23	18
乳房★	45	42	39	72	43
子宮	14	9	4	11	13
前立腺	16		*	*	
膀胱			*	*	
脳神経	*			*	*
悪性血液疾患	21	16	11	14	10
その他	91	12	14	20	4
計	316	272	248	236	153

2017年診断症例 主要部位別割合

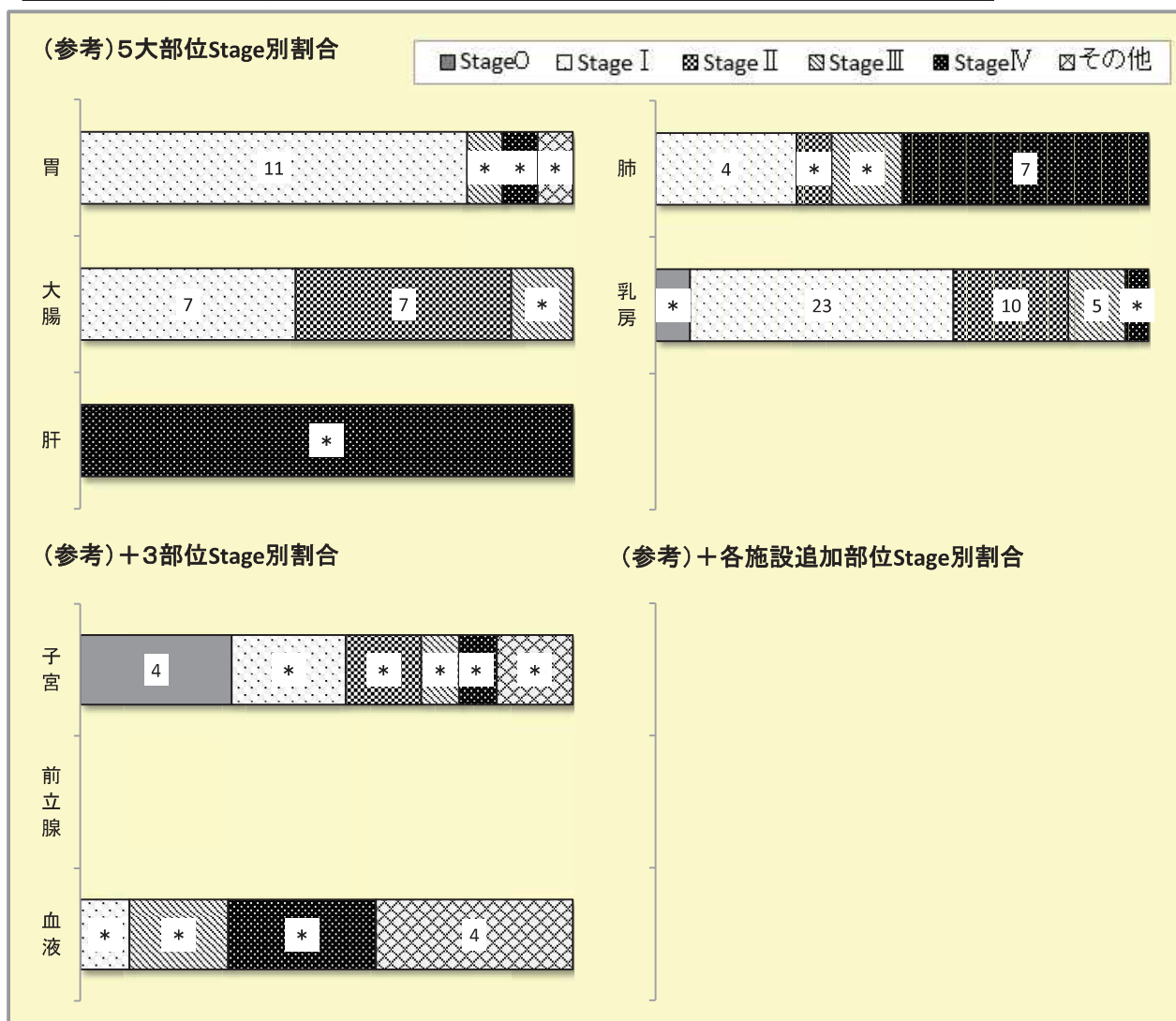


※大腸は結腸と直腸
※子宮は子宮頸部と体部
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

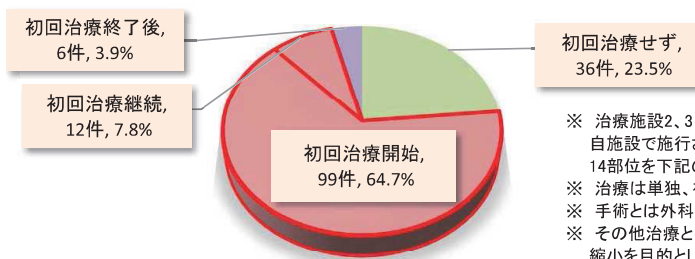
全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	9	*	*	*	*	*	
食道	4		*	*	*	*	
胃★	14		11		*	*	*
大腸★	16		7	7	*		
肝★	*					*	
膵	5		*	*		*	
肺★	14		4	*	*	7	
皮膚	18	*	14	*			
乳房★	43	*	23	10	5	*	
子宮	13	4	*	*	*	*	*
前立腺	0						
膀胱	0						
脳神経	*						*
悪性血液疾患	10		*		*	*	4
その他	4		*	*		*	*
計	153	11	68	27	16	22	9



※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

治療施設	件数
1初回治療せず	36
2初回治療開始	99
3初回治療継続	12
4初回治療終了後	6
8その他	0
計	153



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計

※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算

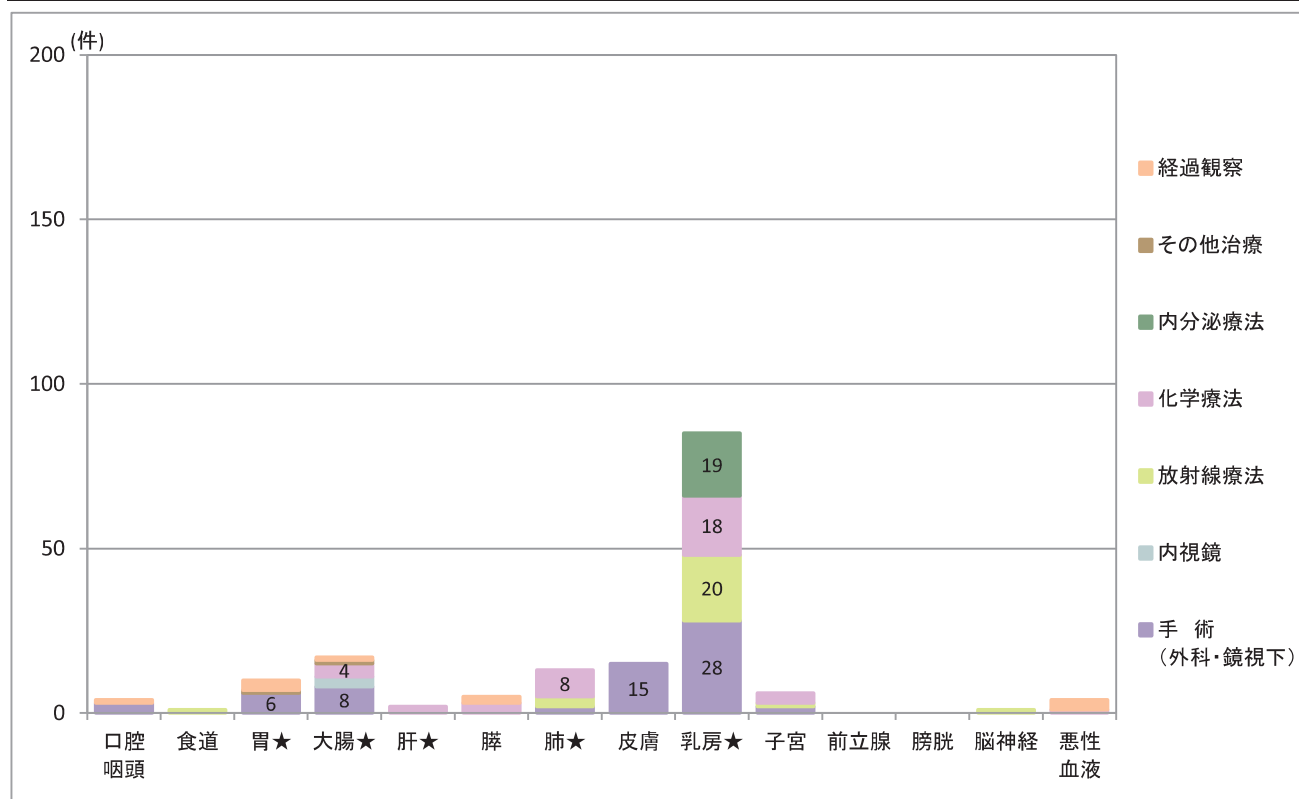
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計

※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療

※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

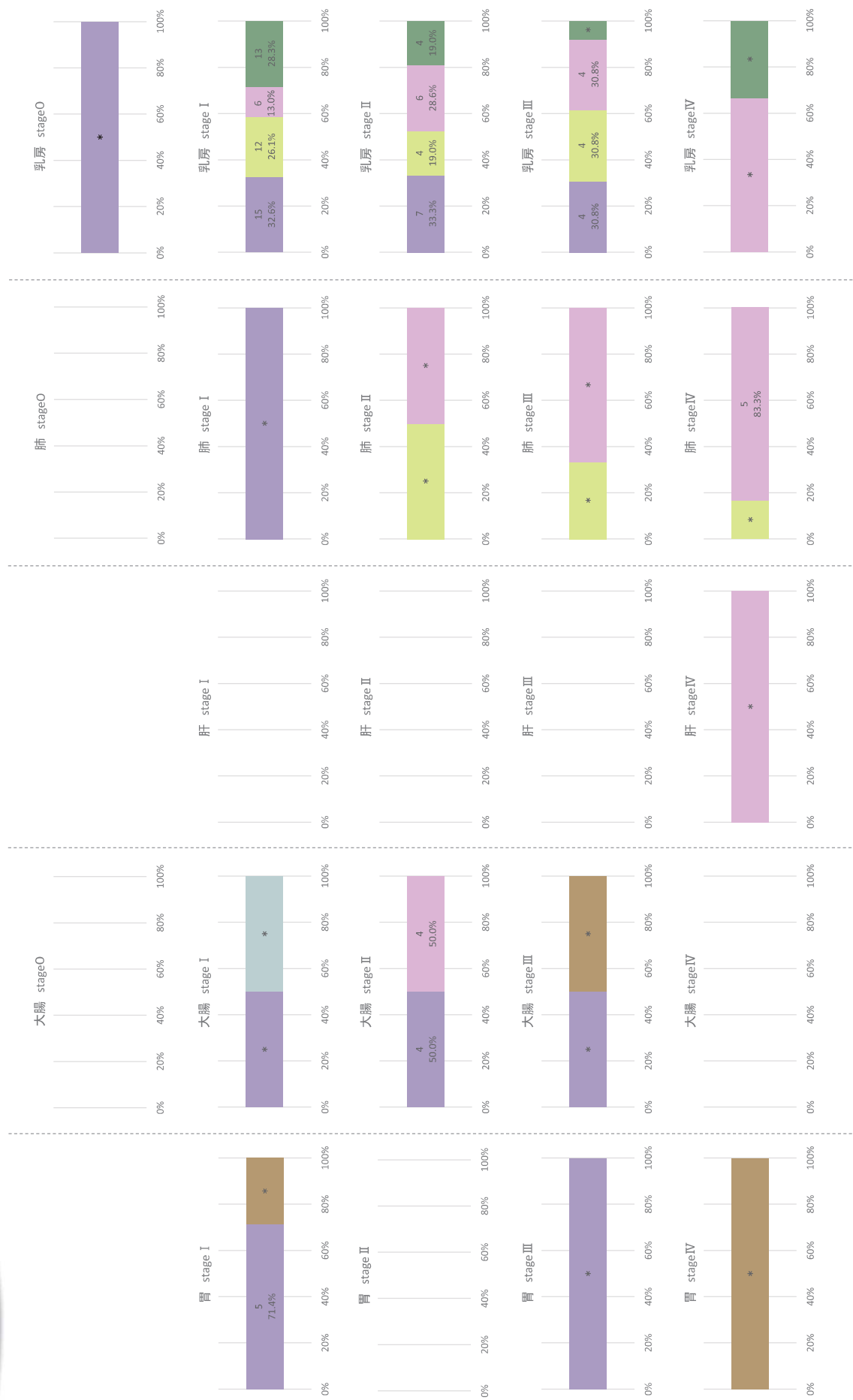
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	*						*	4	100.0%	0.0%	0.0%
食道			*					*			
胃★	6					*	*	10	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	8	*		4		*	*	17	100.0%	0.0%	0.0%
肝★				*				*			
膵				*			*	5			
肺★	*		*	8				13	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	15							15	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	28		20	18	19			85	100.0%	0.0%	0.0%
子宮	*		*	*				6	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺								0			
膀胱								0			
脳神経			*					*			
悪性血液疾患				*			*	4			
計	64	*	26	39	19	*	10	163			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複效に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察含)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 独立行政法人国立病院機構 熊本再春荘病院
-------	--

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	合志市須屋2659番地
病床数	513床
診療科数	17科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2009.11.01
平均在院日数	28.5 (日)
入院患者数	4,859 (人)
外来患者延数	70,234 (人)
院内がん登録件数	273 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

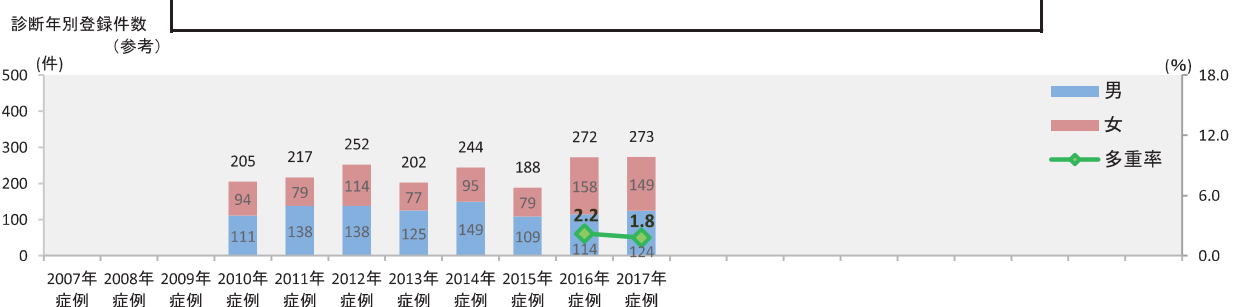
【登録件数】 2017年は外来症例を含め273症例で、2016年に比べ1例増加していました。

【当院の特徴】 国立病院機構熊本再春荘病院は合志市須屋に位置し、菊池郡市医療圏に属しています。平成22年8月に熊本県から、「がん診療連携拠点病院」へ指定されました。平成24年8月から地域医療支援病院の指定を受けました。県北の中核病院として救急急性期一般医療と政策医療(神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、運動器疾患など)を受け持っています。がん診療に関しては肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・膵癌・乳癌などの診断と治療を行っています。診断機能としては、CT、MRI、シンチグラム(核医学)、マンモグラフィ、超音波、内視鏡を始めとする断装置を有しています。がん治療に関しては外科手術(大部分は胸腔鏡、腹腔鏡による鏡視下手術)、抗癌化学療法、放射線治療、緩和医療を行い、外来化学療法、外来放射線治療も併せて行っております。平成23年から当院でも年一回の緩和ケア講習会を医師・看護師・薬剤師を含めた医療従事者30名前後の参加のもとに開催しております。また、「がんサロン再春」を院内に設け、がん患者さん同士の交流の場を提供しており、桜の花見会、クリスマス会などを行っています。

【部位別症例件数】 肺癌97例(5例増加)、大腸癌53例(5例増加)、胃癌18例(3例増加)、食道癌5例(増減なし)、乳癌73例(7例減少)、その他です。がん発生部位は肺癌33.8%・大腸癌17.6%・胃癌5.5%・肝・胆、膵臓を含め5.5%・乳癌29.4%となっています。

【医療圏】 本院で診療を受けるがん患者が居住する医療圏は担当医療圏である菊池郡市が59.3%、熊本市25.3%、山鹿・鹿本11.7%となっています。また、70歳以上の高齢者が占める割合が高いことが特徴です。

【今後の抱負】 がん診療連携拠点病院として、がん診療の地域連携を進め、「私のカルテ」の導入を促進して参りたいと考えています。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

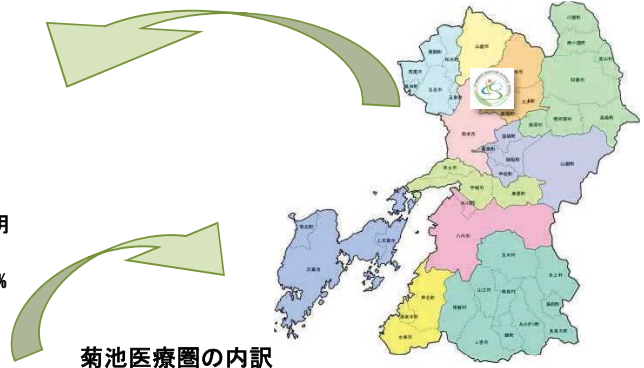
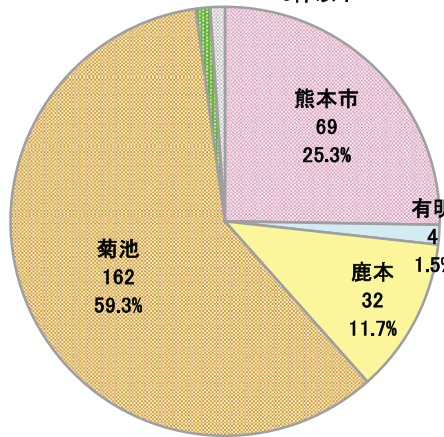
熊本再春荘病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

熊本再春荘病院 (273件)

※阿蘇・県外等は
3件以下

※ 全般において3件以下は*又は非表示

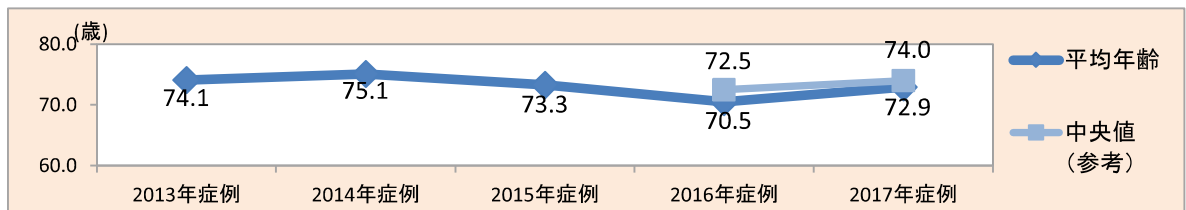


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	肺	28	熊本	乳房	16	上益城		球磨		
	乳房	25		肺	12					
	大腸	7								
宇城			菊池	肺	49	八代		天草		
				大腸	43					
				乳房	30					
				胃	17					
				その他	10					
有明	肺	4	阿蘇	複数部位	*	芦北		県外等	複数部位	*

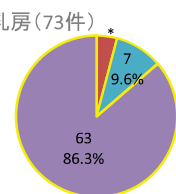
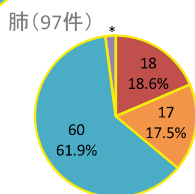
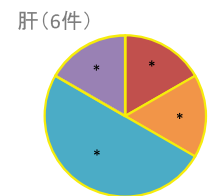
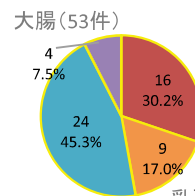
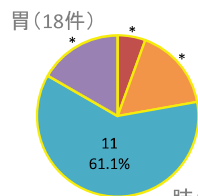
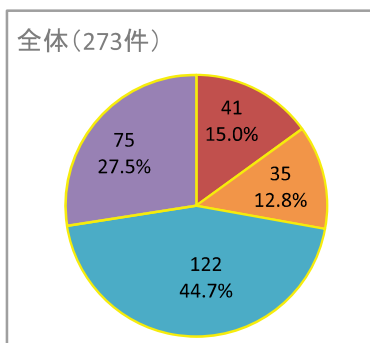
※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

② 平均年齢と年次比較

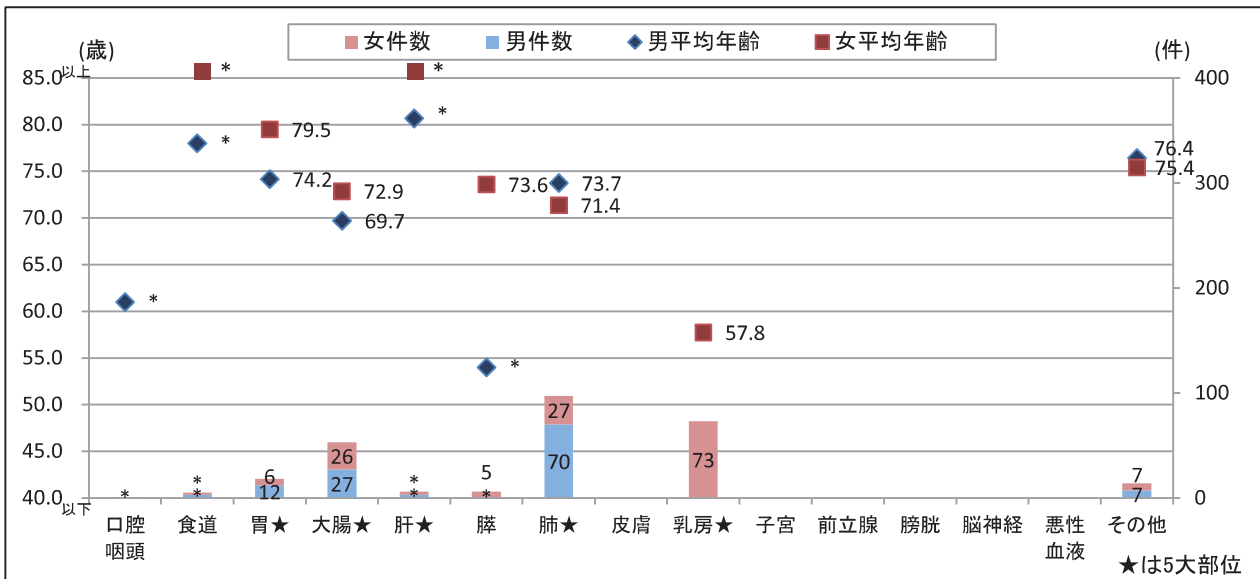


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■1がん検診/健診/ドック ■2他疾患経過観察 ■3剖検(Ai含) ■4その他(自ら受診含) ■5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

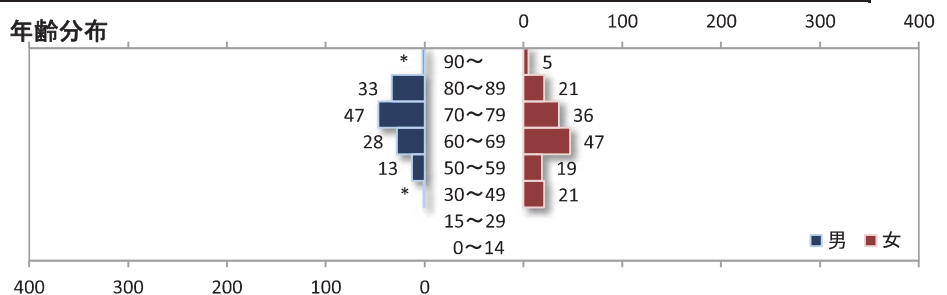


男性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
肺			複数部位	肺
大腸				など
胃				
その他				
食道				
肝				
口腔咽頭				
膵				
計				13
	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
皮膚	肺	肺	肺	複数部位
乳房	大腸	大腸	大腸	
子宮	など	胃	など	
前立腺		など		
膀胱				
脳神経				
悪性血液				
計	28	47	33	*
計	124			



女性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
乳房			乳房	乳房
肺			など	など
大腸				
その他				
胃				
膵				
肝				
食道				
口腔咽頭				
膵				
計			21	19
	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
乳房	乳房	乳房	肺	複数部位
皮膚	肺	大腸	大腸	
子宮	大腸	肺	など	
前立腺	など	膵		
膀胱		その他		
脳神経		など		
悪性血液				
計	47	36	21	5
計	149			

年齢分布



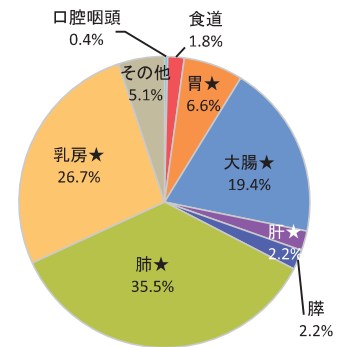
II 施設別統計

熊本再春荘病院

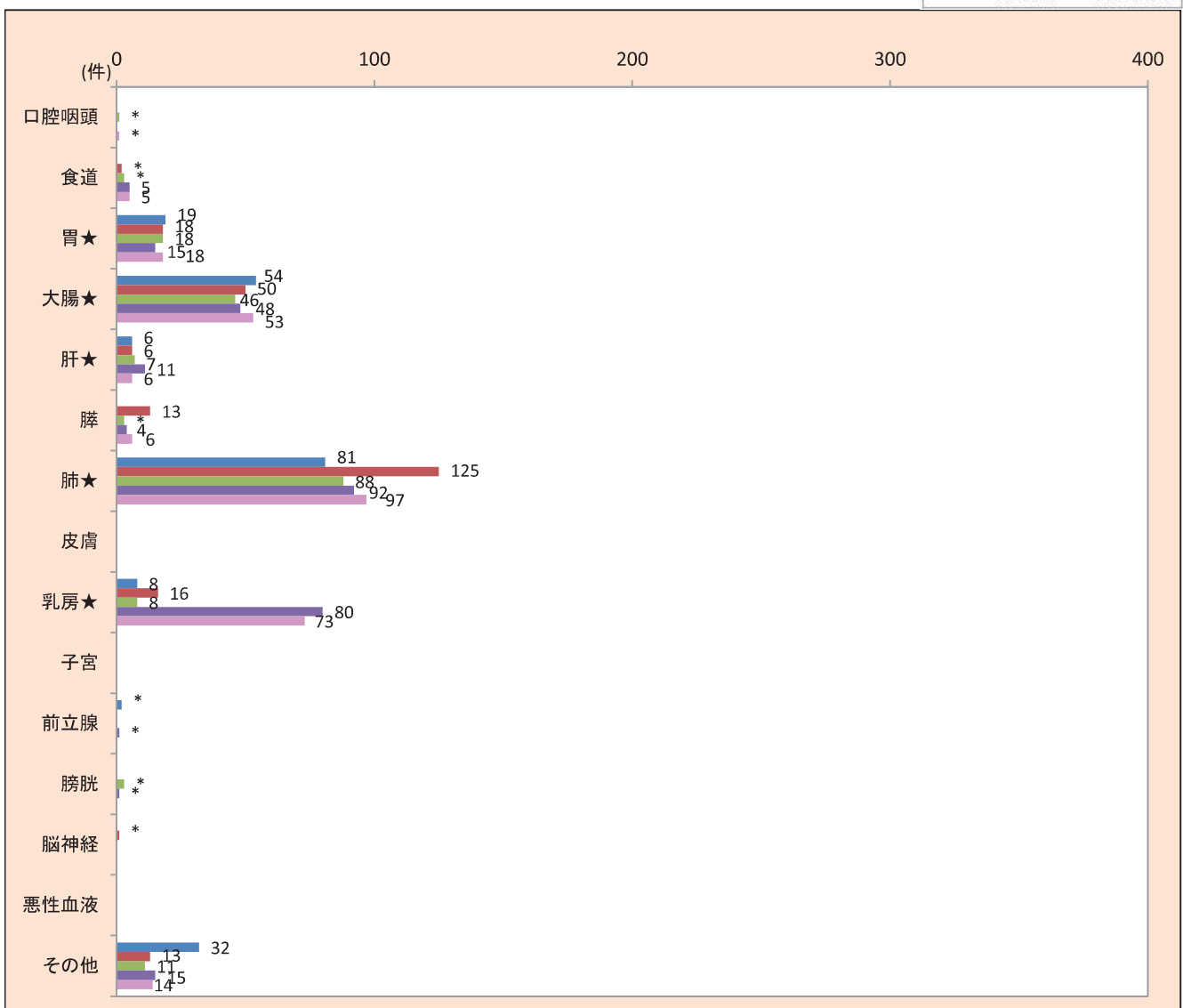
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭			*		*
食道		*	*	5	5
胃★	19	18	18	15	18
大腸★	54	50	46	48	53
肝★	6	6	7	11	6
膵		13	*	4	6
肺★	81	125	88	92	97
皮膚					
乳房★	8	16	8	80	73
子宮					
前立腺	*			*	
膀胱			*	*	
脳神経		*			
悪性血液疾患					
その他	32	13	11	15	14
計	202	244	188	272	273

2017年診断症例 主要部位別割合



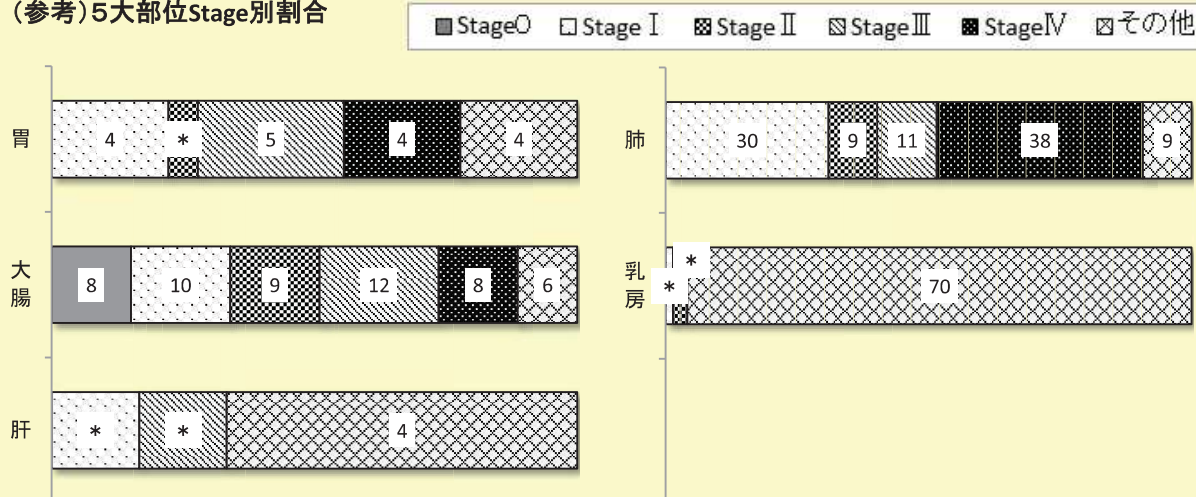
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*					*	
食道	5		*		*		*
胃★	18		4	*	5	4	4
大腸★	53	8	10	9	12	8	6
肝★	6		*		*		4
膵	6				*	5	
肺★	97		30	9	11	38	9
皮膚	0						
乳房★	73		*	*			70
子宮	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳神経	0						
悪性血液疾患	0						
その他	14			*	*	*	7
計	273	8	47	23	35	58	102

(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合

子宮
前立腺
血液

(参考)+各施設追加部位Stage別割合

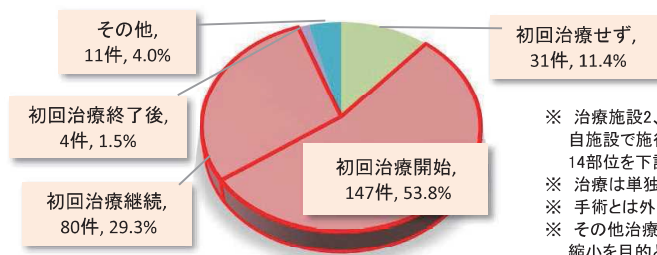
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本再春荘病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

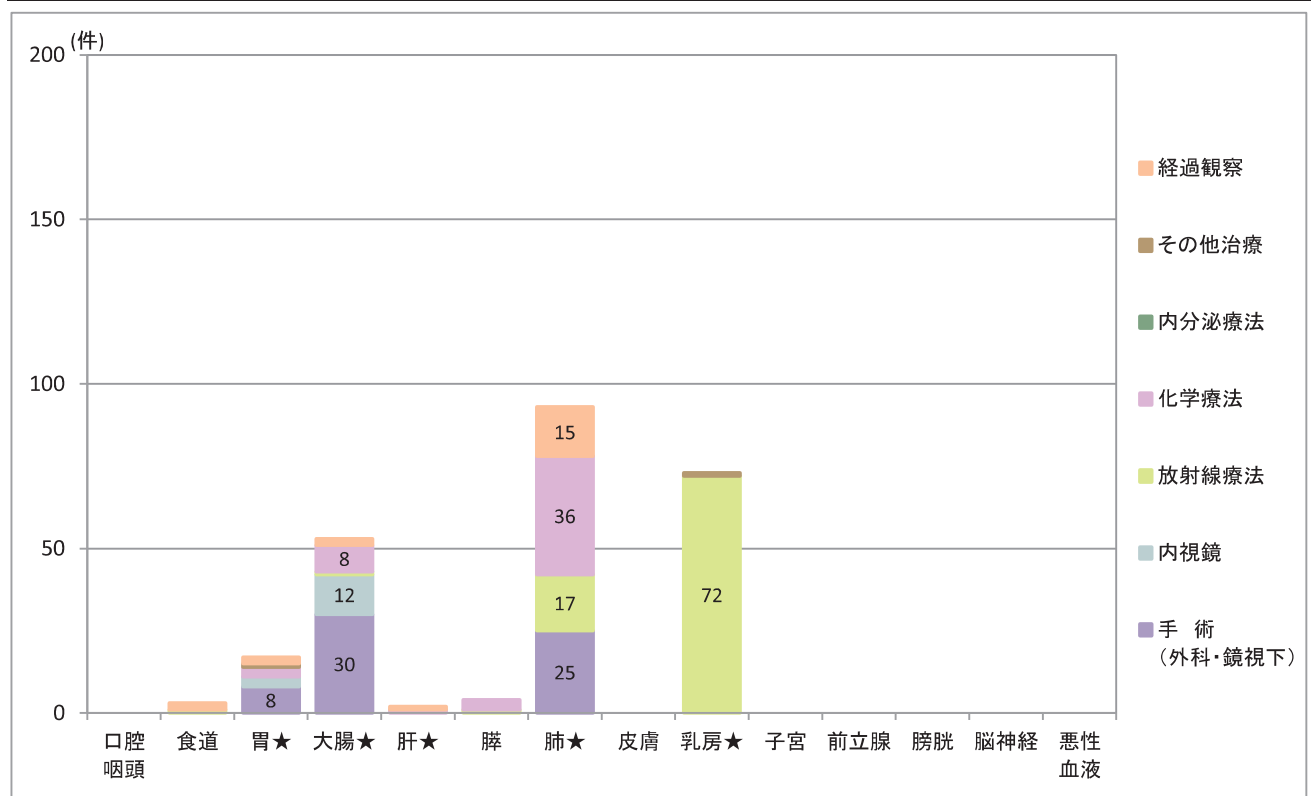
治療施設	件数
1初回治療せず	31
2初回治療開始	147
3初回治療継続	80
4初回治療終了後	4
8その他	11
計	273



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

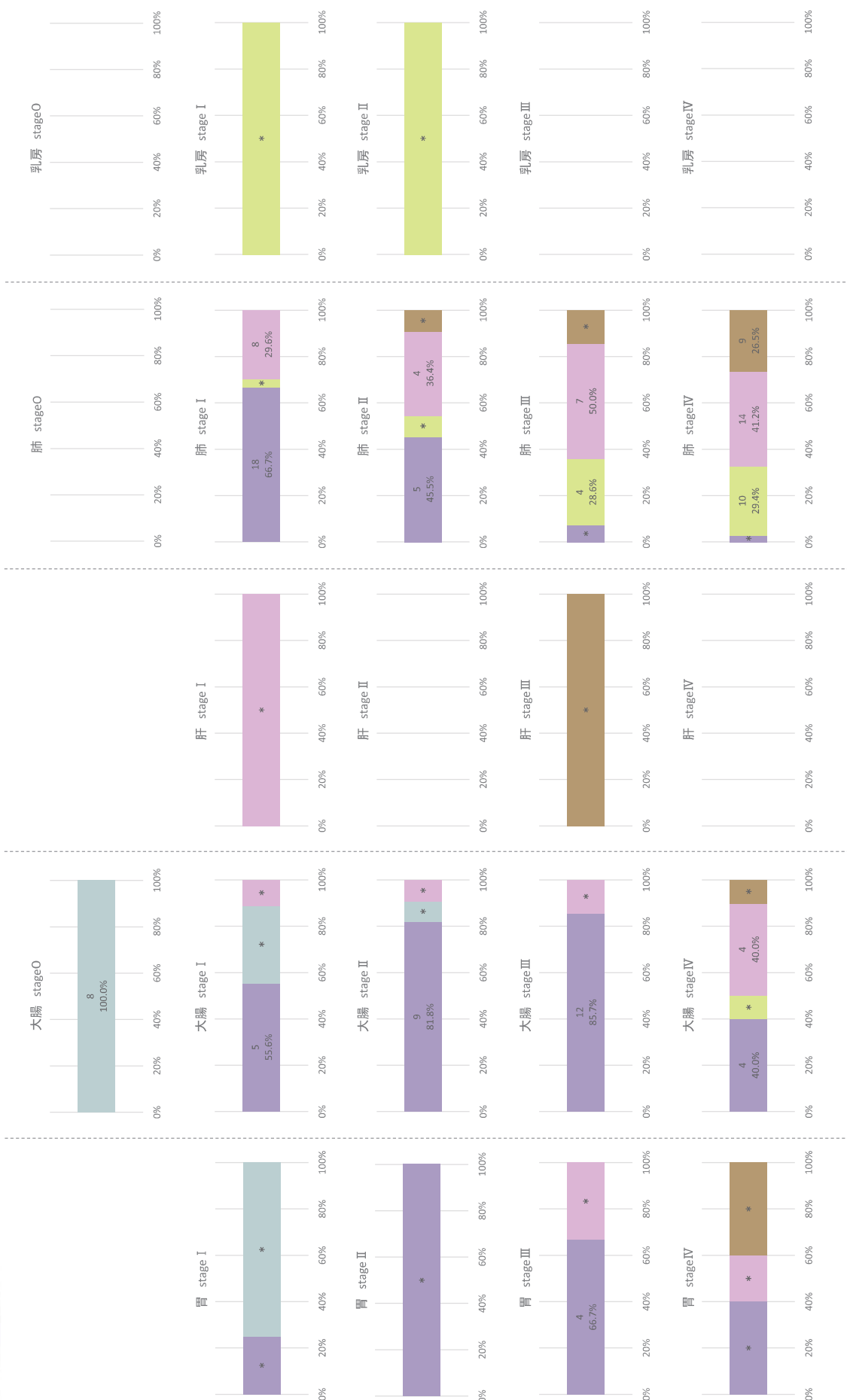
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道			*				*	*			
胃★	8	*		*		*	*	17	72.7%	18.2%	9.1%
大腸★	30	12	*	8			*	53	82.9%	9.8%	7.3%
肝★				*			*	*			
膵			*	*				4			
肺★	25		17	36			15	93	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★			72			*		73			
子宮								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳神経								0			
悪性血液疾患								0			
計	63	15	92	51	0	*	22	245			



⑩ 5大部位 (総合Stage別) の
主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
- ※ 分類はUIC7版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
- ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 医療法人創起会くまもと森都総合病院
-------	---

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3-2-65
病床数	199床
診療科数	20科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2008.04.01
平均在院日数	11.9 (日)
入院患者数	5,372 (人)
外来患者延数	113,719 (人)
院内がん登録件数	1,153 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 4 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

2017年診断症例として1,153件のがん登録を行った。2016年症例の登録数1,683件と比べ変化があった。これは、2015年の乳腺外科の新設以降、2016年にかけて初回治療継続もしくは初回治療終了後に当院を受診した乳がん患者数が増加した為である。しかし、2017年乳がん症例で、自施設で初回治療を開始した件数は2016年症例より増加した。また、悪性血液疾患、皮膚、子宮、食道、胃、大腸、肺、脳神経部位の登録数も、2016年症例と比較して増加した。

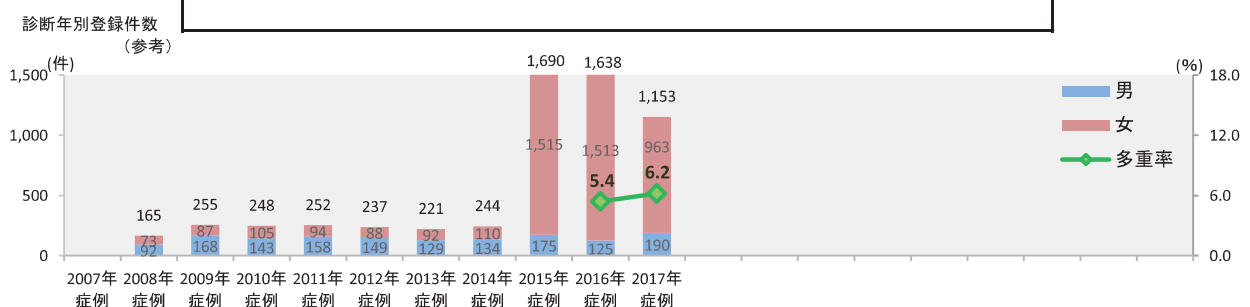
【当院の特徴】
2017年データでは、乳がんが711例(61.7%)と多く、悪性血液疾患125例(10.8%)、子宮がん80例(6.9%)、皮膚がん67例(5.8%)、と合わせて全体のほぼ9割を占めている。その他は肝がん47例(3.1%)、大腸34例(2.9%)の順に多かった。主ながんについては、ほぼ自施設で診断から治療まで施行されている。

【患者の年齢層】
登録患者の平均年齢は64.0歳(男性72.6歳、女性62.4歳)。男女比は約2:8と女性が多い傾向にあった。主な内訳は乳がんが61.4歳、悪性血液疾患71.3歳、子宮がん49.4歳、皮膚がん73.4歳、肝がん71.3歳、大腸がん72.4歳であった。

【患者の医療圏】
患者住所は、半数以上(61.5%)が熊本市内だったが、その他にも菊池9.7%、上益城5.9%、天草5.3%、宇城4.4%、有明3.6%、などの医療圏からの紹介が多い。昨年との比較では八代医療圏からの紹介が増加した。

【部位別治療内容】
乳がんに対しては手術療法、化学療法、内分泌療法と集学的に治療が実施されている。造血器腫瘍は、化学療法が施行されており、自己血末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法も施行されている。皮膚がん、子宮がん、胃がん、大腸がんは手術療法を中心とした治療が行われている。

肝臓がんについては他院で治療後の後治療目的にて紹介になる場合が多いため手術症例は少なく、TACEなどを含む化学療法を施行した症例が多くなっている。

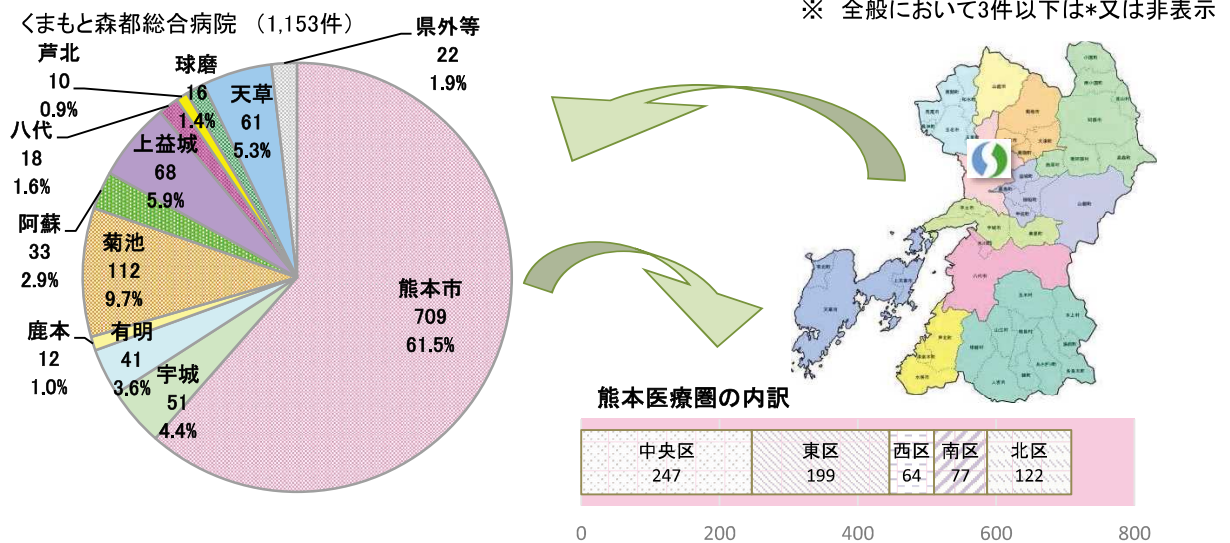


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

くまもと森都総合病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

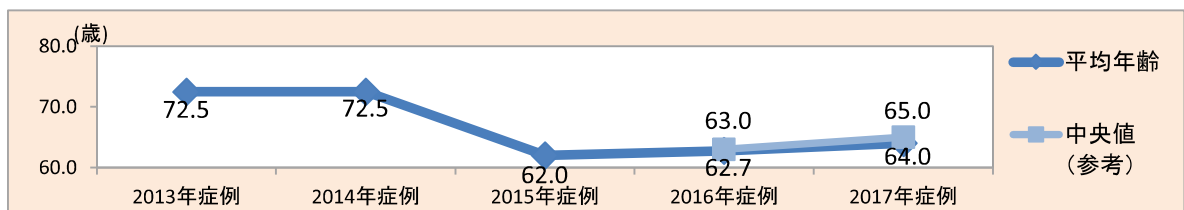


◇ 医療圏別上位部位

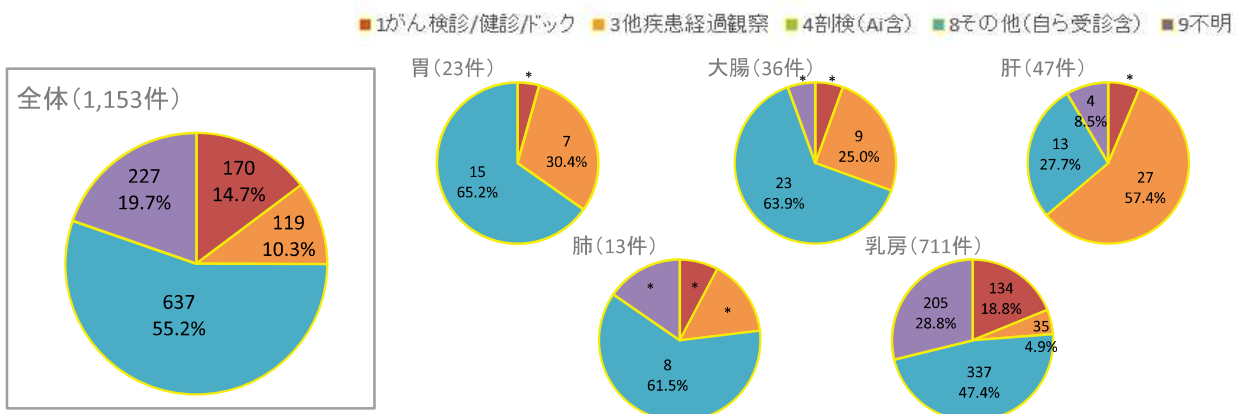
熊本市	乳房	409	鹿本	乳房	7	上益城	乳房	43	球磨	乳房	14
	悪性血液	66			悪性血液		11				
	子宮	57									
	皮膚	46									
	肝	35									
宇城	乳房	41	菊池	乳房	72	八代	乳房	13	天草	乳房	30
	悪性血液	4			皮膚		12			悪性血液	24
					子宮		8				
					悪性血液		7				
					複数部位		各4				
有明	乳房	39	阿蘇	乳房	22	芦北	乳房	4	県外等	乳房	17
					悪性血液		4				

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

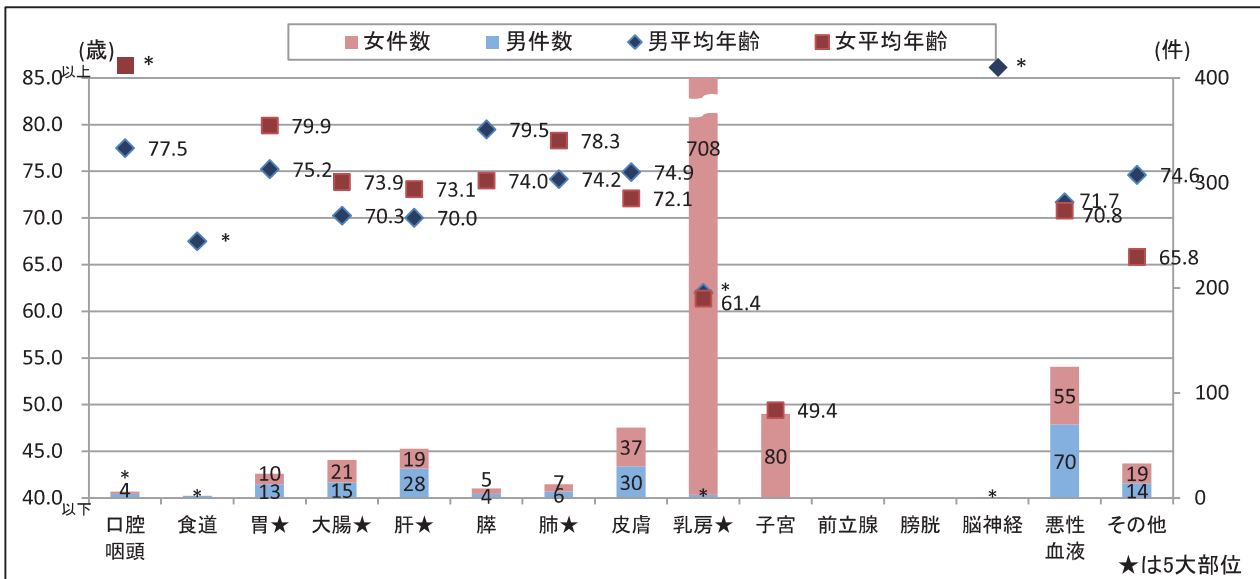
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

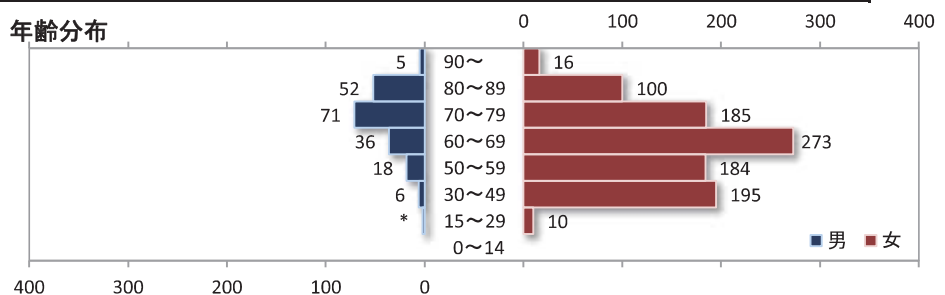


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
悪性血液	70		複数部位	*	悪性血液	4	悪性血液	6
皮膚	30				など		肝	4
肝	28						など	
大腸	15							
その他	14							
胃	13							
肺	6							
膵	4		計	*	計	6	計	18
口腔咽頭	4							
	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
膵	4	悪性血液 12	悪性血液	25	悪性血液	20	複数部位	*
乳房	*	肝 9	皮膚	14	皮膚	11		
食道	*	その他 4	肝	9	その他	6		
脳神経	*	など	胃	6	など			
子宮			大腸	5				
前立腺			など					
膀胱			計	71	計	52	計	5
計	190							



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
乳房	708		子宮	5	乳房	145	乳房	153
子宮	80		など		子宮	42	子宮	15
悪性血液	55				悪性血液	4	悪性血液	6
皮膚	37				など		その他	6
大腸	21						など	
肝	19							
その他	19		計	10	計	195	計	184
胃	10							
	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
肺	7	乳房 221	乳房	137	乳房	46	皮膚	4
膵	5	皮膚 12	悪性血液	15	悪性血液	16	乳房	4
口腔咽頭	*	大腸 9	皮膚	8	皮膚	8	悪性血液	4
食道		悪性血液 8	子宮	8	大腸	6	など	
前立腺		子宮 6	肝	7	など			
膀胱		など	など					
脳神経								
計	963	計 273	計 185		計 100		計 16	

年齢分布



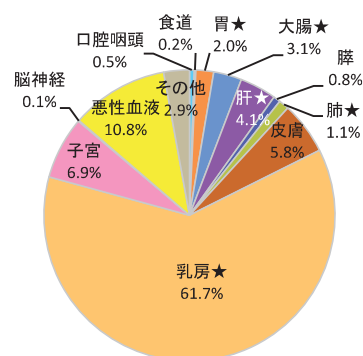
Ⅱ 施設別統計

くもと森都総合病院

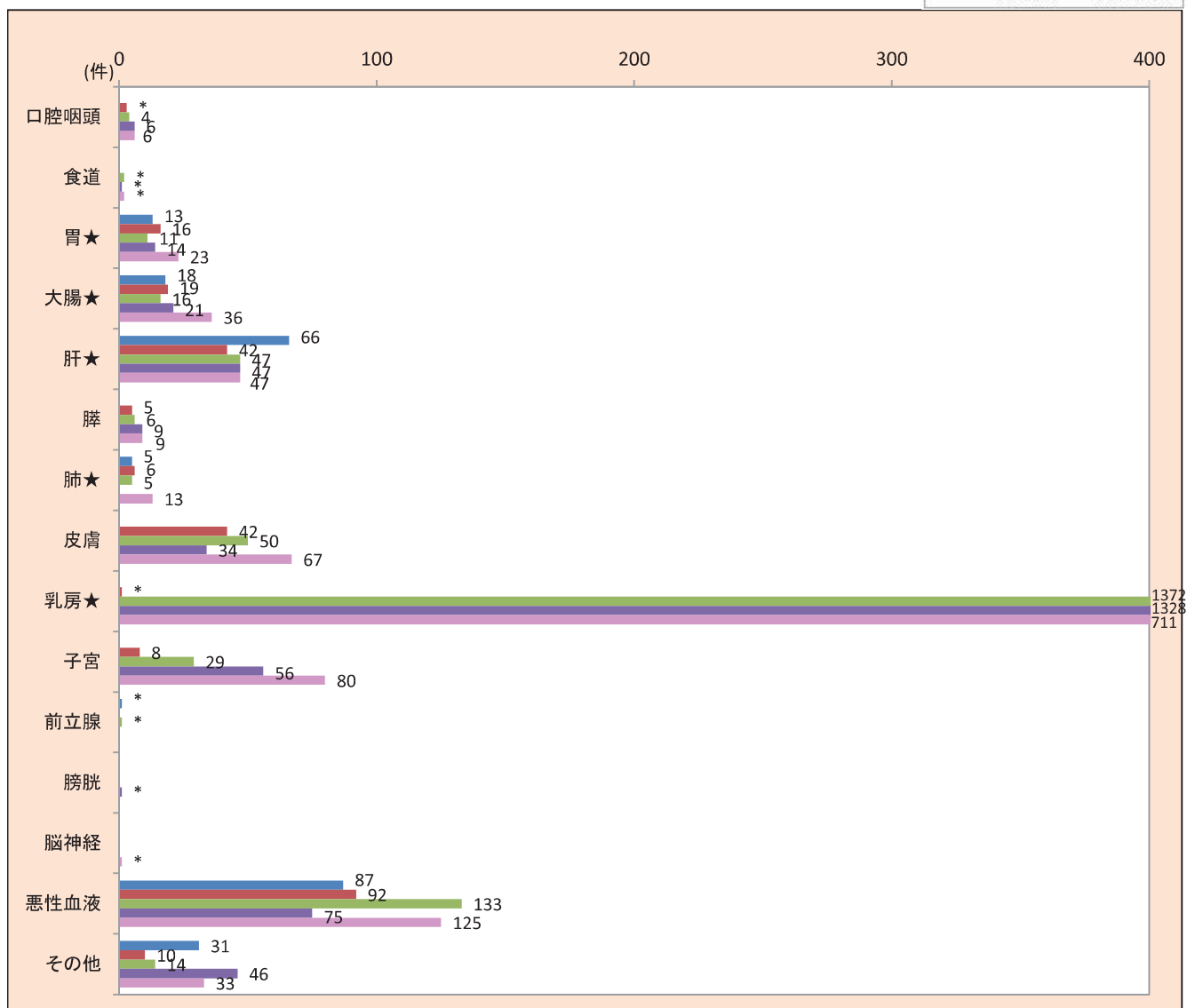
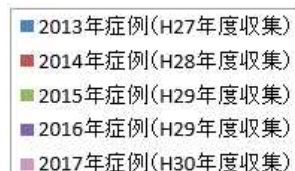
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*	4	6	6
食道			*	*	*
胃★	13	16	11	14	23
大腸★	18	19	16	21	36
肝★	66	42	47	47	47
膵		5	6	9	9
肺★	5	6	5		13
皮膚		42	50	34	67
乳房★		*	1372	1328	711
子宮		8	29	56	80
前立腺	*		*		
膀胱				*	
脳神経					*
悪性血液疾患	87	92	133	75	125
その他	31	10	14	46	33
計	221	244	1,690	1,638	1,153

2017年診断症例 主要部位別割合

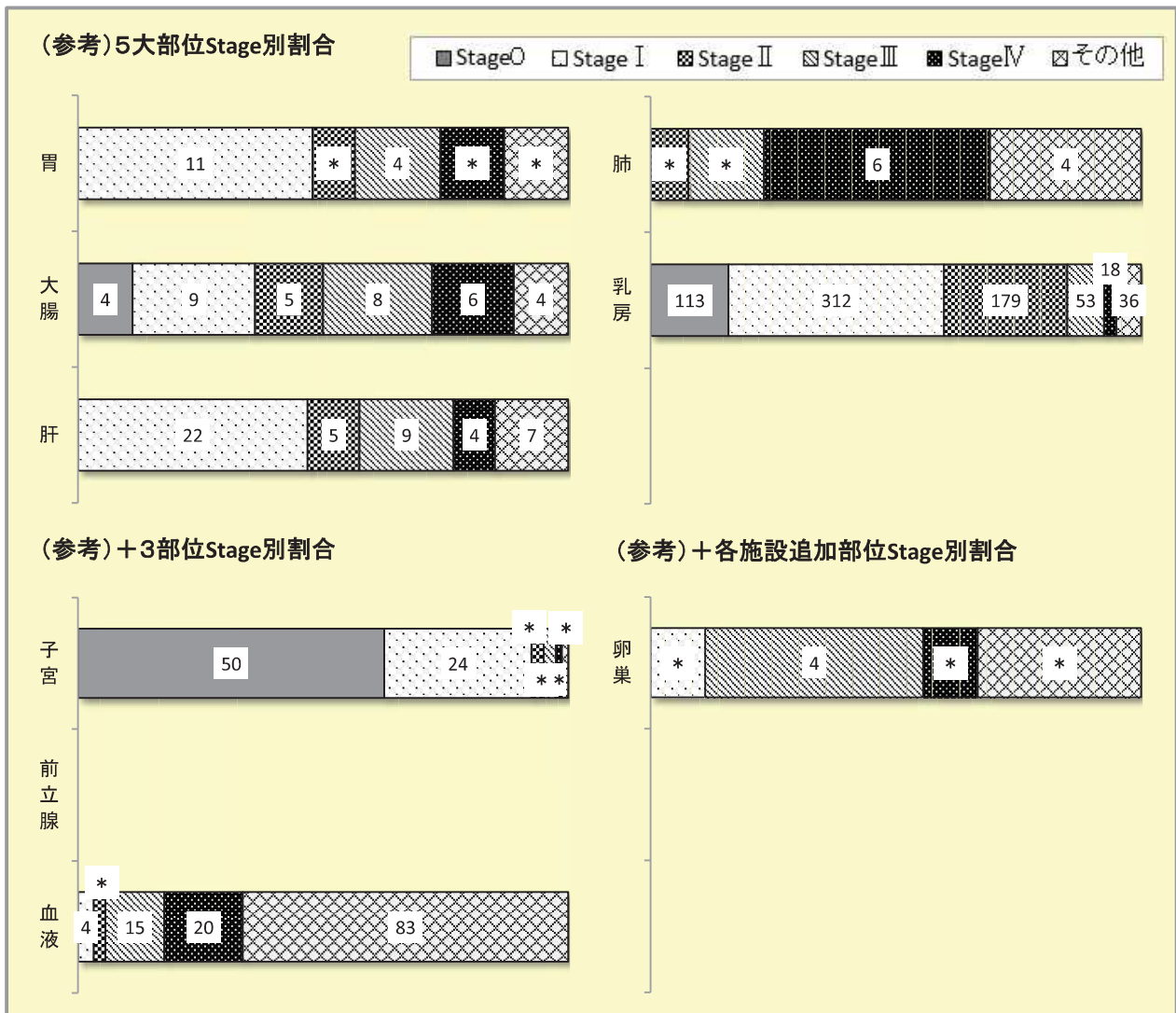


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	6	*	*	*		*	*
食道	*				*		*
胃★	23		11	*	4	*	*
大腸★	36	4	9	5	8	6	4
肝★	47		22	5	9	4	7
膵	9			*		*	5
肺★	13			*	*	6	4
皮膚	67	24	34	*	*	*	4
乳房★	711	113	312	179	53	18	36
子宮	80	50	24	*	*	*	*
前立腺	0						
膀胱	0						
脳神経	*						*
悪性血液疾患	125		4	*	15	20	83
その他	33	*	4	*	4	4	18
計	1,153	194	421	201	100	68	169



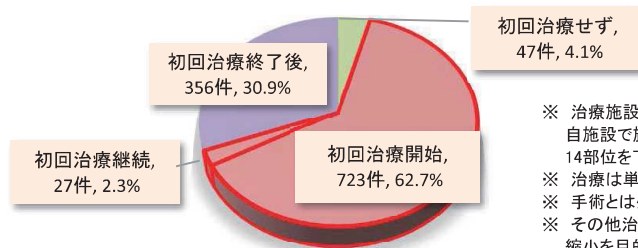
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

くもと森都総合病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

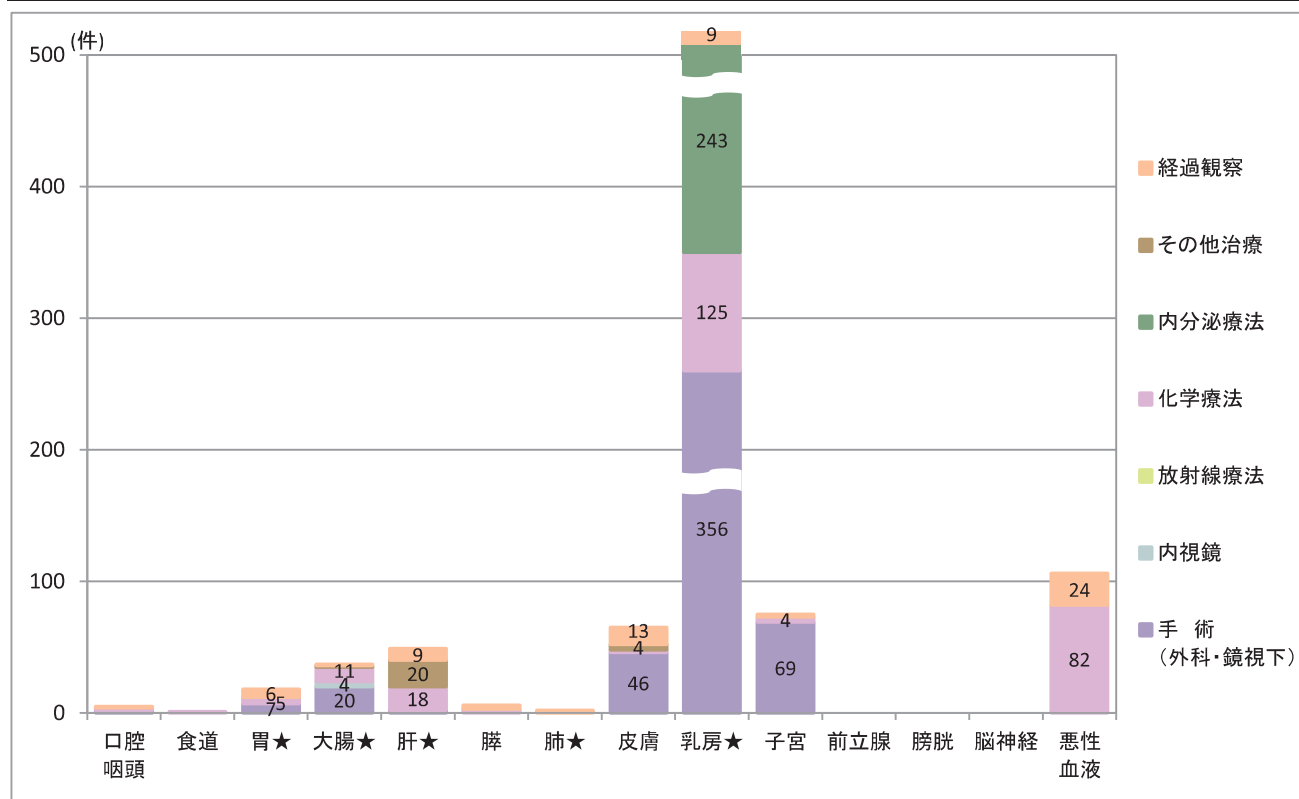
治療施設	件数
1初回治療せず	47
2初回治療開始	723
3初回治療継続	27
4初回治療終了後	356
8その他	0
計	1,153



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

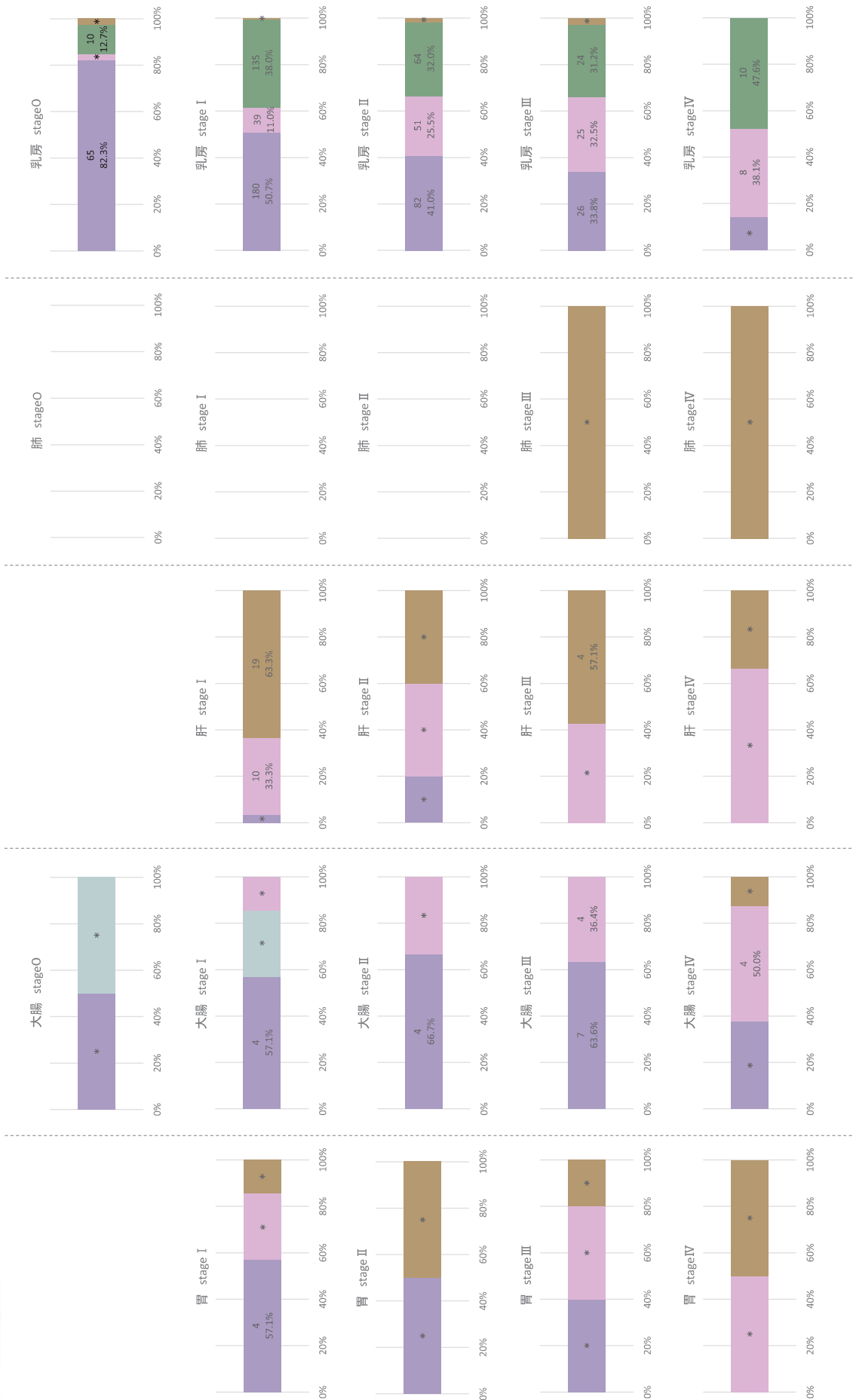
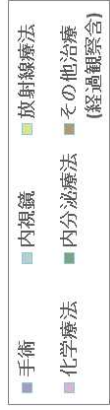
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	*			*			*	5	100.0%	0.0%	0.0%
食道				*				*			
胃★	7			5			6	18	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	20	4		11		*	*	37	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	*			18		20	9	49	100.0%	0.0%	0.0%
膵				*			*	6			
肺★							*	*			
皮膚	46			*		4	13	65	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	356			125	243		9	733	99.7%	0.3%	0.0%
子宮	69			4			*	75	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺								0			
膀胱								0			
脳神経								0			
悪性血液疾患				82			24	106			
計	502	4	0	253	243	25	70	1,097			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複剤に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院
-------	---

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	八代市通町10番10号
病床数	344床
診療科数	46科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2007.04.01
平均在院日数	17.1 (日)
入院患者数	7,077 (人)
外来患者延数	129,909 (人)
院内がん登録件数	645 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 1 (名)

○医療機関からのコメント

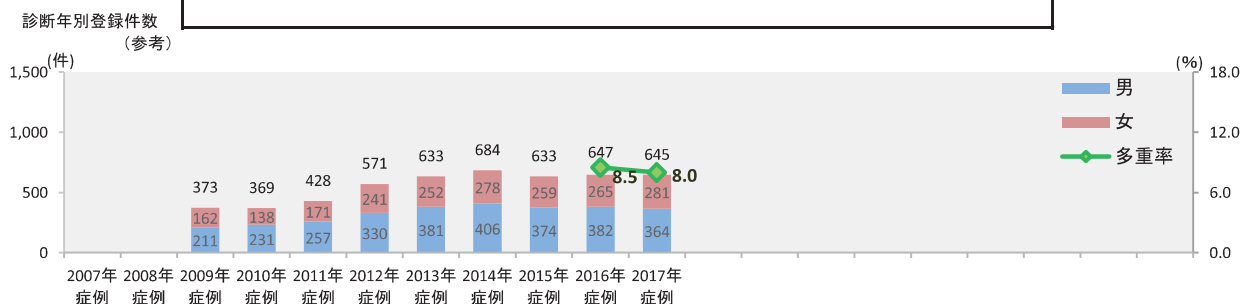
当院は2006年からがんセンターを設立し、特にがん治療に力を入れている。

1. 症例件数
当院における2017年の症例件数は645件であり、男女比としては男性が6割(364件)、女性が4割(281件)であった。また八代医療圏における患者の割合は82%となっている。

2. 平均年齢
症例の平均年齢は71.6歳(前年比-1.4)であり、年齢層では前年同様男性は70歳代が最も多く、女性は80歳代が最も多かった。次いで前年は70歳代、80歳代となっていたが、今回は男性60歳代の症例が80歳代より多くなっている。

3. 部位別症例件数
部位別では、大腸がん119件(18.1%)、悪性血液疾患103件(18.4%)、胃がん78件(10.5%)
前立腺がん69件(8.5%)の順で多かった。登録部位の順は前年と比べて、悪性血液疾患を大腸がんが上回っていて、大腸の件数増加が認められた。

4. 治療
症例件数の増加に従い手術(外科・体腔鏡)、内視鏡、化学療法の治療件数も増えてきている。
内訳は、手術が治療全体の36.5%、化学療法22.9%、内視鏡14.3%、放射線治療法9.6%、内分泌療法9.1%の順になっており、内視鏡と放射線の伸びが大きい。
胃や大腸は進行癌であっても化学療法を行い、癌の進行度に応じた術式を選択し、個々の症例に最も適切な手術を行うようにしており、可能な限り根治術を目指している。
当院は最新の質の高いがん治療を行っているが、今後も継続しながら更なる地域医療や施設との連携を図って行く必要がある。

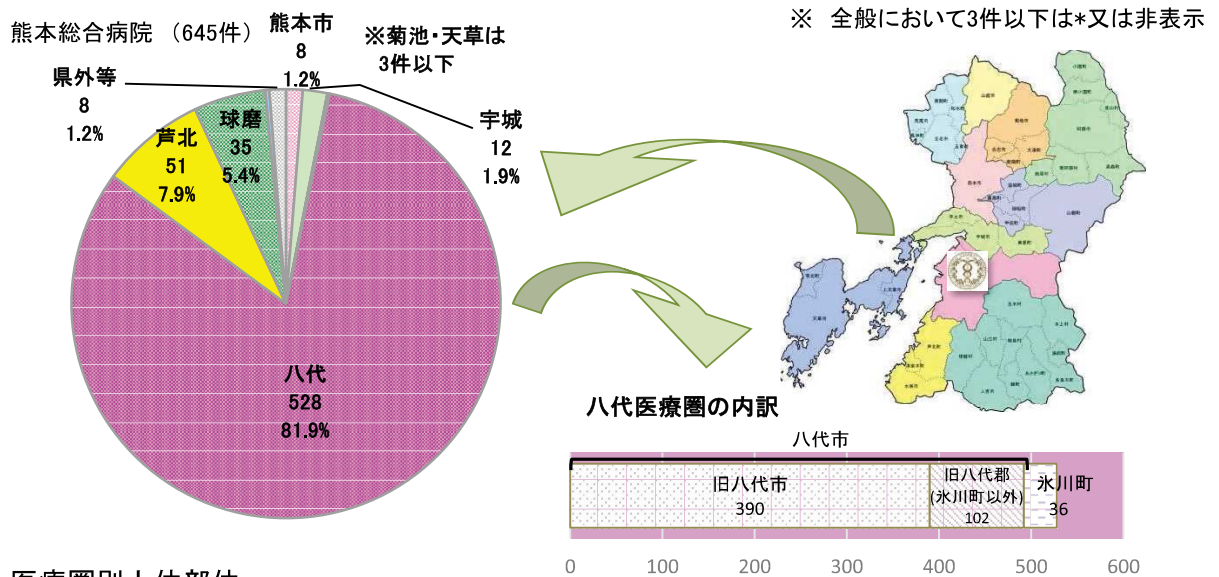


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本総合病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

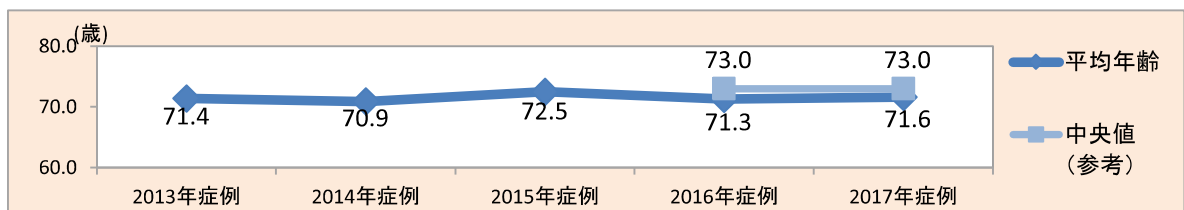


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	複数部位	*	鹿本		上益城		球磨	前立腺	20
								膀胱	8
宇城	その他	4	菊池	複数部位	*	八代	天草	大腸	112
								胃	74
								悪性血液	72
								前立腺	46
有明			阿蘇			芦北	県外等	悪性血液	23
								大腸	5
								その他	5
								複数部位	*

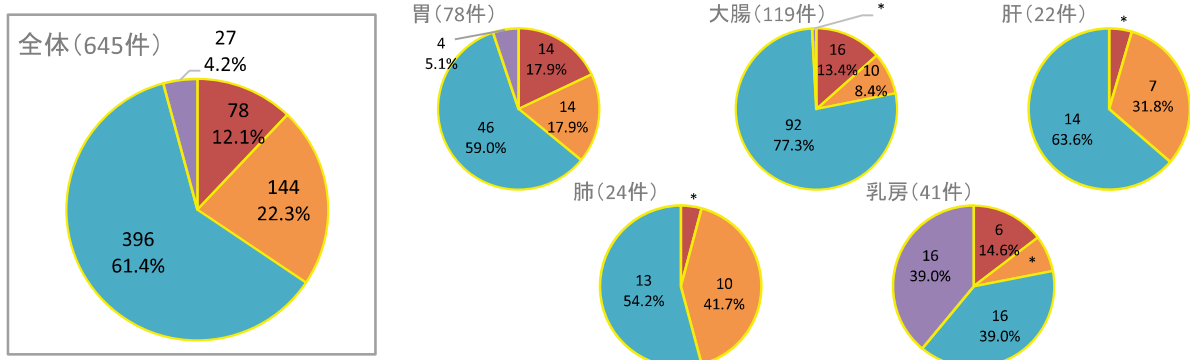
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

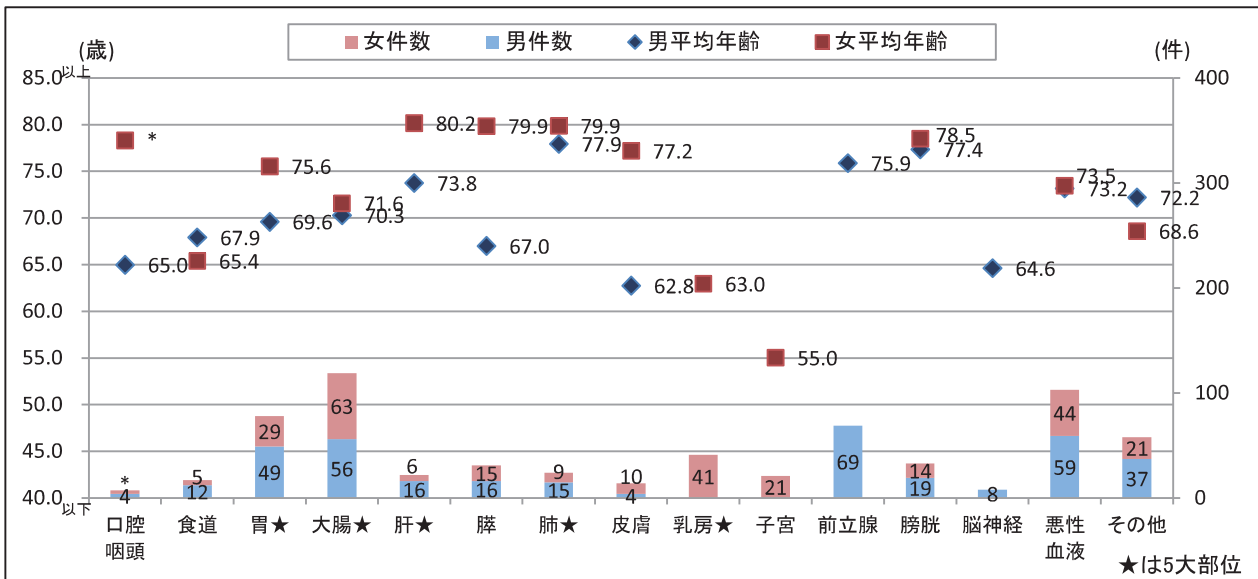


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■1がん検診/健診/ドック ■2他疾患経過観察 ■3剖検(Ai含) ■4その他(自ら受診含) ■5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

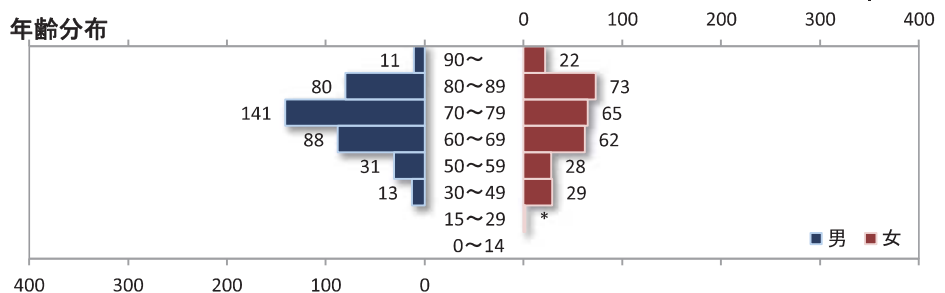


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
前立腺					複数部位	*	悪性血液	7
悪性血液							その他	7
大腸							胃	5
胃							大腸	5
その他							など	
膀胱								
肝					計	13	計	31
膵								
	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
肺	大腸	16	前立腺	31	前立腺	20	悪性血液	4
食道	前立腺	15	胃	25	悪性血液	18	など	
脳神経	悪性血液	12	大腸	21	大腸	9		
口腔咽頭	胃	11	悪性血液	16	膀胱	9		
皮膚	その他	9	その他	13	その他	8		
乳房	など		など		など			
子宮	計	88	計	141	計	80	計	11
計	364							



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳	
大腸			複数部位	*	乳房	9	大腸	10
悪性血液					子宮	9	乳房	4
乳房					大腸	4	悪性血液	4
胃					その他	4	など	
子宮					など			
その他					計	29	計	28
膵								
	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
膀胱	乳房	13	大腸	14	大腸	18	大腸	5
皮膚	大腸	12	悪性血液	10	悪性血液	11	悪性血液	5
肺	悪性血液	12	乳房	9	胃	9	など	
肝	胃	8	胃	8	膵	7		
食道	子宮	4	膵	6	膀胱	6		
口腔咽頭	など		など		など			
前立腺	計	62	計	65	計	73	計	22
脳神経								
計	281							

年齢分布



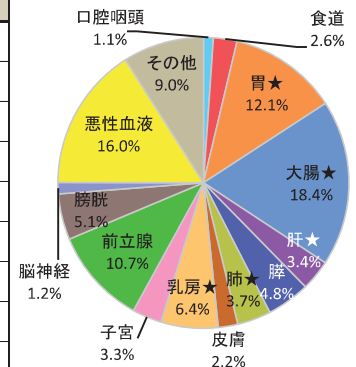
Ⅱ 施設別統計

熊本総合病院

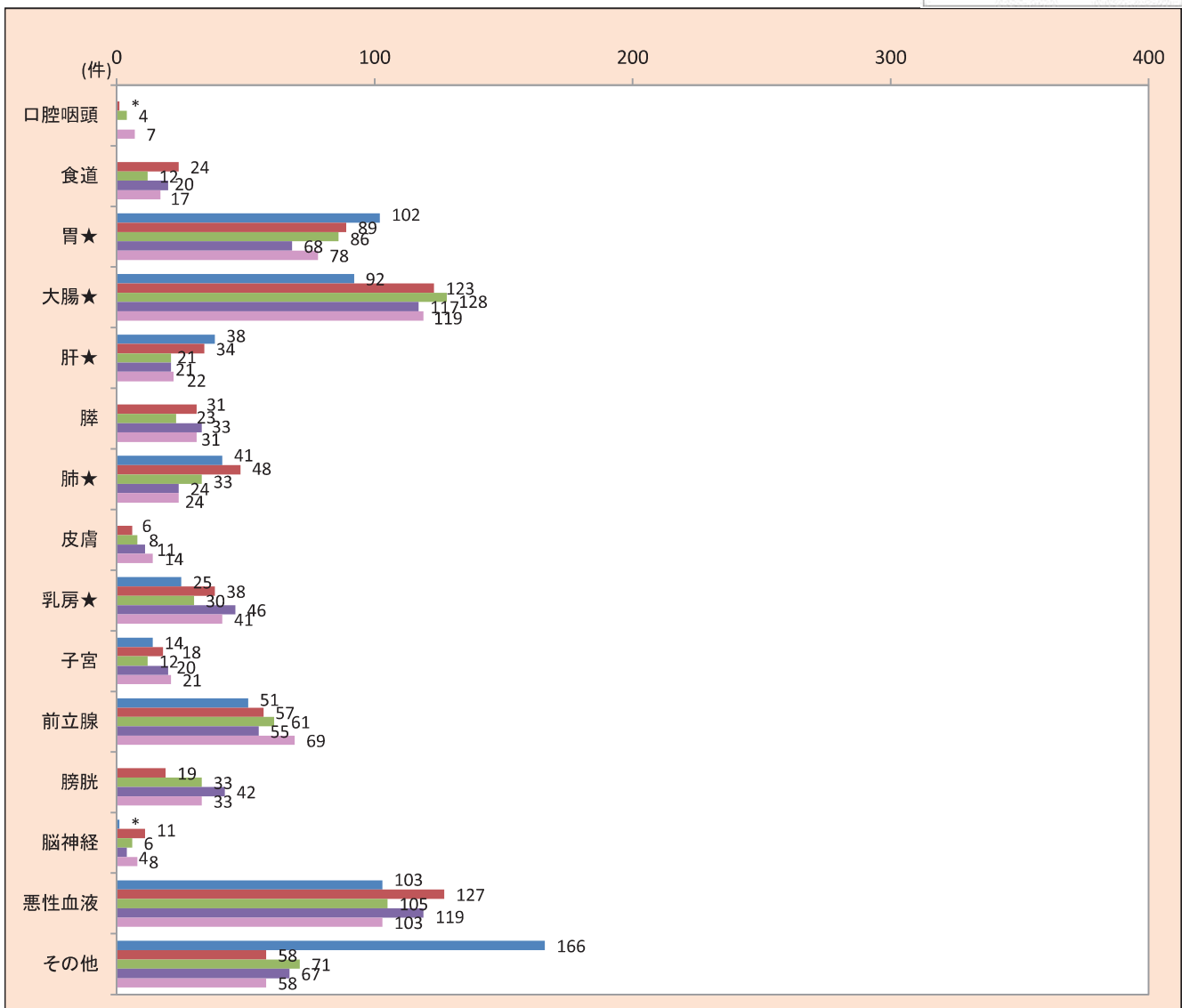
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*	4		7
食道		24	12	20	17
胃★	102	89	86	68	78
大腸★	92	123	128	117	119
肝★	38	34	21	21	22
膵		31	23	33	31
肺★	41	48	33	24	24
皮膚		6	8	11	14
乳房★	25	38	30	46	41
子宮	14	18	12	20	21
前立腺	51	57	61	55	69
膀胱		19	33	42	33
脳神経	*	11	6	4	8
悪性血液疾患	103	127	105	119	103
その他	166	58	71	67	58
計	633	684	633	647	645

2017年診断症例 主要部位別割合



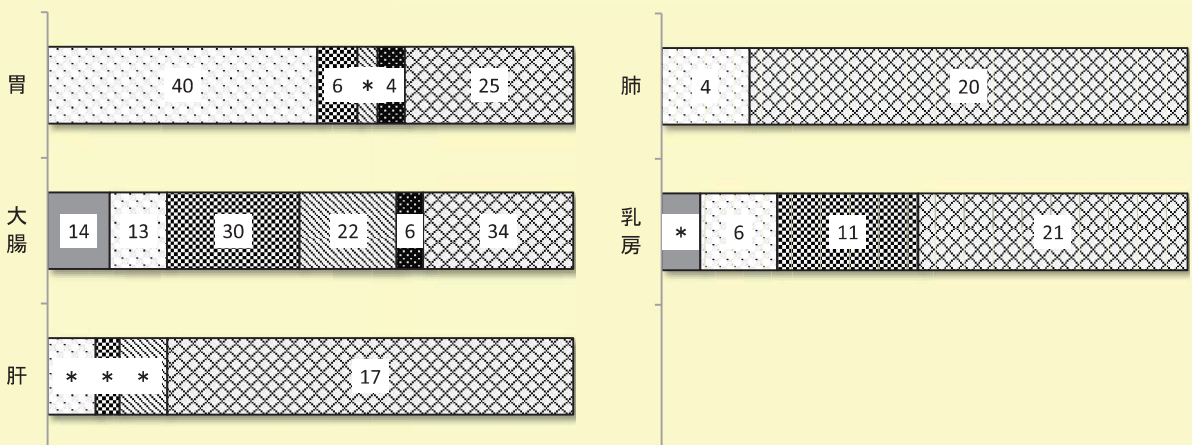
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



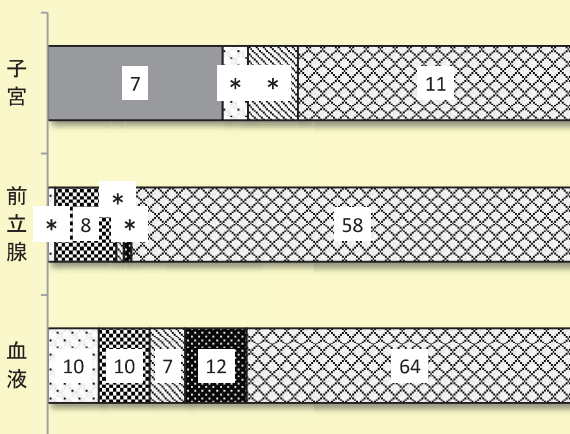
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	7		*	*		*	*
食道	17	*	5				10
胃★	78		40	6	*	4	25
大腸★	119	14	13	30	22	6	34
肝★	22		*	*	*		17
膵	31		*	8			21
肺★	24		4				20
皮膚	14	4	*				7
乳房★	41	*	6	11			21
子宮	21	7	*		*		11
前立腺	69		*	8	*	*	58
膀胱	33	18	*	5	*	*	*
脳神経	8						8
悪性血液疾患	103		10	10	7	12	64
その他	58	4	19	4	7	9	15
計	645	52	110	84	45	37	317

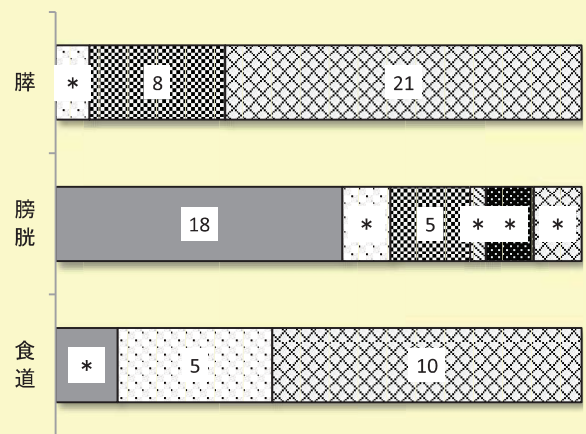
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



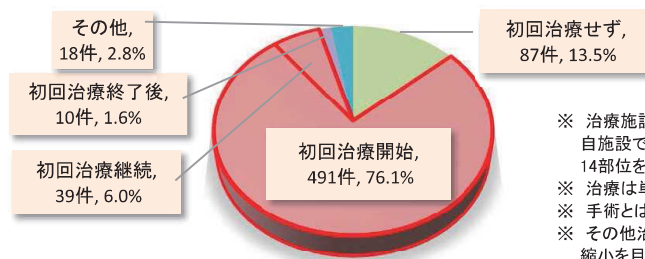
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本総合病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

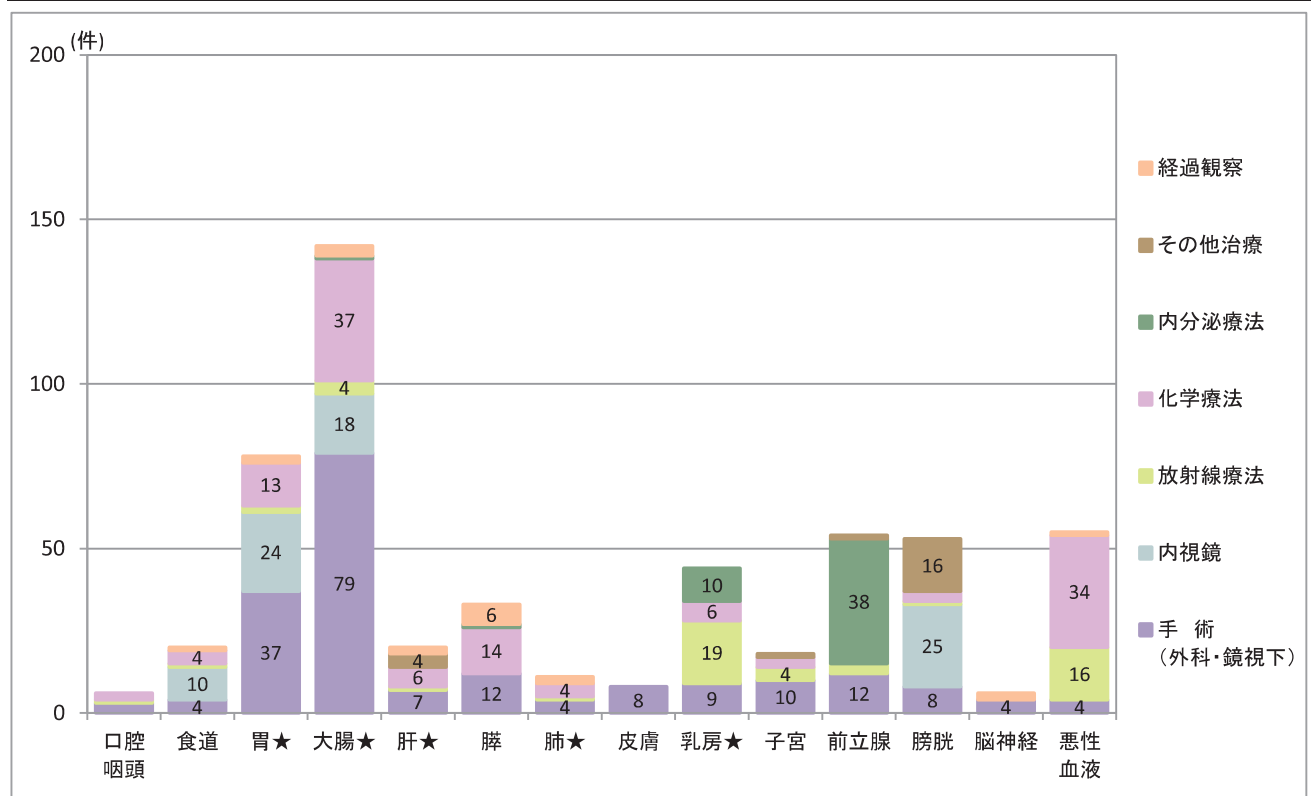
治療施設	件数
1初回治療せず	87
2初回治療開始	491
3初回治療継続	39
4初回治療終了後	10
8その他	18
計	645



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

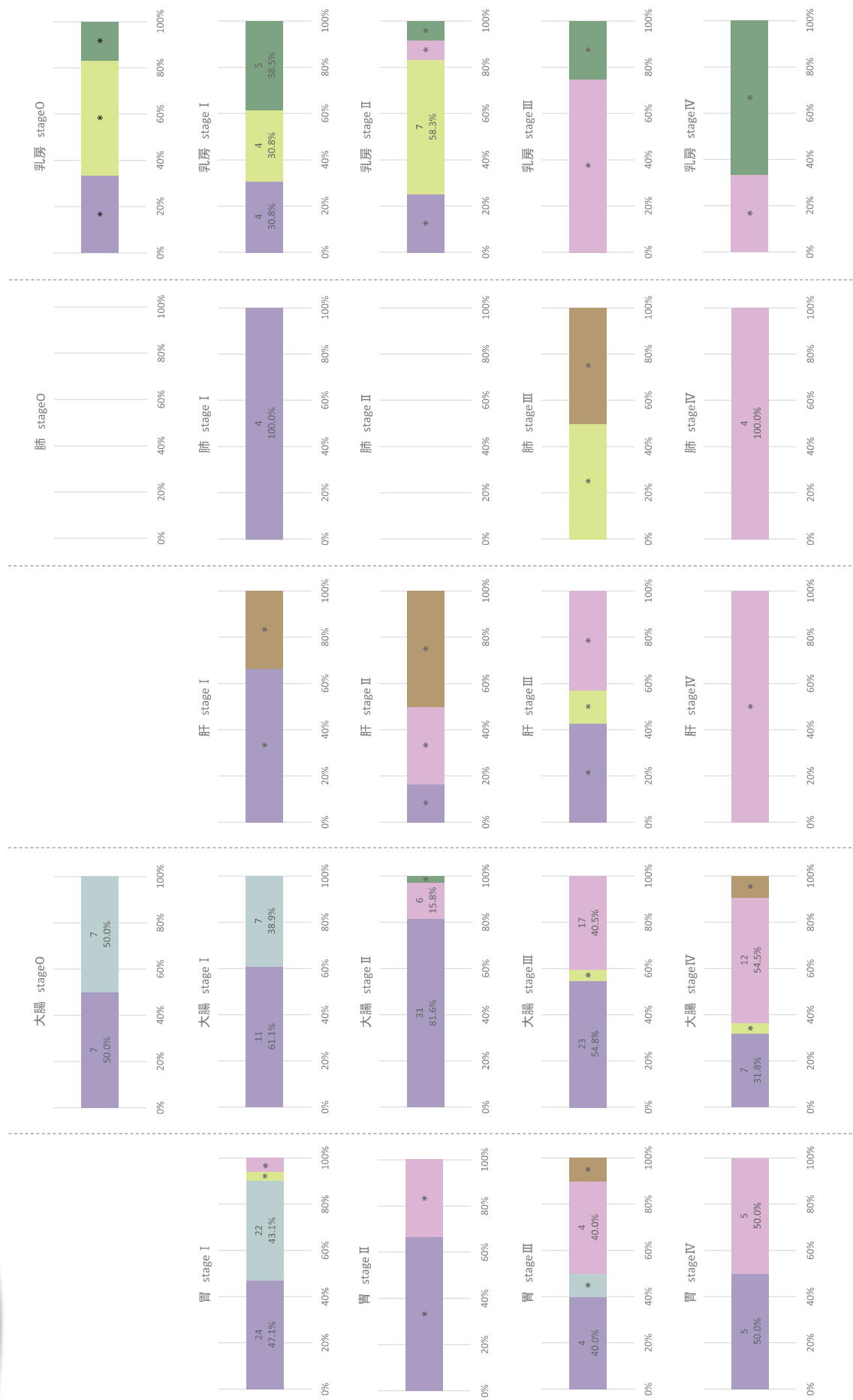
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣残転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	*		*	*				6	100.0%	0.0%	0.0%
食道	4	10	*	4			*	20	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	37	24	*	13			*	78	98.2%	1.8%	0.0%
大腸★	79	18	4	37	*		*	142	96.8%	3.2%	0.0%
肝★	7		*	6		4	*	20	100.0%	0.0%	0.0%
膵	12			14	*		6	33	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	4		*	4			*	11	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	8							8	87.5%	12.5%	0.0%
乳房★	9		19	6	10			44	100.0%	0.0%	0.0%
子宮	10		4	*		*		18	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	12		*		38	*		54	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	8	25	*	*		16		53	81.3%	18.8%	0.0%
脳神経	4						*	6	50.0%	50.0%	0.0%
悪性血液疾患	4		16	34			*	55	100.0%	0.0%	0.0%
計	201	77	53	126	50	22	19	548			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察含)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター
-------	--

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市中央区本荘5丁目16-10
病床数	227床
診療科数	16科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2011.01.01
平均在院日数	10.9 (日)
入院患者数	5,946 (人)
外来患者延数	66,984 (人)
院内がん登録件数	513 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 1 (名)

○医療機関からのコメント

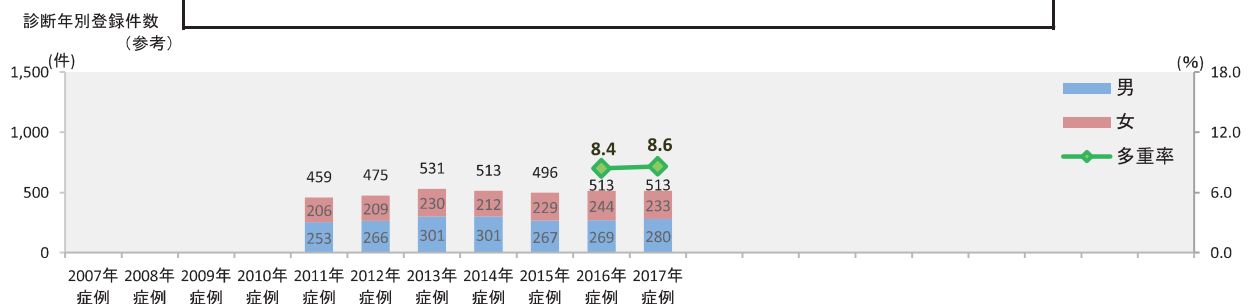
【症例数】 2017年の症例数は513件であり、前年と同数となった。男女別では男性280件で11件の増加、女性233件で11件の減少であった。全体の平均年齢は73.6歳(男性73.2歳、女性74.1歳)であり昨年(72.5歳)と同様であった。

【診断時住所】 熊本市が全体の85.8%を占めており、前年の81.5%から増加している。熊本市に次いで菊池(4.5%)、上益城(3.5%)から受け入れがあった。当院は熊本市医師会病院であり、医師会員からの紹介患者が主体であり、熊本市が大半を占めている。

【上位5部位】 大腸(29.0%)、胃(19.2%)、肺(13.8%)、膵(11.9%)、乳房(6.6%)であった。前年と比較すると、肺と胃の順位が入れ替わっている。また、その他の部位に含まれるが、胆道系は7.6%であり乳房を上回った。2011年症例からの推移をみると、院内がん登録件数は毎年500件前後である。1～4位「大腸、胃、肺、膵」の順位はほぼ変わらず、5位の乳房、肝が僅差で入れ替わりを繰り返している。上位5部位を患者住所医療圏別にみると、大腸、胃、肺、膵、乳房の患者数の約7割を熊本市が占めている。残り3割は、宇城(1.1%)、有明(0.8%)、菊池(3.9%)、阿蘇(0.8%)、上益城(2.5%)、球磨(0.6%)、天草(1.4%)、県外(0.6%)であり、県北、県南、県外と幅広い地域からの患者を受け入れている。

【初回治療】 初回治療の42.1%を手術が占め、化学療法が30.0%、内視鏡治療が22.5%であった。件数を前年と比較すると、手術は15件減であり、特に肺は16件から8件へ減少していた。それに対し、内視鏡治療は22件増であり、胃が18件から43件、大腸が51件から47件である。内視鏡治療の増加は、総合stage I での診断例が増加したためと思われる。

★よかとこネット(がんサロン)は、2009年がん患者さんとその家族を支援したいという強い思いから当院の有志ある看護師等によって結成された組織です。名前の由来は、がん患者さんとご家族が集う場所、情報交換の場所、熊本弁で「うわ〜ここはよか処ばい、よかネットワークばい」という意味を込め命名しました。毎月1回、看護師、MSW、薬剤師、管理栄養士等、他職種の有志によりイベントを開催。患者さん、患者さん家族、院外参加者の心のよりどころとなる会を目指し活動している。

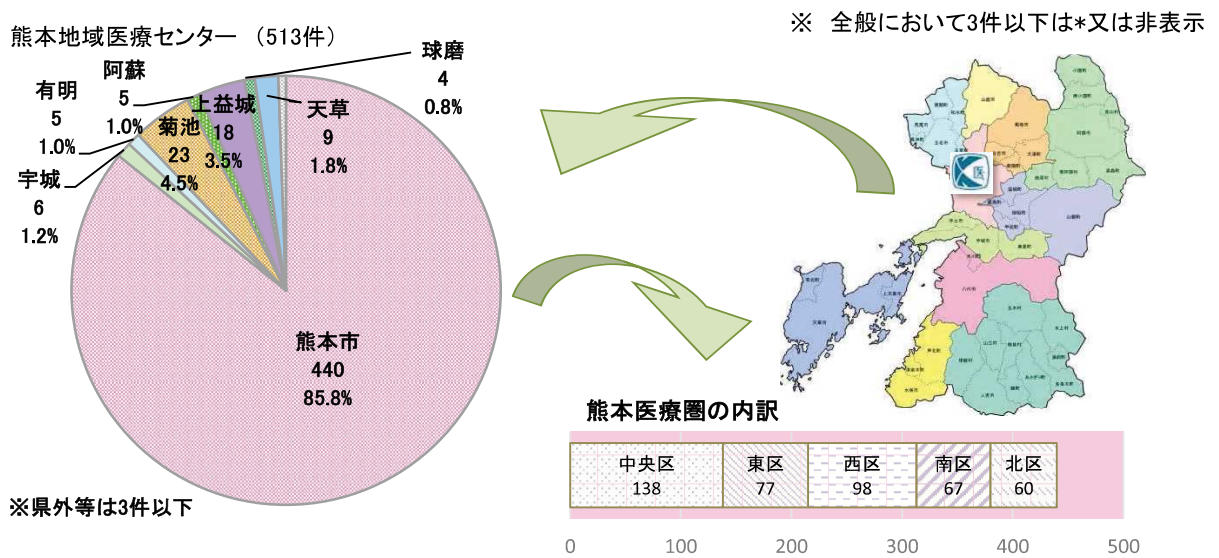


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本地域医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

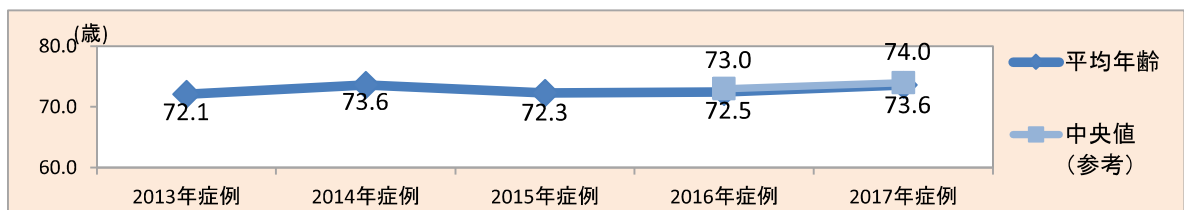


◇ 医療圏別上位部位

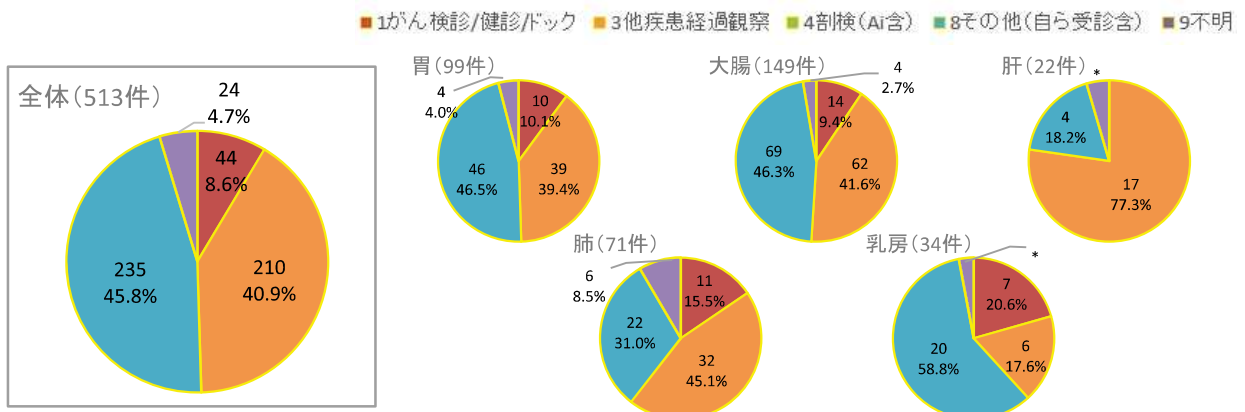
熊本市	大腸	138	鹿本		上益城	胃	5	球磨	複数部位	*
	胃	82								
	肺	62								
	膵	49								
	その他	44								
宇城	複数部位	*	菊池	胃	5	八代		天草	膵	4
				乳房	5					
				大腸	4					
				肺	4					
有明	複数部位	*	阿蘇	複数部位	*	芦北		県外等	複数部位	*

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

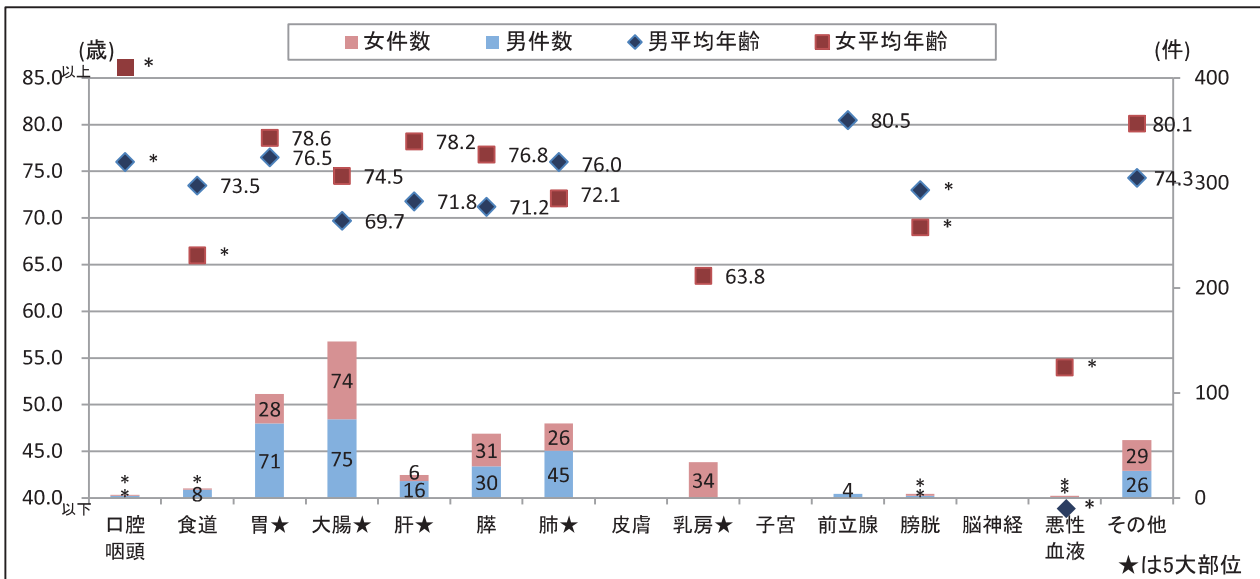
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

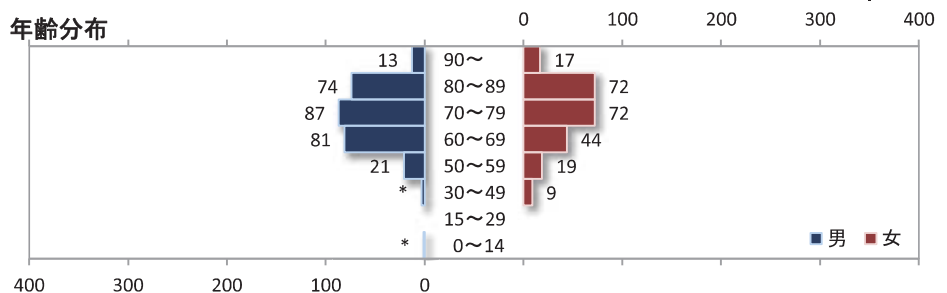


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
大腸	75	複数部位	*			複数部位	*	大腸	9
胃	71							膵	4
肺	45							など	
膵	30								
その他	26								
肝	16								
食道	8	計	*			計	*	計	21
前立腺	4	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
口腔咽頭	*	大腸	32	胃	22	胃	24	胃	6
膀胱	*	胃	18	肺	21	大腸	15	大腸	4
悪性血液	*	膵	9	大腸	12	肺	13	など	
皮膚		肺	7	膵	12	その他	9		
乳房		その他	7	その他	8	など			
子宮		など		など					
脳神経		計	81	計	87	計	74	計	13
計	280								



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
大腸	74				乳房	7	大腸	9	
乳房	34				など		乳房	5	
膵	31						など		
その他	29								
胃	28								
肺	26								
肝	6								
膀胱	*	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
口腔咽頭	*	大腸	11	大腸	23	大腸	27	その他	7
食道	*	肺	10	膵	12	胃	14	など	
悪性血液	*	乳房	7	乳房	11	膵	10		
皮膚		膵	6	肺	10	その他	10		
子宮		その他	5	その他	7	肺	4		
前立腺		など		など		など			
脳神経		計	44	計	72	計	72	計	17
計	233								

年齢分布



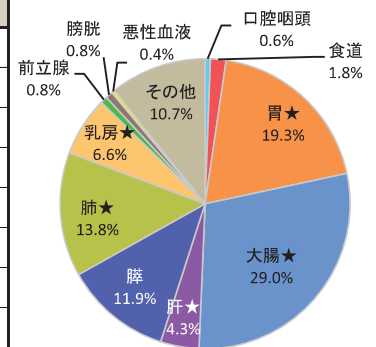
II 施設別統計

熊本地域医療センター

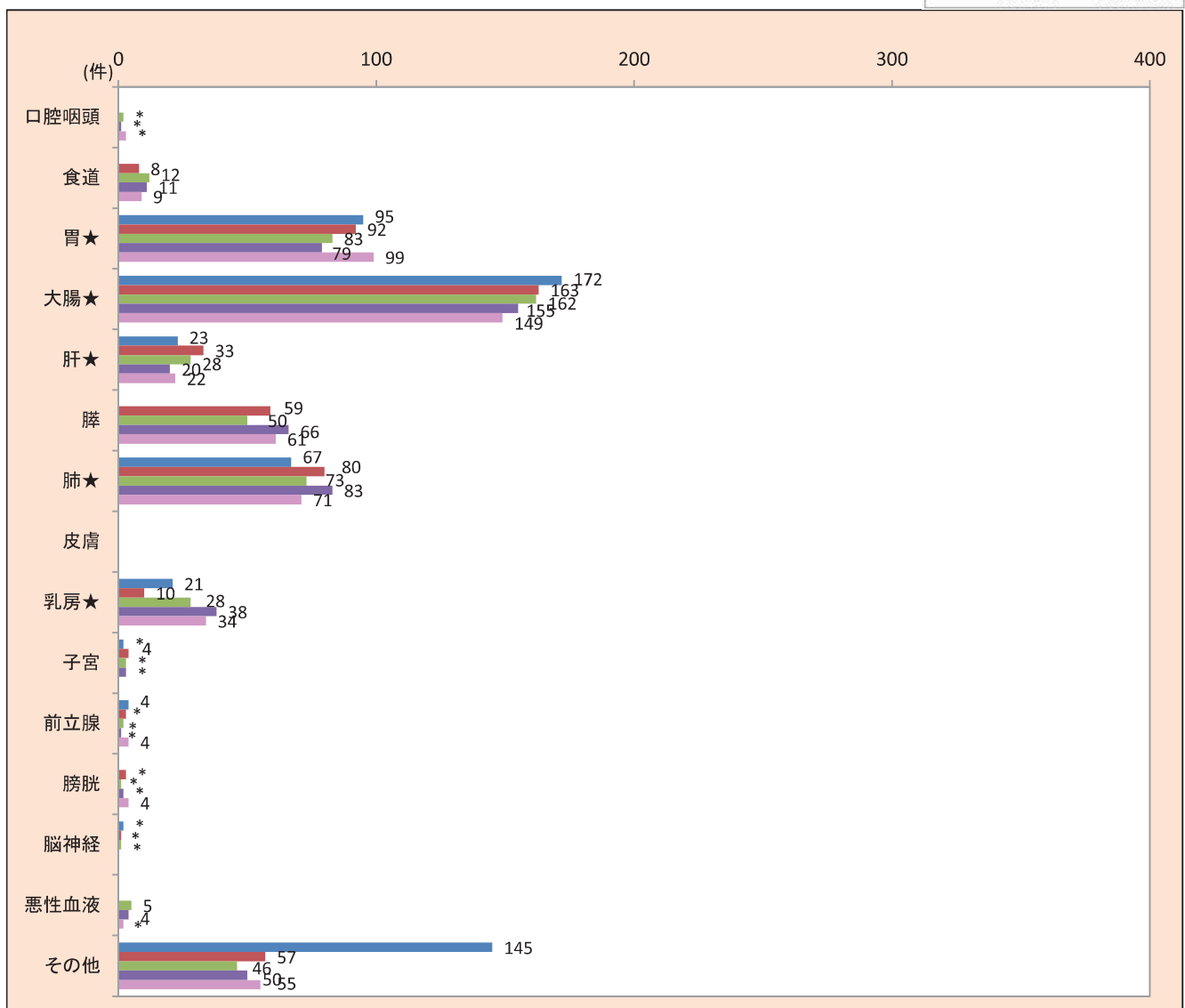
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭			*	*	*
食道		8	12	11	9
胃★	95	92	83	79	99
大腸★	172	163	162	155	149
肝★	23	33	28	20	22
膵		59	50	66	61
肺★	67	80	73	83	71
皮膚					
乳房★	21	10	28	38	34
子宮	*	4	*	*	*
前立腺	4	*	*	*	4
膀胱		*	*	*	4
脳神経	*	*	*		
悪性血液疾患			5	4	*
その他	145	57	46	50	55
計	531	513	496	513	513

2017年診断症例 主要部位別割合

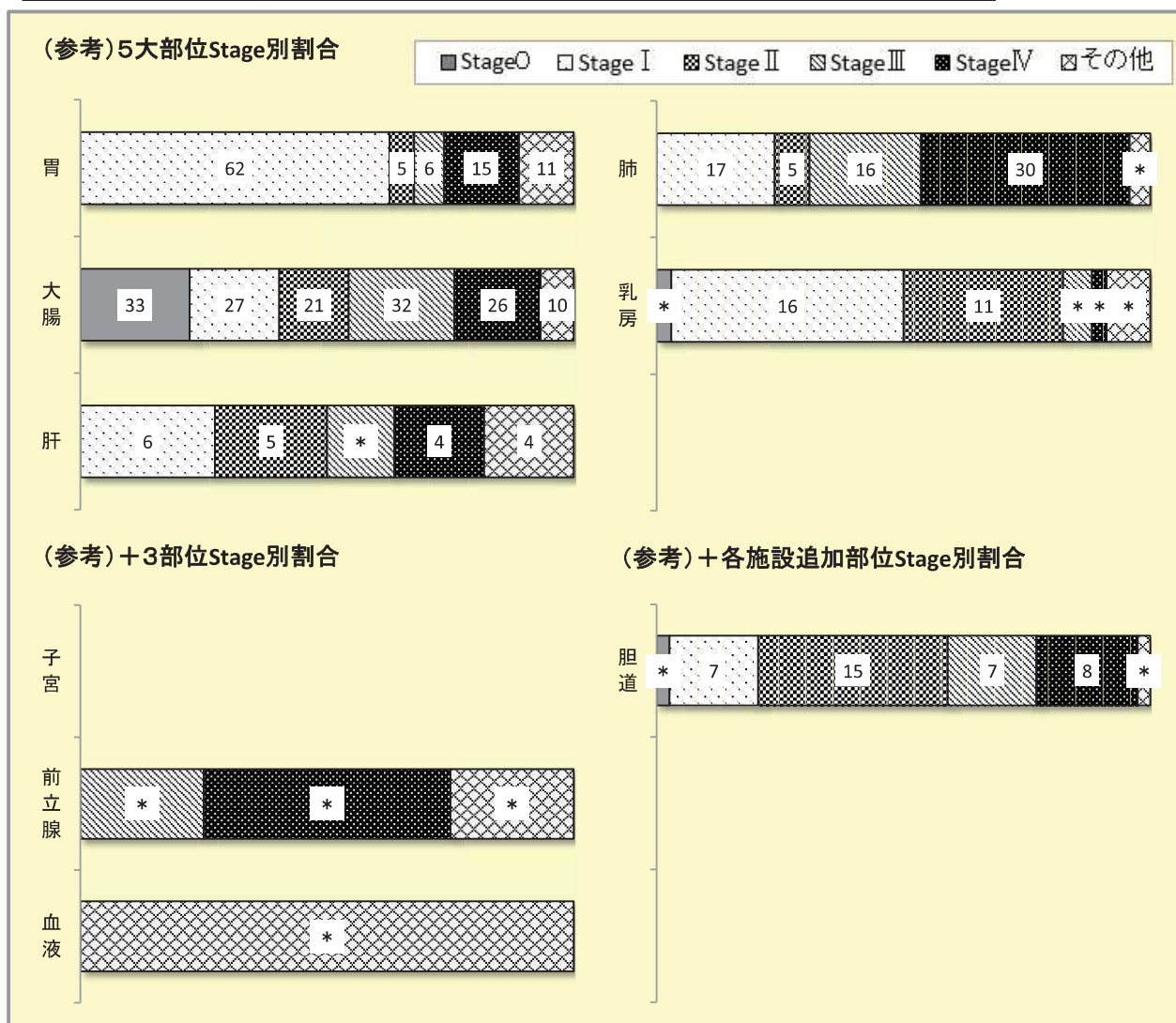


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*					*	*
食道	9	*	4		4		
胃★	99		62	5	6	15	11
大腸★	149	33	27	21	32	26	10
肝★	22		6	5	*	4	4
膵	61	*	9	19	4	25	*
肺★	71		17	5	16	30	*
皮膚	0						
乳房★	34	*	16	11	*	*	*
子宮	0						
前立腺	4				*	*	*
膀胱	4					*	*
脳神経	0						
悪性血液疾患	*						*
その他	55	*	11	15	8	13	7
計	513	38	152	81	76	118	48



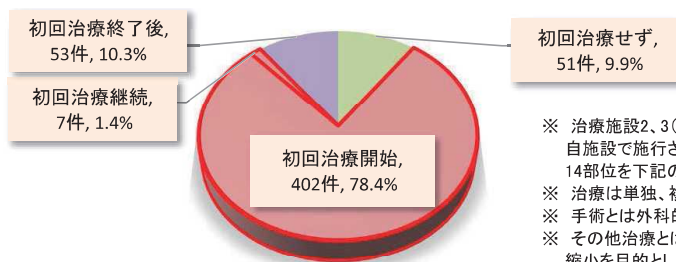
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本地域医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

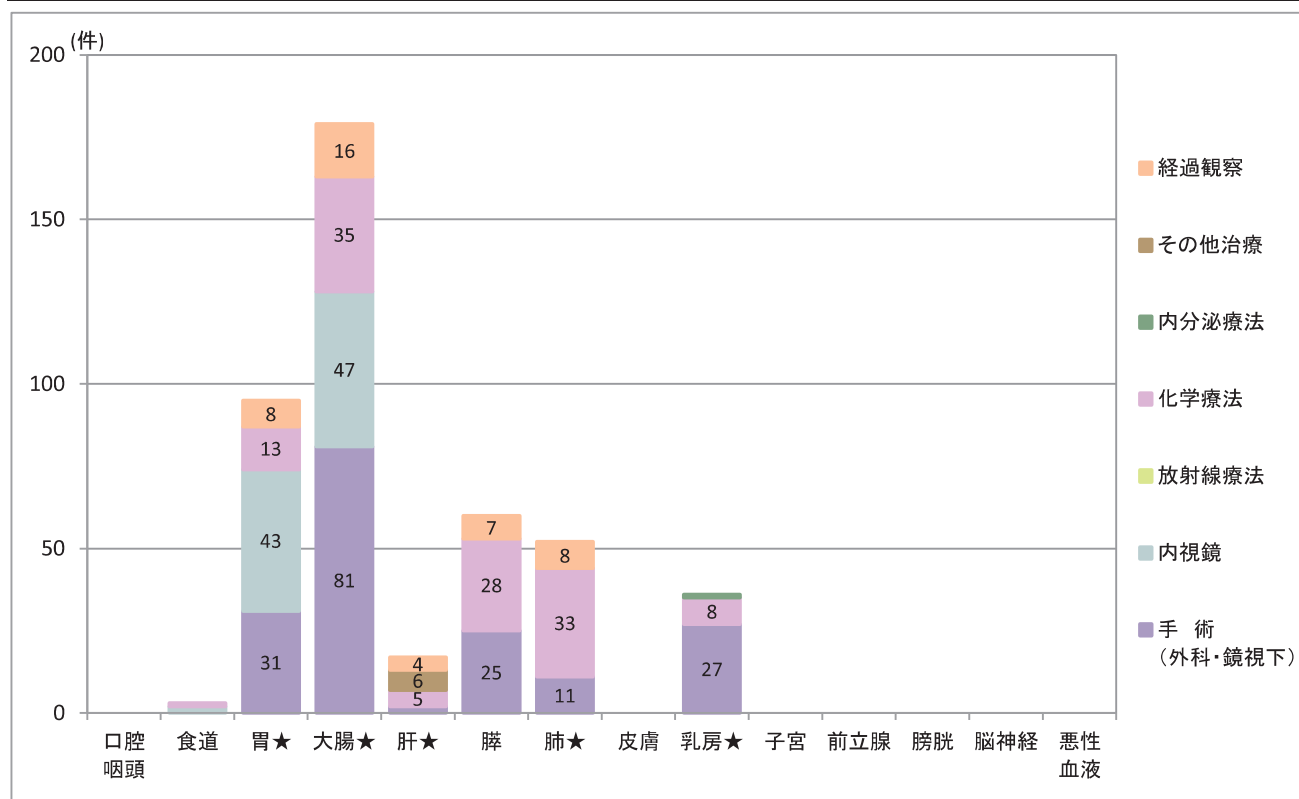
治療施設	件数
1初回治療せず	51
2初回治療開始	402
3初回治療継続	7
4初回治療終了後	53
8その他	0
計	513



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

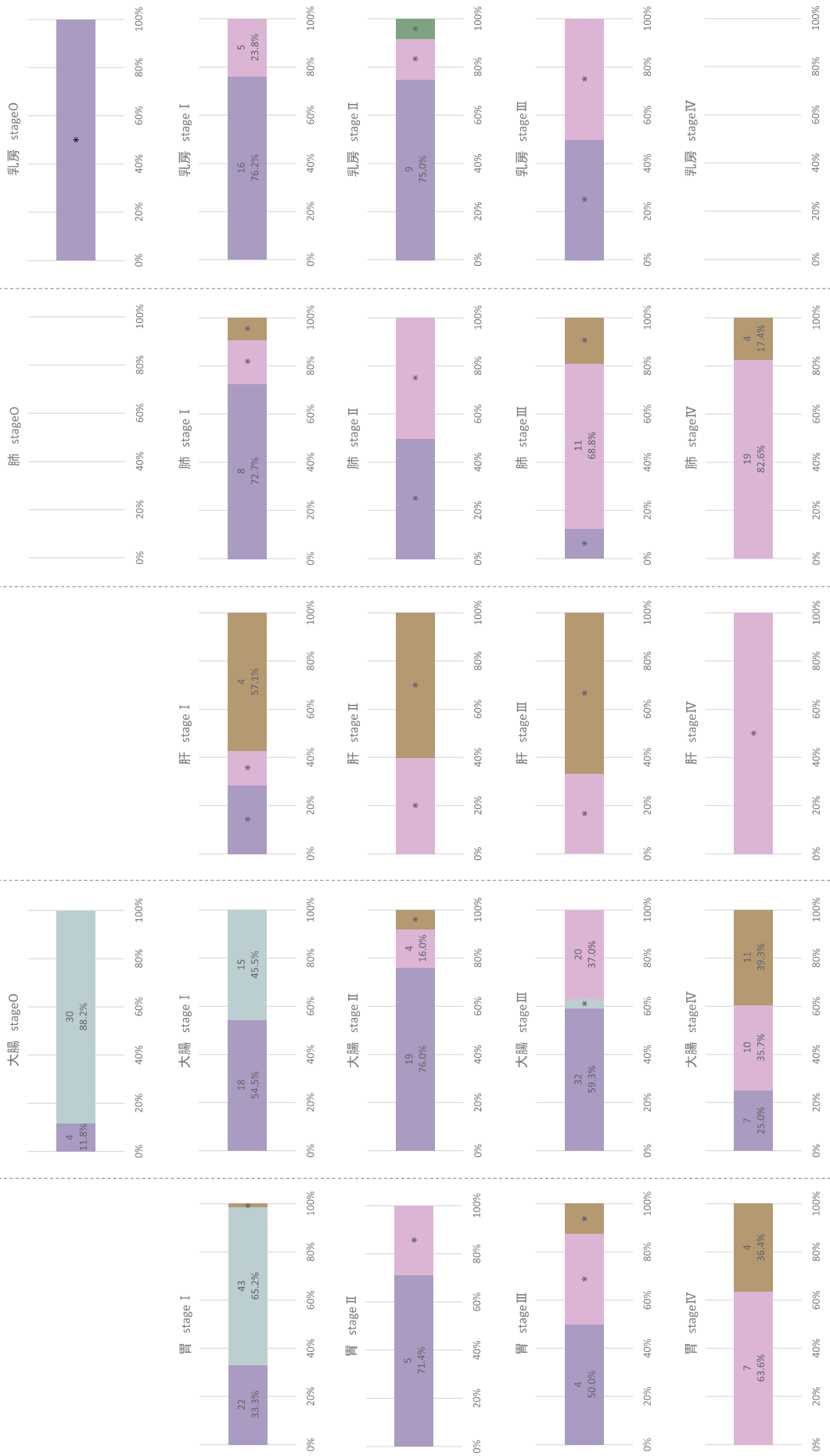
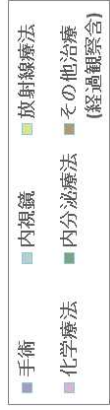
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道		*		*				*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	31	43		13			8	95	95.7%	4.3%	0.0%
大腸★	81	47		35			16	179	95.8%	4.2%	0.0%
肝★	*			5		6	4	17	100.0%	0.0%	0.0%
膵	25			28			7	60	92.0%	8.0%	0.0%
肺★	11			33			8	52	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	27			8	*			36	100.0%	0.0%	0.0%
子宮								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳神経								0			
悪性血液疾患								0			
計	177	92	0	123	*	6	43	442			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUIC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療に、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院
-------	--

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市南区田井島1丁目5番1号
病床数	361床
診療科数	21科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2008.01.01
平均在院日数	12.5 (日)
入院患者数	9,241 (人)
外来患者延数	120,115 (人)
院内がん登録件数	1,133 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 3 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

[件数]
当院の症例数は1133件であり、前年の1104件に比べ約3%増加している。ほぼ例年同様の件数となっている。

[男女比・平均年齢]
男女比率は男性68.4%(775件)、女性31.6%(358件)、平均年齢は71.5歳であり、ほぼ前年同様である。

[患者住所医療圏]
熊本市が50.5%を占め、続いて上益城(13.9%)、宇城(8.2%)、天草(6.2%)と前年同様であり、くまちゅう画像ネットの利用など地域連携に取り組んでいる結果といえる。

[当院の特徴]
当院症例の特徴としては、前立腺と肺で全体の半数以上(約51%)を占めていることが挙げられ、前立腺の手術、内分泌療法等を主とする泌尿器系の治療と、肺の手術、化学療法、放射線療法等を主とする呼吸器系の治療に特化している。

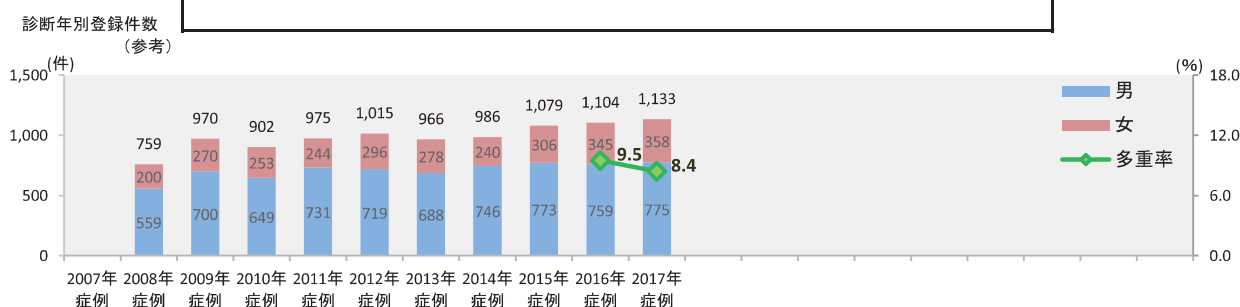
主要部位別件数の上位からみると、肺(293件)、前立腺(289件)、乳房(125件)、大腸(114件)、膀胱(88件)となり、上位5部位に5大がんのうち3部位が入っている。

また、統計上では「部位区分:その他」に含まれているが、腎、尿路等の症例数も多く、前立腺、膀胱と合わせると泌尿器系の症例数は433件に上る。同様に消化器系の症例数は、235件となる。

乳がんについては、2017年1月より乳腺・内分泌外科が新設されたことから、外科手術の件数が前年6件から24件へ増加した。今後も件数や治療内容が変化していくことが考えられる。

治療に関しては、例年どおり手術の中でも体腔鏡的手術(胸腔鏡、腹腔鏡)の症例数が多く、QOLを考慮した治療を行っている。

手術以外では、腫瘍内科、外来化学療法室での化学療法、放射線科での放射線療法と、内科的治療の体制も整備されており、集学的治療を行うことができる。

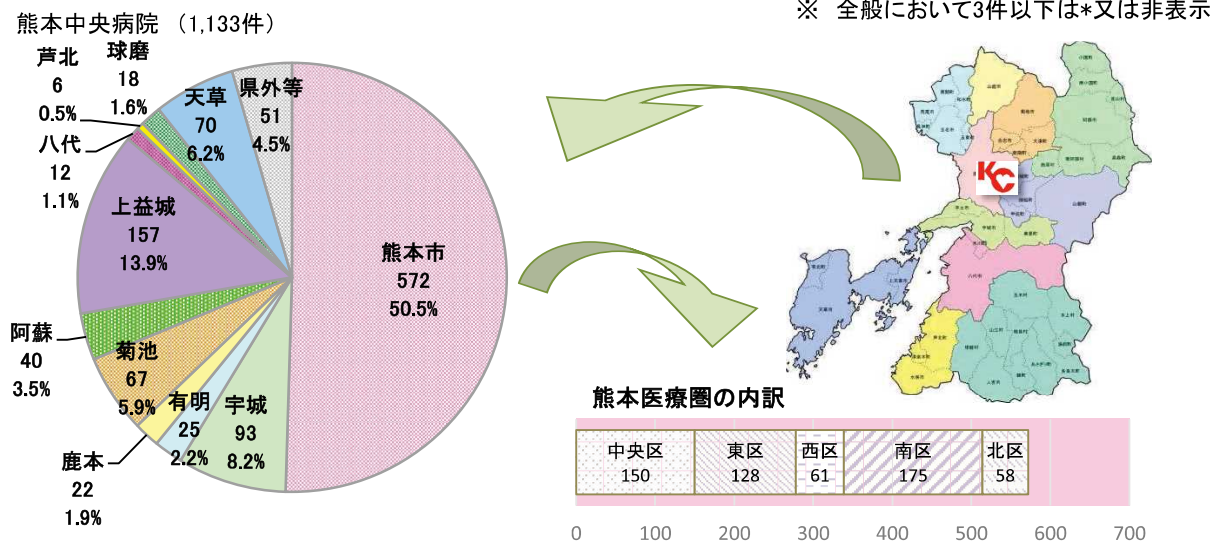


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本中央病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

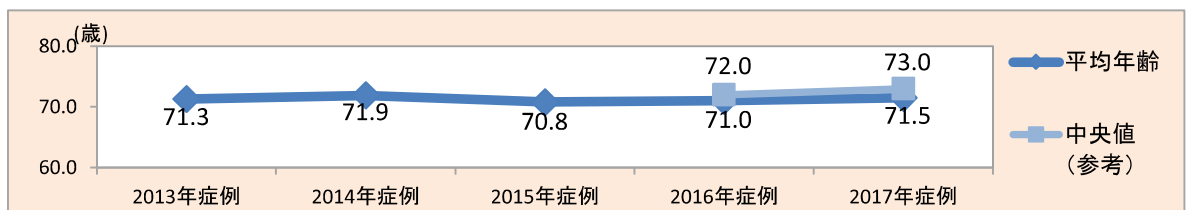


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	肺	140	鹿本	前立腺	8	上益城	前立腺	37	球磨	肺	9
	前立腺	124		その他	5		肺	29		前立腺	8
	大腸	75		肺	4		大腸	25			
	乳房	75					乳房	19			
	胃	43					その他	15			
宇城	前立腺	31	菊池	前立腺	26	八代	前立腺	5	天草	肺	35
	肺	14		膀胱	13		肺	4		前立腺	15
	乳房	14		肺	8					膀胱	8
	膀胱	9		胃	7					その他	6
有明	その他	9	阿蘇	その他	6	芦北	複数部位	*	県外等	肺	19
	肺	13		肺	15					前立腺	16
	前立腺	5		前立腺	11					胃	4
				乳房	7				膀胱	4	

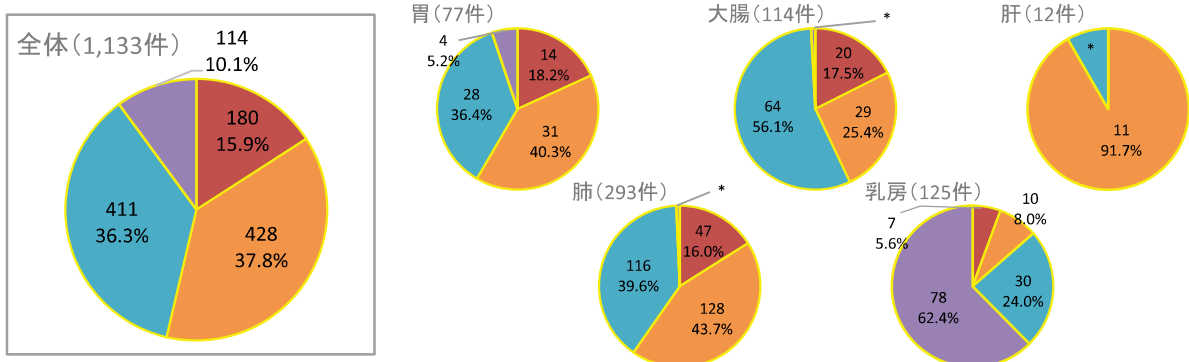
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

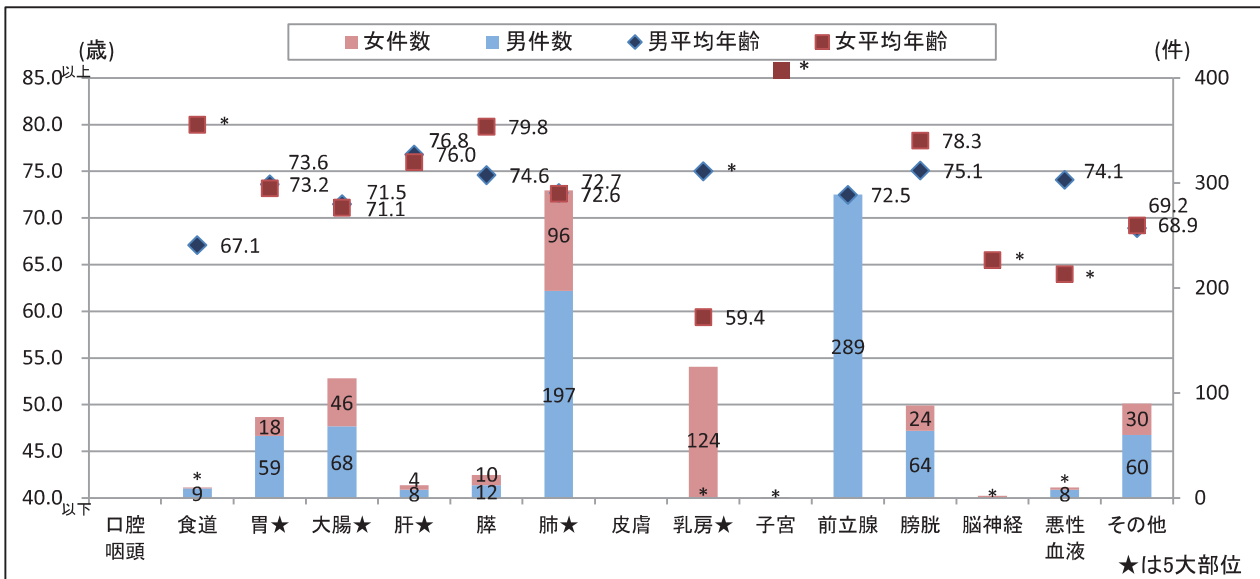


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 2他疾患経過観察 ■ 3剖検(Ai含) ■ 4その他(自ら受診含) ■ 5不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

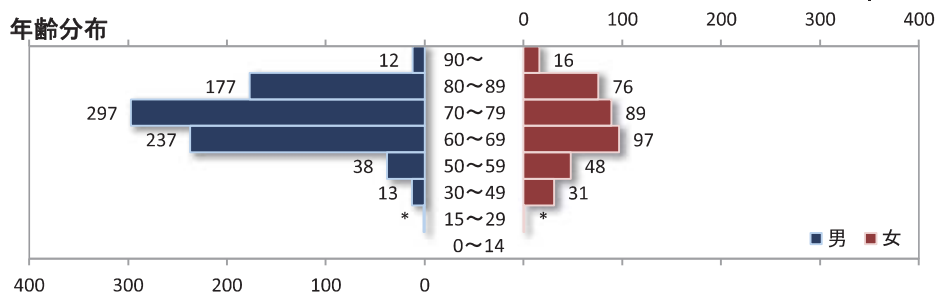


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
前立腺	289		複数部位	*	肺	5	肺	11	
肺	197				大腸	4	前立腺	11	
大腸	68				など		胃	4	
膀胱	64						大腸	4	
その他	60						その他	4	
胃	59						など		
膵	12		計	*	計	13	計	38	
食道	9	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
肝	8	前立腺	101	前立腺	116	前立腺	58	大腸	4
悪性血液	8	肺	54	肺	74	肺	50	など	
乳房	*	大腸	26	胃	26	膀胱	20		
口腔咽頭		その他	21	膀胱	26	大腸	16		
皮膚		膀胱	15	その他	21	胃	15		
子宮		など		など		など			
脳神経		計	237	計	297	計	177	計	12
計	775								



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
乳房	124		複数部位	*	乳房	23	乳房	27	
肺	96				大腸	4	肺	10	
大腸	46				など		その他	5	
その他	30						など		
膀胱	24		計	*	計	31	計	48	
胃	18								
膵	10								
肝	4	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
脳神経	*	肺	34	乳房	26	肺	23	肺	6
悪性血液	*	乳房	34	肺	23	大腸	14	など	
食道	*	大腸	11	大腸	14	膀胱	11		
子宮	*	その他	9	膀胱	9	乳房	10		
口腔咽頭		など		その他	6	その他	6		
皮膚		計	97	計	89	計	76	計	16
前立腺									
計	358								

年齢分布



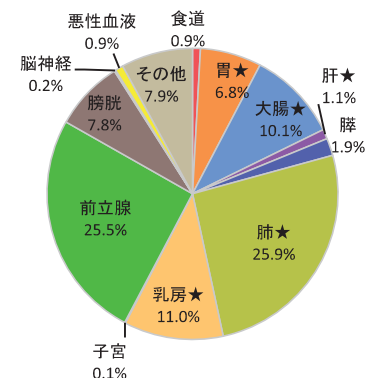
Ⅱ 施設別統計

熊本中央病院

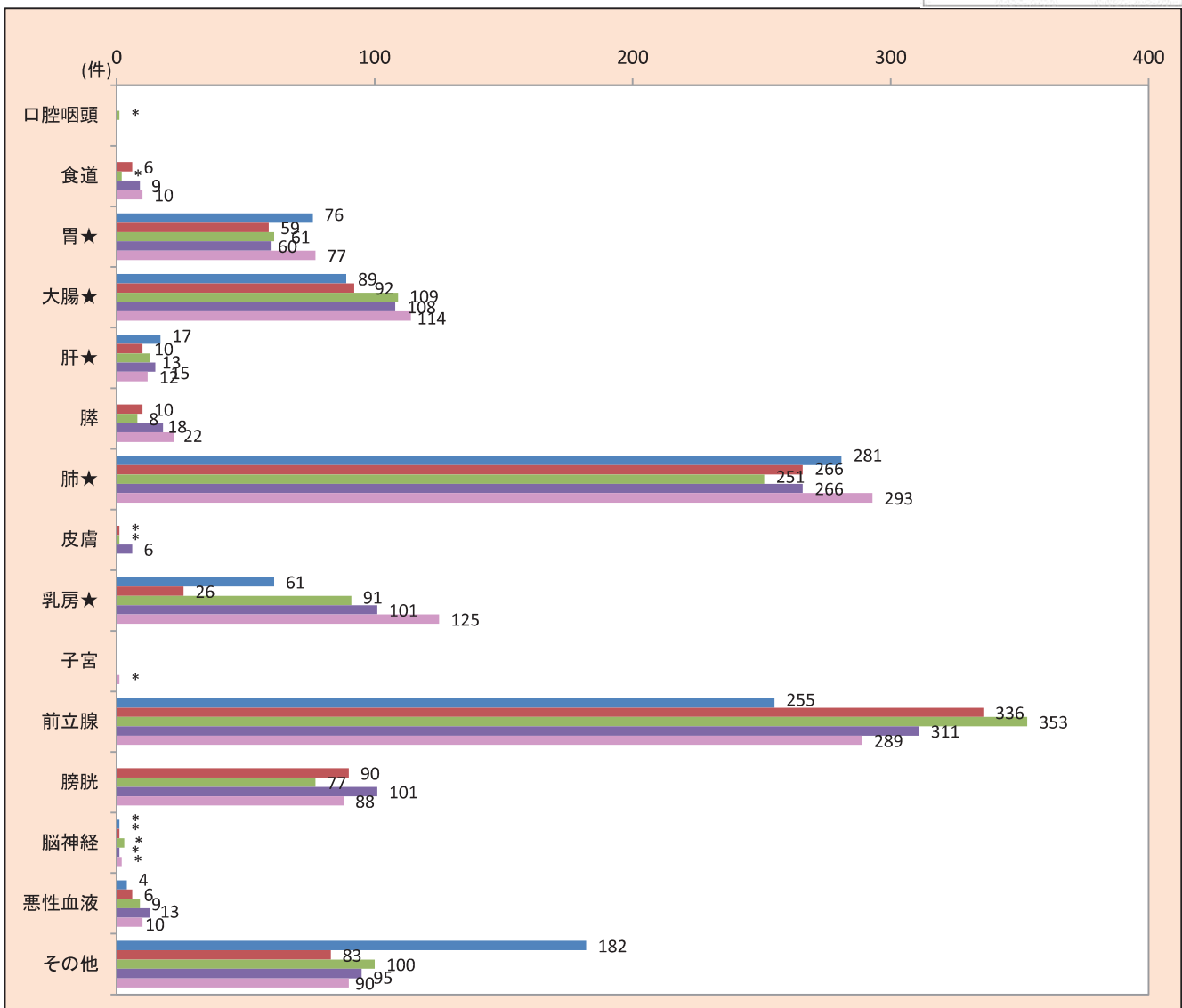
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭			*		
食道		6	*	9	10
胃★	76	59	61	60	77
大腸★	89	92	109	108	114
肝★	17	10	13	15	12
膵		10	8	18	22
肺★	281	266	251	266	293
皮膚		*	*	6	
乳房★	61	26	91	101	125
子宮					*
前立腺	255	336	353	311	289
膀胱		90	77	101	88
脳神経	*	*	*	*	*
悪性血液疾患	4	6	9	13	10
その他	182	83	100	95	90
計	966	986	1,079	1,104	1,133

2017年診断症例 主要部位別割合



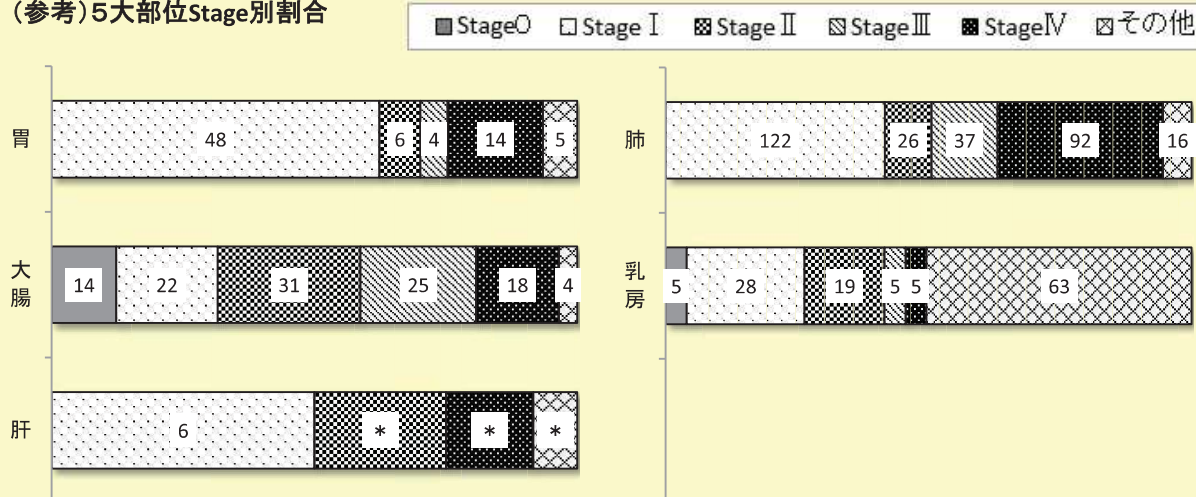
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



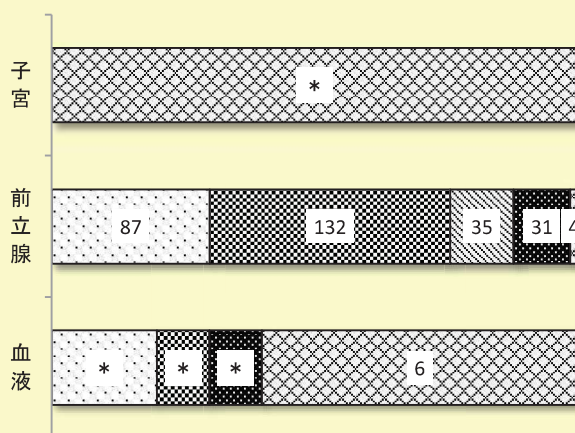
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	0						
食道	10	*	6		*		*
胃★	77		48	6	4	14	5
大腸★	114	14	22	31	25	18	4
肝★	12		6	*		*	*
膵	22		*		*	16	4
肺★	293		122	26	37	92	16
皮膚	0						
乳房★	125	5	28	19	5	5	63
子宮	*						*
前立腺	289		87	132	35	31	4
膀胱	88	39	22	10	*	4	11
脳神経	*						*
悪性血液疾患	10		*	*		*	6
その他	90	*	34	9	17	9	20
計	1,133	60	378	237	128	192	138

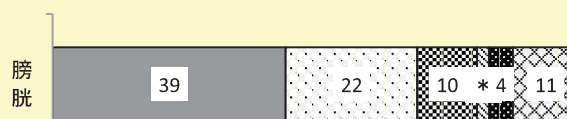
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



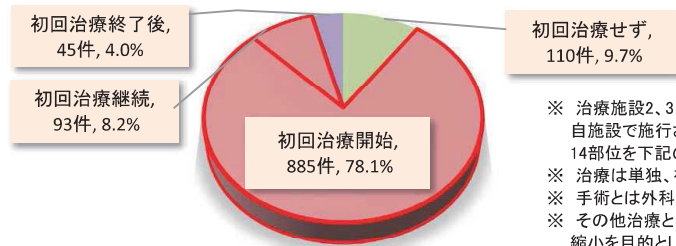
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本中央病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

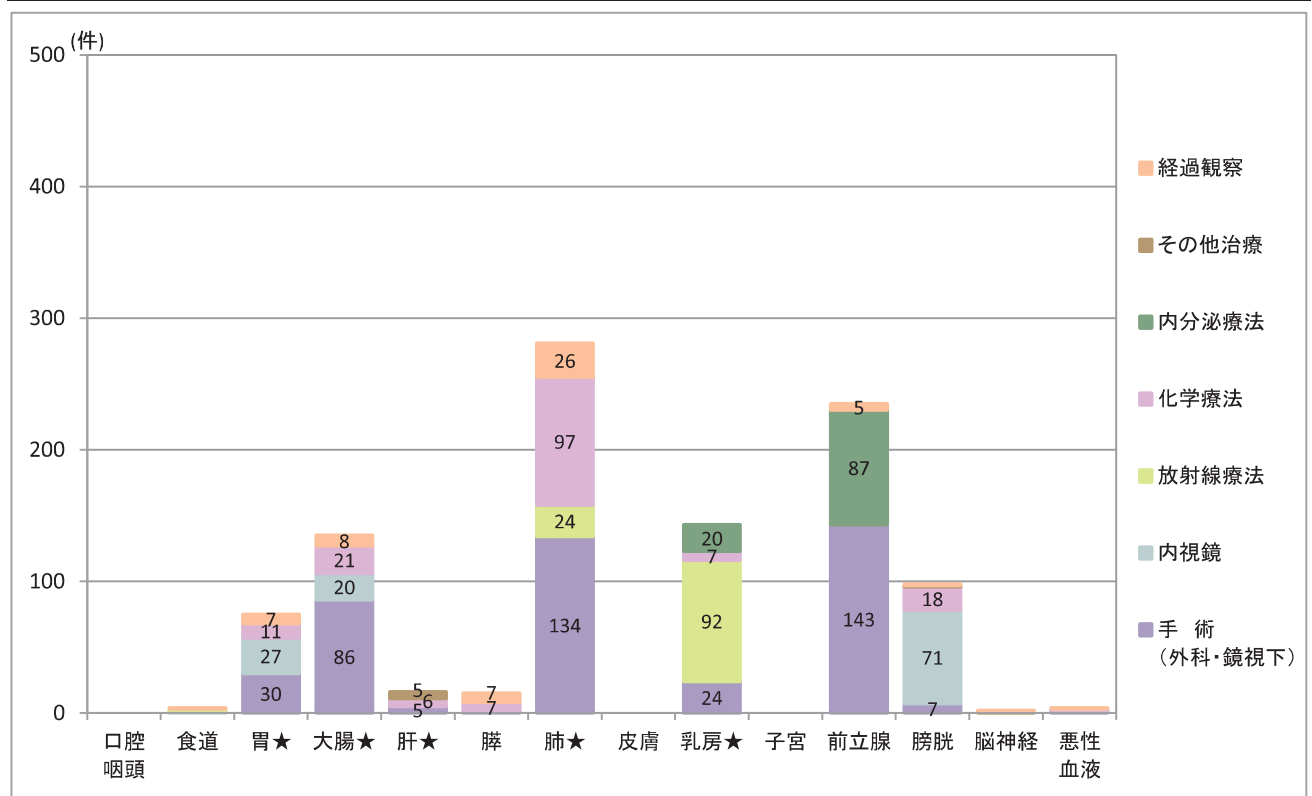
治療施設	件数
1初回治療せず	110
2初回治療開始	885
3初回治療継続	93
4初回治療終了後	45
8その他	0
計	1,133



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

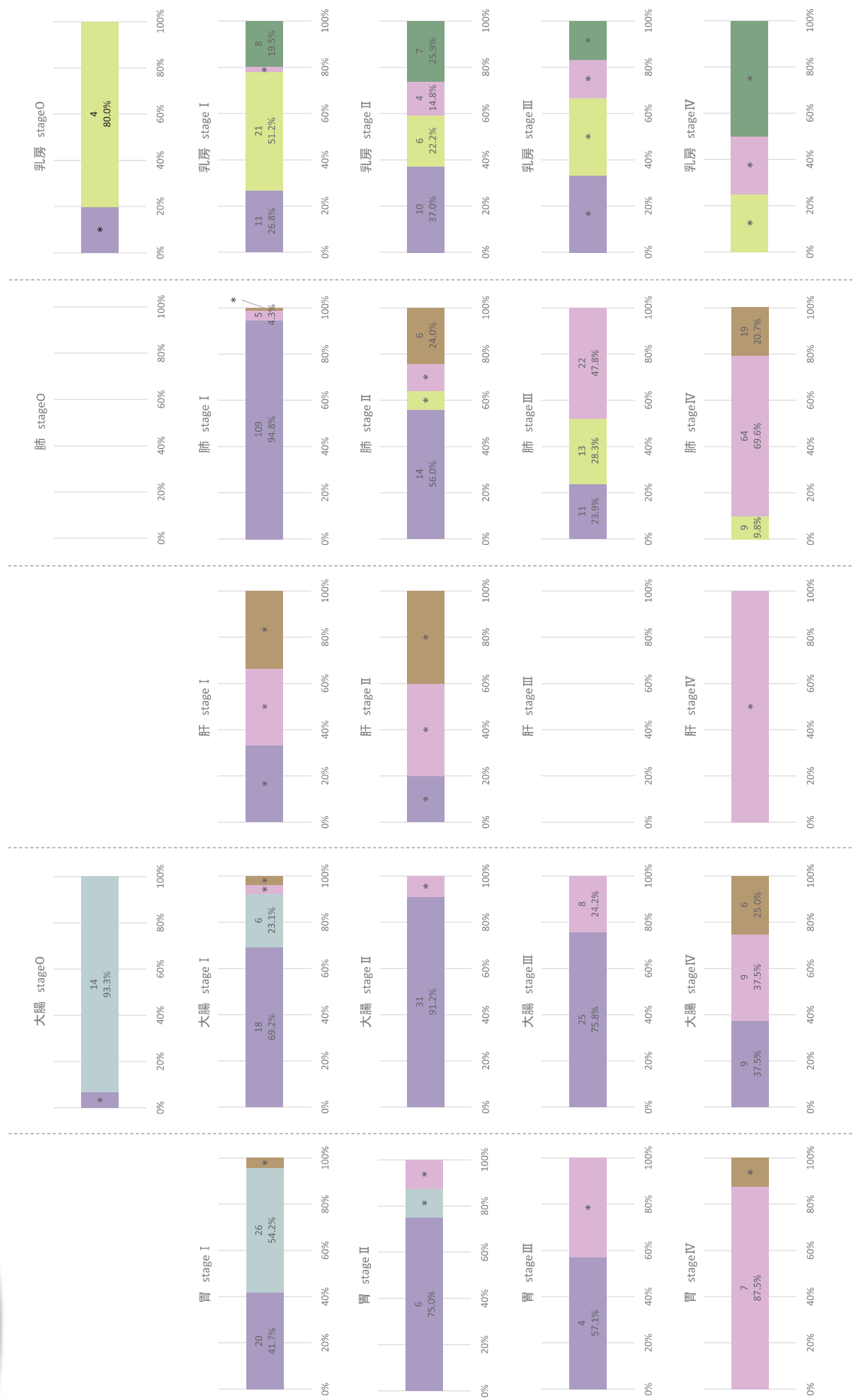
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣残転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道		*	*				*	4	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	30	27		11			7	75	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	86	20		21			8	135	93.0%	7.0%	0.0%
肝★	5			6		5	7	16	80.0%	0.0%	20.0%
膵	*			7			7	15	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	134		24	97			26	281	99.3%	0.7%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	24		92	7	20			143	100.0%	0.0%	0.0%
子宮								0			
前立腺	143				87		5	235	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	7	71		18		*	*	98	58.4%	41.6%	0.0%
脳神経						*	*	*			
悪性血液疾患	*			*			*	4	100.0%	0.0%	0.0%
計	432	119	118	168	107	7	57	1,008			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察含)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 独立行政法人国立病院機構 熊本南病院
-------	---

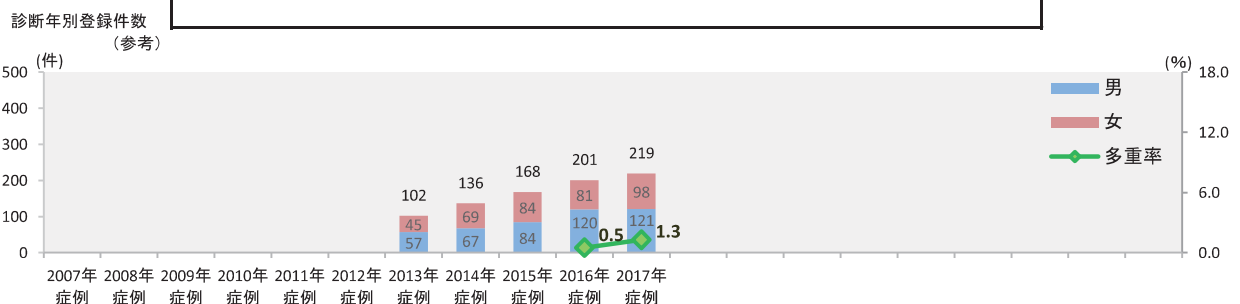
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	宇城市松橋町豊福2338番地
病床数	172床
診療科数	13科
がん診療連携拠点病院指定日	2014.02.28
がん登録開始基準日	2012.04.01
平均在院日数	29.9 (日)
入院患者数	1,652 (人)
外来患者延数	34,285 (人)
院内がん登録件数	219 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

≪登録件数≫
 ・当院の2017年登録件数は、219件であり前年より18件(8%)増となった。
 ≪医療圏≫
 ・宇城81.7%、(前年 75.6%)、熊本6%、八代6%と、宇城が全患者の8割以上を占めている。
 ≪平均年齢・男女比≫
 ・登録症例の全体の平均年齢は、75.6歳(前年 74.7歳)で、男性平均74.5歳、女性平均77.0歳となっている。男女とも80歳代が全体の33%を占めることになった。
 男女比は、男性55.3%(121件)、女性44.7%(98件)となった。
 ≪部位≫
 ・肺(18.7%)、悪性血液疾患(15.5%)、大腸(10.5%)、肝(8.7%)、膵(8.7%)、胃(6.8%)、食道(4.1%)の順となった。
 ≪治療前病期分類の割合≫
 ・cStageⅠ期(7.8%)、cStageⅡ期(8.7%)、cStageⅢ期(6.8%)、cStageⅣ期(42%)、その他は(34.7%)となった。
 ≪特徴≫
 ・宇城地域医療圏からの患者がもつとも多い。依然として高齢者(70歳以上)が7割ほどを占めている。
 現在、がん診療連携拠点病院としての広報に取り組み、地域ケア連携研修会や市民公開講座の開催等、地域との連携を深めている。また、がん相談支援センターへの相談件数も増加している。
 がん診療連携の要となる「私のカルテ」、「私のノート」の推進を図るとともに、「宇城がんサロン〜ほっとカフェ〜」が関係者に利用しやすくなるように努め、更に地域医療の質の向上を目指している。

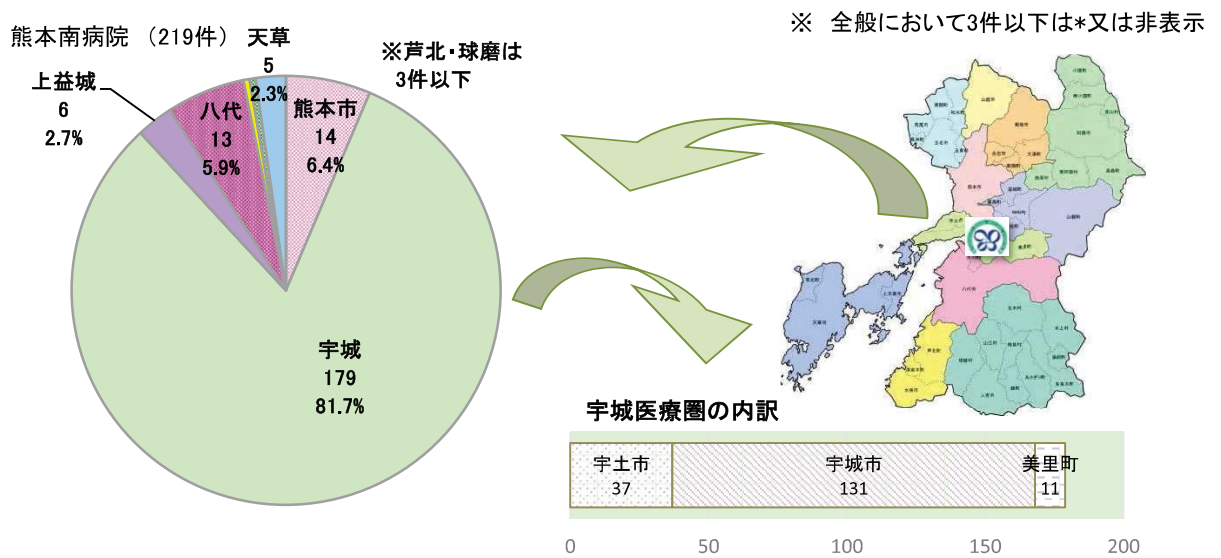


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

熊本南病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

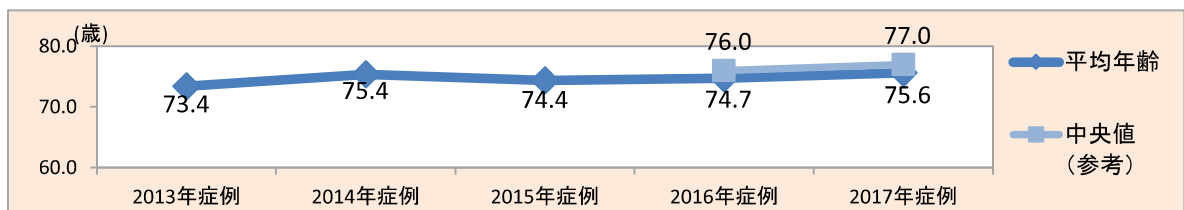


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	大腸	4	鹿本		上益城	複数部位	*	球磨	複数部位	*
	悪性血液	4								
宇城	肺	29	菊池		八代	肺	6	天草	複数部位	*
	悪性血液	27								
	その他	25								
	大腸	19								
有明	肝	17	阿蘇		芦北	複数部位	*	県外等		

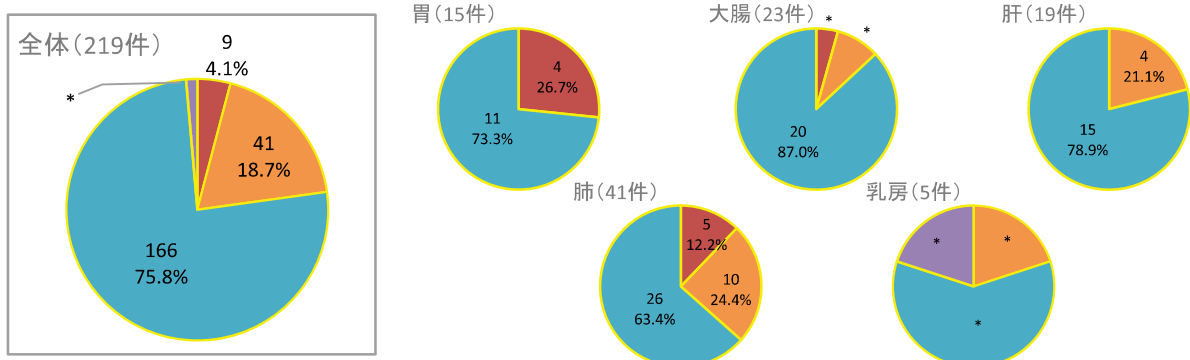
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

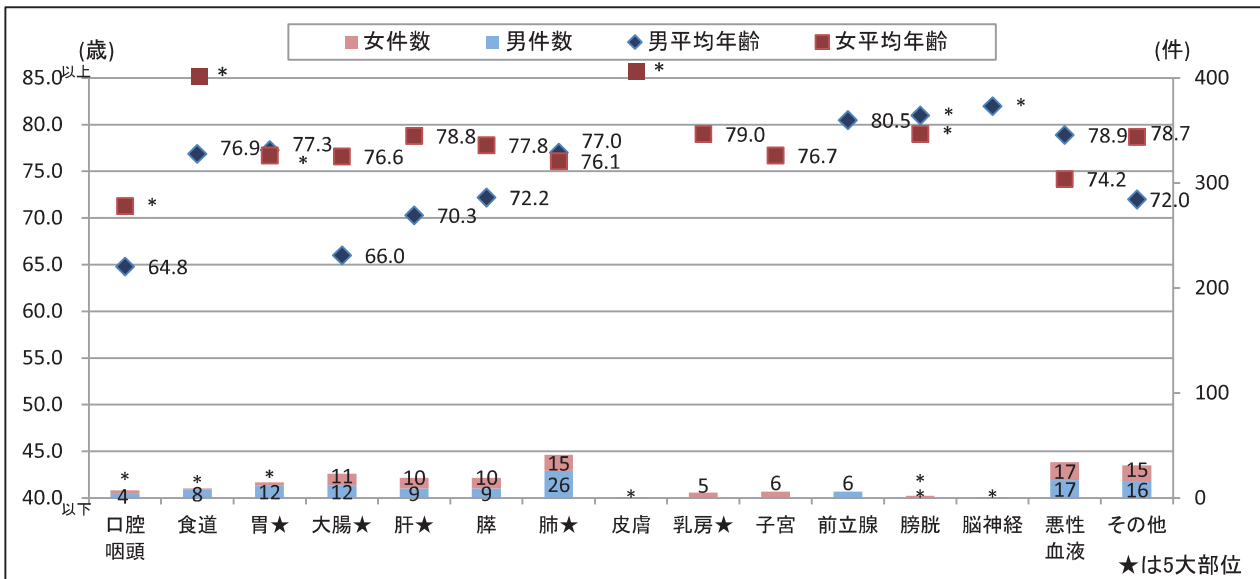


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
肺			複数部位	複数部位*
悪性血液				
その他				
胃				
大腸				
肝				
膵				
食道			計	計
前立腺	6			
口腔咽頭	4			
膀胱	*			
脳神経	*			
皮膚				
乳房				
子宮				
計				

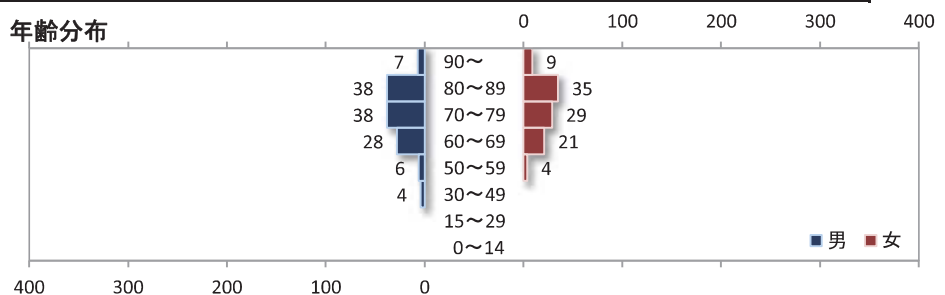
	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
大腸	4			
胃		8		
肺			13	複数部位*
悪性血液			9	
その他		7		
食道		5		
など				
肺		5		
など				
計	28	38	38	7



女性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
悪性血液				複数部位*
肺				
その他				
大腸				
肝				
膵				
子宮				
乳房				計
口腔咽頭	*			
胃	*			
食道	*			
皮膚	*			
膀胱	*			
前立腺				
脳神経				
計				

	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
悪性血液	4	5	7	複数部位*
など				
肺		5		
悪性血液		5	6	
肝		4	5	
その他		4	4	
膵			4	
肺			4	
など				
計	21	29	35	9

年齢分布



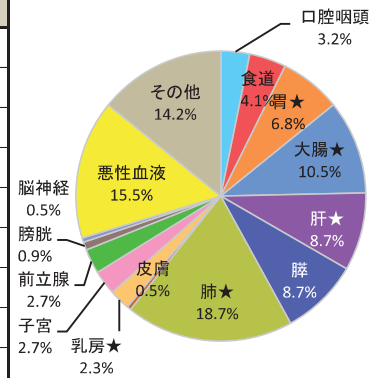
II 施設別統計

熊本南病院

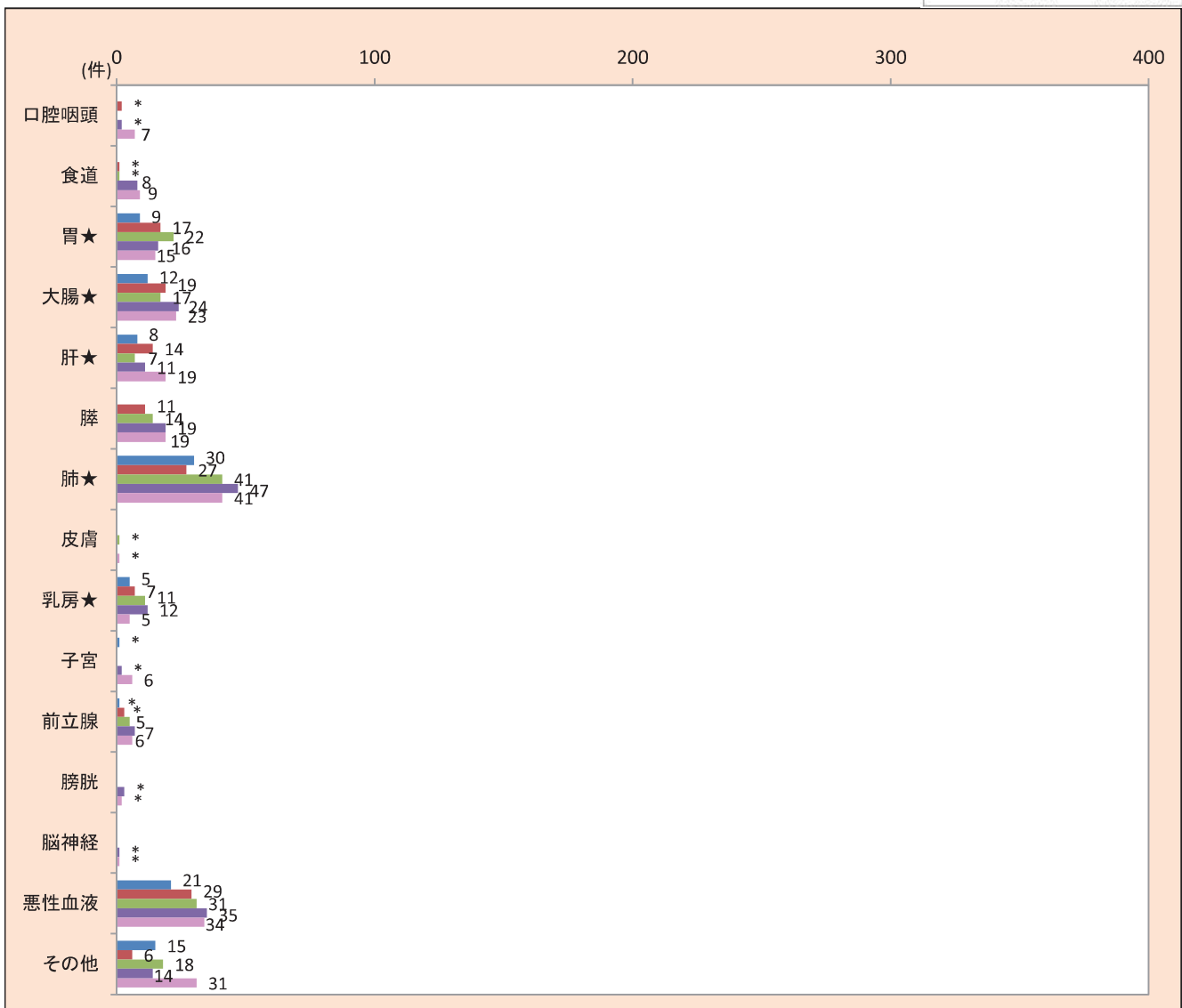
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*		*	7
食道		*	*	8	9
胃★	9	17	22	16	15
大腸★	12	19	17	24	23
肝★	8	14	7	11	19
膵		11	14	19	19
肺★	30	27	41	47	41
皮膚			*		*
乳房★	5	7	11	12	5
子宮	*			*	6
前立腺	*	*	5	7	6
膀胱				*	*
脳神経				*	*
悪性血液疾患	21	29	31	35	34
その他	15	6	18	14	31
計	102	136	168	201	219

2017年診断症例 主要部位別割合

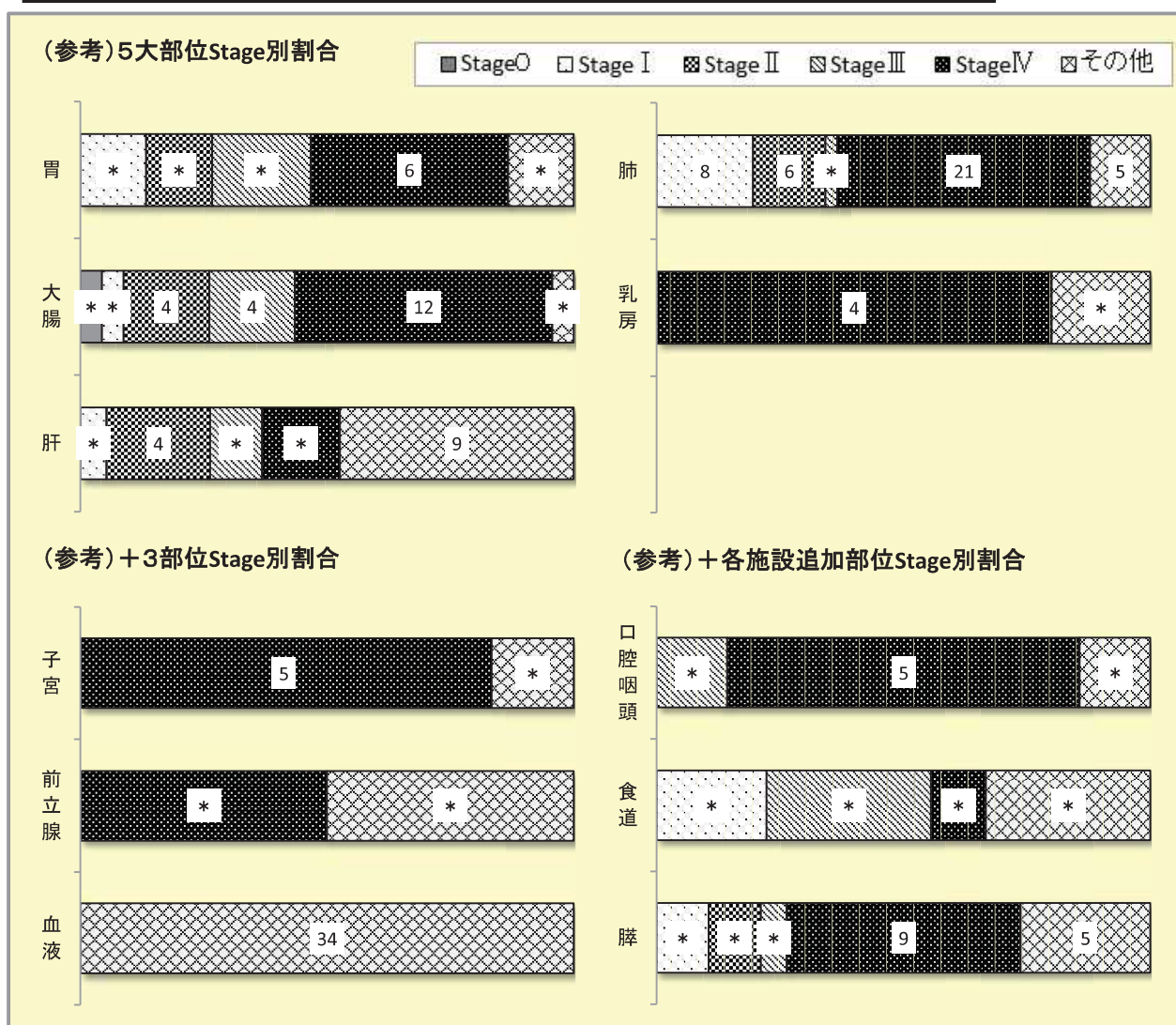


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、
 骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	7				*	5	*
食道	9		*		*	*	*
胃★	15		*	*	*	6	*
大腸★	23	*	*	4	4	12	*
肝★	19		*	4	*	*	9
膵	19		*	*	*	9	5
肺★	41		8	6	*	21	5
皮膚	*					*	
乳房★	5					4	*
子宮	6					5	*
前立腺	6					*	*
膀胱	*		*			*	
脳神経	*						*
悪性血液疾患	34						34
その他	31			*		21	9
計	219	*	17	19	15	92	75



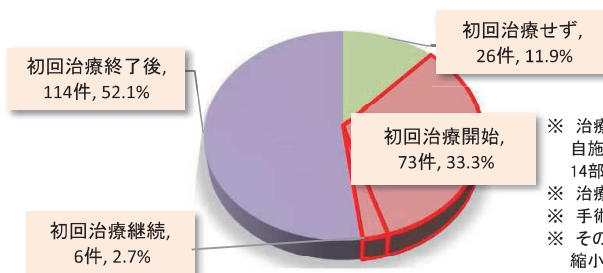
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

熊本南病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

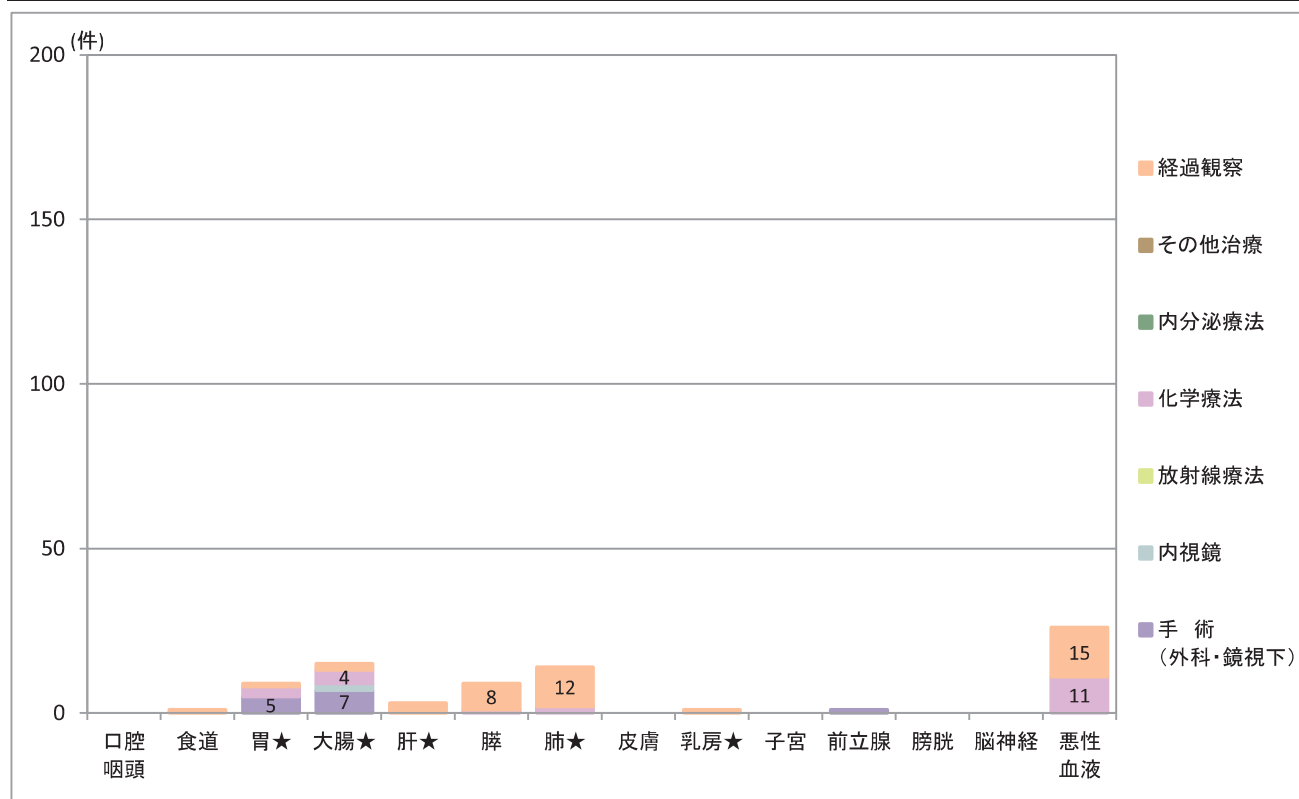
治療施設	件数
1初回治療せず	26
2初回治療開始	73
3初回治療継続	6
4初回治療終了後	114
8その他	0
計	219



※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
 ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
 ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
 ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

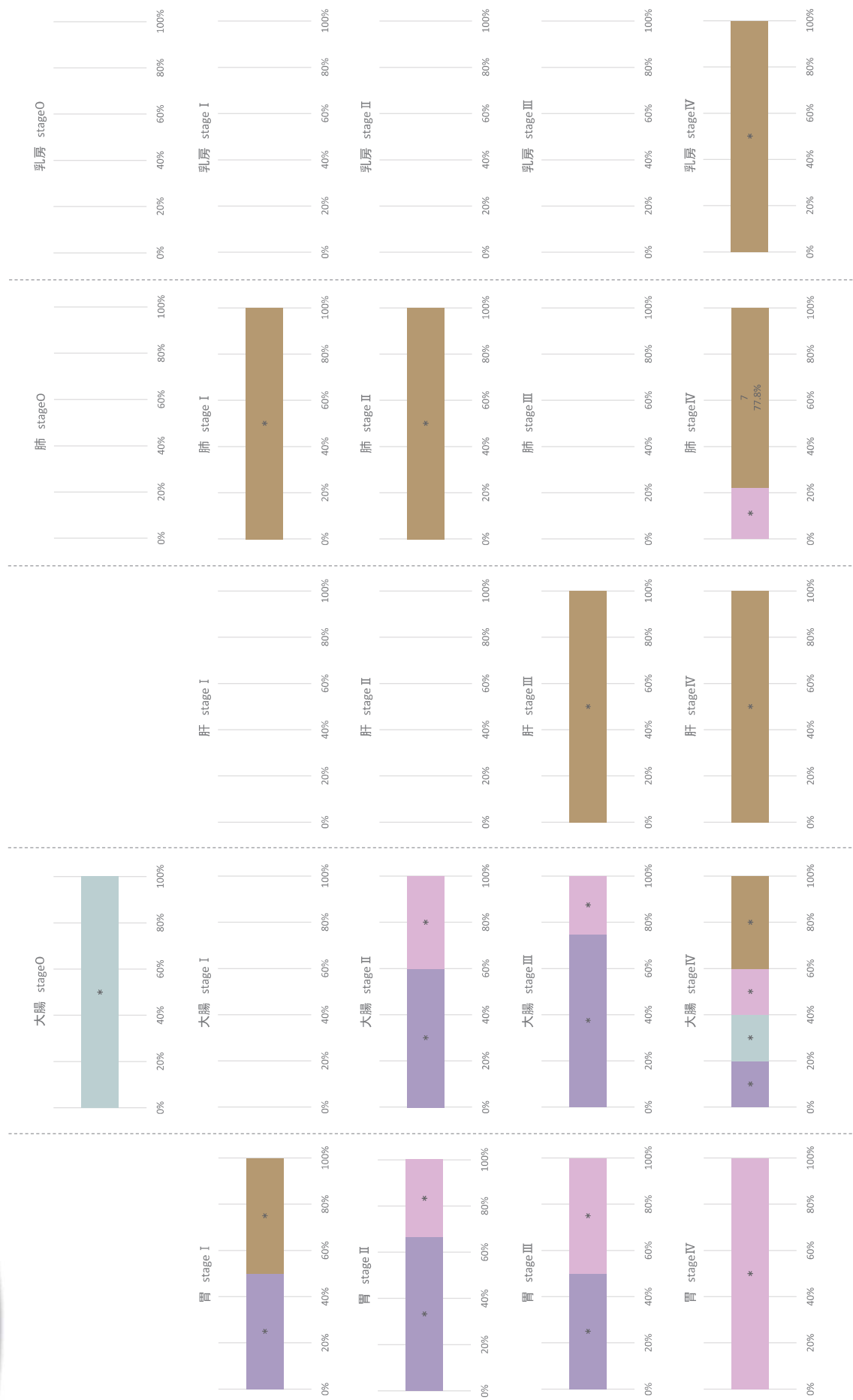
	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道							*	*			
胃★	5			*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	7	*		4			*	15	100.0%	0.0%	0.0%
肝★							*	*			
膵				*			8	9			
肺★				*			12	14			
皮膚								0			
乳房★							*	*			
子宮								0			
前立腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱								0			
脳神経								0			
悪性血液疾患				11			15	26			
計	13	2	0	21	0	0	43	79			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複效に問わず各々算算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む

■ 手術
 ■ 化学療法
 ■ 内視鏡
 ■ 内分泌療法
 ■ 放射線療法
 ■ その他治療
 (経過観察を含む)



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院
-------	--

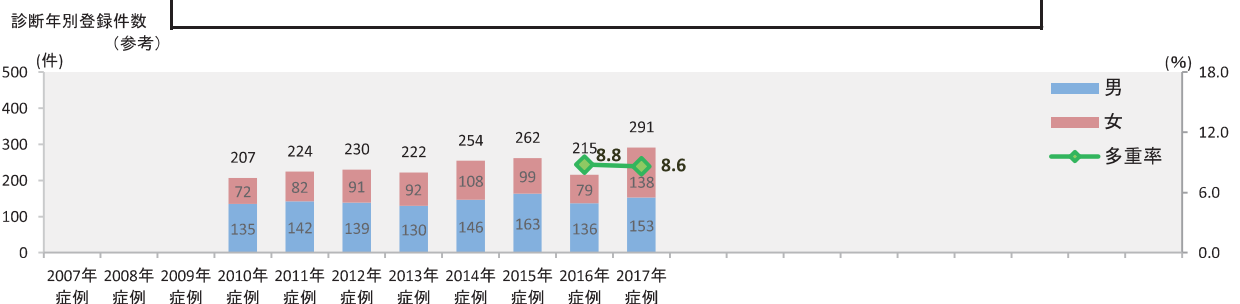
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3丁目2番55号
病床数	166床
診療科数	10科
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	13.2 (日)
入院患者数	4,382 (人)
外来患者延数	62,332 (人)
院内がん登録件数	291 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 1 (名)

○医療機関からのコメント

院内がん登録を2010年症例より開始し、2017年は291件を登録した(前年比135.3%)。2016年は熊本地震の影響により症例が減少したこと、2017年8月に大江へ新築移転し、同年10月に緩和ケア病棟を稼働したことにより、登録数が増加した。
当院は大腸肛門の専門病院であるため、発生部位は大腸が250件(85.9%)と圧倒的に多い。次いで、その他17件(5.8%)、胃8件(2.7%)である。その他の内訳としては、肛門管11件(3.8%)などである。
患者住所を医療圏別で比較すると、熊本市が143件(49.1%)と最も多く、次いで県北部地域(有明、鹿本、菊池、阿蘇)で65件(22.3%)と両地域で71.5%を占めている。熊本医療圏の内訳は、当院所在地である中央区42件(29.4%)、近傍である東区47件(32.9%)が多い。また県外からの受診も22件(7.6%)あり、これは当院が大腸がん検診を行っており、その事業が県外に及ぶことに加え、肛門機能の温存を希望し、医師紹介により当院を受診されることが影響しているものと考えられる。
性、年齢分布を見ると、男女共に30代から80代まで広く分布し、男性の60代が最も多い。また、診断時の平均年齢は64.9歳(男性64.4歳、女性65.4歳)と昨年とほとんど変わらなかった。
発見経緯を見ると、大腸250件の内訳は自主受診を含むその他が146件(58.4%)と最も多く、次いでがん検診・健診・ドックが85件(34.0%)、他疾患経過観察中が7件(2.8%)であった。
主要部位別病期分類では、大腸においてStage0期が82件(32.8%)、StageI期が57件(22.8%)、StageII期が29件(11.6%)、StageIII期が44件(17.6%)、StageIV期が26件(10.4%)、その他が12件(4.8%)となっており、早期がんが高い割合を占めている。
主要部位別治療において、手術141件(46.4%)、内視鏡91件(29.9%)と観血的治療の割合が高く、そのうち原発巣切除(遺残なし)が212件(93.8%)とほとんどである。
大腸がん250件のうち直腸の割合が120件(48.0%)と多く、これは、先に述べた当院が大腸がん術後のQOLを保つ肛門括約筋温存術を多く行っていることで、その治療を希望し、受診する患者が多いことが要因の一つと考えられる。

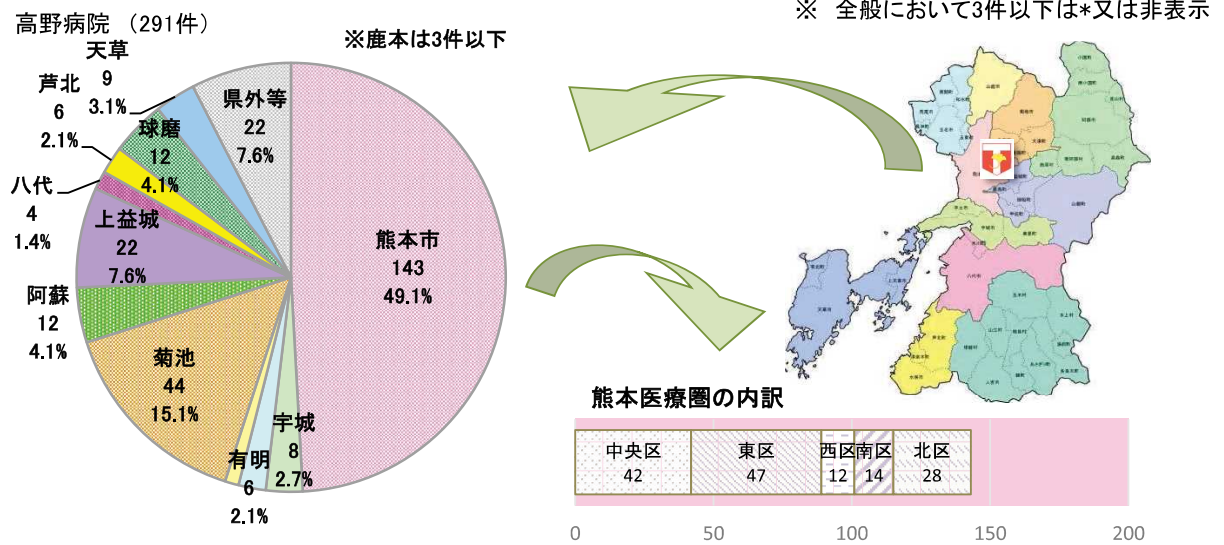


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

大腸肛門病センター高野病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

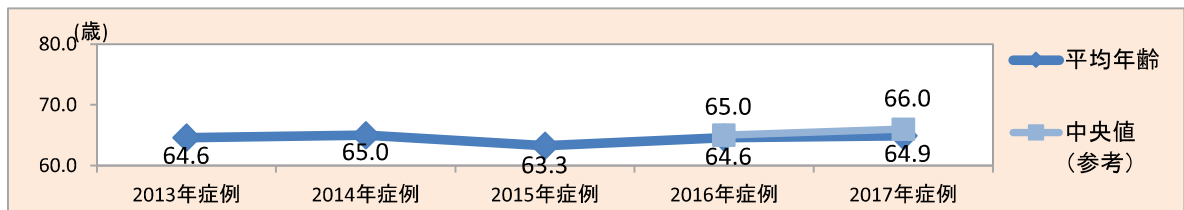


◇ 医療圏別上位部位

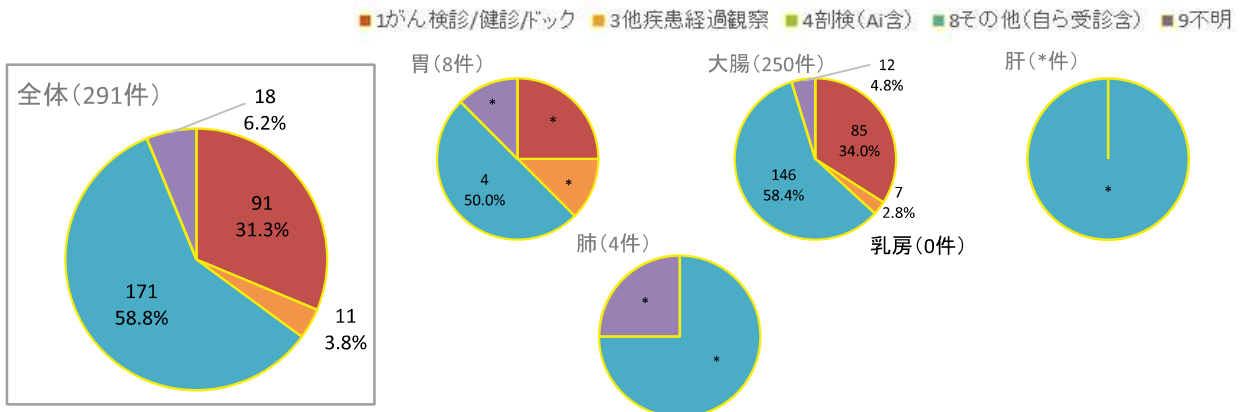
熊本市	大腸	121	鹿本	複数部位	*	上益城	大腸	18	球磨	大腸	12
	胃	6									
	その他	5									
宇城	大腸	7	菊池	大腸	42	八代	複数部位	*	天草	大腸	7
有明	複数部位	*	阿蘇	大腸	12	芦北	大腸	6	県外等	大腸	16
								その他		4	

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

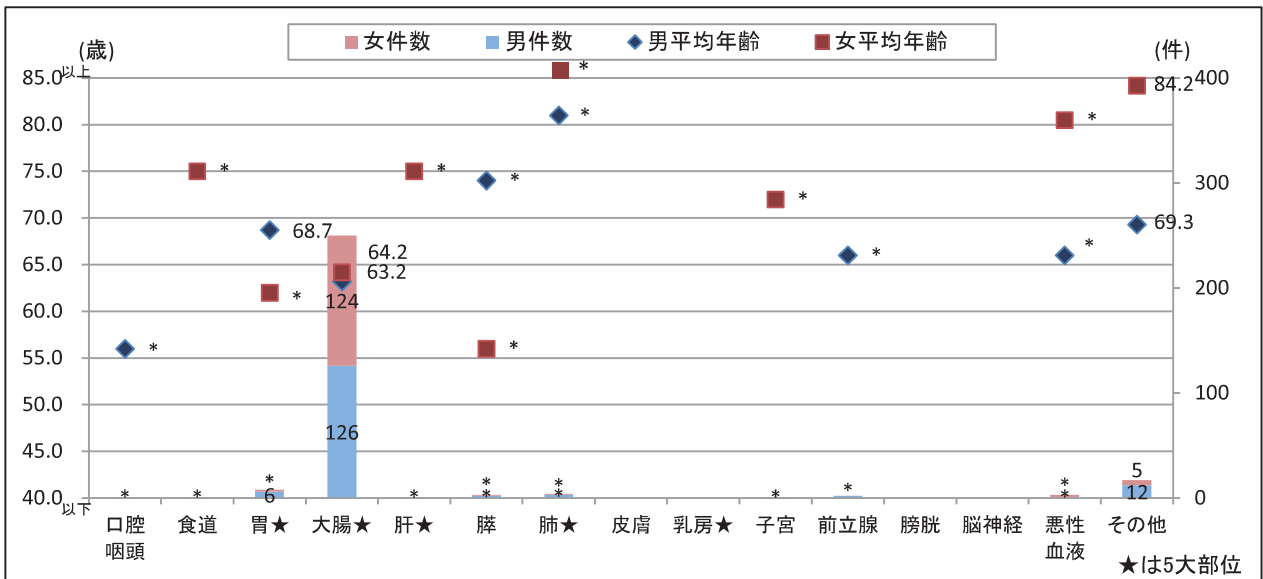
② 平均年齢と年次比較



③ 発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

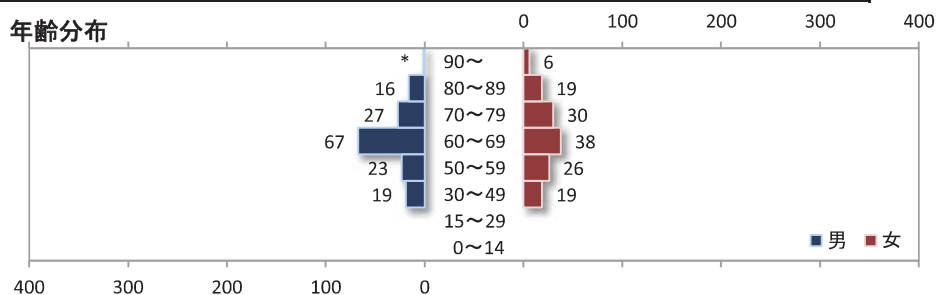


男性全体		0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳	
大腸	126					大腸	19	大腸	20
その他	12							など	
胃	6								
肺	*								
膵	*								
前立腺	*								
口腔咽頭	*					計	19	計	23
悪性血液	*								
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
食道		大腸	53	大腸	24	大腸	9	複数部位	*
肝		その他	7	など		その他	4		
皮膚		など				など			
乳房									
子宮									
膀胱									
脳神経									
計	153	計	67	計	27	計	16	計	*



女性全体		0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳	
大腸	124					大腸	19	大腸	24
その他	5							など	
胃	*								
悪性血液	*								
食道	*								
肝	*								
膵	*								
肺	*					計	19	計	26
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
子宮	*	大腸	37	大腸	25	大腸	15	大腸	4
口腔咽頭	*	など		など		など		など	
皮膚									
乳房									
前立腺									
膀胱									
脳神経									
計	138	計	38	計	30	計	19	計	6

年齢分布



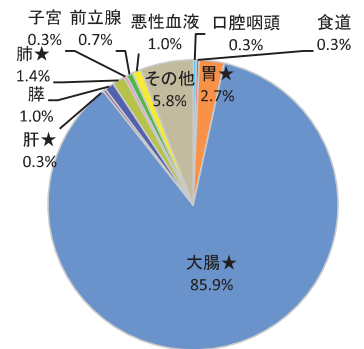
II 施設別統計

大腸肛門病センター高野病院

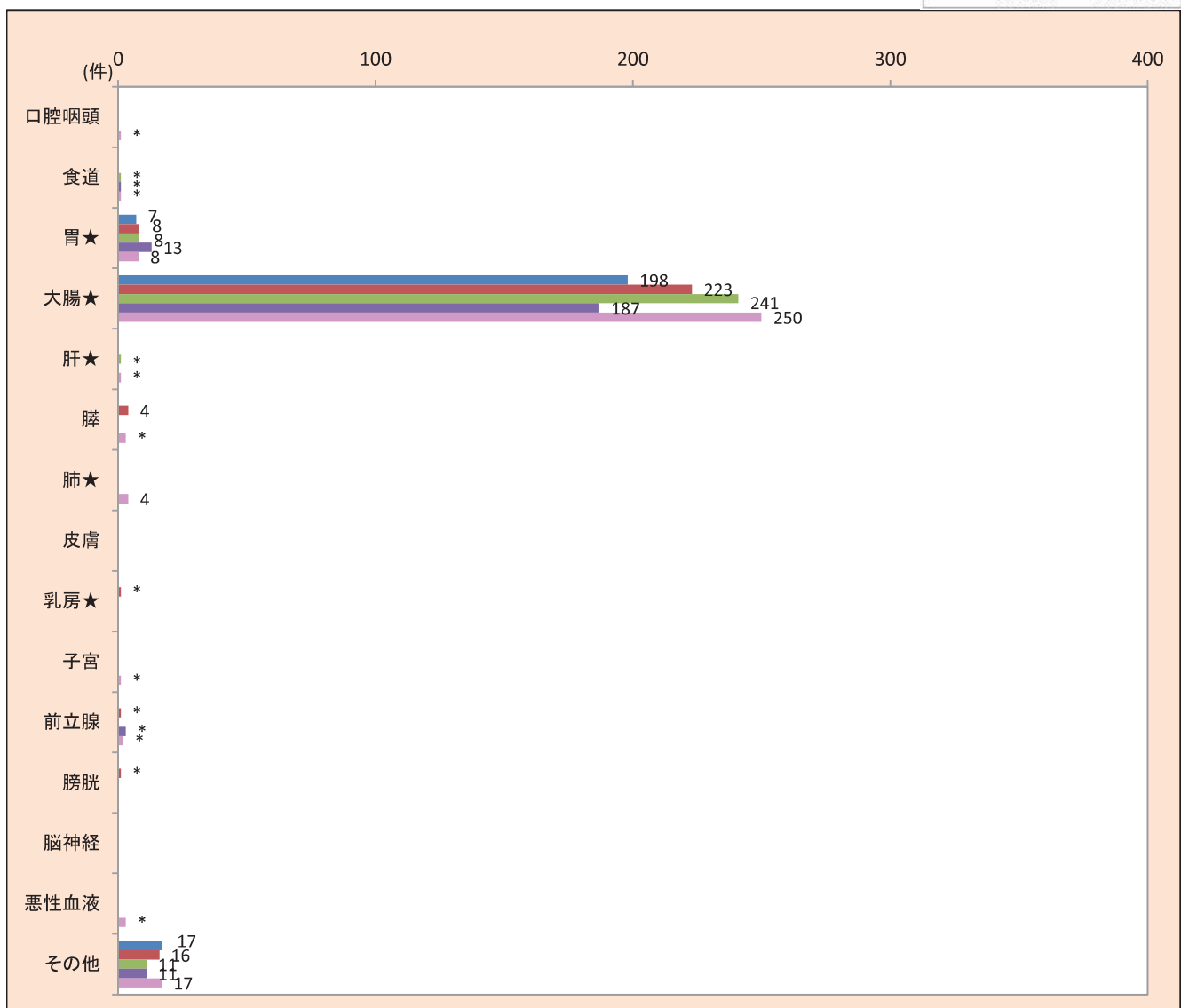
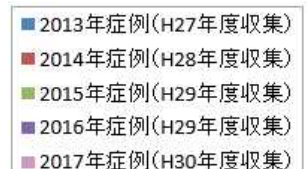
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭					*
食道			*	*	*
胃★	7	8	8	13	8
大腸★	198	223	241	187	250
肝★			*		*
膵		4			*
肺★					4
皮膚					
乳房★		*			
子宮					*
前立腺		*		*	*
膀胱		*			
脳神経					
悪性血液疾患					*
その他	17	16	11	11	17
計	222	254	262	215	291

2017年診断症例 主要部位別割合



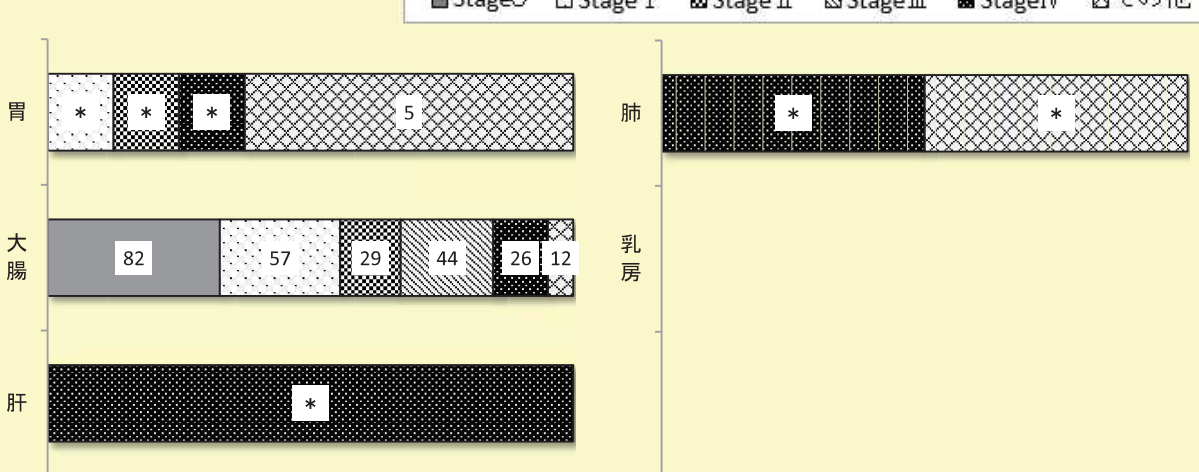
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



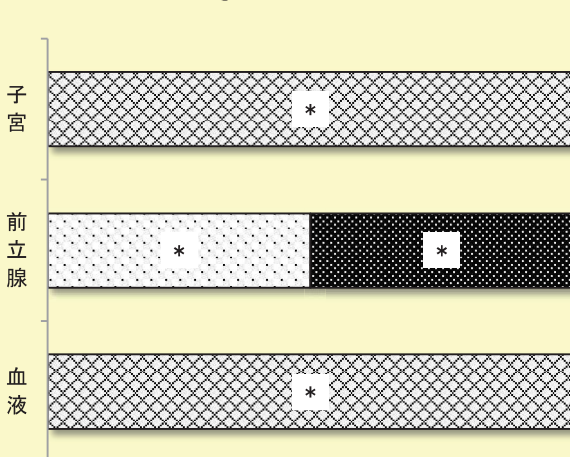
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*						*
食道	*						*
胃★	8		*	*		*	5
大腸★	250	82	57	29	44	26	12
肝★	*					*	
膵	*				*	*	
肺★	4					*	*
皮膚	0						
乳房★	0						
子宮	*						*
前立腺	*		*			*	
膀胱	0						
脳神経	0						
悪性血液疾患	*						*
その他	17	*	*	*	6	*	*
計	291	83	61	33	51	35	28

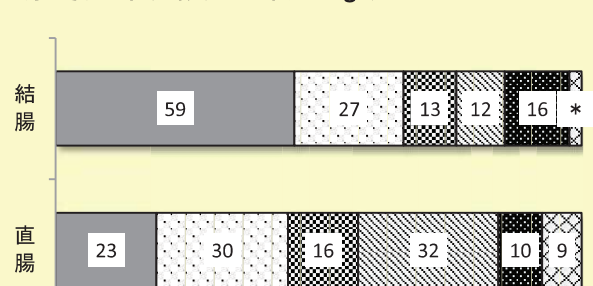
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



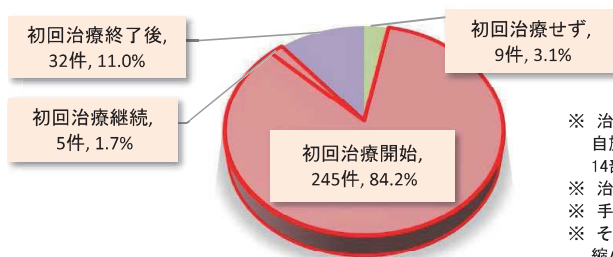
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

大腸肛門病センター高野病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

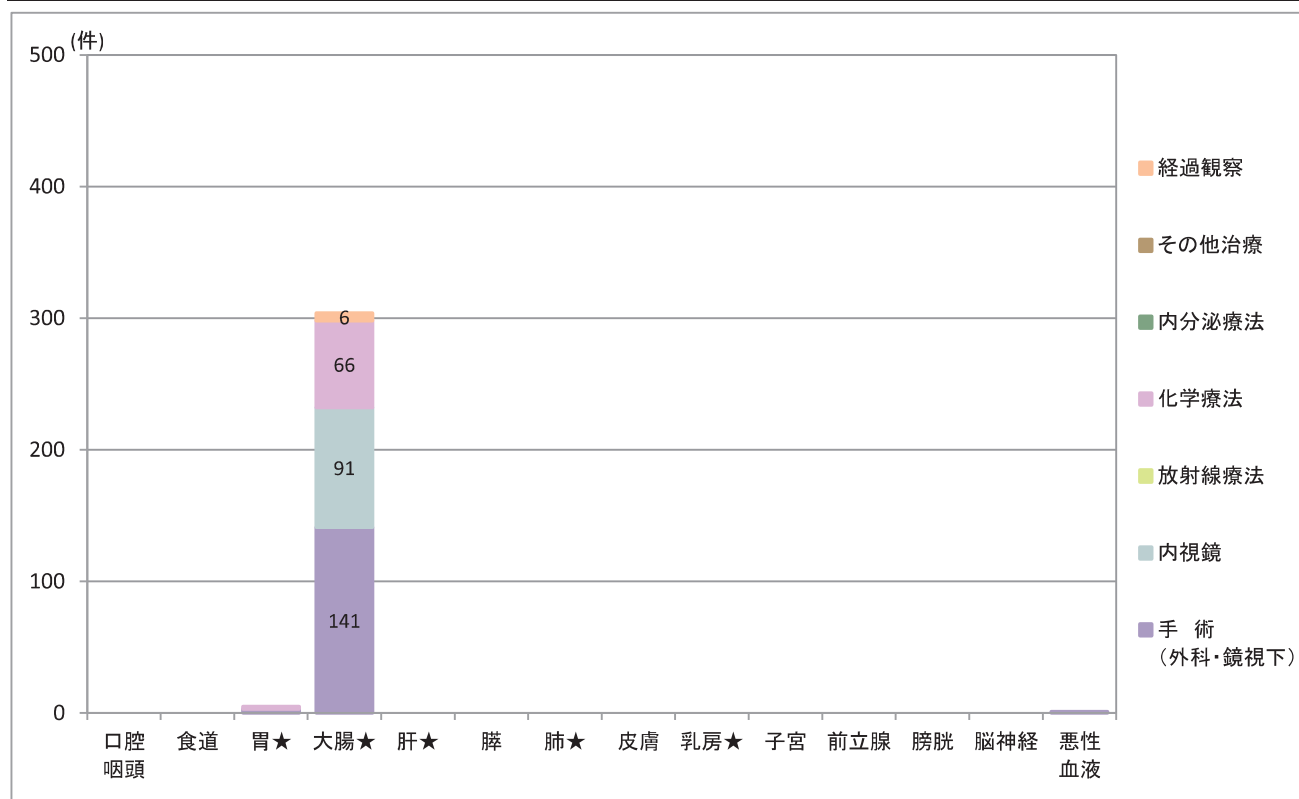
治療施設	件数
1初回治療せず	9
2初回治療開始	245
3初回治療継続	5
4初回治療終了後	32
8その他	0
計	291



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

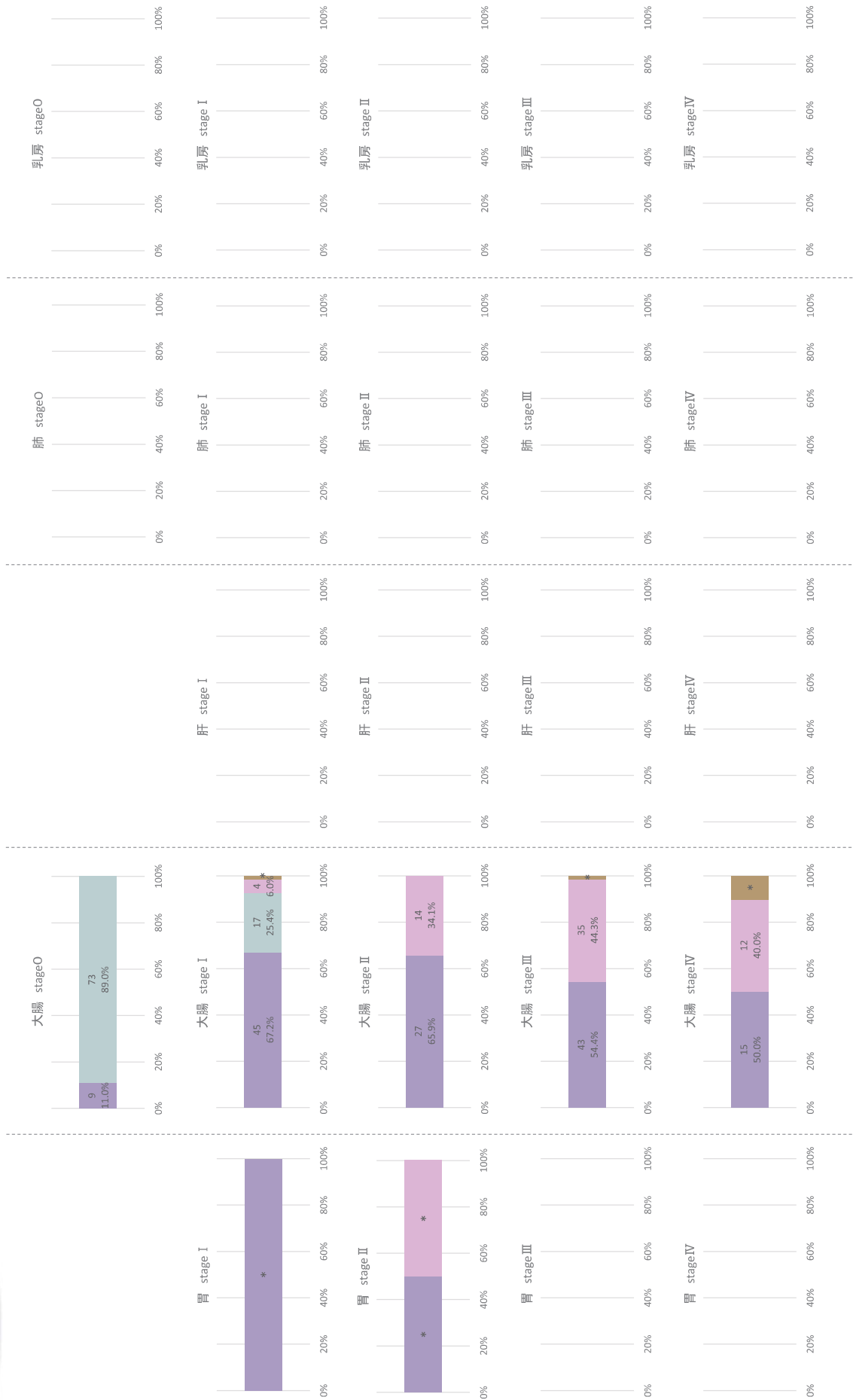
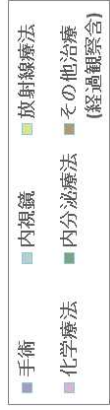
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	*			*				5	66.7%	33.3%	0.0%
大腸★	141	91		66			6	304	93.8%	5.8%	0.4%
肝★								0			
膵								0			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳神経								0			
悪性血液疾患	*							*	0.0%	100.0%	0.0%
計	145	91	0	68	0	0	6	310			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		国保水俣市立総合医療センター
-------	---	----------------

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	水俣市天神町1丁目2番1号
病床数	401床
診療科数	19科
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17
がん登録開始基準日	2010.01.01
平均在院日数	17.3 (日)
入院患者数	4,926 (人)
外来患者延数	195,274 (人)
院内がん登録件数	361 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 1 / 初級者 0 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

当院は、県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県北部の出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけでなく、がん患者数のおよそ30%以上が鹿児島県から来院されていることが大きな特色である。

芦北医療圏は高齢者が非常に多いため、高齢がん患者が非常に多く、70歳代について80歳代の患者が多い。

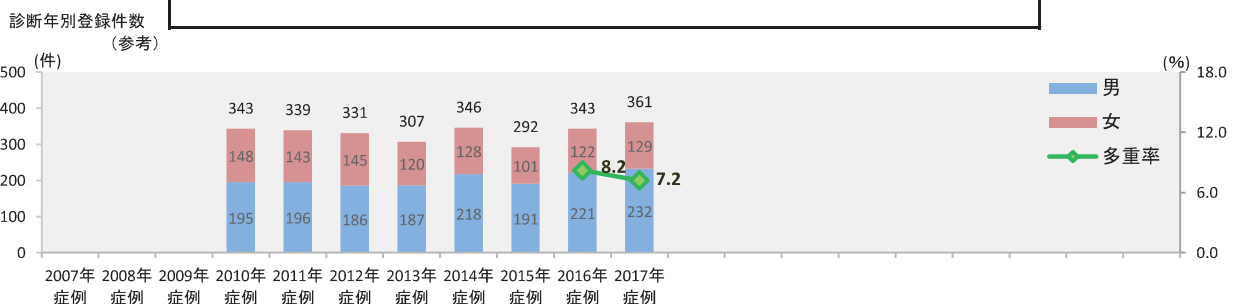
5大癌は大腸(13%)、肺(12%)、胃(11%)、乳腺(9%)、肝(3%)他に前立腺(14%)が非常に多く、膀胱尿路癌数も多い。血液、リンパ系の悪性症例は血液内科がなく、他院に紹介後に診断となることが多く登録が少ない。

5大癌および前立腺、膀胱尿路癌の治療は手術、化学療法、緩和医療などを行っているが、放射線治療に関しては近隣施設に依頼している。

Stage0, I期の消化管症例の多くには内視鏡的治療が積極的に行われ、手術でも腹腔鏡手術が実施されている。

肝臓癌に対しては切除術、経皮的ラジオ波凝固療法や、肝動脈塞栓術、化学療法が行われている。肺癌は進行癌が多いため、化学療法や免疫療法が多いが、手術適応のある患者では胸腔鏡手術を実施している。乳癌に対しては手術の際にセンチネルリンパ節生検を行っている。前立腺癌の症例では外科手術および内分泌療法を行っている。

高齢者が多いため、医師、看護師、薬剤師のみならず、NST、地域支援センター等の職員がチームとして診療にあたり、入退院がスムーズに行えるように努力している。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

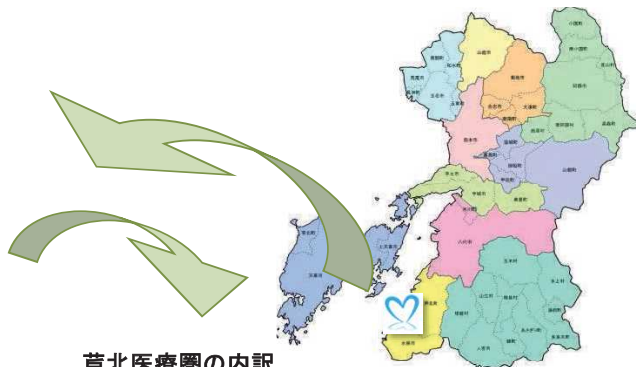
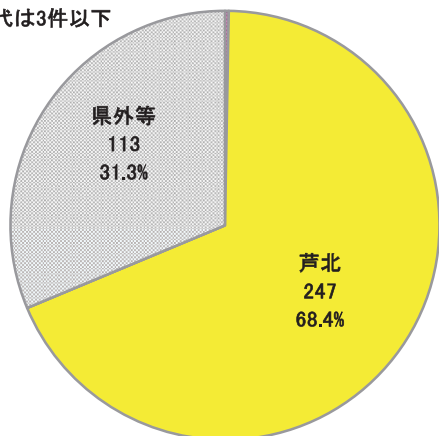
水俣市立総合医療センター

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

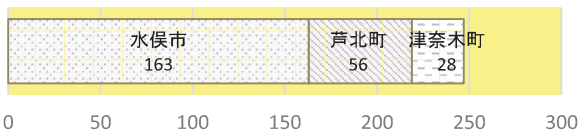
水俣市立総合医療センター (361件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示

※八代は3件以下



芦北医療圏の内訳

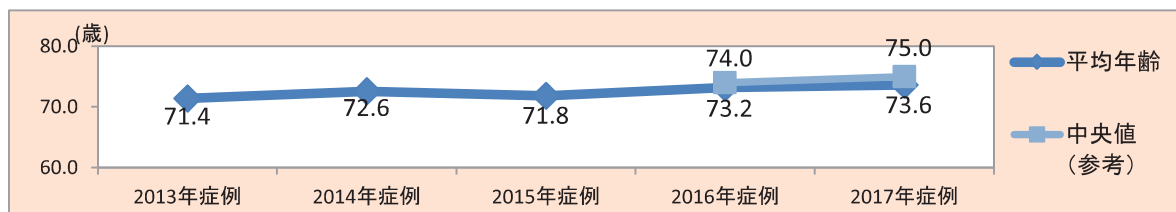


◇ 医療圏別上位部位

熊本市		鹿本		上益城		球磨	
宇城		菊池		八代	複数部位 *	天草	
有明		阿蘇		芦北	前立腺 34	県外等	肺 21
					胃 33		前立腺 18
					大腸 30		大腸 17
					乳房 25		その他 13
					肺 23		膀胱 11

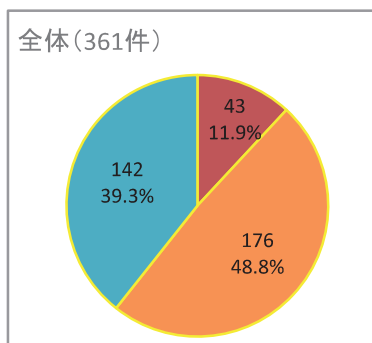
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

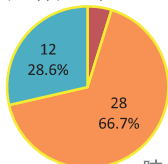


③ 発見経緯 5大部位の内訳

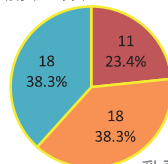
■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



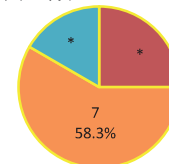
胃(42件)



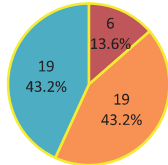
大腸(47件)



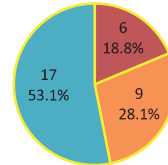
肝(12件)



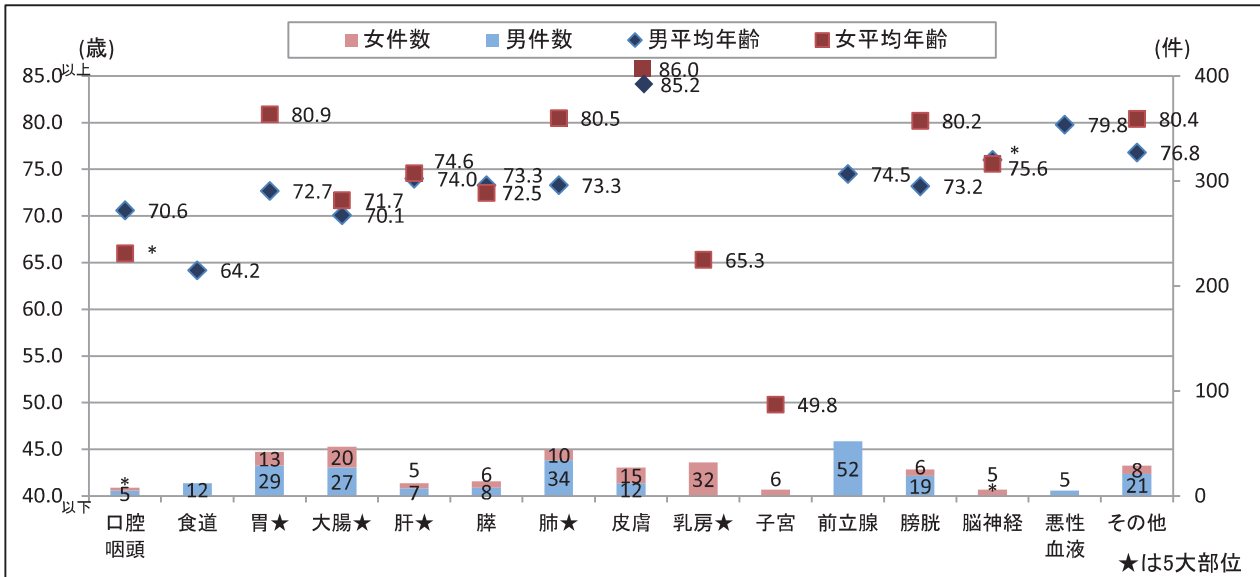
肺(44件)



乳房(32件)



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

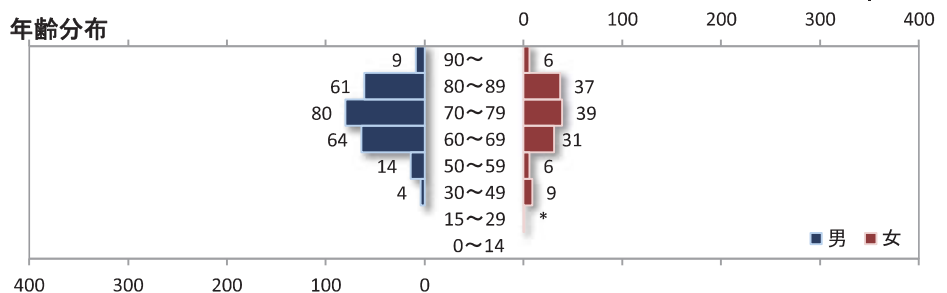


男性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		
前立腺	52				複数部位	*	食道	4	
肺	34						など		
胃	29								
大腸	27								
その他	21								
膀胱	19								
食道	12						計	4	
皮膚	12						計	14	
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
膵	8	前立腺	16	前立腺	23	前立腺	13	複数部位	*
肝	7	大腸	11	肺	13	肺	8		
口腔咽頭	5	胃	10	胃	12	その他	8		
悪性血液	5	肺	10	大腸	7	など			
脳神経	*	など		など					
乳房									
子宮									
計	232	計	64	計	80	計	61	計	9



女性全体	0～14歳		15～29歳		30～49歳		50～59歳		
乳房	32		複数部位	*	乳房	6	複数部位	*	
大腸	20				など				
皮膚	15								
胃	13								
肺	10								
その他	8								
膵	6								
子宮	6								
膀胱	6								
		60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
膀胱	6	乳房	14	乳房	8	皮膚	7	複数部位	*
肝	5	大腸	7	大腸	6	肺	6		
脳神経	5	など		皮膚	6	胃	5		
口腔咽頭	*			胃	5	大腸	5		
食道				膀胱	4	など			
悪性血液				など					
前立腺									
計	129	計	31	計	39	計	37	計	6

年齢分布



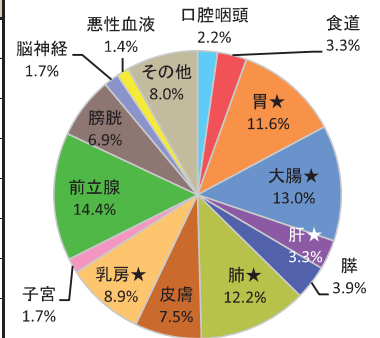
Ⅱ 施設別統計

水俣市立総合医療センター

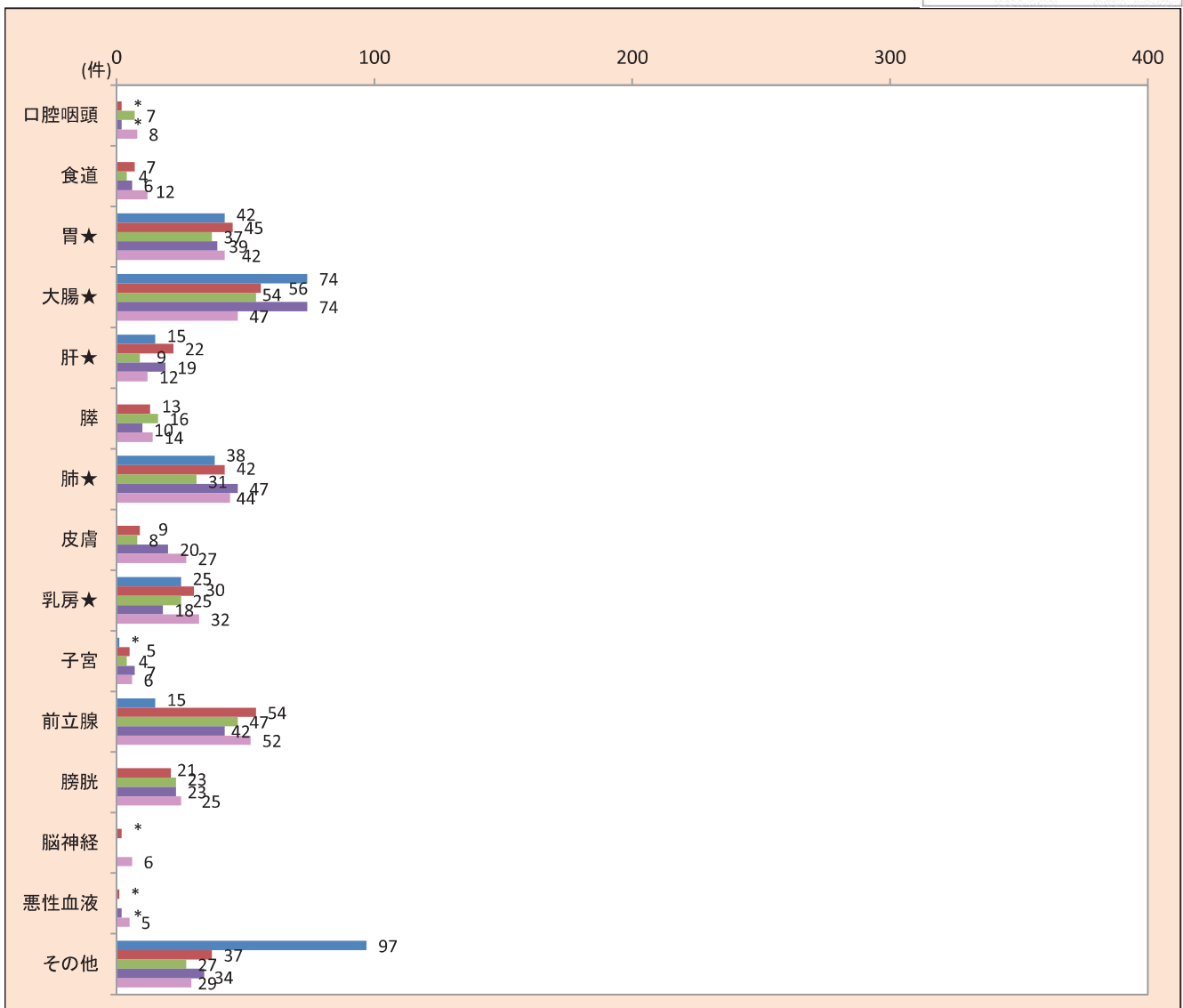
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		*	7	*	8
食道		7	4	6	12
胃★	42	45	37	39	42
大腸★	74	56	54	74	47
肝★	15	22	9	19	12
膵		13	16	10	14
肺★	38	42	31	47	44
皮膚		9	8	20	27
乳房★	25	30	25	18	32
子宮	*	5	4	7	6
前立腺	15	54	47	42	52
膀胱		21	23	23	25
脳神経		*			6
悪性血液疾患		*		*	5
その他	97	37	27	34	29
計	307	346	292	343	361

2017年診断症例 主要部位別割合

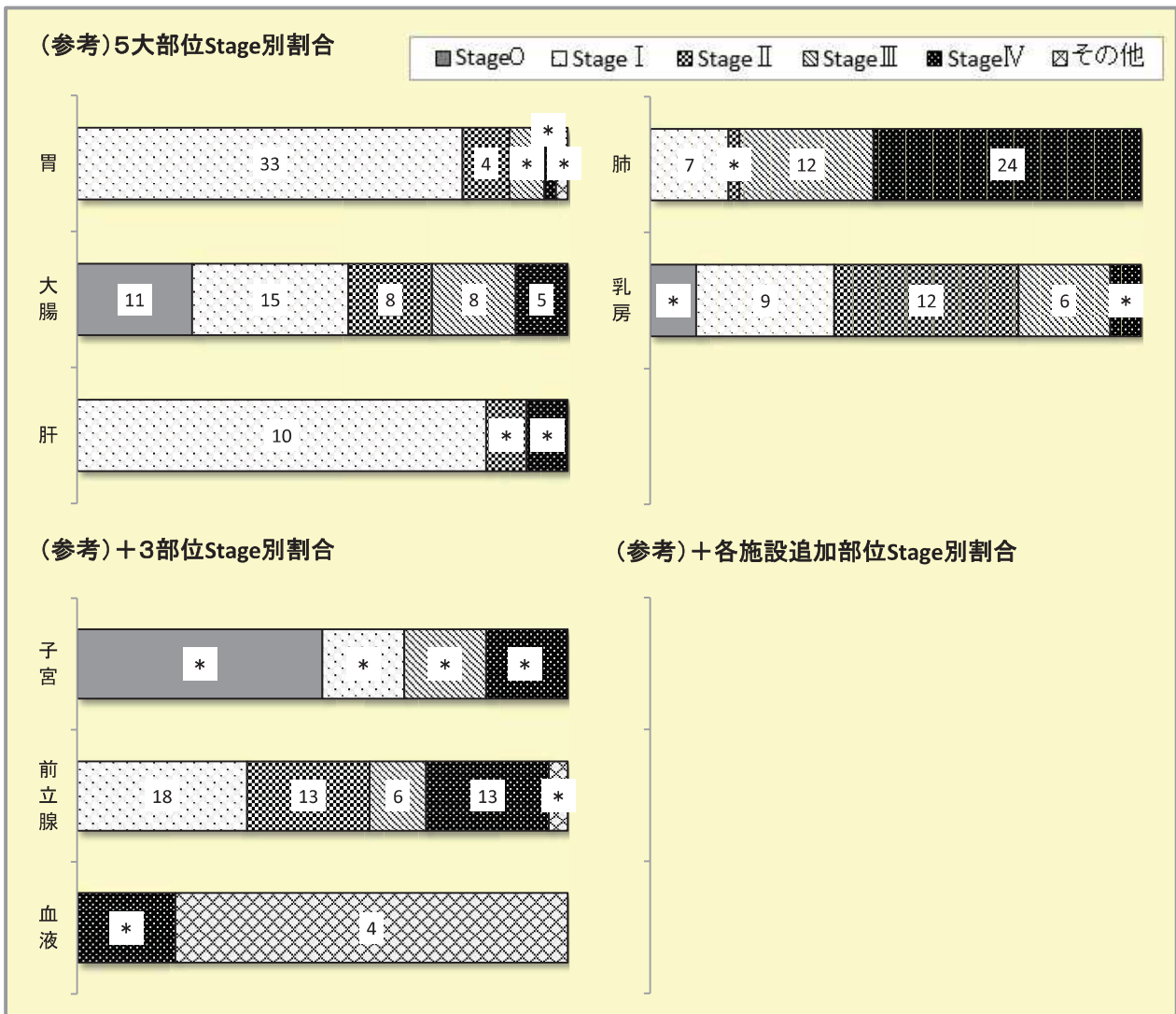


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	8		4	*		*	*
食道	12	4	5		*		
胃★	42		33	4	*	*	*
大腸★	47	11	15	8	8	5	
肝★	12		10	*		*	
膵	14	*	*		*	6	*
肺★	44		7	*	12	24	
皮膚	27	8	14	*			*
乳房★	32	*	9	12	6	*	
子宮	6	*	*		*	*	
前立腺	52		18	13	6	13	*
膀胱	25	17					8
脳神経	6						6
悪性血液疾患	5					*	4
その他	29	*	11	*		11	*
計	361	48	129	47	43	66	28



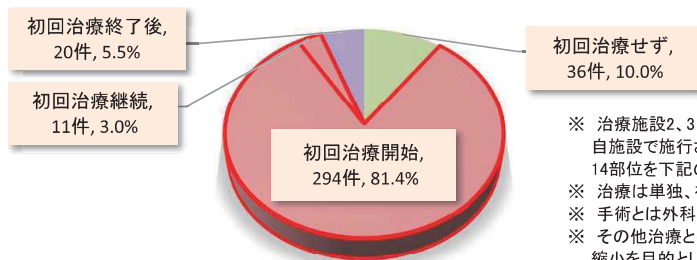
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

水俣市立総合医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

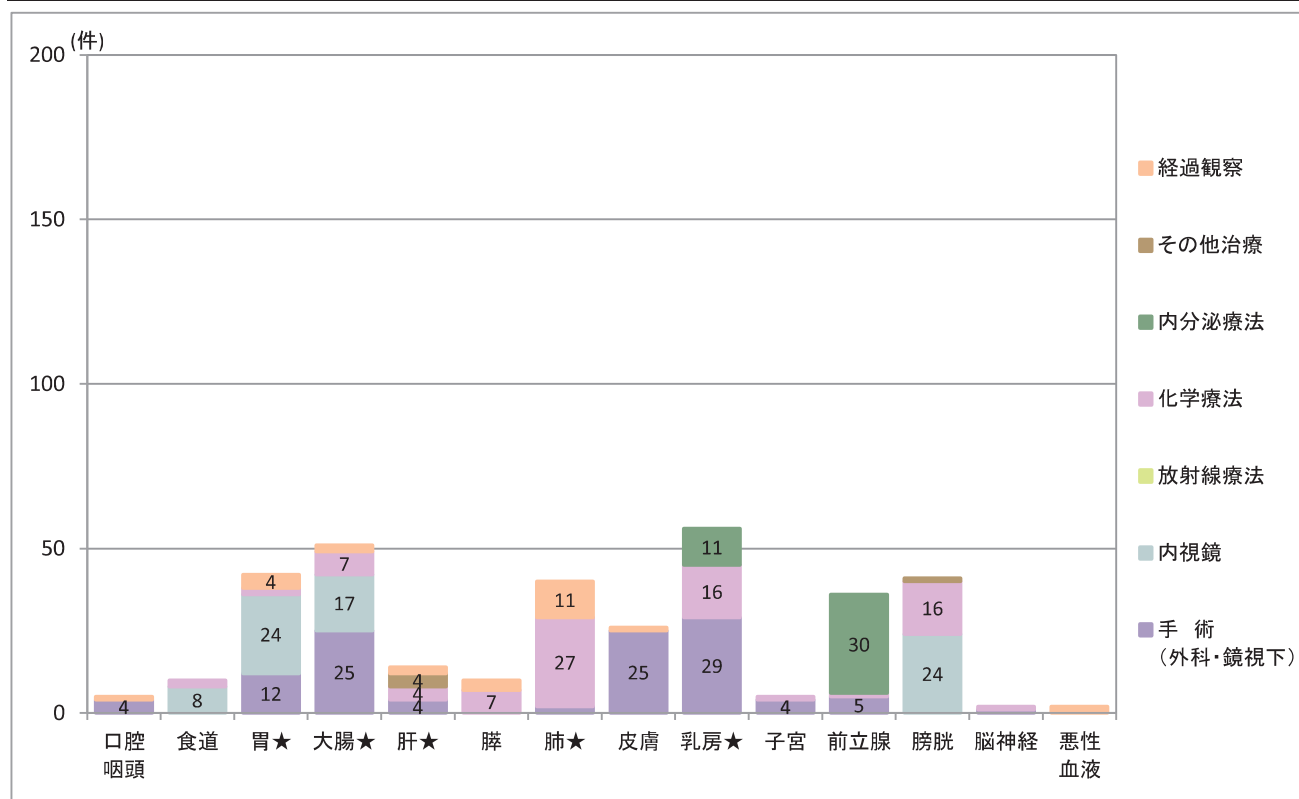
治療施設	件数
1初回治療せず	36
2初回治療開始	294
3初回治療継続	11
4初回治療終了後	20
8その他	0
計	361



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

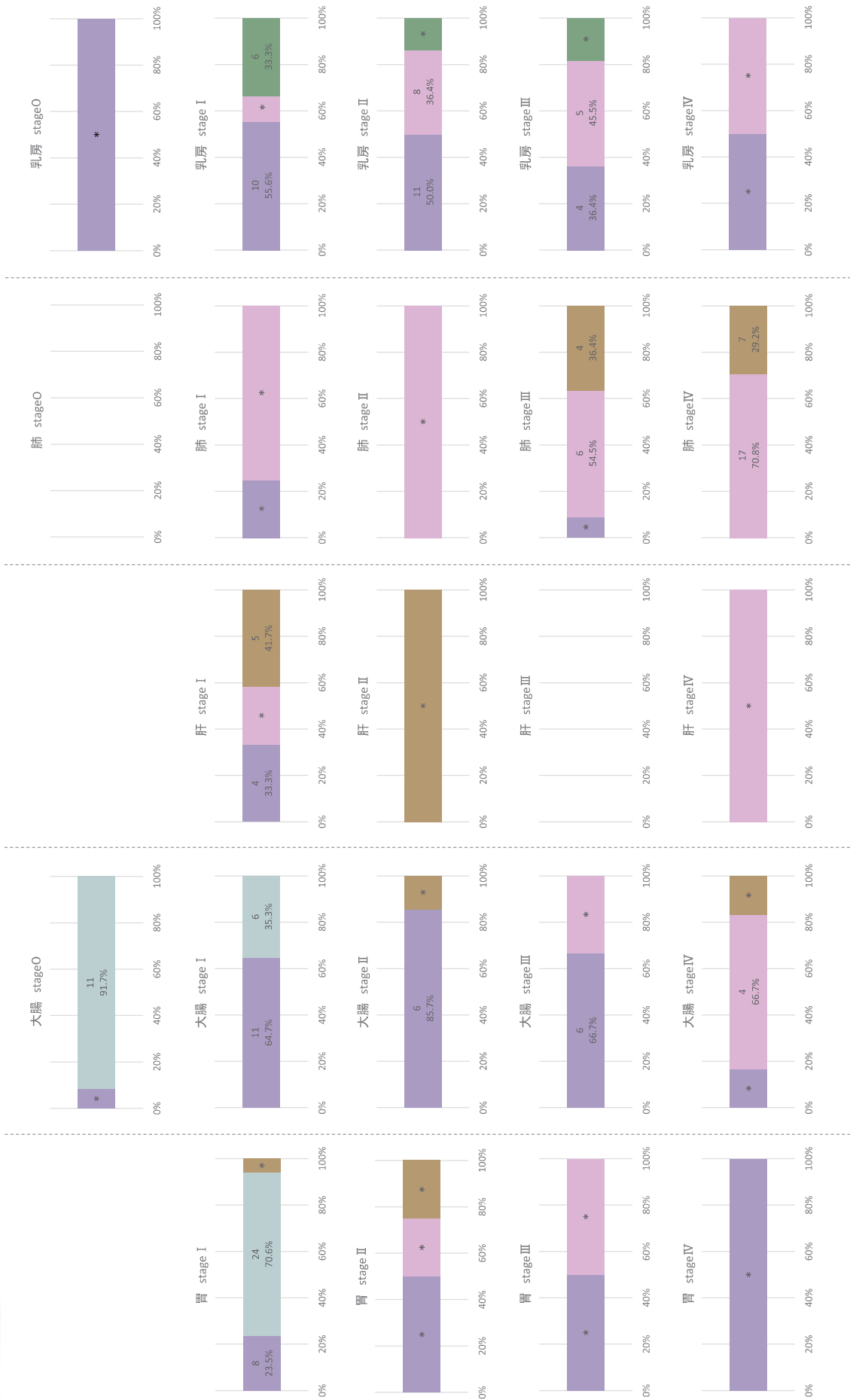
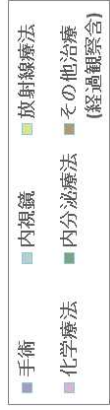
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣残、転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭	4						*	5	100.0%	0.0%	0.0%
食道		8		*				10	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	12	24		*			4	42	93.3%	6.7%	0.0%
大腸★	25	17		7			*	51	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	4			4		4	*	14	100.0%	0.0%	0.0%
膵				7			*	10			
肺★	*			27			11	40	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	25						*	26	96.0%	4.0%	0.0%
乳房★	29			16	11			56	93.1%	6.9%	0.0%
子宮	4			*				5	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺	5			*	30			36	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱		24		16		*		41	66.7%	0.0%	33.3%
脳神経	*			*				*	0.0%	100.0%	0.0%
悪性血液疾患							*	*			
計	111	73	0	84	41	5	26	340			



⑩ 5大部位 (総合Stage別) の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		山鹿市民医療センター
-------	---	------------

○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	山鹿市山鹿511
病床数	201床
診療科数	20科
がん診療連携拠点病院指定日	2012.11.16
がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	16.7 (日)
入院患者数	3,045 (人)
外来患者延数	62,145 (人)
院内がん登録件数	346 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

当施設では院内がん登録を2010年診断入院症例から開始し、全国がん登録の開始とともに外来分の登録も開始しました。

2017年症例を部位別に見ると大腸が69件と最も多く、次いで肺の41件、胃の36件、肝臓の35件と続いています。消化器内科での内視鏡的手術を積極的に実施しているため胃と大腸は毎年上位を占めています。

性別では、男性が204件、女性が142件と男性が多く、年齢別に見ると男性の平均年齢が74.4歳、女性の平均年齢が73.7歳で、前年と比較すると平均年齢は上がっています。この中で女性特有のがん(乳房・子宮)のみ抽出した場合は、平均年齢が62.3歳と明らかに下がることから、乳がん検診や子宮がん検診に対する若年層の関心が高まってきたことが考えられます。

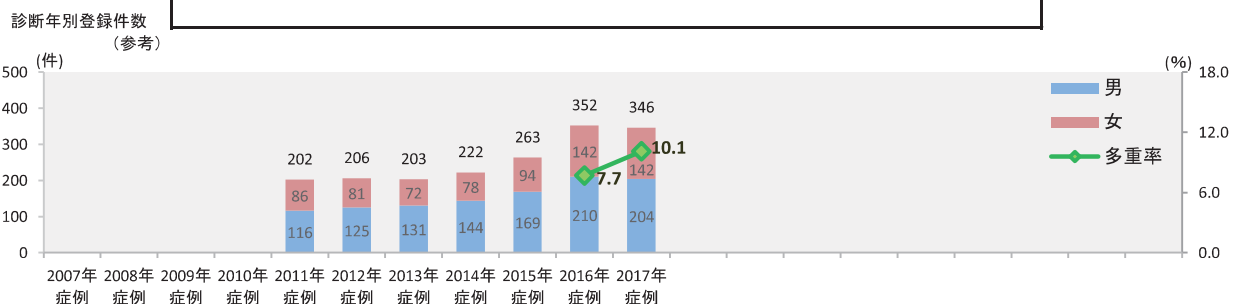
胃・大腸の発見経緯は検診より症状を自覚して来院される方が多くなっています。

5大部位ではStage I が多くを占めていますが、Stage IVも多く、このことから手術等の積極的治療の対象ではない緩和ケア目的の症例が多いと言えます。

鹿本医療圏で唯一の拠点病院ということもあり、医療圏別件数では鹿本が77.5%とほとんどを占めています。「わたしのカルテ」の運用や化学療法の実施、2011年7月にはがん相談支援センターを開設し、がん情報の発信や患者様とその家族の様々な相談に対応できるようになり、緩和ケア病棟の開棟によって、がんの発見から治療、その後のフォローまで一貫して行える医療機関として地域の医療機関との更なる連携を図れるようになったからではないかと考えます。

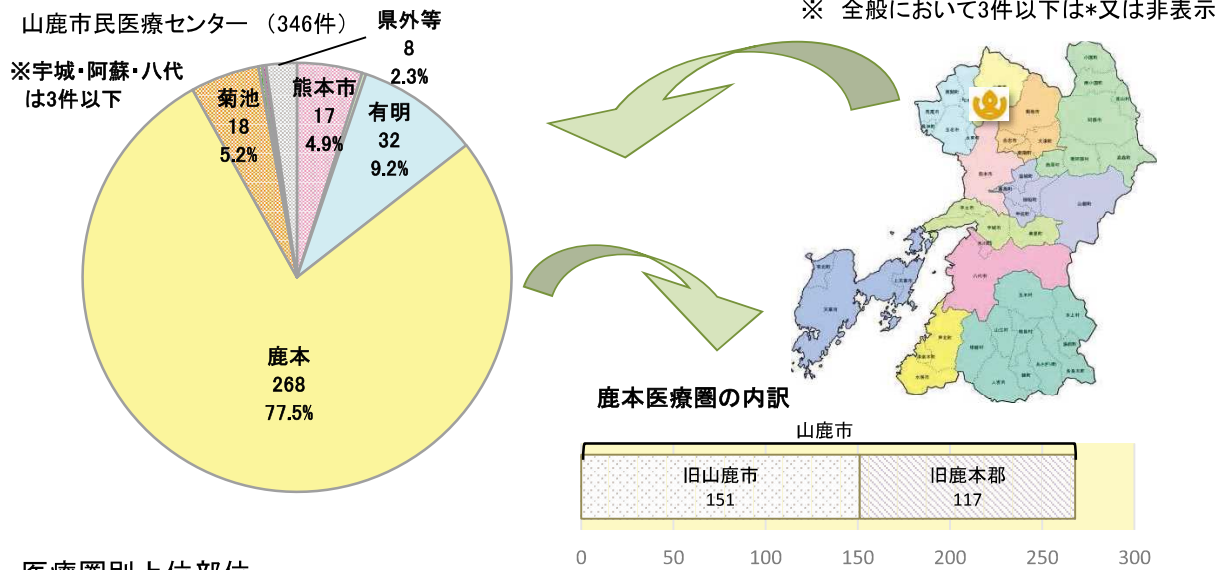
また、緩和ケア病棟の開棟は、終末期を地元で過ごしたいという要望に応えられるようになったことから、治療開始後の症例が増加していることにも繋がっていると考えます。

今後も地域のがん拠点病院として、がん治療の質の向上、患者様のQOL向上に貢献していきたいと考えています。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

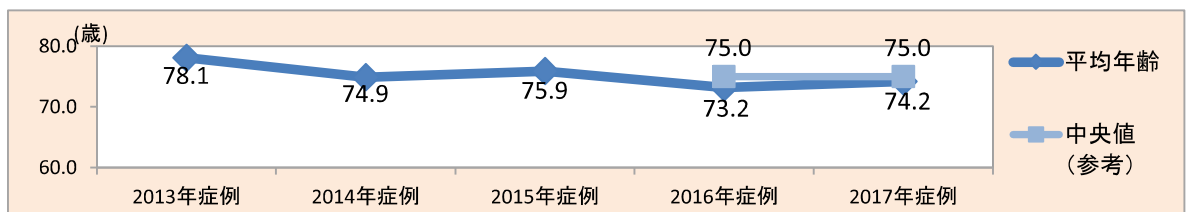


◇ 医療圏別上位部位

熊本市	大腸	4	鹿本	大腸	50	上益城		球磨		
				肺	34					
				その他	34					
				胃	27					
宇城	複数部位	*	菊池	その他	5	八代	複数部位	*	天草	
				大腸	4					
有明	大腸	9	阿蘇	複数部位	*	芦北		県外等	肝	4
	肝	5								

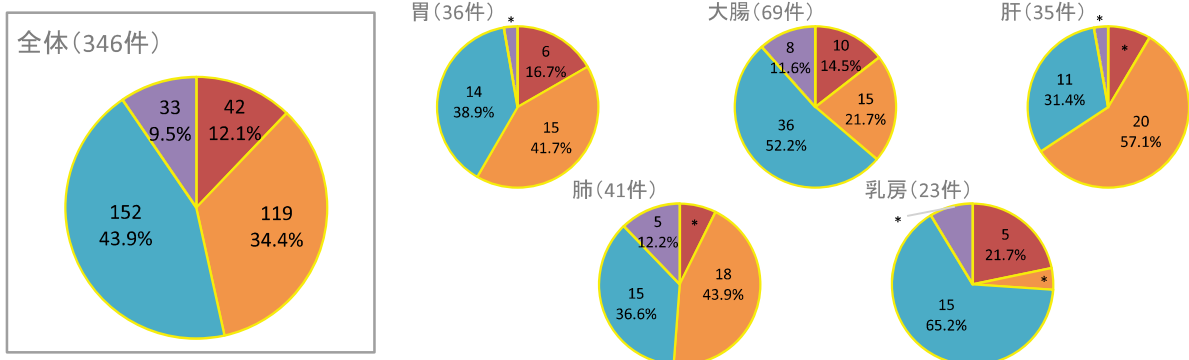
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

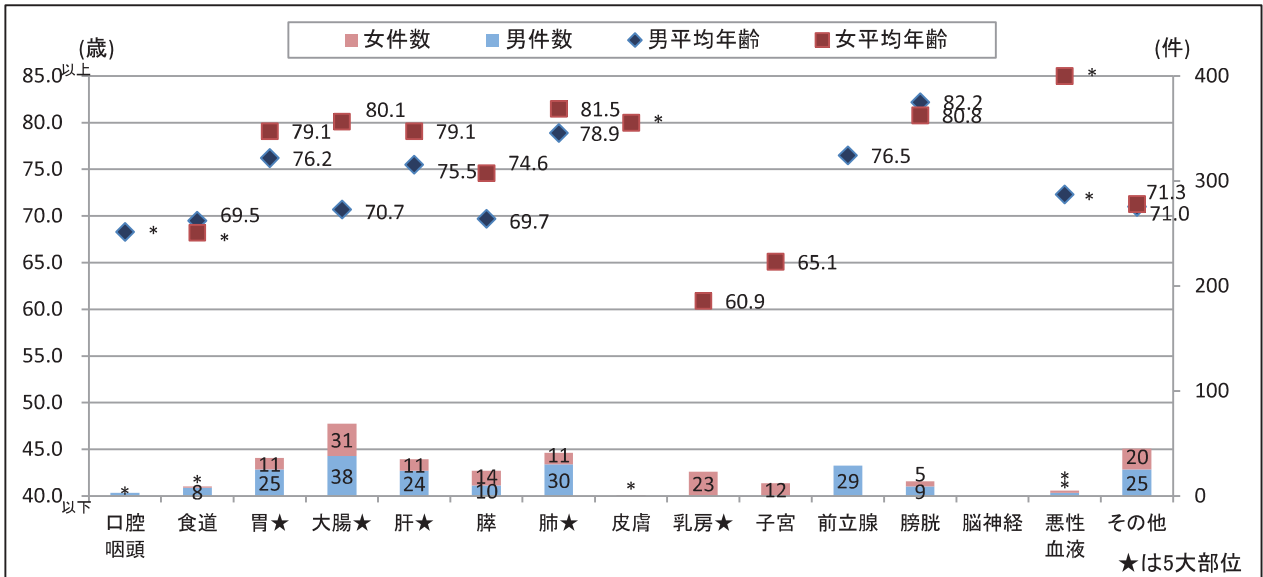


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

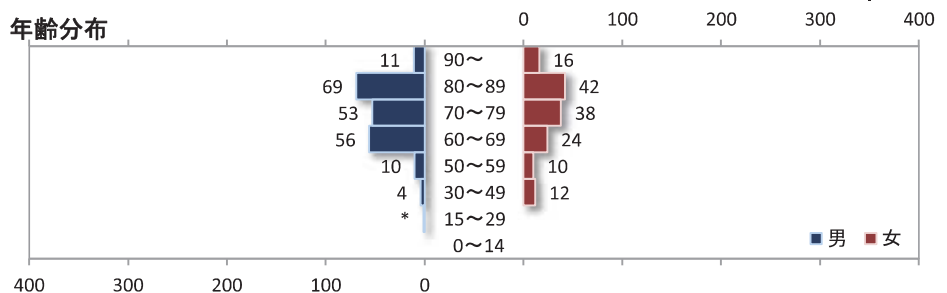


男性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
大腸	38		複数部位	*	複数部位	*	複数部位	*	
肺	30								
前立腺	29								
胃	25								
その他	25								
肝	24								
膵	10		計	*	計	4	計	10	
膀胱	9	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
食道	8	大腸	15	前立腺	11	肺	16	胃	4
口腔咽頭	*	胃	7	大腸	8	前立腺	12	など	
悪性血液	*	肝	7	その他	8	肝	10		
皮膚		肺	6	肝	7	胃	8		
乳房		その他	6	肺	6	その他	8		
子宮		など		など		など			
脳神経		計	56	計	53	計	69	計	11
計	204								



女性全体	0~14歳		15~29歳		30~49歳		50~59歳		
大腸	31				乳房	6	複数部位	*	
乳房	23				など				
その他	20								
膵	14								
子宮	12								
胃	11								
肝	11								
肺	11				計	12	計	10	
膀胱	5	60~69歳		70~79歳		80~89歳		90歳~	
悪性血液	*	乳房	9	大腸	7	大腸	12	大腸	5
食道	*	大腸	6	膵	6	胃	6	その他	4
皮膚	*	など		胃	5	肺	6	など	
口腔咽頭				その他	5	肝	5		
前立腺				など		など			
脳神経		計	24	計	38	計	42	計	16
計	142								

年齢分布



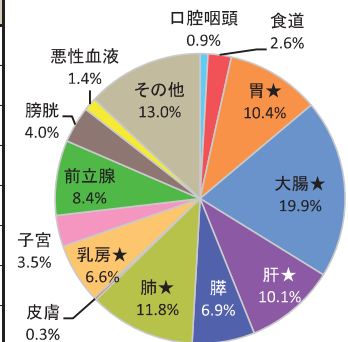
Ⅱ 施設別統計

山鹿市民医療センター

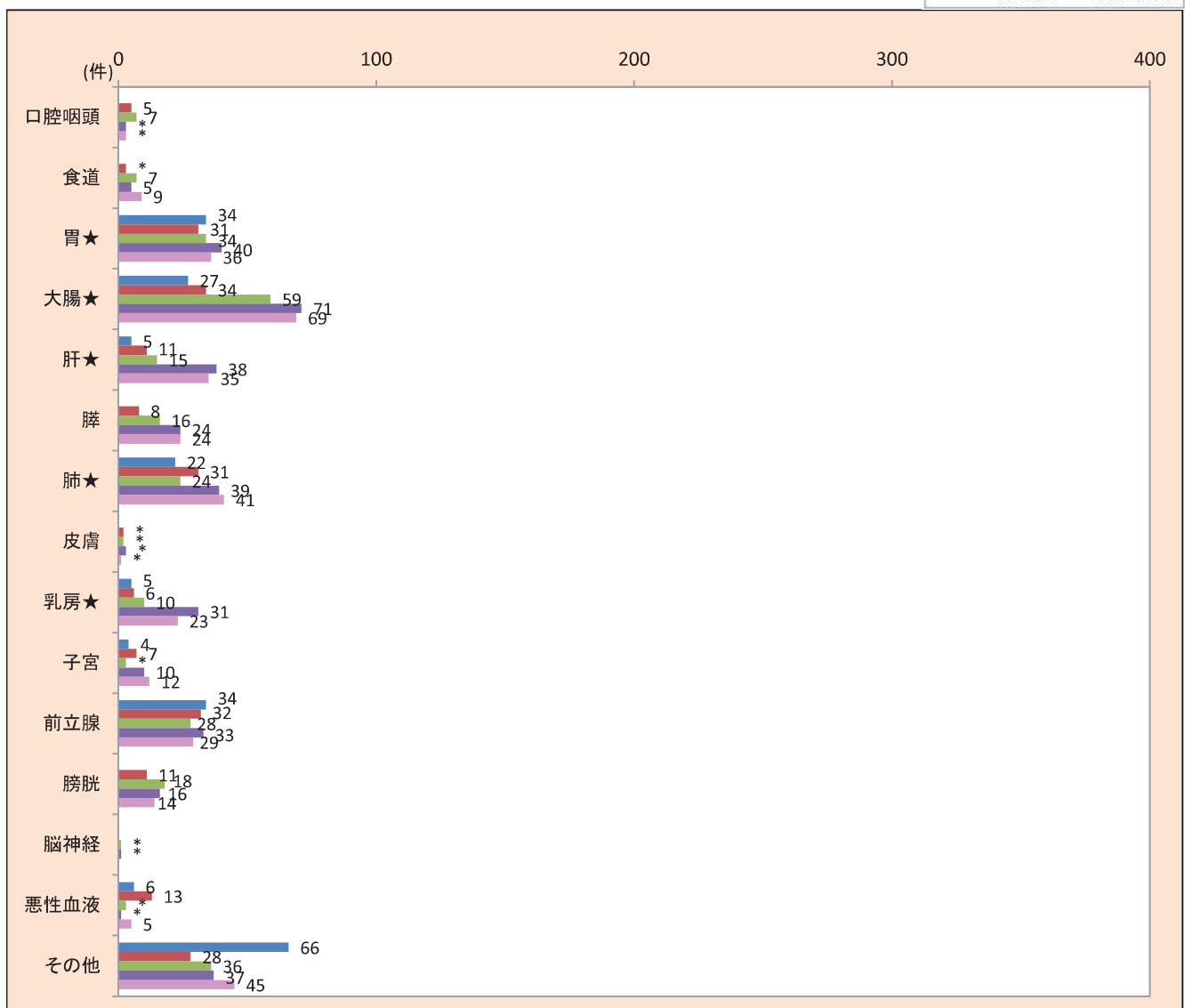
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭		5	7	*	*
食道		*	7	5	9
胃★	34	31	34	40	36
大腸★	27	34	59	71	69
肝★	5	11	15	38	35
膵		8	16	24	24
肺★	22	31	24	39	41
皮膚		*	*	*	*
乳房★	5	6	10	31	23
子宮	4	7	*	10	12
前立腺	34	32	28	33	29
膀胱		11	18	16	14
脳神経			*	*	
悪性血液疾患	6	13	*	*	5
その他	66	28	36	37	45
計	203	222	263	352	346

2017年診断症例 主要部位別割合



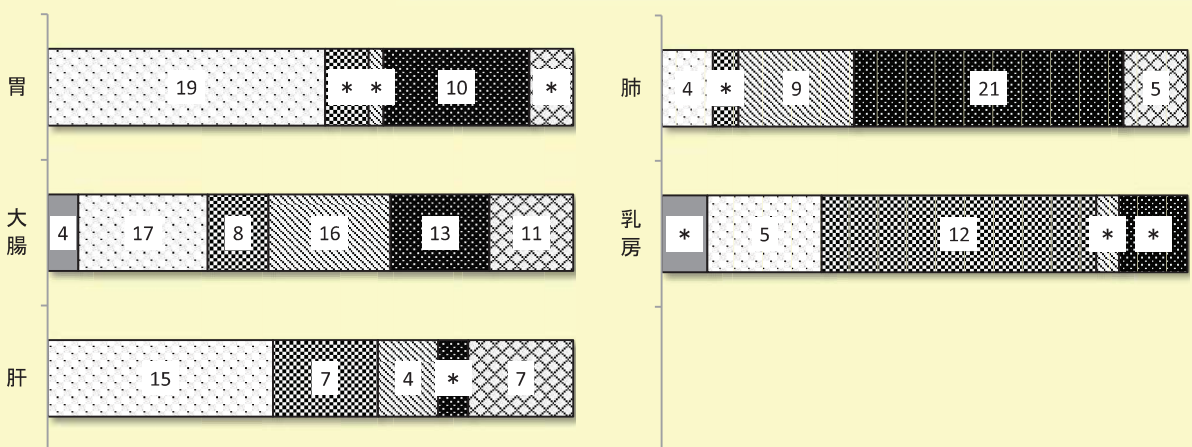
※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



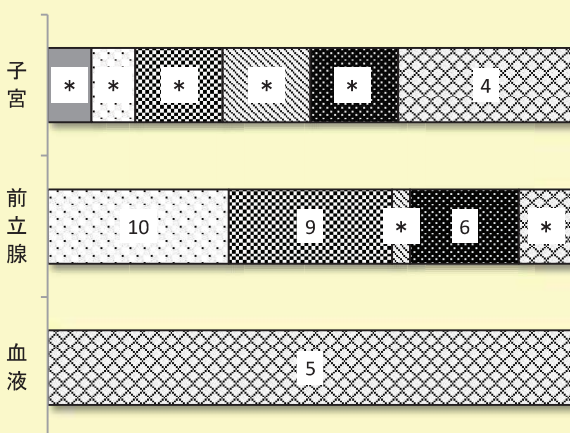
⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*					*	
食道	9	*	*		*	*	*
胃★	36		19	*	*	10	*
大腸★	69	4	17	8	16	13	11
肝★	35		15	7	4	*	7
膵	24		*	10		11	*
肺★	41		4	*	9	21	5
皮膚	*				*		
乳房★	23	*	5	12	*	*	
子宮	12	*	*	*	*	*	4
前立腺	29		10	9	*	6	*
膀胱	14	*	*	*	*		5
脳神経	0						
悪性血液疾患	5						5
その他	45		9	5	8	11	12
計	346	12	87	59	46	84	58

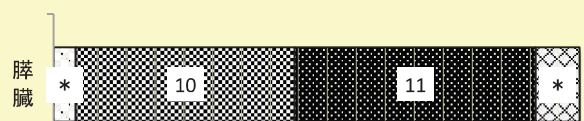
(参考)5大部位Stage別割合



(参考)+3部位Stage別割合



(参考)+各施設追加部位Stage別割合



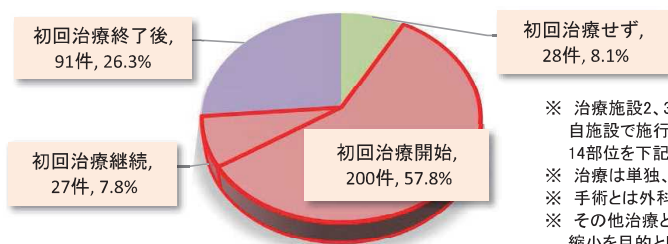
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

山鹿市民医療センター

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

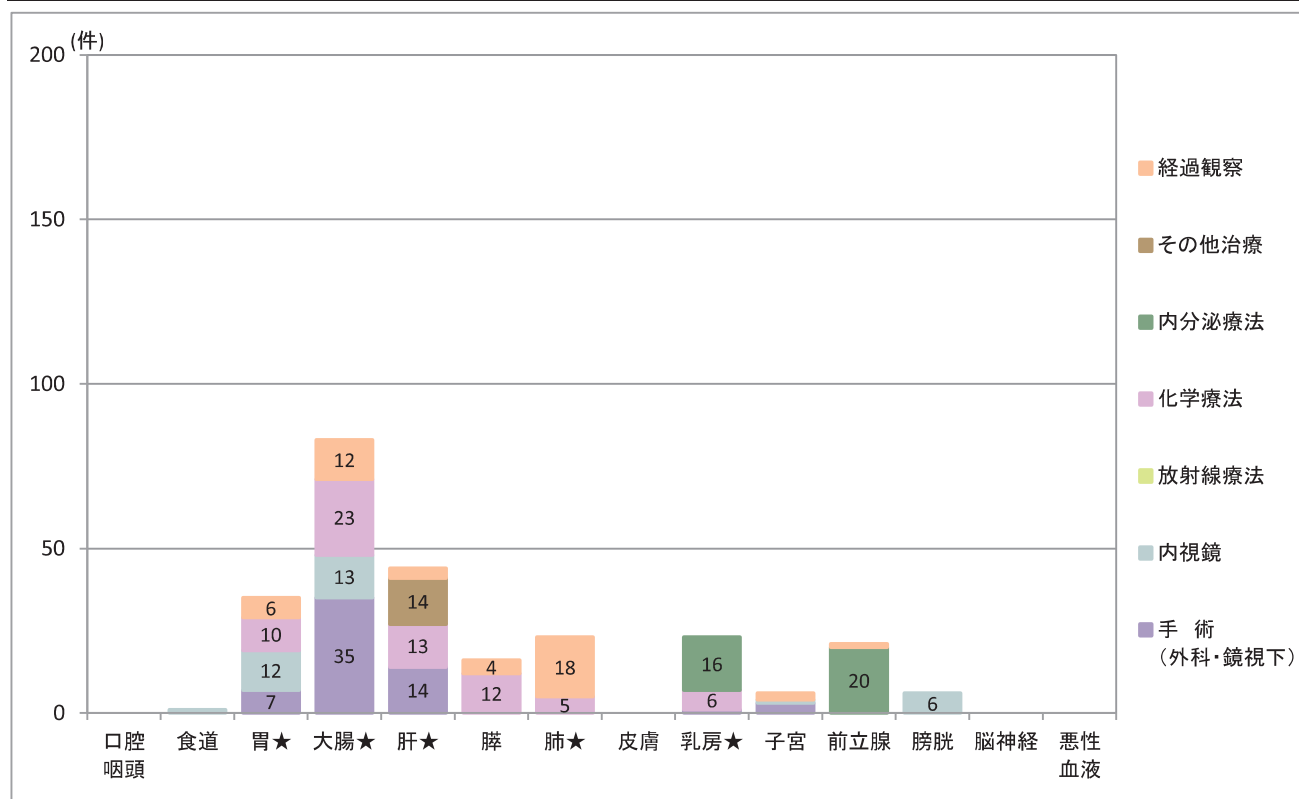
治療施設	件数
1初回治療せず	28
2初回治療開始	200
3初回治療継続	27
4初回治療終了後	91
8その他	0
計	346



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

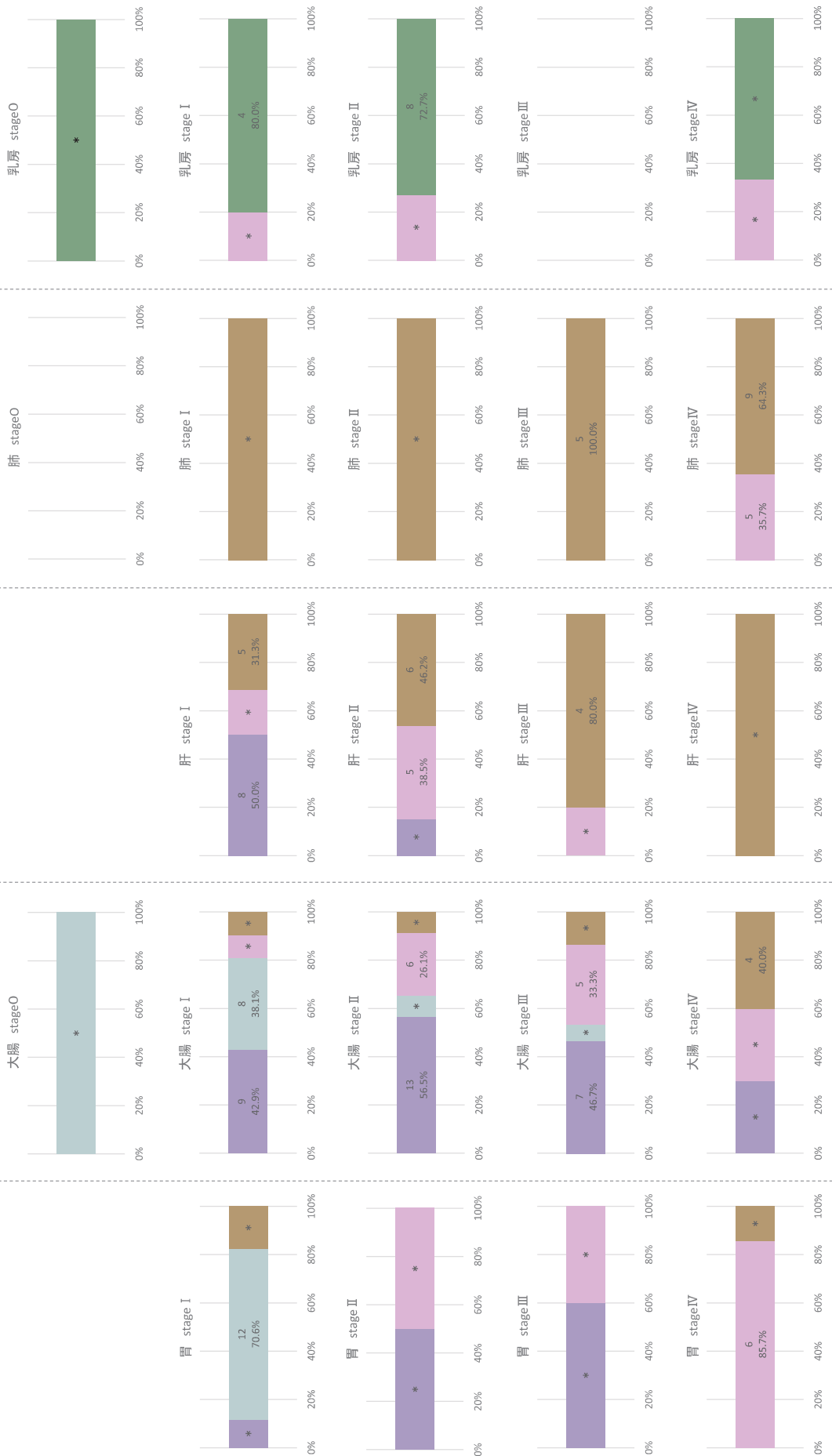
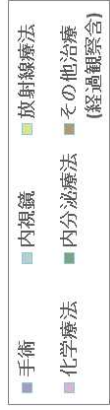
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道		*						*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	7	12		10			6	35	94.7%	5.3%	0.0%
大腸★	35	13		23			12	83	97.6%	2.4%	0.0%
肝★	14			13		14	*	44	92.9%	7.1%	0.0%
膵				12			4	16			
肺★				5			18	23			
皮膚								0			
乳房★	*			6	16			23	100.0%	0.0%	0.0%
子宮	*	*					*	6	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺					20		*	21			
膀胱		6						6	100.0%	0.0%	0.0%
脳神経								0			
悪性血液疾患								0			
計	60	33	0	69	36	14	46	258			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名	 社会医療法人黎明会宇城総合病院
-------	---

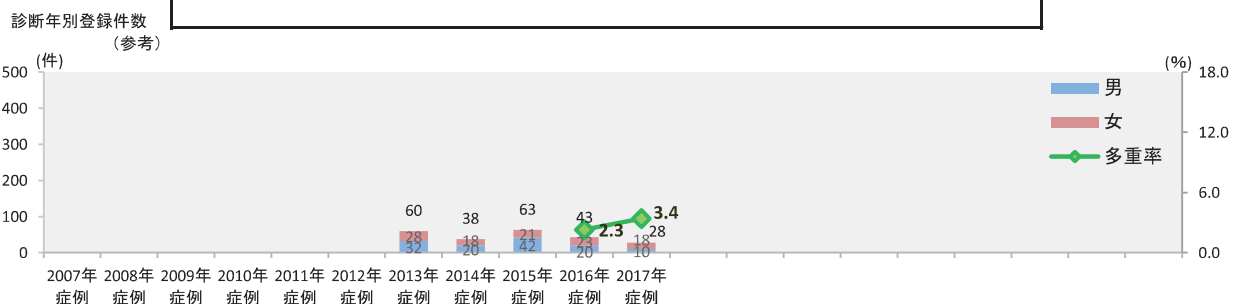
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	宇城市松橋町久具691
病床数	204床
診療科数	18科
がん診療連携拠点病院指定日	—
がん登録開始基準日	2010.04.01
平均在院日数	27.0 (日)
入院患者数	2,060 (人)
外来患者延数	59,842 (人)
院内がん登録件数	28 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 2 / 他 1 (名)

○医療機関からのコメント

1. 症例件数
当院における2017年の症例件数は28件(前年症例:43件)となった。
2. 医療圏
2017年は宇城地域となっていた。
3. 平均年齢・男女比
登録症例の平均年齢は76歳(前年:76歳)となっており、例年同様の平均年齢である。
男女とも70～80歳代が多かった。男女比は男性35.8%(10件)、女性64.2%(18件)となった。
4. 部位
大腸28.6%(前年18.6%)、胃35.7%(前年27.9%)、乳房21.4%(前年14%)の順となった。
5. 特徴
例年同様に宇城地域医療圏からの患者が多く、高齢者が増加している。手術対応が困難な末期状態で積極的な治療を希望されない、または癌に対する積極的な検査若しくは治療を希望されない患者が多いため、病理診断レベルでの病期分類の確定診断がされていない症例が反映している。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

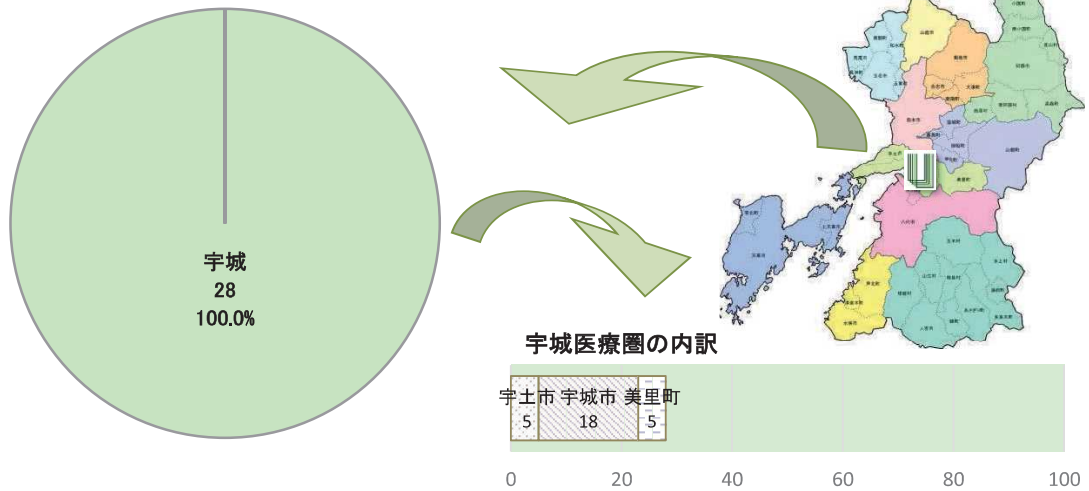
II 施設別統計

宇城総合病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

宇城総合病院 (28件)

※ 全般において3件以下は*又は非表示

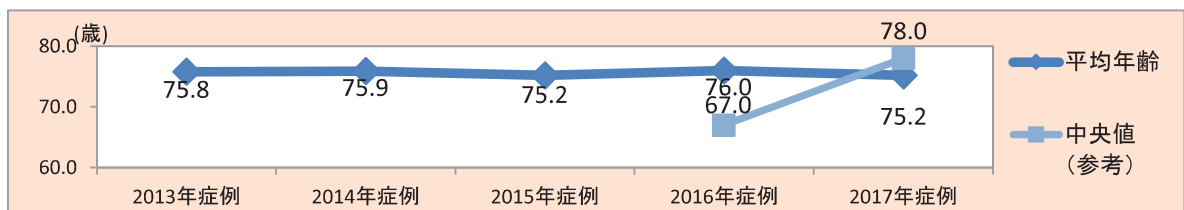


◇ 医療圏別上位部位

医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数	医療圏	部位	件数
熊本市			鹿本			上益城			球磨		
宇城	大腸	8	菊池			八代			天草		
	胃	7									
	乳房	6									
有明			阿蘇			芦北			県外等		

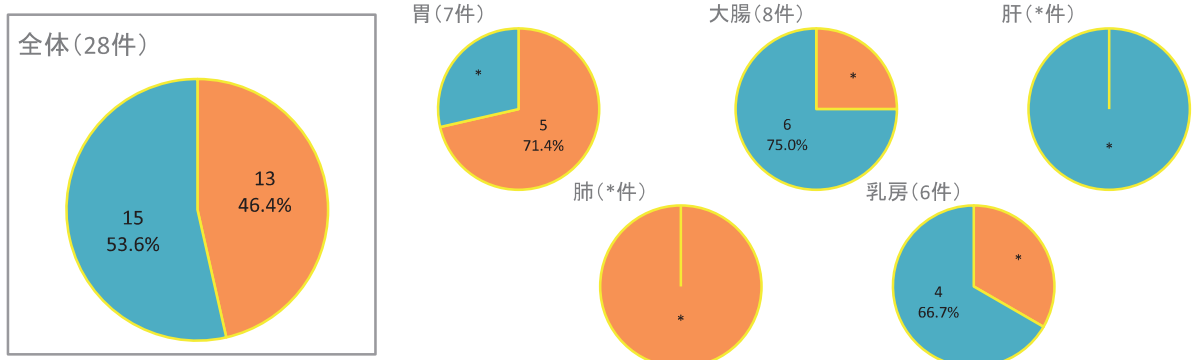
② 平均年齢と年次比較

※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

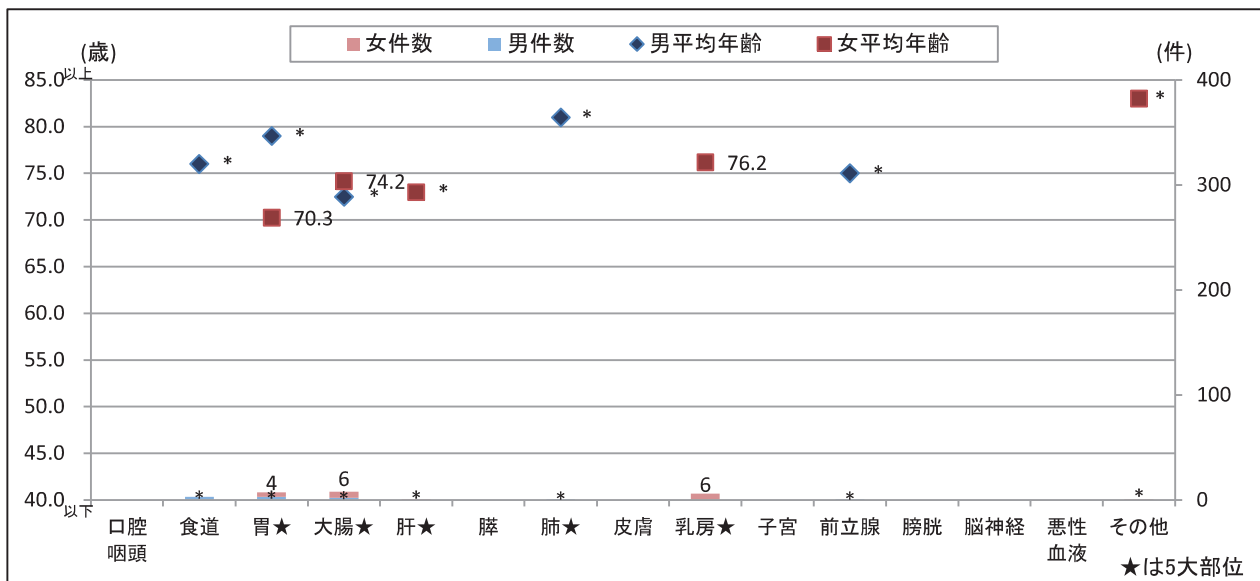


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

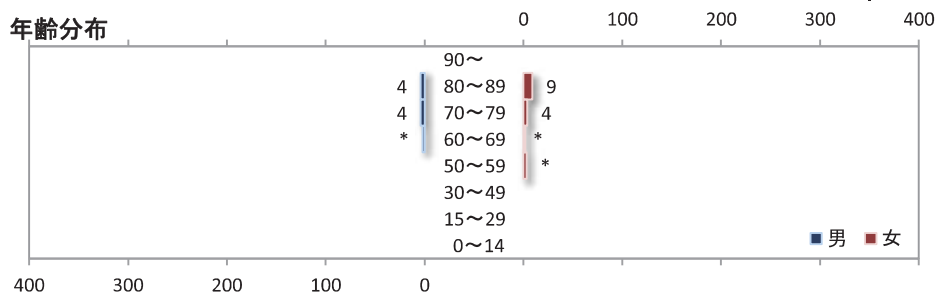


男性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
食道				
胃				
大腸				
肺				
前立腺				
口腔咽頭				
肝				
膵				
	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
皮膚	複数部位	複数部位	複数部位	
乳房				
子宮				
膀胱				
脳神経				
悪性血液				
その他				
計		4	4	
計	10			



女性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳
大腸				複数部位
乳房				
胃				
肝				
その他				
口腔咽頭				
食道				
膵				
	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~
肺	複数部位	複数部位	大腸	
皮膚			など	
子宮				
前立腺				
膀胱				
脳神経				
悪性血液				
計		4	9	
計	18			

年齢分布



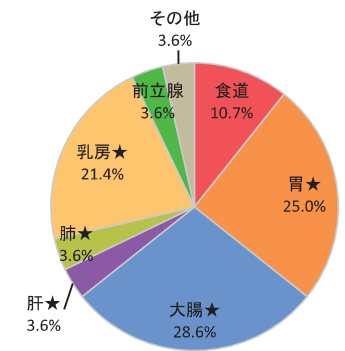
II 施設別統計

宇城総合病院

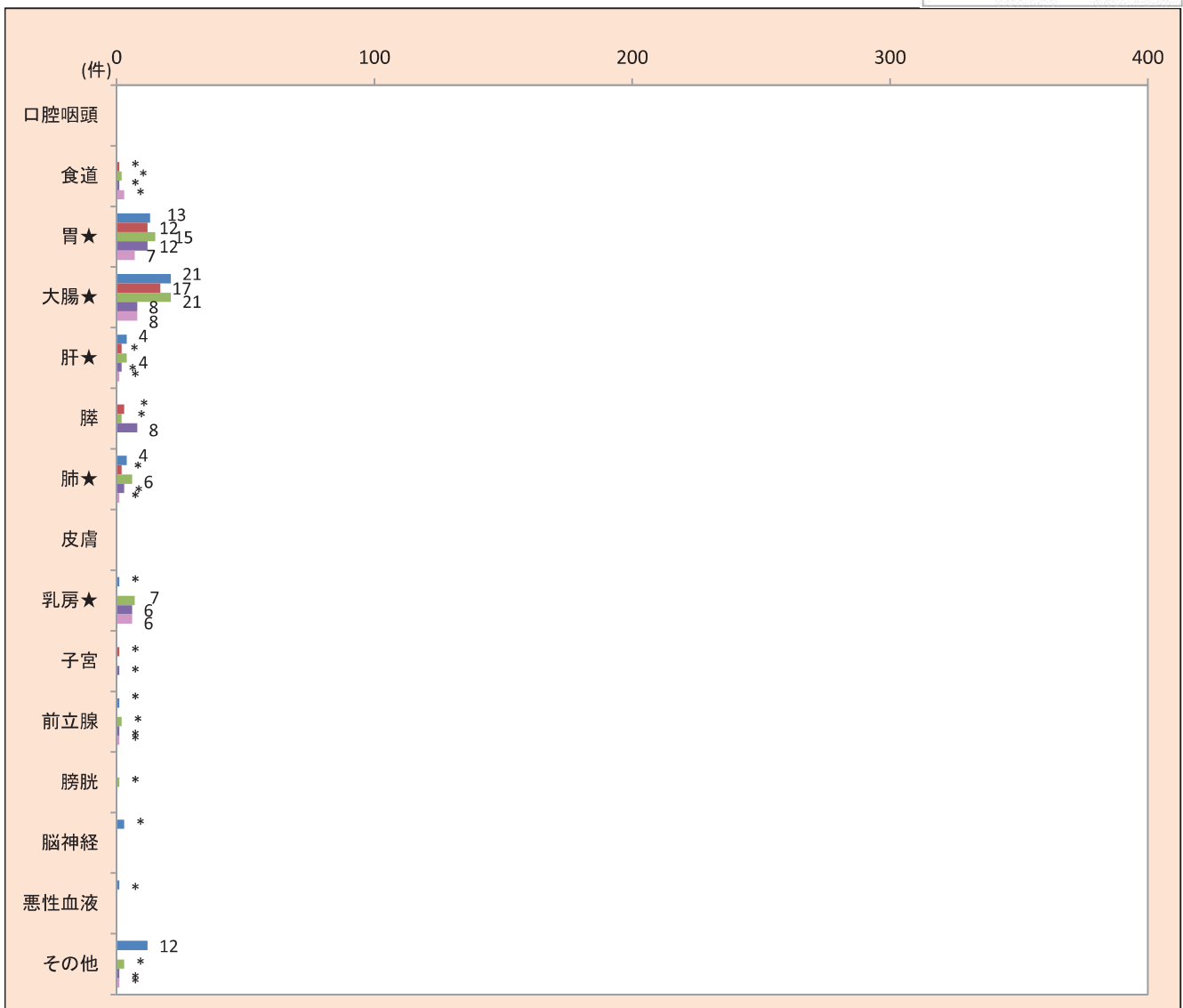
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭					
食道		*	*	*	*
胃★	13	12	15	12	7
大腸★	21	17	21	8	8
肝★	4	*	4	*	*
膵		*	*	8	
肺★	4	*	6	*	*
皮膚					
乳房★	*		7	6	6
子宮		*		*	
前立腺	*		*	*	*
膀胱			*		
脳神経	*				
悪性血液疾患	*				
その他	12		*	*	*
計	60	38	63	43	28

2017年診断症例 主要部位別割合

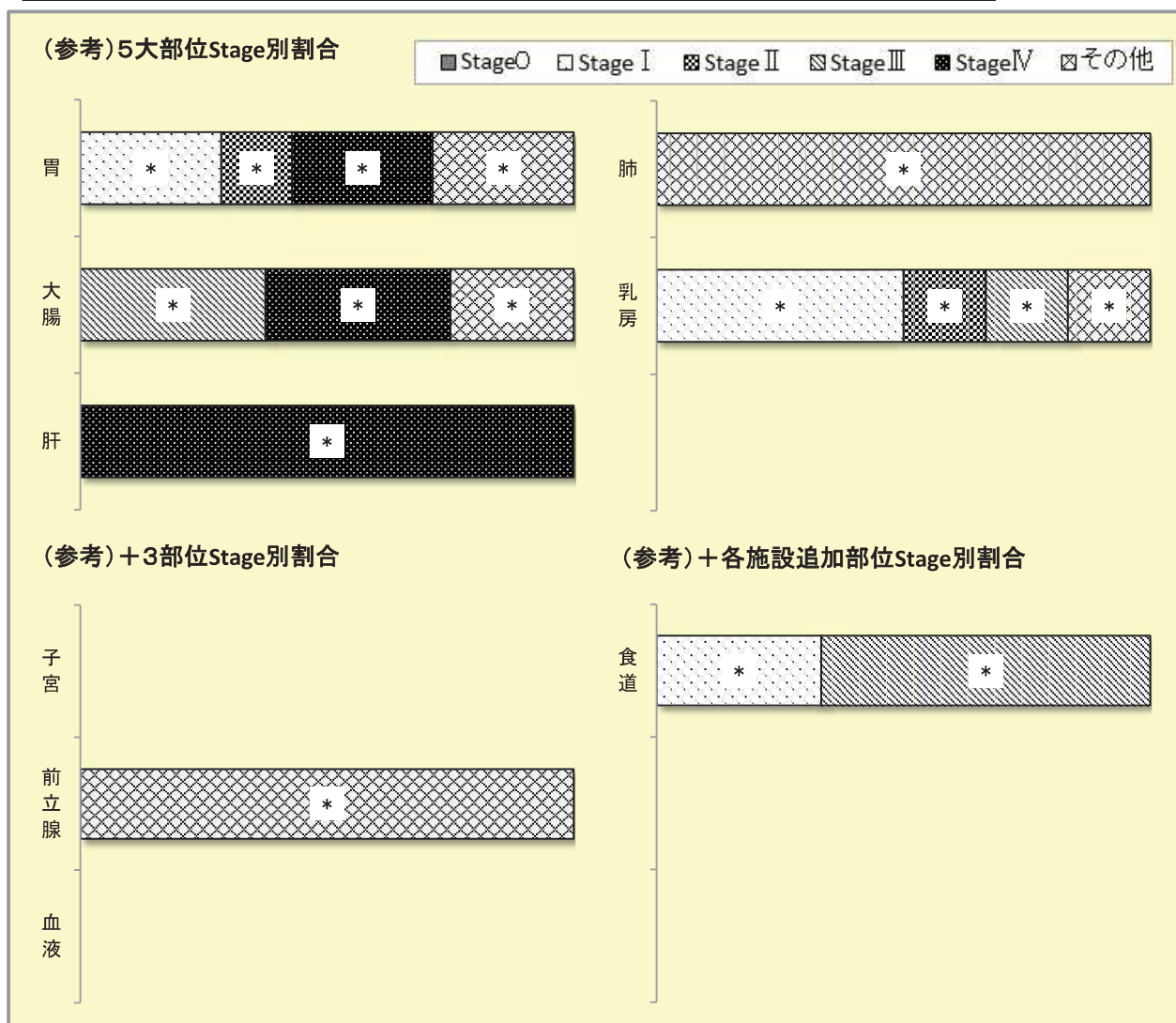


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	0						
食道	*		*		*		
胃★	7		*	*		*	*
大腸★	8				*	*	*
肝★	*					*	
膵	0						
肺★	*						*
皮膚	0						
乳房★	6		*	*	*		*
子宮	0						
前立腺	*						*
膀胱	0						
脳神経	0						
悪性血液疾患	0						
その他	*						*
計	28	0	6	*	6	6	8



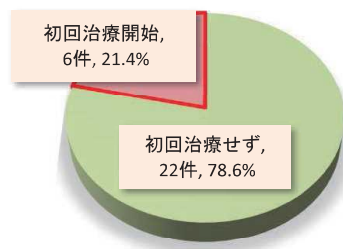
- ※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
- ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
- ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
- ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

宇城総合病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

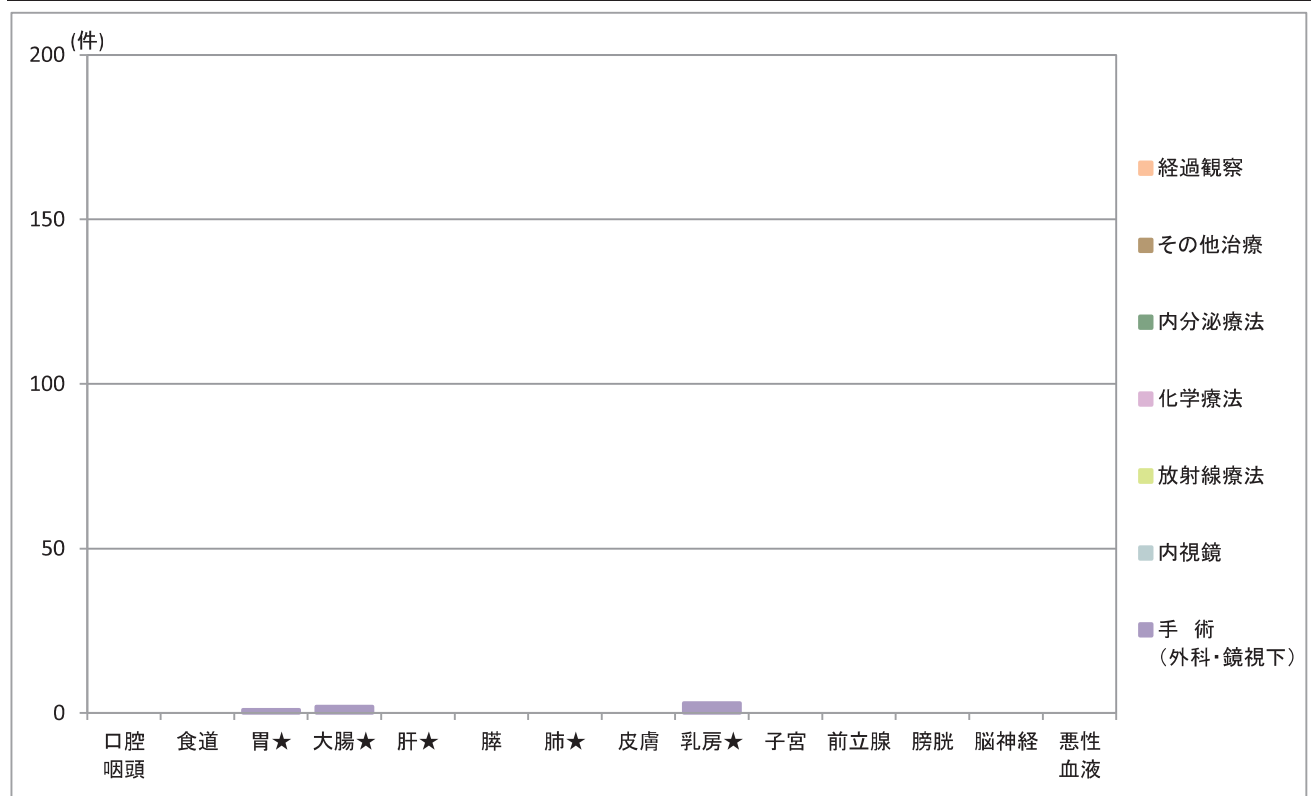
治療施設	件数
1初回治療せず	22
2初回治療開始	6
3初回治療継続	0
4初回治療終了後	0
8その他	0
計	28



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下) 手術	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし (原発巣切除)	遺残あり (原発巣残 転移巣のみ 切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	*							*	0.0%	100.0%	0.0%
大腸★	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
肝★								0			
膵								0			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳神経								0			
悪性血液疾患								0			
計	6	0	0	0	0	0	0	6			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の
主な治療

- ※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
- ※ 治療は単独、複剤に問わず各々算入
- ※ 分類はUICC7版に基づく
- ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
- ※ 手術とは外科的・鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計 —2017年診断症例—

医療機関名		球磨郡公立多良木病院
-------	---	------------

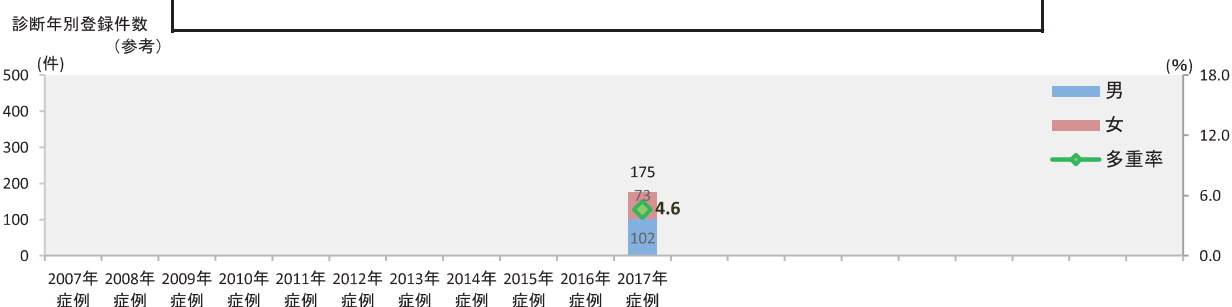
○基本情報

【平成29年12月現在】

所在地	球磨郡多良木町大字多良木4210
病床数	199床
診療科数	16科
がん診療連携拠点病院指定日	—
がん登録開始基準日	2014.04.01
平均在院日数	16.1 (日)
入院患者数	2,576 (人)
外来患者延数	92,807 (人)
院内がん登録件数	175 (件)
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者 0 / 初級者 1 / 他 0 (名)

○医療機関からのコメント

当院は2017年診断症例より施設別統計に参加。2018年緩和ケア病棟を開設しました。
【登録件数】 2017年登録件数は175件
【性別・年齢】 175件の内訳は 男性102件 女性73件 男性の平均年齢77.6 女性の平均年齢78.5と年齢では差はあまりありませんでした。
【発見経路】 自主的に受診されたものが79%、がん検診・人間ドックで発見されたものが9.7%、他疾患経過観察中に見つかったものが7%でした。高齢者の症状出現時での受診が多いものと推測されます。
【部位】 男性1位大腸、2位前立腺、3位肺 女性1位大腸、2位皮膚、3位乳房 大腸が男女とも1位で全体の23%と高い結果となりました。
 2018年6月より緩和ケア病棟開始し、地域の医療機関や当院の在宅医療センターとも連携し、がん診療を含めた包括的な医療の提供に努めています。



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

II 施設別統計

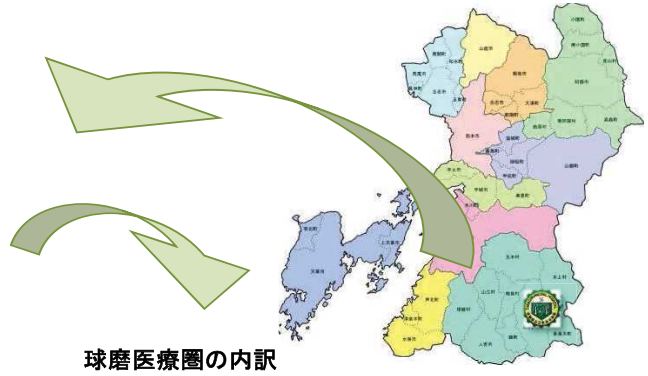
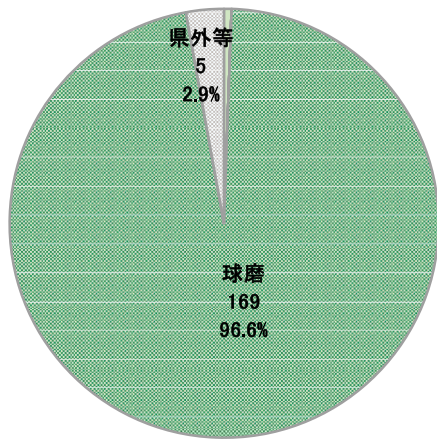
多良木病院

① 患者住所医療圏別登録の状況(2017年診断症例)

多良木病院 (175件)

※宇城は3件以下

※ 全般において3件以下は*又は非表示



球磨医療圏の内訳

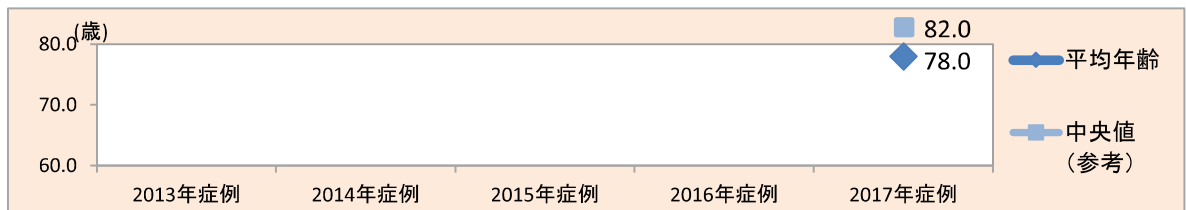


◇ 医療圏別上位部位

医療圏	上位部位	件数
熊本市	大腸	40
	その他	23
	皮膚	19
	胃	17
	肺	15
宇城	複数部位	*
	その他	
有明	複数部位	*
	その他	

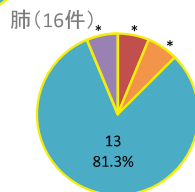
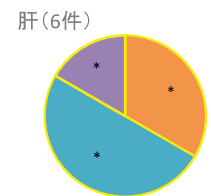
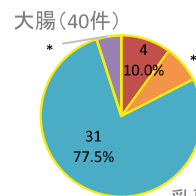
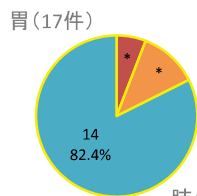
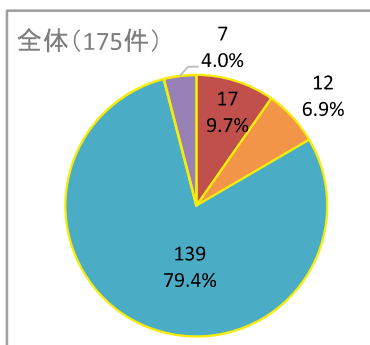
※ 件数が同じ部位で枠内に収まらない場合等は、複数部位として集計

② 平均年齢と年次比較

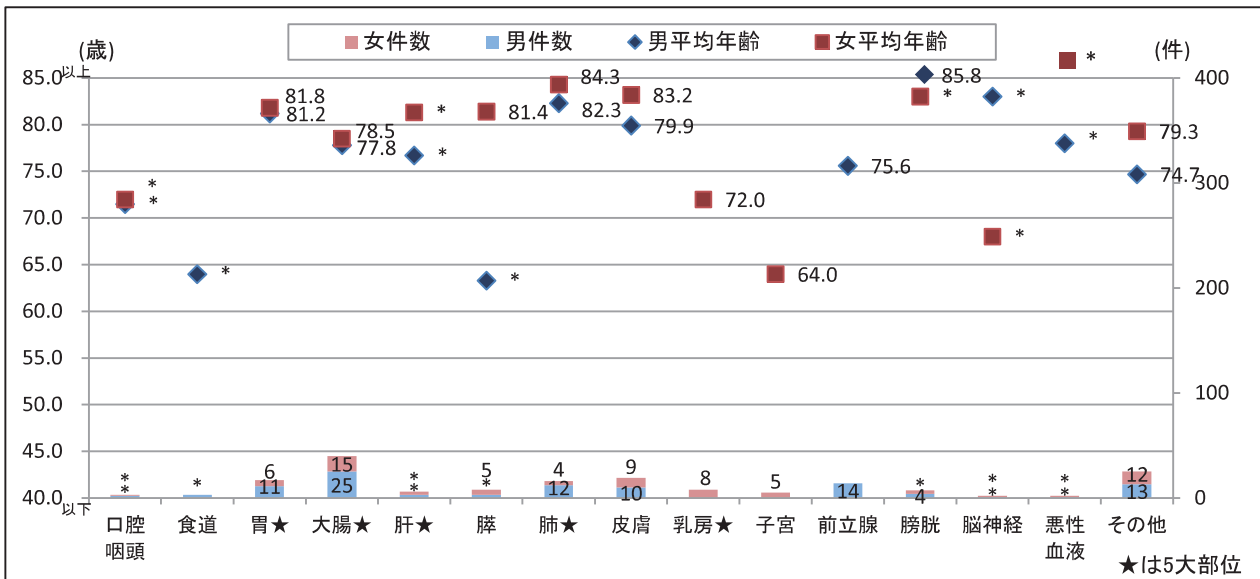


③ 発見経緯 5大部位の内訳

■ 1がん検診/健診/ドック ■ 3他疾患経過観察 ■ 4剖検(Ai含) ■ 8その他(自ら受診含) ■ 9不明



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

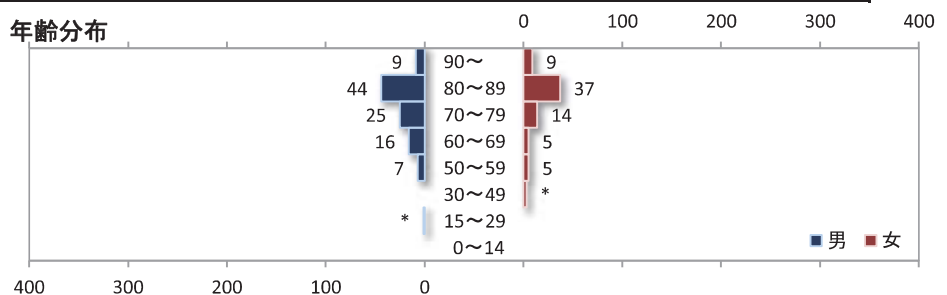


男性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳	
大腸	25	複数部位	*	複数部位	*
前立腺	14				
その他	13				
肺	12				
胃	11				
皮膚	10				
膀胱	4				
食道	*				
計					7
60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~		
肝	大腸 5	大腸 9	肺 8	複数部位	*
膵	など	前立腺 8	皮膚 8		
口腔咽頭	*	など	大腸 7		
脳神経	*		胃 6		
悪性血液	*		その他 6		
乳房			など		
子宮					
計	16	25	44	9	
計	102				



女性全体	0~14歳	15~29歳	30~49歳	50~59歳		
大腸	15		複数部位	*	複数部位	*
その他	12					
皮膚	9					
乳房	8					
胃	6					
膵	5					
子宮	5					
肺	4					
計						5
60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳~			
肝	複数部位	*	大腸 4	大腸 9	複数部位	*
膀胱	*	など	その他 9			
口腔咽頭	*		胃 4			
脳神経	*		皮膚 4			
悪性血液	*		乳房 4			
食道			など			
前立腺						
計	5	14	37	9		
計	73					

年齢分布



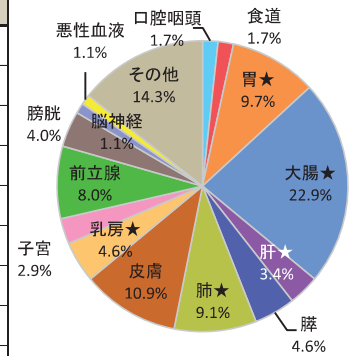
Ⅱ 施設別統計

多良木病院

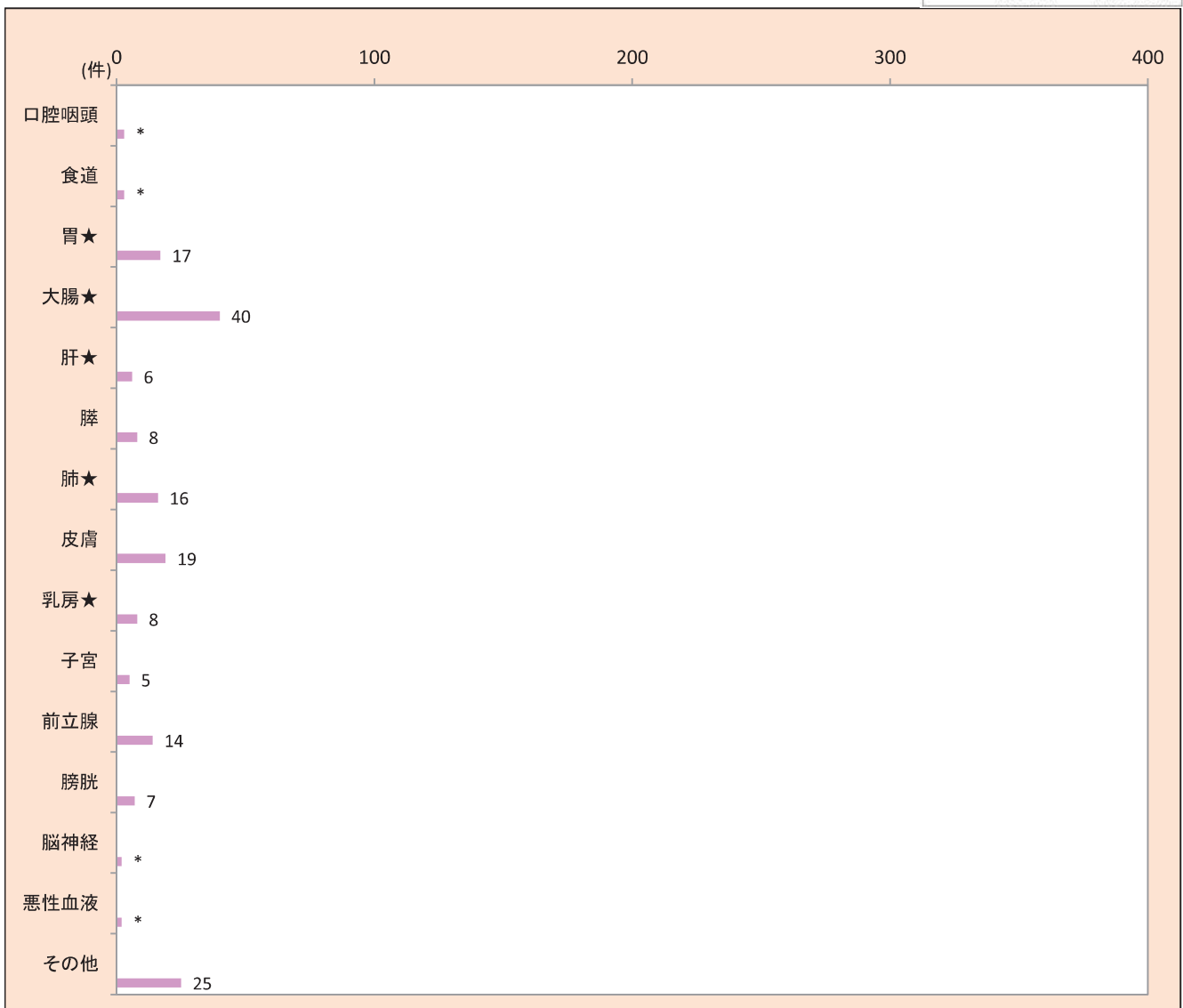
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2013年症例 (H27年度収集)	2014年症例 (H28年度収集)	2015年症例 (H29年度収集)	2016年症例 (H29年度収集)	2017年症例 (H30年度収集)
口腔咽頭					*
食道					*
胃★					17
大腸★					40
肝★					6
膵					8
肺★					16
皮膚					19
乳房★					8
子宮					5
前立腺					14
膀胱					7
脳神経					*
悪性血液疾患					*
その他					25
計					175

2017年診断症例 主要部位別割合

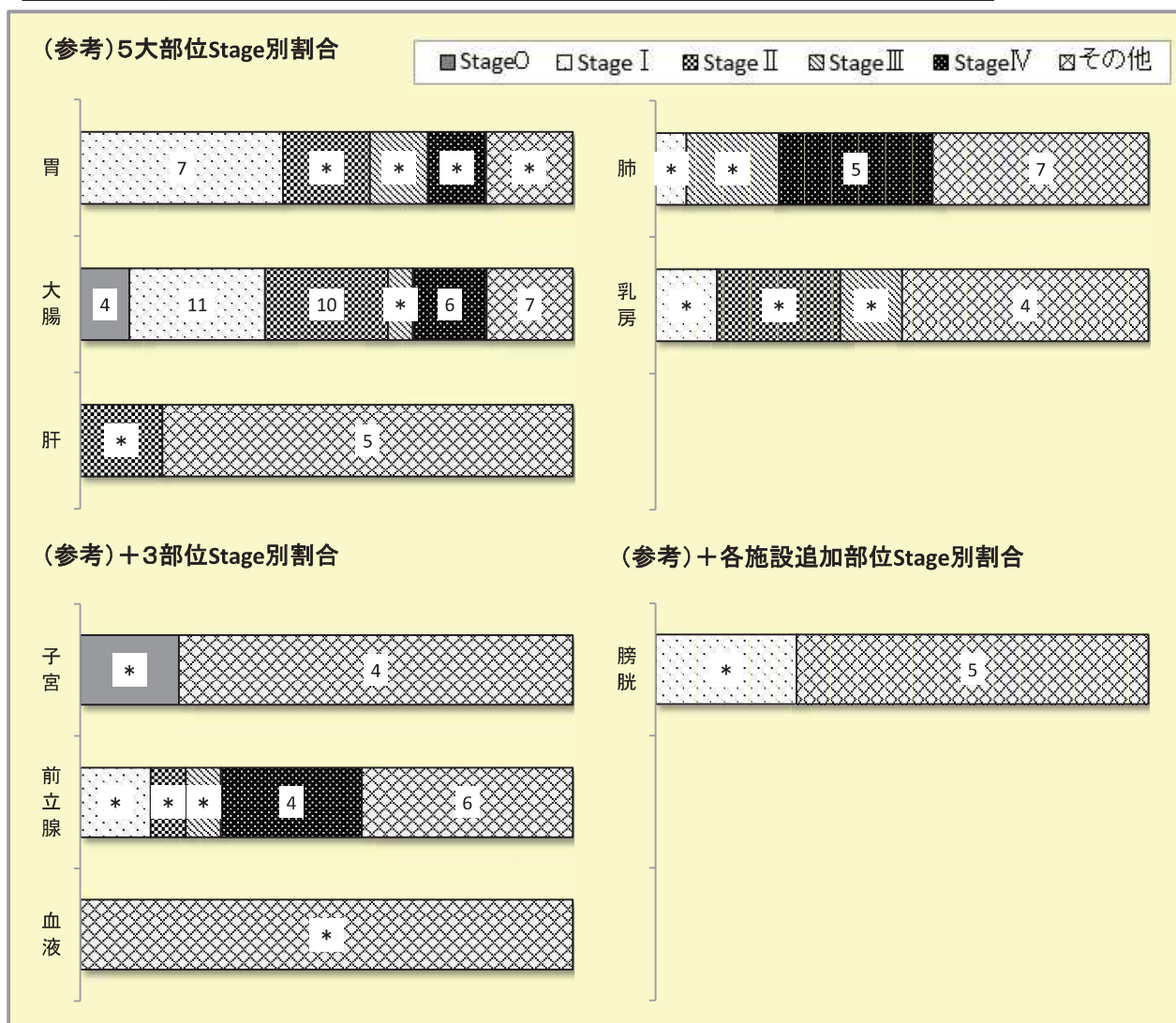


※大腸は結腸と直腸
 ※子宮は子宮頸部と体部
 ※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍



⑦ 主要部位別病期分類(総合Stage)

全体	件数	Stage 0	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	その他
口腔咽頭	*				*		*
食道	*	*				*	*
胃★	17		7	*	*	*	*
大腸★	40	4	11	10	*	6	7
肝★	6			*			5
膵	8			*	*	*	*
肺★	16		*		*	5	7
皮膚	19	*	8	*			8
乳房★	8		*	*	*		4
子宮	5	*					4
前立腺	14		*	*	*	4	6
膀胱	7		*				5
脳神経	*						*
悪性血液疾患	*						*
その他	25	*	4	*		*	16
計	175	9	36	20	11	24	75



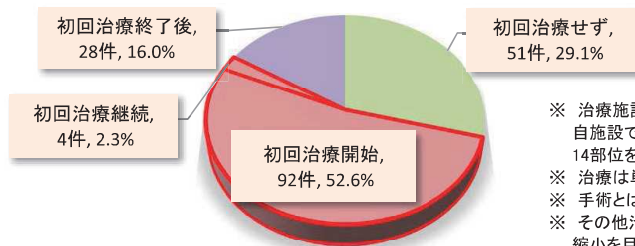
※ ステージは総合ステージ(術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage)
 ※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
 ※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
 ※ リンパ腫はAnnArbor分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第7版

II 施設別統計

多良木病院

⑧ 治療施設の内訳(自施設における初回治療の状況)

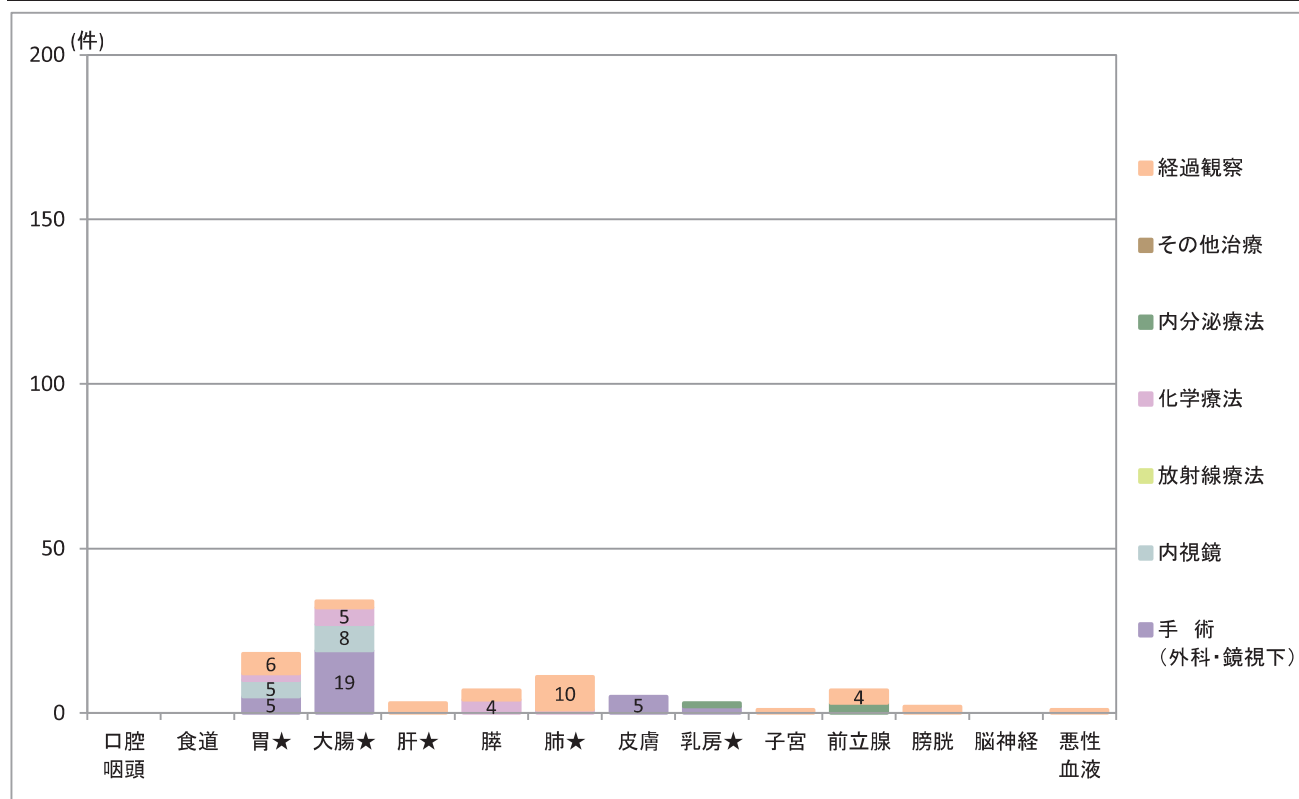
治療施設	件数
1初回治療せず	51
2初回治療開始	92
3初回治療継続	4
4初回治療終了後	28
8その他	0
計	175



- ※ 治療施設2、3(初回治療開始+初回治療継続)として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の14部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
- ※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
- ※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
- ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
- ※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

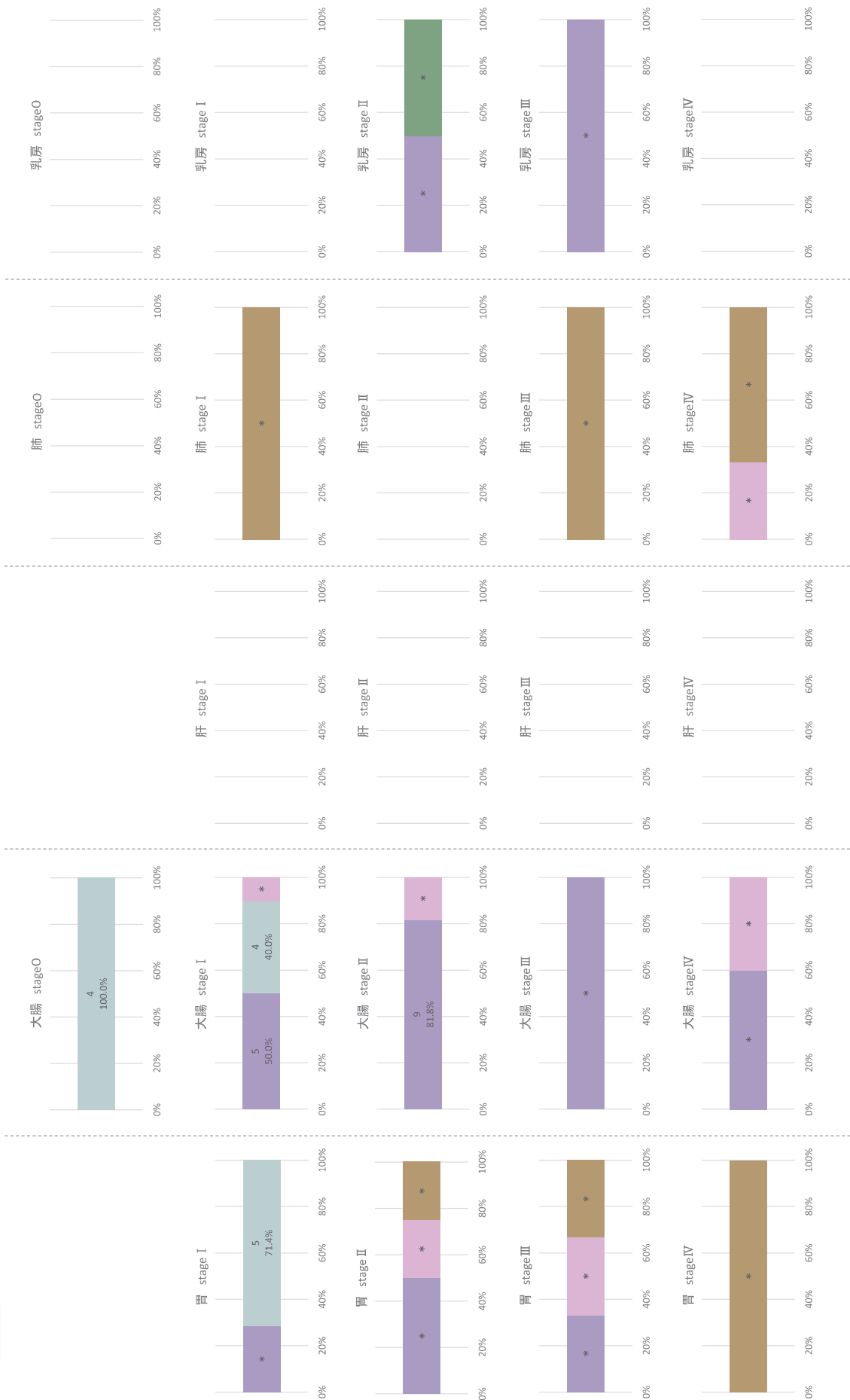
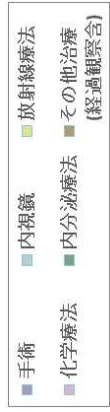
⑨ 主要部位別治療の内訳

	(外科・鏡視下)	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし(原発巣切除)	遺残あり(原発巣転移巣のみ切除など)	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	5	5		*			6	18	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	19	8		5			*	34	100.0%	0.0%	0.0%
肝★							*	*			
膵				4			*	7			
肺★				*			10	11			
皮膚	5							5	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	*				*			*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮							*	*			
前立腺					*		4	7			
膀胱							*	*			
脳神経								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	31	13	0	12	4	0	32	92			



⑩ 5大部位(総合Stage別)の
主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
 ※ 治療は単独、複数に問わず各々集算
 ※ 分類はUICC7版に基づく
 ※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
 ※ 手術とは外科的+鏡視下治療の計
 ※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療と、経過観察という初回治療も含む



熊本県院内がん登録データに係る統計

－2017 年診断症例－

編集・発行 熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会
〒860-8556 熊本市中央区本荘1丁目1番1号
電話：096-344-2111（代表）

平成31年3月